2019年度

シ　ラ　バ　ス

桐生大学　医療保健学部

看護学科

講義コード	10010001
講義名	哲学・倫理学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	３時限
区分	学部共通科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-C070
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 村上 隆夫	指定なし

授業の概要と教育目標

西欧の哲学および倫理学という学問に関する基本的な事柄について学ぶことを教育目標とする。そのために、古代ギリシアにおける哲学・倫理学の成立と、古代ユダヤのヘブライ文化を源流とするキリスト教の成立とを跡付けて、その後の西欧の哲学と倫理学の発展をを近代にいたるまで概観する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

広い基礎的な教養の獲得を目指す選択科目として卒業認定・学位授与の方針と関連する。

到達目標

古代および近代のヨーロッパの哲学・倫理学のみならず、現代の哲学・倫理学についての入門的な文献を読解できるようにすることを目標とする。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）
第1回	古代地中海世界の文化	古代地中海世界におけるギリシャ人の文化とユダヤ人の文化について説明する。
第2回	ギリシア哲学の形成（１）	ソクラテスの生涯とその哲学・倫理学について説明する。
第3回	ギリシャ哲学の形成（２）	上に同じ
第4回	ギリシャ哲学の展開（１）	プラトンの哲学・倫理学について説明する。
第5回	ギリシア哲学の展開（２）	上に同じ
第6回	ギリシア哲学の展開（３）	アリストテレスの哲学・倫理学について説明する。
第7回	ギリシア哲学の展開（４）	上に同じ

第8回	キリスト教の成立（１）	イエスの生涯とその倫理思想について説明する。
第9回	キリスト教の成立（２）	パウロによるキリスト教思想の形成について説明する。
第10回	キリスト教神学の形成	アウグスティヌスのキリスト教神学について説明する。
第11回	キリスト教神学の展開	中世キリスト教神学における普遍論争について説明する。
第12回	宗教改革の思想	マルティン・ルターとジャン・カルヴァンのキリスト教思想について説明する。
第13回	近代哲学・倫理学の形成（１）	トマス・ホッブズの哲学・倫理学の近代的性格について説明する。
第14回	近代哲学・倫理学の形成（２）	デカルトの哲学・倫理学の近代的性格について説明する。
第15回	総括と討論	これまでの講義について補講を行い、さらに総括のための討論の時間を設ける。

教科書

特に使用しない。講義の際にレジュメを配布する。

参考書

講義のなかで適宜指示する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。学期末試験（１００％）による評価を行う。

課題等に対する
フィードバックの方法

授業の後で関連する事項について検索をおこなうなど、復習することが望ましい。

履修のポイント

レジュメに関連してノートに補足してまとめることが望ましい。

講義コード	10020001
講義名	心理学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	１時限
区分	学部共通科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-C001
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大澤 靖彦	指定なし

授業の概要と教育目標

ものを見聞きすること、覚えること、考えること、泣いたり笑ったりすることなど、私たちが意識するとしないとにかかわらず、人のあらゆる活動に心はかかわっている。そして、人は常に、状況に応じて適切な判断を下し、その場に合った行動をうまく選択し、自分にとって必要で大切だと思うことをきちんと覚えておくような存在かというと、そうでもない。心理学は、私たちのそうした心のはたらきを実証的に明らかにすることを目的とした科学である。看護職をめざすものとして、人の心の多様なはたらきについて学修することは、人間理解の一環にもなる。本講義はそうした観点から、人の心の多様なはたらきがどのように明らかにされてきたかについて取り上げる。授業は講義形式で行うが、テーマによって視聴覚にうったえる試みもする予定である。人の心のはたらきについて広く知識を獲得し、人（患者）を理解する基本的態度を修得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人に対する理解を深めることを目指し、心理的側面の理解を通してその目的達成に資する知識を養う。そして、看護職として看護対象となる人の健康の諸側面、健康生活と社会との関係について、心的側面から理解することを目指す。

到達目標

１．知覚・記憶・学習・発達・性格・感情と欲求・適応機制などにかかわる専門用語の意味を理解する。
２．知覚・記憶・学習・発達・性格・感情と欲求・適応機制などにかかわる心理学理論について理解する。
３．日常的な出来事を心理学の理論に沿って理解する。
４．人の心の全般的なしくみについて理解する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
	心理学のいろ	オリエンテーション（授業の進め方、成績評価など） 心理学の系譜を概観しながら、どのようなことが明ら	予習90分：教科書第1章を読む。

第1回	いろ	かにされてきているのか、日常生活のトピックスを取り上げる。	復習90分：配布資料を見直す。
第2回	知覚心理学	錯視をはじめとし、見えの不思議を取り上げる。	予習90分：教科書pp.20-34を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第3回	学習心理学	テスト勉強で何かを覚えるだけでなく、知らず知らず身につけてしまう学習について取り上げる。	予習90分：教科書pp.34-43を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第4回	認知心理学	記憶や思考について取り上げる。	予習90分：教科書pp.43-54を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第5回	人格心理学	パーソナリティの理解やとらえ方について取り上げる。	予習90分：教科書pp.56-70を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第6回	発達心理学①	発達の基本概念について取り上げる。	予習90分：教科書pp.71-83を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第7回	発達心理学②	自分らしさを作り上げる過程から死を迎えるまでの発達について取り上げる。	予習90分：教科書pp.84-101を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第8回	社会心理学①	対人関係における印象形成、対人魅力、恋愛について取り上げる。	予習90分：教科書pp.102-118を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第9回	社会心理学②	人を動かす心理学にについて取り上げる。	予習90分：教科書pp.119-135を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第10回	社会心理学③	援助行動と攻撃行動について取り上げる。	予習90分：教科書pp136-148を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第11回	健康心理学①	心の健康、適応について取り上げる。	予習90分：教科書pp.149-158を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
			予習90分：教科

第12回	健康心理学②	ストレスについて取り上げる。	書pp.158-163を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第13回	健康心理学③	心の健康の維持、回復について取り上げる。	予習90分：教科書pp.164-171を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第14回	臨床心理学	無意識の発見から明らかになった知見について取り上げる。心の病と心理療法について取り上げる。	復習90分：配布資料を見直す。
第15回	社会現象	心理学から見た社会現象について取り上げる。	予習90分：教科書pp.172-182を読む。 復習90分：配布資料を見直す。

教科書

藤本忠明他 『ワークショップ心理学』 ナカニシヤ出版

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
筆記試験40% レポート・課題30% 授業への積極性・態度30%

課題等に対するフィードバックの方法

授業内でレポートや課題を課すことがある。返却するので学習の参考にすること。また、授業の振り返りの資料とその解答を配布するので、授業内容の理解に役立てること。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待します。

オフィス・アワー

水曜日・木曜日、12：30〜13：20（昼休み）、11 号館第 8 研究室。
※講義終了前後にも、適宜受け付けます。

講義コード	10030001
講義名	教育原論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	４時限
区分	学部共通科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-C
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田口 和人	指定なし

授業の概要と教育目標

教育に関する基本的な事項について学ぶ。これまで受けてきた家庭教育・学校教育・社会教育での経験を踏まえながら、「教育とは何か」について、また教育がもたらす弊害についても考える。そして、「主体的・対話的で、深い学び」とは何かついて理解を深めていく。※「読む」「書く」「話す」という実践的訓練（スキル）を毎時間行う。特に「話す」については、授業内容に即して発言を求める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーと関連して、人間のもっている社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面についての理解を深めることを目指して、人間の存在・成長・発達に関わって教育のもっている意味を理解する。そして、そのことを通じて、学び続けることの重要性を実感できることを目指す。

到達目標

教育とは何か、人間として生きるために、また人間として成長するために、なぜ教育が必要であるかということについて考えます。その上で、現実に行われている教育について考える視点をもつことを目標とします。

授業計画

	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	これまで受けてきた教育を振り返りながら、家庭教育・学校教育・社会教育についての考え方を共有する。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第2回	人間が存在するようになった時代を想像しながら、教育の有り様を考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
	乳幼児の成長を追いながら、親・家族の存在と教育（保	予習90分：教育に関する事象について調べ

第3回	育）について考える。	る。復習90分：配付資料を見直す。
第4回	児童期を迎えた子どもたちと小学校での教育（初等教育）と家庭・地域との連携・協力について考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第5回	生徒期を過ごす子どもたちと中学校・高等学校での教育（中等教育）と家庭・地域との連携・協力について考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第6回	学生期を過ごす青年たちと大学の教育（高等教育）と地域との連携・協力について考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第7回	人間についての観念（人間観）の歴史的変遷と教育を踏まえ、その内容と方法について考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第8回	近代教育史を中心にして、その変遷と価値観の転換について考える。また、日本の近代公教育の成立を踏まえながら、権利としての教育（憲法）、教育基本法、学校教育法について考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第9回	学校の中心的な教育活動である授業と学習の関係について考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第10回	学校という組織の運営と計画、教育内容の組織化と形態、教育課程の編成、学習指導要領について学び、考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第11回	教科外教育としての生徒指導（生活指導）や特別活動、道徳教育の役割と課題について考える。また、教科外教育において、今日の学校環境を取り巻く学校安全についての理解を深める。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第12回	学校保健安全法をとりあげ、生活安全・交通安全・災害安全について学び、その意義を理解する。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第13回	今日求められる「開かれた学校」について学び、その意義を理解する。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第14回	教育や学習とは何かという問いに基づきながら、社会構成的学習（参加・対話型）を実際に行ってみる。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第15回	教育の現状を踏まえながら、これからの教育のあり方について考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。

教科書

なし
参考書
『学生のための教育学』西川信廣・ほか編、ナカニシヤ出版。 文部科学省『幼稚園教育要領』（平成29年）。 文部科学省『小学校学習指導要領』（平成29年）。 文部科学省『中学校学習指導要領』（平成29年）。 文部科学省『生徒指導提要』（平成22年）。 ※適宜資料を配付する。
成績評価の方法・基準
定期試験（80%）、授業時のレポート（20%） 単位認定基準60%以上
課題等に対する フィードバックの方法
授業内でレポートや課題を課すことがある。返却するので、授業の振り返りとして役立てること。
履修のポイント
主体的、対話的で深い学びを期待します。
オフィス・アワー
火曜日・木曜日の12：30～13：20（昼休み） 11号館第7研究室 ※授業終了後にも、適宜受け付けます。

講義コード	10040001
講義名	法学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	２時限
区分	学部共通科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-C003
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松原 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

社会において、生活を営み、職業に従事する場合、少なからず法が関わってくる。特に、保健医療に関する分野は、他の職業領域と比較して、国による規制および国によるサービスが実施されることが圧倒的に多い。そのため、保健医療の従事者は法令により、その業務を行わなければならない。また、最近は、法的紛争に巻き込まれるケースは以前と比較して、格段に増加してきている。
本講座では、日常生活や職場において必要とされる最低限の法的ことがらについて学習し、生活者として、また職業人として必要不可欠な法に関する知識を身につけることを目ざす。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間に対して社会的な側面から理解する。看護学の基礎となる、健康生活と社会との関係について理解するための基礎である法的知識を理解し、医療者としてのみならず、社会人として守るべき法令とその目的について理解する。

到達目標

１．法とは何か、また法令の基本構造、法令の読み方を理解する。
２．日常生活に関わりのある法令のうち、社会人として特に必要な具体的法令を理解する。
３．医療者として理解しておく必要のある具体的法令のうち基礎的なものを理解できるようにする。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	法を学ぶことの意義	私たちが生活している中で、法がどのようにかかわっているのか、具体的な場面を通して、理解していく。	予習90分： シラバスを読み、授業計画について把握する。 復習90分：ハンドアウトに記載してある法令の条文を読んで、復習する。
第2回	法の種	「法」には、いくつかの種類がある。その種類とそれぞれの関係について学習し、それらが具体的な場面において、ど	予習90分： ハンドアウト第2回を読む。 復習90分：ハンドアウト第2回に

	類(1)	のような役割を果たしていくのか、理解する。	記載してある法令の条文を読んで、復習する。
第3回	条文のしくみ(1)	法令は、条文という形で、一般的な文章とは異なる形式で存在している。医療保健関係の具体的な法令を利用して、条文の法令全体の構造、規定の意味等について理解する。また、法令用語についても基本的なものについて理解する。	予習90分： ハンドアウト第3回を読む。 復習90分：ハンドアウト第3回に記載してある法令の条文を読んで、復習する。
第4回	法の種類(2)	「法」の具体的種類である「法律」「政令」「省令」「条例」がどのように形作られていくのかについて、具体的な法令を利用して理解する。 〈アクティブ・ラーニング〉 グループごとに法律・政令・省令の関わりについての具体例を発表する。	予習90分： ハンドアウト第4回を読む。グループごとに指定された具体的な法律・政令・省令の相互の関わりを調べる。 復習90分：ハンドアウト第4回に記載してある自分のグループが指定された以外の法令の条文を読んで、復習する。
第5回	条文のしくみ(2)	「法」の多くは、時間がたつと改正される。ここでは、法令の改正について学習する。改正の仕方はどのようなものであり、また改正後に条文がどのようになるのか、医療保健関係の具体的な法令を利用して、学習する。	予習90分： ハンドアウト第5回を読む。 復習90分：ハンドアウト第5回に記載してある法令の条文を読んで、復習する。練習問題をやっておく。
第6回	医療と法	医療に関しては、「医療を行う人に関する法」、「医療を行う施設とそれを取り巻く環境に関する法」、その他の「医療保健福祉に関わる法」がある。それらの現状について概観する。	予習60分： ハンドアウト第6回を読む。 復習120分：ハンドアウト第6回に記載してある法令の条文を読んで、復習する。中間確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
第7回	医療における不法行為と法	他人の権利を侵害した場合には、民事上の責任が発生する。不法行為に関する基礎を学習した上で、特に医療に関わる人による「医療過誤」により、どのような責任を負うか、具体的に検討する。 〈アクティブ・ラーニング〉 医療過誤に関する判例のうちいくつかを取り上げ、議論する。	予習60分： ハンドアウト第7回を読む。 復習120分：ハンドアウト第7回に記載してある法令の条文を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。中間確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
第8回	医療行政と法	医療については、さまざまな行政上の規制が存在している。そうした行政上の規制をいくつか取り上げ、免許制度との関係で、検討する。 中間確認テスト(30分間)を実施する。	予習90分： ハンドアウト第8回を読む。 復習90分：ハンドアウト第8回に記載してある法令の条文を読んで、復習する。
第9回	家族と法(1)	家族について規定している法を学習する。具体的には、結婚・離婚に関する法規定について理解する	予習90分： ハンドアウト第9回を読む。 復習90分：ハンドアウト第9回に記載してある法令の条文を読んで、復習する。
第10回	家族と法(2)	前回につづき、家族について規定している法を学習する。具体的には、親子関係、相続に関する法規定について理解する。	予習120分： ハンドアウト第10回を読む。レポート(第12回提出)を作成する。 復習60分：ハンドアウト第10回に記載してある法令の条文を読んで、復習する。返却されたテストの誤った部分について、正

			解を検討しておく。
第11回	労働と法(1)	労働者の権利を中心に学習する。労働条件の最低基準を定めた労働基準法を中心に、労働者保護のための諸法令について、理解する。	予習120分： ハンドアウト第11回を読む。レポート(第12回提出)を作成する。 復習60分：ハンドアウト第11回に記載してある法令の条文を読んで、復習する。
第12回	労働と法(2)	現代の労働環境において、大きな問題となっている「過労死」、「ブラックバイト」などへの労働者の対処法を学習する。 授業終了時にレポートを提出する。課題は「医療保健福祉に関するニュースもしくは課題を法学的に検討する。」A４用紙１枚以上を条件とする。	予習120分： ハンドアウト第12回を読む。レポート(第12回提出)を作成する。 復習60分：ハンドアウト第12回に記載してある法令の条文を読んで、復習する。
第13回	情報化社会と法(1)	情報化の進展、特にインターネットを様々な分野で活用することによって、利便性が向上する一方で、さまざまなトラブルが発生している。インターネットをもぐる法令、法的トラブルの危険性について、学習する。	予習60分： ハンドアウト第13回を読む。 復習120分：ハンドアウト第13回に記載してある法令の条文を読んで、復習する。最終確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
第14回	情報化社会と法(2)	ＡＩがさまざまな分野で活用されはじめている。爆発的な普及によって、多数のトラブルの発生が予想されている。医療分野をはじめとしたＡＩの普及状況と予想される問題や法的規制について、検討する。	予習60分： ハンドアウト第14回を読む。 復習120分：ハンドアウト第14回に記載してある法令の条文を読んで、復習する。最終確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
第15回	全体のまとめ	これまでの学習について、医療をめぐる法という観点から、再検討する。 最終確認テスト(30分間)を実施する。	予習90分： ハンドアウト8～14を確認する。 復習90分：最終確認テストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。

教科書

使用しない

参考書

『ポケット六法』山下友信・山口厚 編集代表 （有斐閣）

成績評価の方法・基準

平常点（授業への参加度・学習態度・授業内課題等）［30%］、レポート［30%］、確認テスト［40%］を総合して評価。総合点60点以上で単位認定する。

課題等に対するフィードバックの方法

第8回に実施する中間確認テストの解答例と解説は、第11回の授業時に行う予定である。採点した答案は、第10回の授業時に返却する予定である。第12回に提出を義務づけたレポートについては、採点および講評記載の後、第15回の授業時に返却する予定である。第15回の最終確認テストについては、解答例及び解説を「桐生大学学生共有フォルダー」の「看護学科1年・法学」のフォルダーにPDFファイルで掲載する。採点した答案については、希望する者には返却する。11号館３階研究室11に取りに来ること。

履修のポイント

具体的な医療・福祉関係法令を学習する前提となることがらに関する授業なので、よく理解しておくこと。専門基礎科目の「医療関係法規」や「医療保健福祉行政論」の学習の前提となる知識を学習する。
オフィス・アワー
月・水・金曜日，11時～15時（授業時間以外），11号館３階研究室11

講義コード	10050001
講義名	日本国憲法
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	２時限
区分	基礎科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-C020
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松原 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

社会保障費の増大と消費税増税、地方自治体の消滅可能性、働き方改革など、国の課題は山積している。そんな中、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、大学生全員が選挙権を有することになってから、すでに何回かの選挙が行われている。本講座においては、私たちの生活や安全に大きな関わりをもつ国の基本法である日本国憲法を素材に、私たちの生活を考えていく予定である。
憲法の基本原理とその根底に流れる思想を学習した後、われわれの生活に深く関わりのある現代的なトピックを取り上げ、できる限りくらしとの関わりに留意しながら、主権者としての判断能力を身につけられるよう、学習していく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

憲法を素材として、人間に対して、社会的側面から理解できるように学修する。医療者として必要な倫理、守るべき法令の根本規範である憲法を理解し、それに沿って行動できるように学修する。

到達目標

１．憲法とは何か、また法令の基本構造、および法令における憲法の位置づけを理解する。
２．憲法に規定されている基本的人権は何か、またその具体的内容について理解する。
３．国の政治のしくみについて、憲法はどう規定しているかを理解する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	憲法の意味	現在、日本国憲法に関してどのような問題が生じているのかについて学習した後、憲法とはどのような法かを学習する。立憲主義についても学習する。	予習90分： シラバスを読み、授業計画について把握する。 復習90分：ハンドアウト第1回に記載してある内容を読んで、復習する。
	日本	日本国憲法の制定過程について、第二次大戦後からＧＨＱによる憲法案の提示、国会での審議等につ	予習90分： ハンドアウト第2回を読

第2回	国憲法の誕生	いて、ＶＴＲに沿って学習する。 〈アクティブ・ラーニング〉 憲法の制定過程についてのドキュメンタリーVTRに対するコメントを発表する。	む。 復習90分：ハンドアウト第2回に記載してある内容を読んで、復習する。
第3回	日本国憲法の基本原理(1)	日本国憲法の基本原理である「国民主権」について、規定と意味について学習する。さらに、「基本的人権の尊重」に関する規定とその概要について学習する。	予習90分： ハンドアウト第3回を読む。 復習90分：ハンドアウト第3回に記載してある憲法や関連法令の条文を読んで、復習する。
第4回	日本国憲法の基本原理(2)	日本国憲法の基本原理である「平和主義」について、規定内容を学習し、さらに日本の防衛政策の現状、安保関連法制との関係について、学習する。	予習90分： ハンドアウト第4回を読む。 復習90分：ハンドアウト第4回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。
第5回	法の下の平等	憲法が保障している法の下の平等の意義・内容について学習する。現実に生じている平等をめぐる問題について、判例を素材として検討する。	予習90分： ハンドアウト第5回を読む。 復習90分：ハンドアウト第5回に記載してある憲法や関連法令の条文、判例、その他の内容を読んで、復習する。
第6回	精神的自由(1)	信教の自由を中心に学習する。なぜ認められる必要があるのか、その歴史的沿革、内容について学習する。また、政教分離原則について学習し、信教の自由に関する判例と政教分離に関する判例を素材として、学習する。	予習60分： ハンドアウト第6回を読む。 復習120分：ハンドアウト第6回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。中間確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
第7回	精神的自由(2)	表現の自由の意義とその内容について、学習する。また、プライバシー権との関係についても学習する。さらに、表現の自由・プライバシー権をめぐる判例を検討する。 〈アクティブ・ラーニング〉 表現の自由とプライバシー権に関する判例のうちいくつかを取り上げ、議論する。	予習60分： ハンドアウト第7回を読む。 復習120分：ハンドアウト第7回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、議論について、復習する。中間確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
第8回	法定手続きの保障人身の自由	憲法が保障する「人身の自由」について学習した後、刑法との関係について理解する。また、犯罪と刑罰制度の概要を学習し、特に死刑制度について、その現状とそれに対する議論を検討する。 中間確認テスト(30分間)を実施する。	予習90分： ハンドアウト第8回を読む。 復習90分：ハンドアウト第8回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。
第9回	社会権(1)	社会権と区分される人権について学習した後、「生存権」についての規定について学習した後、医療保健福祉行政にどのように関わっているかを中心に、その概要を学習する。	予習90分： ハンドアウト第9回を読む。 復習90分：ハンドアウト第9回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。
			120　10

第10回	社会権(2)	労働者に関わる人権と「教育を受ける権利」について学習し、理解する。	予習　　分：ハンドアウト第　回を読む。レポート(第12回提出)を作成する。 復習60分：ハンドアウト第10回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。返却されたテストの誤った部分について、正解を検討しておく。
第11回	立法	国会のさまざまの権能、国権における地位について概観する。衆議院と参議院の関係、国会の意思決定過程、具体的な役割について学習する。さらに、選挙制度についても、学習する。	予習120分：ハンドアウト第11回を読む。レポート(第12回提出)を作成する。 復習60分：ハンドアウト第11回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。
第12回	行政	内閣の地位・役割について、学習する。「議院内閣制」の内容とメリット、内閣総理大臣の選出方法、国務大臣の任免、さらに内閣の具体的な役割、意思決定の方法等について、主に学習する。 ※授業終了時にレポートを提出する。課題は「憲法に関するニュースもしくは課題を法学的に検討する。」Ａ４用紙１枚以上を条件とする。	予習120分：ハンドアウト第12回を読む。レポート(第12回提出)を作成する。 復習60分：ハンドアウト第12回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。
第13回	司法	裁判のしくみについて、概要を学習した後、刑事裁判で取り入れられている裁判員制度について、ＶＴＲに沿って学習する。 〈アクティブ・ラーニング〉 裁判員裁判に関するVTRに対するコメントを発表する。	予習60分：ハンドアウト第13回を読む。 復習120分：ハンドアウト第13回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。発表されたコメントについて、自分の意見と対照させる。最終確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
第14回	天皇・地方自治・憲法改正	憲法が規定する「象徴天皇」の地位・権能、またそれを規定している皇室典範について、学習する。また、地方自治に関する規定内容について学習し、さらに、憲法改正の手続、憲法改正に関する各政党・学界・国民の考え方について理解する。	予習60分：ハンドアウト第14回を読む。ハンドアウト8～14を確認する。 復習120分：ハンドアウト第14回に記載してある憲法や関連法令の条文、その他の内容を読んで、復習する。授業で取り上げた判例を読んで、復習する。最終確認テストに向けて、これまでのハンドアウトを見直す。
第15回	全体のまとめ	これまでの学習について、全体をまとめ、憲法を取り巻く状況とその課題について検討する。 最終確認テスト(30分間)を実施する。	予習90分：ハンドアウト8～14を確認する。 復習90分：最終確認テストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。

教科書

『目で見る憲法』初宿正典・大沢秀介・他 編著（有斐閣）

参考書
『ポケット六法』山下友信・山口厚 編集代表 （有斐閣）
成績評価の方法・基準
平常点（授業への参加度・学習態度・授業内課題等）［30%］、レポート［30%］、確認テスト［40%］を総合して評価。総合点60点以上で単位認定する。
課題等に対する フィードバックの方法
第8回に実施する中間確認テストの解答例と解説は、第11回の授業時に行う予定である。採点した答案は、第10回の授業時に返却する予定である。第12回に提出を義務づけたレポートについては、採点および講評記載の後、第15回の授業時に返却する予定である。第15回の最終確認テストについては、解答例及び解説を「桐生大学学生共有フォルダー」の「看護学科1年・憲法」のフォルダーにPDFファイルで掲載する。採点した答案については、希望する者には返却する。11号館３階研究室11に取りに来ること。
履修のポイント
教員免許を取得しようとする学生は、必ず履修すること。
オフィス・アワー
月・水・金曜日，11時～15時（授業時間以外），11号館３階研究室11

講義コード	10060001
講義名	国際文化論
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期（重複②）
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	３時限
区分	学部共通科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-C080
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 篠原 貴子	指定なし

授業の概要と教育目標

グローバル化は、政治、経済、文化、歴史を含め、人々を取り巻く社会を大きく変容させた。本講義では、近代以降を中心として、社会学の視点から歴史や文化について学ぶ。
本講義の目標は、幅広い視野に立ち、歴史や文化あるいは現代の問題を理解することである。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人間に対する理解を深めるため、他者への理解として歴史や文化を学び、幅広い知識を身に付ける。

到達目標

1.世界の歴史や文化への興味・関心を高め、国際的な課題に対する認識を深める。
2.多様な文化の成立過程を理解し、文化や歴史を説明できる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	イントロダクション	国際文化論の課題	予習90分：この分野への知識や関心を高める。 復習90分：配布資料を見直す。
第2回	近代と国家I	近代社会の誕生と成立	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第3回	近代と国家II	近代人の精神とＳＦの世界	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
			予習90分：事前学習をする。

第4回	四大文明	文明の探求と世紀末の発見	復習90分：配布資料を見直す。
第5回	観光の近代I	欧米のツーリズム 【アクティブ・ラーニング】 19世紀末の旅に関する作品を鑑賞し、コメントを書き、意見を述べる。	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第6回	観光の近代II	日本のツーリズム	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第7回	芸術と文化	オリエンタリズム	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第8回	日本の文化	日本イメージの形成 【アクティブ・ラーニング】 事例を紹介する。	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第9回	移民の世紀I	アメリカ移民の歴史	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第10回	移民の世紀II	移民と文化	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第11回	歴史と文学	ポストコロニアリズムと文学	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第12回	現代の課題	女性と文化	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第13回	歴史と記憶I	戦争の世紀と人々の語り	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第14回	歴史と記憶II	歴史の見方	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第15回	まとめ	他者への理解	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。

教科書

必要な資料は随時配布

参考書

授業時に随時紹介

成績評価の方法・基準
単位認定60点以上。授業態度や試験結果で総合評価する。
課題等に対する フィードバックの方法
リアクションペーパーを課す場合がある。重要点の確認や疑問点を解説し、学習内容の理解に役立てる。
履修のポイント
授業内容に関して、意欲的に学習する。
オフィス・アワー
授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます。

講義コード	10070001
講義名	家族関係論
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	２時限
区分	学部共通科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-C040
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 篠原 貴子	指定なし

授業の概要と教育目標

本講義は、近代以降の家族をめぐる問題に関して、社会学や歴史学をはじめ多様な学問領域の視点を踏まえ、教育やジェンダーの視点を用いて歴史的に読み解くことを前提とする。また、現代の家族が抱える問題に着目し、家族を支援する諸制度も扱う。
本講義の目標は、家族の概念や歴史を学び、基本的な知識を身に付け、柔軟な思考力を養うことである。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人間に対する理解を深めることを目指し、家族を社会学をはじめとする複数の学問の視点から学ぶことで幅広い知識を身に付ける。

到達目標

1.家族の概念や歴史についての基本的な知識や用語を用いて説明できる。
2.家族が抱える現状や課題を踏まえて、現代の家族の位置づけを理解できる。
3.「ジェンダー」の視点から家族を考察することができる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	イントロダクション	家族への着目	予習90分：この分野への知識や関心を高める学習をする。復習90分：配布資料を見直す。
第2回	家族の歴史	近代社会と家族	予習90分：事前学習をする。復習90分：配布資料を見直す。
第3回	家族研究の展開	家族研究の主題と方法	予習90分：事前学習をする。復習90分：配布資料を見直す。
		現代のライフコース	

第4回	ライフコース研究	【アクティブ・ラーニング】 ライフコースについてのプリントを書く。	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第5回	家族と制度	育児支援政策の展開	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第6回	家族イメージの変容	メディアにおける家族・女性像 【アクティブ・ラーニング】 作品を鑑賞し、その時代の家族のあり方や女性の生き方の違いをまとめる。	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第7回	結婚観の変容	恋愛結婚と未婚化の時代	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第8回	生命の誕生と家族	子どもの誕生と家族の役割	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第9回	近代家族論I	欧米の近代家族	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第10回	近代家族論II	近代家族の大衆化と女性の社会進出	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第11回	近代家族論III	日本の近代家族と人口政策 【アクティブ・ラーニング】 日本の人口政策について考え、意見を述べる。	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第12回	家族の形成	セクシュアリティ	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第13回	現代の家族I	家族が抱える子の問題（不登校、ひきこもり、児童虐待など）	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第14回	現代の家族II	高齢化と家族の課題	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第15回	まとめ	家族の未来	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。

教科書

必要な資料は随時配布

参考書

授業時に随時紹介

成績評価の方法・基準

単位認定 60 点以上。授業態度や試験結果で総合評価する。

課題等に対する
フィードバックの方法

リアクションペーパーを課す場合がある。重要点の確認や疑問点を解説し、学習内容の理解に役立てる。

履修のポイント

授業内容に関して、意欲的に学習する。
オフィス・アワー
授業日の、授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます。

講義コード	10080001
講義名	スポーツ科学I（Aクラス）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	実験・実習
基準単位数	1
代表曜日	金曜日
代表時限	３時限
区分	学部共通科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-C021
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 高見 達也	指定なし

授業の概要と教育目標

身体活動の必要性を理解し、身体の健全な維持などの合理的な方法を学ぶ。すなわち、スポーツを通しそれぞれの身体機能の維持あるいは向上を図るための基礎知識を知る。レクリエーションは精神的なストレスの解消ばかりでなく身体的な健康の維持にも重要である。レクリエーション理論について幅広く学ぶと共に、生涯に渡りレクリエーションとしてのスポーツを実践していく能力を高める。さらに実際のレクリエーションの計画・実施を行い、その効果の判定方法などについて学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

自己身体運動の理解と分析を行い、身体の健全な維持などの合理的な方法を学び、
習得を目指す。

到達目標

レクリエーションの概念の理解
身体機能の維持・向上を図るための方法論の習得

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	オリエンテーション	授業概要、諸注意、体力と身体機能について	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第2回	メディカルチェック	スポーツの意識調査、スポーツ経験調査、ストレッチ	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。 【復習】 ストレッチを実施し、注意点を振り返る
第3回	コミュニケーション･ワーク	①ホスピタリティ･トレーニング ②アイスブレーキング	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。

第4回	球技	レクリエーションバレーボールの実践(基礎練習①) 【アクティブラーニング】 バレーボールの基本であるオーバーハンドパスについて実践し、技術の特性を理解する	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。 【予習】 バレーボールのルールについて調べる
第5回	球技	レクリエーションバレーボールの実践(基礎練習②) 【アクティブラーニング】 バレーボールの基本であるアンダーハンドパスについて実践し、技術の特性を理解する	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。 【予習】 バレーボールの反則について調べる
第6回	球技	レクリエーションバレーボールの実践(基礎練習③) 【アクティブラーニング】 バレーボールの基本であるサーブの種類を体験し、自分に合っているものを見つける	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第7回	球技	レクリエーションバレーボールの実践(基礎練習④)	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第8回	球技	レクリエーションバレーボールの実践(戦術①)	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第9回	球技	レクリエーションバレーボールの実践(戦術②)	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第10回	球技	レクリエーションバレーボールの実践(ゲーム①)	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第11回	球技	レクリエーションバレーボールの実践(ゲーム②)	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第12回	球技	レクリエーションバレーボールの実践(ゲーム③)	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第13回	球技	レクリエーションバレーボールの実践(ゲーム④)	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第14回	レクリエーション	レクリエーションスポーツの実践	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第15回	レクリエーション	指導方法、レクリエーションプログラム作成、実践	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布する。

参考書

特になし

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 【実技試験60%、授業内確認テスト20%、授業内の安全性（ルール等の厳守）20%】
課題等に対する フィードバックの方法
レクリエーションの意義について事前に学習すること。 バレーボールの基本的なルールや技能について学習をすること。 授業中に全体としての講評をコメントする
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待します。
オフィス・アワー
授業日の授業開始もしくは授業終了後に体育館等で相談に応じます。

講義コード	10080002
講義名	スポーツ科学I（Bクラス）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	実験・実習
基準単位数	1
代表曜日	金曜日
代表時限	３時限
区分	学部共通科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-C021
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 高見 達也	指定なし

授業の概要と教育目標

身体活動の必要性を理解し、身体の健全な維持などの合理的な方法を学ぶ。すなわち、スポーツを通しそれぞれの身体機能の維持あるいは向上を図るための基礎知識を知る。レクリエーションは精神的なストレスの解消ばかりでなく身体的な健康の維持にも重要である。レクリエーション理論について幅広く学ぶと共に、生涯に渡りレクリエーションとしてのスポーツを実践していく能力を高める。さらに実際のレクリエーションの計画・実施を行い、その効果の判定方法などについて学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

自己身体運動の理解と分析を行い、身体の健全な維持などの合理的な方法を学び、
習得を目指す。

到達目標

レクリエーションの概念の理解
身体機能の維持・向上を図るための方法論の習得

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	オリエンテーション	授業概要、諸注意、体力と身体機能について	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第2回	メディカルチェック	スポーツの意識調査、スポーツ経験調査、ストレッチ	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。 【復習】 ストレッチを実施し、注意点を振り返る
第3回	コミュニケーション･ワーク	①ホスピタリティ･トレーニング ②アイスブレーキング	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。

第4回	球技	レクリエーションバレーボールの実践(基礎練習①) 【アクティブラーニング】 バレーボールの基本であるオーバーハンドパスについて実践し、技術の特性を理解する	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。 【予習】 バレーボールのルールについて調べる
第5回	球技	レクリエーションバレーボールの実践(基礎練習②) 【アクティブラーニング】 バレーボールの基本であるアンダーハンドパスについて実践し、技術の特性を理解する	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。 【予習】 バレーボールの反則について調べる
第6回	球技	レクリエーションバレーボールの実践(基礎練習③) 【アクティブラーニング】 バレーボールの基本であるサーブの種類を体験し、自分に合っているものを見つける	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第7回	球技	レクリエーションバレーボールの実践(基礎練習④)	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第8回	球技	レクリエーションバレーボールの実践(戦術①)	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第9回	球技	レクリエーションバレーボールの実践(戦術②)	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第10回	球技	レクリエーションバレーボールの実践(ゲーム①)	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第11回	球技	レクリエーションバレーボールの実践(ゲーム②)	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第12回	球技	レクリエーションバレーボールの実践(ゲーム③)	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第13回	球技	レクリエーションバレーボールの実践(ゲーム④)	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第14回	レクリエーション	レクリエーションスポーツの実践	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第15回	レクリエーション	指導方法、レクリエーションプログラム作成、実践	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布する。

参考書

特になし

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 【実技試験60%、授業内確認テスト20%、授業内の安全性（ルール等の厳守）20%】
課題等に対する フィードバックの方法
レクリエーションの意義について事前に学習すること。 バレーボールの基本的なルールや技能について学習をすること。 授業中に全体としての講評をコメントする
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待します。
オフィス・アワー
授業日の授業開始もしくは授業終了後に体育館等で相談に応じます。

講義コード	10090001
講義名	スポーツ科学II
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期（重複①）
講義区分	実験・実習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
区分	学部共通科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-C030
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 高見 達也	指定なし

授業の概要と教育目標

運動は健康で生き生きと過ごすために欠かせない大切な要素の一つである。生涯を通じて運動に親しみ実践していけるかどうかは青年期の取り組み如何による。基礎的な体力づくりのためのトレーニング方法の理論を学び、また運動実践能力を高めていく。更に、スポーツ活動を通じて心身を鍛え、スポーツコミュニケーションの追及、スポーツ実践による自己確認、技術の習熟による興味の拡大、スポーツ文化の理解を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

自己身体運動の理解と分析を行い、生涯を通じて運動を実践できる基盤となる学修を行う。

到達目標

基本トレーニングの方法論の習得。
グループワークにより、練習計画をたてるとともに、より高い技術の習得をめざす。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	オリエンテーション	授業概要、諸注意、運動の原理・原則について	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第2回	総合運動能力測定	運動能力測定の方法と実施	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第3回	総合運動能力測定	運動能力測定の実施 測定結果発表	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第4回	運動処方・トレーニング方法	運動能力測定結果に基づき、運動の種類･強さ･持続時間･頻度を示し、運動時の注意点を明確にする。	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。 【復習】 自分の運動能力の課題を振

			り返る
第5回	球技I	バドミントンの実践(基礎練習①) 【アクティブラーニング】 ストロークの種類を理解し、特徴や特性を体感する	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。 【予習】 バトミントンのルールや反則について調べる
第6回	球技I	バドミントンの実践(基礎練習②)	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第7回	球技I	バドミントンの実践(ゲーム①)	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第8回	球技I	バドミントンの実践(ゲーム②)	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第9回	球技I	バドミントンの実践(ゲーム③)	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第10回	球技II	バスケットボールの実践(基礎練習) 【アクティブラーニング】 パスの種類を理解し、特徴や特性を体感する	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。 【予習】 バスケットボールのルールや反則について調べる
第11回	球技II	バスケットボールの実践(基礎練習・ゲーム①) 【アクティブラーニング】 シュートの種類を理解し、特徴や特性を体感する	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第12回	球技II	バスケットボールの実践(ゲーム②)	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第13回	球技II	バスケットボールの実践(ゲーム③)	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第14回	球技II	バスケットボールの実践(ゲーム④)	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。
第15回	有酸素トレーニングの実践	上肢・下肢のトレーニング(エアロビクス、サーキットトレーニング)	運動着(ジャージ・スウェット等)、体育館シューズを用意してください。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布する。

参考書

特に無し

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 【実技試験60%、授業内確認テスト20%、授業内の安全性（ルール等の厳守）20%】

課題等に対する

フィードバックの方法
基本的なルールについて学習をし、体力・技術の弱点を克服するように努めること。 授業中に全体としての講評をコメントする
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待します。
オフィス・アワー
授業日の授業開始もしくは授業終了後に体育館等で相談に応じます。

講義コード	10100001
講義名	環境論
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期（重複②）
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
区分	学部共通科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-C081
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 園田 陽一	指定なし

授業の概要と教育目標

環境問題は社会、経済、健康、自然環境への影響は多岐にわたります。過去の社会は、環境保護、自然保護のように環境を人間活動から保護することが目的でした。しかし、これからの社会は、環境共生型社会であり、持続可能な社会が求められています。私たちは、地球の生物多様性を基盤とし、それらを消費して生きています。生物多様性は、地球の気象調節から国土や都市の基盤であり、農林水産業、観光業など自然を利用するものだけでなく、多くの社会経済の基盤となる重要な要素です。本授業では、身近な環境問題を生物多様性の観点から概観し、持続可能な地域社会の在り方について講義します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

私たちの生活基盤となる生物多様性と環境問題を理解し、社会に出た際に社会的責任（CSR）などの活動への参画や協働について自ら考える力を身につける。

到達目標

環境観が養われているかどうかを論述で問う。産業活動や人間活動による環境の改変が生物多様性にどのような影響を与えるのかを判断できる知識を持っているかどうかを評価し，その内容が大学生としての素養を備えているかどうかを判断材料とする。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	ガイダンスと環境問題	本授業の目的や到達目標と成績評価の方法についてのガイダンスと環境問題について概説します。	アンケートを行います。
第2回	生物多様性と持続可能な利用	なぜ、生物多様性なのか。生態系サービスとなぜ持続可能な利用が必要なのかについて理解する。	
第3回	生態系サービスとは	地球と自然環境、生態系の構成要素とその役割を理解します。	

第4回	生物多様性への劣化	人間活動と生物多様性の危機、生態系サービスの劣化、公害問題等について理解します。	
第5回	都市化と環境問題	グローバルな人口増加と都市の集中がもたらす環境問題を理解します。	
第6回	地球温暖化と都市のヒートアイランド現象	地球温暖化とヒートアイランド現象の違いについて概説し、その影響がもたらす気候変化のメカニズムを理解します。	
第7回	グローバルな地球環境の変化	オゾン層の破壊、砂漠化、酸性雨、森林減少などグローバルな地球環境の変化について理解します。	
第8回	環境をめぐる世界的な動き	地球環境問題を解決するための世界的な動向、日本の取り組みについて理解します。	レポート課題を出します。
第9回	わが国の環境に関わる法律	日本の環境施策について理解します。	
第10回	環境アセスメントとミティゲーション	開発行為に対して、公害や自然環境の破壊を未然に防ぐ法的措置とその代替技術について理解する。	
第11回	カーボンオフセットと生物多様性オフセット	二酸化炭素排出量削減の取り組みや同様のオフセット制度の仕組みを理解する。	
第12回	生物多様性地域戦略とは	わが国の生物多様性基本法、生物多様性国家戦略に基づいた生物多様性地域戦略について理解します。	
第13回	環境への関心を高める取り組み	環境共生型まちづくりや、エコツーリズムなど環境へ関心をもつための仕組みづくりや取り組みについて紹介します。	
第14回	環境教育とESD	環境教育や持続可能な開発のための教育についてふれ、次世代の子供たちの教育について考えます。	
第15回	企業の社会的責任と自然資本	現代企業の社会的責任としての自然環境保全から自然資本としての積極的な活用へ、企業の取り組みについて理解します。	

教科書

東京商工会議所編著 ECO検定（環境社会検定試験）公式テキスト 日本能率マネジメントセンター

参考書

必要なとき講義中に提示する

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上
レポートの提出(20%)、期末試験(80%)をもとに総合的に評価する。

課題等に対する
フィードバックの方法

環境問題に関するニュースやウェブ、新聞記事等に目を通しておくとよい。

履修のポイント

レポートの提出を求めることがある。

オフィス・アワー

授業日の、授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます。

講義コード	10110001
講義名	人間発達学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	２時限
区分	学部共通科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-C004
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大澤 靖彦	指定なし

授業の概要と教育目標

人の発達過程を理解するには、乳幼児期、青年期を経て、成人期、高齢期にいたる生涯発達の視点を取り入れることが必要とされてきている。この科目では、とくに心の発達に焦点をあてて、人が生涯にわたってどのような発達的変遷をたどるのかについて理解を深めることを授業のねらいとする。授業は講義形式で行うが、視聴覚にうったえる試みもする予定である。また、授業の中で小テスト・小レポートを課すことがある。人の発達の特殊性や人の生涯にわたる発達過程と各過程の特徴、発達理論を通した発達のしくみについて理解を深めることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人に対する理解を深めることを目指し、心理的側面の理解を通してその目的達成に資する知識を養う。そして将来的な展望としては、心身の発達理論を理解しつつ、多様な人間のライフステージ、ライフサイクルを理解し各段階の特徴に応じた看護実践の基盤となる学修を行うことを目指すものとする。

到達目標

１．人間発達学で使用されるさまざまな専門用語への馴染みを深め、その意味を理解する。
２．人の生涯にわたる発達過程と各過程の特徴について理解する。
３．日常的に見られる行動を、主に人間発達学の考え方に沿って理解・説明することができる。
４．人の心を中心とした発達の全般的なしくみについて理解する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	オリエンテーション発達の基本と発達初期の能力	発達心理学で何を学ぶのかについて理解する。 発達の基本的な考え方としての「一般法則」「臨界期」「レディネス」「学習」「遺伝と環境」について理解するとともに発達初期の能力について理解する。	予習90分：教科書を購入し、序章（pp.1-6）に目を通しておく。 復習90分：様々な心理学の領域の中で、発達心理学がどのような位置づけにあるのかを確認する。

第2回	愛着の発達	発達の基礎ともいうべき愛着がどのように発達し、その後の発達にどう影響を及ぼすのかについて理解する。	予習90分：教科書p.32,33,51,52,86,95を通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分 4歳くらいまでの愛着の発達が、その後、対象や性質を変えながら人の成長を促すことをノートにまとめる。
第3回	初期の知的発達	生まれてから1歳くらいまでの赤ちゃんの視覚・聴覚・味覚能力、物事を認識する初期の知的発達について理解する。	予習90分：教科書pp.8-29を通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：赤ちゃんの視覚、聴覚の能力と1歳までの認識の発達についてノートにまとめる。
第4回	運動能力と言語の発達	発達ともに自ら他者へ働きかける運動や言語の発達について理解するとともに、社会的存在としての基本的生活行動の修得について理解する。	予習90分：教科書pp.34-43を通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：運動機能の発達ともに自分で自分のことができるようなることについてノートにまとめる。
第5回	情動の発達と人間関係／あそびと人間関係	情動の発達と遊びが発達に及ぼす影響について理解する。	予習90分：教科書pp.44-56を通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：情動の発達と遊びが子供に及ぼす影響についてのーとにまとめる。
第6回	遊びを通して発達する	子どもは遊びを通して発達していく。その遊びを促す上で効果のあるソーシャル・スキル・トレーニング（SST）と対人関係ゲームを体験し、その考え方を理解する。	予習90分：前回の授業での遊びと子供発達について自分なりの考えをまとめておく。 復習90分：配布資料を熟読して、子どもの発達に及ぼす遊びの効能について考察する。
第7回	思考の発達	思考の発達について理解する。さらに、発達障害等非定型発達について理解する。	予習90分：教科書pp.58-67を通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：本時で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。
第8回	学力と学習環境	思考の発達を促進・阻害する要因について理解する。さらに、発達障害等非定型発達について理解する。	予習90分：教科書pp.68-79を通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：本時で学んだ内容を整理し、ノートにまとめる。
第9回	自己の発見と他者との関係	人との関係の中で自分を発見し、自己調整をしていくことを理解する。さらに、人間関係から遠ざかる「孤立」についても児童期から老年期をみていく。	予習90分：教科書pp.82-94通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：本時で学んだことを整理するとともに、あらためて3・4回で学んだ愛着との関連について考究する。
第10回	仲間づくり	児童期の仲間づくりと諸問題について理解する。	予習90分：教科書pp.95—102通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 事復習90分：本時で学んだことを整理する。
第11回	自分をつくる	自分自身とは何者なのかを発見していくアイデンティティの確立について理解する。さらに、現代におけるアイデンティティの確立のむずかしさを踏まえたうえで近年の問題行動について考究する。	予習90分：教科書pp.103-123を通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：自身ののアイデンティティについて考究し今後の課題も含めてノートにまとめる。
			予習90分：教科書pp.124-144を通読

第12回	親密性と孤立1（家族の形成）	配偶者の選択や親になることの発達的な意義を理解するとともに、それにかかわる諸問題について理解する。	し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：学んだことを参考にして、自分の結婚観やどのような家族を作っていきたいのかについて考究する。
第13回	親密性と孤立2（家族関係における諸問題）	家事の共同や分担を含め、家族関係における諸問題について理解するとともに新しい家族形態についても理解する。	予習90分：教科書pp.145-165を通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：学んだことを参考にして、どのような家族を作っていきたいのかについて考究する。
第14回	世代性と停滞性（職業選択と生きがい）	働くことでアイデンティティがさらに明確になる。そして、定年退職後も労働に携わり生きがいを見出していくことを理解する。	予習90分：教科書pp.162-185を通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。 復習90分：仕事・家族形成を含めて、どのような自分を作っていきたいかについて考究する。
第15回	統合性と絶望（地域活動と生きがい）	老いと向き合いながら、地域の中で生きがいを見出し、死をむかえていくことを理解する。	予習90分：教科書p.188-225を通読し、重要な箇所にアンダーラインを引く。復習90分：本時で学んだことを基にして、これからの日本社会の在り方、その社会の中で自分はどのように社会に貢献できるのかについて考究する。

教科書

塚野州一 『みるよむ生涯発達心理学』 北大路書房

参考書

授業中に適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
筆記試験40%、レポート課題30% 授業への参加度30%を総合して評価します。

課題等に対するフィードバックの方法

授業内でレポートや課題を課すことがある。返却するので学習の参考にすること。また、授業の振り返りの資料（「今日の復習」）とその解答を配布するので、授業内容の理解に役立てること。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待します。

オフィス・アワー

水曜日・木曜日、12：30～13：20（昼休み）、11 号館第 8 研究室。
※講義終了前後にも、適宜受け付けます。

講義コード	10120001
講義名	物理学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	２時限
区分	学部共通科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-C005
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 椛沢 龍次郎	指定なし

授業の概要と教育目標

看護や栄養の専門分野を学習するうえで、「物理学」は重要な役割をもっています。本授業では、物理学の基礎知識や数的処理の方法、さらには、物理学の原理・原則を理解し、医療技術や臨床現場での応用まで発展させて学習します。専門科目を理解するための導入・基礎科目として、高等学校で物理を履修していなくても、十分理解できる内容と構成になっています(物理学の基礎をまじえながら応用・事例の解説をする）。教育目標としては、看護教育や栄養教育に必要な物理学的内容を、医療・看護・食と健康の現場との関連性を考慮していく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人に対する理解を深めることを目指し、物理現象の基本や法則性の理解を通してその目的達成に資する知識を養う。看護学の基礎となる人体のしくみを理解する基盤となる学修を行うことを目指すものとする。

到達目標

・物理学の基礎「原理・原則」を理解する。
・看護・栄養分野への物理学の応用を理解する。
・基礎から専門分野への発展・応用ができるようにする。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	物理学と人体の関わり	・物理量と単位系 ・物理量の測定 ・物理学と医療機器	予習90分：高校の教科書があれば見直す。 復習90分：配布資料を見直す。
第2回	人体の力学	・人体のてこ ・垂直跳び ・歩行と振り子 ・医療機器と力学	予習90分：新聞や雑誌等で医療保健の問題を考える。 復習90分：配布資料を見直す。

第3回	流体と人体①（静止流体）	・大気圧と静水圧 ・圧力計 ・弾性薄膜 ・表面張力 ・陰圧 ・肺胞と表面張力	予習90分：新聞や雑誌等で医療保健の問題を考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第4回	流体と人体②（運動流体）	・心臓と血液の流れ ・血圧の変化 ・血圧測定	予習90分：新聞や雑誌等で医療保健の問題を考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第5回	流体と人体③（流体と医療）	・気体を流す場合 ・液体を流す場合（点滴装置の原理）	予習90分：新聞や雑誌等で医療保健の問題を考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第6回	熱と体温①（熱と温度）	・温度と温度計 ・熱と比熱 ・融解と蒸発 ・熱と仕事（エネルギー）	予習90分：新聞や雑誌等で医療保健の問題を考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第7回	熱と体温②（体温調節）	・体温と温度調節 ・体内で発生する熱 ・身体からの放熱 ・生理的体温調節機構 ・物理的放熱機構	予習90分：新聞や雑誌等で医療保健の問題を考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第8回	熱と体温③（体温測定）	・平衡温 ・水銀温度計 ・電子体温計 ・耳式体温計 ・サーモグラフィー	予習90分：新聞や雑誌等で医療保健の問題を考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第9回	音と光と人体①（音波）	・音の性質 ・耳の構造 ・聴覚 ・音波の医療への応用	予習90分：新聞や雑誌等で医療保健の問題を考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第10回	音と光と人体②（光波）	・反射と屈折 ・スペクトル ・レンズとメガネ ・光の医療への応用	予習90分：新聞や雑誌等で医療保健の問題を考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第11回	電気と磁気の世界①（基礎知識）	・電流、電圧、電気抵抗 ・直流と交流 ・電力と熱	予習90分：新聞や雑誌等で医療保健の問題を考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第12回	電気と磁気の世界②（生体と電気）	・生体における静電気現象 ・心臓の刺激伝導系 ・医療における主な応用機器	予習90分：新聞や雑誌等で医療保健の問題を考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第13回	原子と放射線①（基礎知識）	・原子の構造と原子核 ・原子の定常状態 ・放射線と性質	予習90分：新聞や雑誌等で医療保健の問題を考える。 復習90分：配布資料を見

			直す。
第14回	原子と放射線②（医学における放射線）	・放射線の基礎知識 ・放射線による障害とその防護	予習90分：新聞や雑誌等で医療保健の問題を考える。 復習90分：配布資料を見直す。
第15回	原子と放射線③（医療への応用機器）	・医療における放射線の応用 ・Ｘ線ＣＴ ・ＭＲＩ装置 ・ポジトロンＣＴ装置	予習90分：新聞や雑誌等で医療保健の問題を考える。 復習90分：配布資料を見直す。

教科書

特に使用しません。

参考書

適宜紹介します。

成績評価の方法・基準

単位認定６０点以上。
筆記試験80% 授業に対する参加度20% を総合して評価します。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

授業内で課題を出した際には、その解説を行うので（フィードバック）、事後の学習内容の理解に役立てること。

履修のポイント

新聞や雑誌・書籍等を通して、科学技術と人間及び医療保健について考えるようにする。健康や医療に関する種々の事象・応用が、どのようなしくみで成り立っているのかを考えながら履修すること。

オフィス・アワー

水曜日、木曜日（11：00～16：00）

講義コード	10130001
講義名	生物学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	３時限
区分	学部共通科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-C006
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 荒井 勝己	指定なし

授業の概要と教育目標

看護師になるために学ぶ教科目の中で、生物学が関与する内容は非常に多い。高校時代に「生物」を履修してこなかった学生にも解りやすく、今後の授業で障害とならないよう、特に私たちヒトに関する内容（細胞、遺伝、免疫など）を中心に講義する。また最新のバイオテクノロジーやバイオサイエンスの情報なども織り込んでいく。看護師として“私たちのヒトの体のメカニズム”を知る上で必要な基礎的な知識を深めることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として「2.看護学の基礎となる、人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について、理解している。さらに、医療者として必要な倫理、守るべき法令を理解し、それに沿って行動できる。」に基づき、私たちヒトのからだのメカニズムに対する理解を深めることを目指し、さらに本学の建学の精神である“社会に出て役立つ人材の育成”に基づき、看護師として必要な生物学の基礎を習得させることを目指すものとする。

到達目標

生命の基本単位である“細胞”に共通の基本構造および機能を踏まえ、細胞の発生・遺伝・進化のしくみについて理解する。またこれらを通じて、私たちの生体内で起こる様々な生命現象を理解するための基礎を身につけることを目標とする。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	生物学の基本	進化論の登場、地球上の生物に共通すること、生物体のつくりと階層性など 【アクティブラーニング】私たちヒトがどのようにして生まれてきたのか、また進化してきたのかなど質問し、さまざまな回答に対して意見を求める。	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。

第2回	細胞のプロフィール	細胞を構成している物質、細胞小器官の構造と機能など	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第3回	何が細胞の形や機能を決めているのか	形質を決めているものを求めて、遺伝子としてのDNAなど	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第4回	細胞が生きて活動していくために	ATPの産生、代謝経路のネットワークなど	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第5回	タンパク質が細胞のさまざまな活動を担う	タンパク質のさまざまな機能 【アクティブラーニング】“たんぱく質とは何か”をもとに学生たちがイメージするものを回答させ、私たちに対してたんぱく質がどのように機能・関与しているのかを理解させる。	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第6回	多細胞生物への道I	細胞間の情報交換、ホルモンと受容体で情報を伝えるなど	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第7回	多細胞生物への道II	DNAの複製、細胞周期と体細胞分裂など	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第8回	多細胞生物への道III	減数分裂、生殖細胞の形成、受精など 【アクティブラーニング】私たちにとって体細胞分裂や減数分裂が行われなかった場合にどのような不具合が生じるかを意見させ、細胞分裂の意義について検討する。	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調

			べる。
第9回	個体を守る免疫システム	非特異的生体防御機構、特異的生体防御機構、免疫機能の制御など	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第10回	生きること、死ぬこと	細胞の再生、細胞が死ぬとき、老化・寿命と遺伝子の関係など	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第11回	個体としてのまとまり	内部環境を一定に、制御中枢による情報の処理と調整、動物の行動など	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第12回	生物の進化と多様性	進化と多様性の創出、地球上の生物多様性を守るためになど	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第13回	遺伝とはI	遺伝とは、メンデルの研究と遺伝の法則など	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第14回	遺伝とはII	さまざまな遺伝 【アクティブラーニング】“さまざまな遺伝”について説明後、血液型や耳あかなど私たちの身近な遺伝の優劣について調査し、日本人全般の優劣の比率とクラスの比率に差があるのかを検討する。	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第15回	遺伝とはIII	性と遺伝、性染色体と性の決定、伴性遺伝など	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できな

			かった内容について調べる。

教科書
『基礎から学ぶ 生物学・細胞生物学』第３版 和田 勝著（羊土社）
参考書
単元ごとにプリント教材を配布する。
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 筆記試験100％
課題等に対する フィードバックの方法
授業内に問題を提示したり、課題を課すことがある。学期末の筆記試験にも関与する事柄なので、必ず復習しておくこと。また、単元ごとに復習問題を配付するので、必ず問題を解いて授業内容の理解に役立てること。
履修のポイント
教科書の内容以外の事柄についても取り入れていくので、授業には積極的に参加すること。
オフィス・アワー
授業内容等の質問については、授業終了後、または月～金曜日のお昼休みに11号館3F研究室13で受け付ける。

講義コード	10140001
講義名	化学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	２時限
区分	学部共通科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-C007
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 煙山 健仁	指定なし

授業の概要と教育目標

看護師としての基礎知識である人体の構造と機能を理解するために必要な化学の知識を学習する。原子の構造、原子量、パーセント濃度、モル濃度、化学結合、生体高分子、化学反応、溶液の性質、酸と塩基などについて、本科目では看護師に必要な化学の基礎を学習し、臨地実習や臨床現場で役立つ化学の基礎知識を身につけることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーでは、「看護学の基礎となる、人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について理解していること」、「看護の基本精神・基礎技術を理解した上で、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識を修得していること」が求められており、化学の基礎知識の理解を通して、その目標達成に必要な知識を養う。

到達目標

看護職として、物質の単位変換、パーセント濃度や希釈を計算でき、人体の構造と機能に関わる化学知識を説明できる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	計算１	化学計算に必要な数学の復習 <アクティブラーニングの内容> 人体に関わる指標の計算をし、人体の指標の意味合いについて考える。	予習90分：化学に必要な数学を復習する。復習90分：授業内容を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
	原子の	からだをつくる物	予習90分：教科書1章を読む。復習90分：配布資

第2回	すがた１	質、原子の構造、周期表	料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第3回	原子のすがた２	電子配置、原子の安定性と価電子	予習90分：教科書1章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第4回	「もの」の量１	原子量、分子量、モル	予習90分：教科書2章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第5回	「もの」の量２	パーセント濃度、モル濃度、電解質濃度、放射線	予習90分：教科書2章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第6回	化学結合１	共有結合、イオン結合、金属結合	予習90分：教科書3章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第7回	化学結合２	分子の結合、化学反応	予習90分：教科書3章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第8回	有機化合物	分類、反応	予習90分：教科書4章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第9回	生体高分子	タンパク質、糖質、脂質、核酸、など	予習90分：教科書4章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第10回	からだの中の液体１	水、電解質	予習90分：教科書5章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第11回	からだの中の液体２	浸透圧、酸と塩基	予習90分：教科書6章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第12回	からだの中の化学反応１	エネルギー、ATP	予習90分：教科書7章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第13回	からだの中の化学反応２	酵素、代謝	予習90分：教科書7章を読む。復習90分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第14回	計算２	単位、濃度	予習90分：看護師国家試験に必要な数学の知識を調べる。復習90分：授業内容を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第15回	まとめ	化学のまとめ	予習90分：これまでの配布資料を整理する。復習90分：まとめを聞いて、疑問点を再度まとめる。予習とは別に期末テストに向けて学修する。

教科書

看護系で役立つ化学の基本、有本淳一・西沢いづみ 著、化学同人

参考書

自然科学の基礎知識を知る、草間朋子 監、東京化学同人

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上

授業中の小テストやレポート（10%）、期末テスト（90%）で評価する。
課題等に対する フィードバックの方法
授業内で小テストやレポート課題を課すことがある。小テストやレポートは、実施した次の回の授業で内容を解説する。
履修のポイント
自分だけの学習では正しい知識の理解が難しいので、講義に出席することが大切です。 講義では話し（ストーリー）を聞くことに集中して下さい。
オフィス・アワー
月曜日～水曜日、金曜日（09：20～18：10）、10号館病理・解剖実習研究室

講義コード	10150001
講義名	生活とデザイン
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	５時限
区分	学部共通科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-C071
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松村 誠一	指定なし

授業の概要と教育目標

現代社会の中で生きている私たちは、多くの優れたデザインに囲まれて生活しており、そこから大きな影響を受けています。文明や文化が開化し、デザインと私たちの生活には密接な関係があります。近代になりグラフィックデザインやインダストリアルデザインなどの分野が確立され、本授業では生活とデザインの関係について考察していきます。そして日常生活の中に普通に存在しているデザインについて、その意味や歴史、価値、可能性などを多角的に学んでいき理解を深めることを教育目標とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面からデザインに対する理解を深めることを目指し、生活とデザインの関係を考察し知識を養う。そして将来的な展望としては、多様な人間の生活環境がデザインによって、より良い社会生活になることを理解する基盤となる学習を行うことを目指すものとします。

到達目標

デザインの意味や歴史、価値、可能性について考察し、デザインと人間との関係に理解を深め、より良い社会生活が営まれることを目標とします。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	デザインの歴史①	イギリスの伝統と革新 ［アクティブ・ラーニングの内容］ 履修者に対してデザインに関しての質問をし、ディスカッション、意見交換する。	予習９０分：イギリスのデザインについて調べる。 復習９０分：配布資料を見直す。
第2回	デザインの歴史②	アール・ヌーヴォーの世界	予習９０分：アール・ヌーヴォーについて調べる。 復習９０分：配布資料を見直す。
		市民生活のグラフィックデザイン	

第3回	デザインの歴史③	［アクティブ・ラーニングの内容］ 履修者に対して印刷・広告に関しての質問をし、ディスカッション、意見交換する。	予習９０分：グラフィックデザインについて調べる。 復習９０分：配布資料を見直す。
第4回	デザインの歴史④	バウハウス「デザインの実験と統合」①	予習９０分：バウハウスについて調べる。 復習９０分：配布資料を見直す。
第5回	デザインの歴史⑤	バウハウス「デザインの実験と統合」② ［アクティブ・ラーニングの内容］ バウハウスについてディスカッション、意見交換する。	予習９０分：バウハウスについて調べる。 復習９０分：配布資料を見直す。
第6回	デザイン実習①	アクリル絵具による色彩表現、平面構成実習①	予習９０分：色彩について調べる。 復習９０分：配布資料を見直す。
第7回	デザイン実習②	アクリル絵具による色彩表現、平面構成実習②	予習９０分：色彩について調べる。 復習９０分：配布資料を見直す。
第8回	デザイン実習③	アクリル絵具による色彩表現、平面構成実習③ ［アクティブ・ラーニングの内容］ 各自の作品を講評、ディスカッション、意見交換する。	予習９０分：色彩について調べる。 復習９０分：配布資料を見直す。
第9回	デザイン実習④	ロゴデザイン、ＰＯＰ広告制作実習①	予習９０分：広告について調べる。 復習９０分：配布資料を見直す。
第10回	デザイン実習⑤	ロゴデザイン、ＰＯＰ広告制作実習② ［アクティブ・ラーニングの内容］ 各自の作品を講評、ディスカッション、意見交換する。	予習９０分：広告について調べる。 復習９０分：配布資料を見直す。
第11回	デザインと人間工学①	人体寸法と設計	予習９０分：デザインと人間工学の関係について調べる。 復習９０分：配布資料を見直す。
第12回	デザインと人間工学②	家具、設備への応用「座る」	予習９０分：「座る」という行為とデザインの関係について調べる。 復習９０分：配布資料を見直す。
第13回	デザインと人間工学③	家具、設備への応用「寝る」	予習９０分：「寝る」という行為とデザインの関係について調べる。 復習９０分：配布資料を見直す。
第14回	デザインと人間工学④	家具、設備への応用「立つ」	予習９０分：「立つ」という行為とデザインの関係について調べる。 復習９０分：配布資料を見直す。

第15回	デザインと人間工学⑤	錯視効果、空間の心理 ［アクティブ・ラーニングの内容］ デザインと人間工学の関係についてディスカッション、意見交換する。	予習９０分：空間での人間の心理、行動について考えてみる。 復習９０分：配布資料を見直す。

教科書
使用しない。
参考書
使用しない。
成績評価の方法・基準
単位認定６０点以上 課題８０%、授業への参加度２０%
課題等に対する フィードバックの方法
授業内で実技課題を課すことがある。また、毎回資料を配布するので授業内容の理解に役立てること。
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待する。
オフィス・アワー
月曜日、１２：３０～１３：２０（昼休み） １号館１１１研究室で行う。

講義コード	10160001
講義名	地域社会学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	３時限
区分	学部共通科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-C072
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 篠原 貴子	指定なし

授業の概要と教育目標

近代社会は、社会構造や生活様式に大きな変化をもたらした。特に、農村から都市への人口流出や都市化は、コミュニティや個人を取り巻く環境を転換させた。本講義では、都市や農村に関する社会学の展開を中心に学ぶとともに、社会を構成する主要な組織が担う役割や課題を経済や文化の側面から把握する。
本講義の目標は、地域社会の歴史や課題を理解し、社会学的思考を身に付けることである。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人間に対する理解を深めることを目指し、社会的側面から学ぶことで多角的な視点から物事を捉える能力や柔軟な思考力を養う。

到達目標

講義内容を踏まえて、地域社会が抱える現代的課題を発見し、読み解く力を培う。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	イントロダクション	地域社会学の意義と課題	予習90分：この分野への知識や関心を高める学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第2回	都市社会学の系譜	都市社会学の展開	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第3回	流動型社会論	近代化論	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。

第4回	現代の都市社会	都市空間と人間形成	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第5回	現代の農村社会	高度経済成長と農村社会 【アクティブ・ラーニング】 高度経済成長期を描いた作品を鑑賞し、これまでの学習した知識を踏まえてコメントを書く。	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第6回	地域権力構造論	地域と政治	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第7回	アーバニズムとコミュニティ	町内会の変遷と課題	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第8回	アーバニズムとローカリティ	東京の都市空間	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第9回	グローバル社会	グローバル化と地域社会の変貌	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第10回	エスニック・コミュニティ	エスニック・コミュニティの形成	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第11回	社会変動と地域社会の形成	住民生活と行政	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第12回	農山村の混住化社会	現代の農村社会	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第13回	地域社会の活性化	地域の復興と観光 【アクティブ・ラーニングの内容】 地域活性化として観光の事例紹介やフィールドワークでの経験を話し合う。	予習90分：課題内容を学習する。 復習90分：配布資料を見直す。
第14回	コミュニティ形成の課題	新たなコミュニティの創出と地域社会	予習90分：予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。
第15回	まとめ	地域社会学の展望	予習90分：事前学習をする。 復習90分：配布資料を見直す。

教科書

必要な資料は随時配布

参考書
鈴木広監修 『地域社会学の現在』 （ミネルヴァ書房）
成績評価の方法・基準
成績評価 60点以上。授業態度や試験結果で総合評価する。
課題等に対する フィードバックの方法
リアクションペーパーを課す場合がある。重要点の確認や疑問点を解説し、学習内容の理解に役立てる。
履修のポイント
授業内容に関して、意欲的に学習する。
オフィス・アワー
授業日の、授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます。

講義コード	10170001
講義名	人間工学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	４時限
区分	学部共通科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-C023
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 松村 昌俊	指定なし
教 員	亀井 実	指定なし
教 員	篠﨑 有陛	指定なし

授業の概要と教育目標

人間の運動機能や動作特性について理解を深めるとともに、障害者や高齢者の日常生活を援助する観点から福祉用具の活用や住環境整備の方法を学ぶ
人間の日常生活動作の特性及び福祉機器、住環境に関して医療・福祉の分野などで役立つ実践的知識を習得する

卒業認定・学位授与の方針との関連

本授業では、偏見や先入観を持たずに、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から全人的に対象者を理解するために、精神面、身体面から人間の諸活動を考察できるようになることを目指します。
福祉、臨床の現場でチーム医療の一員として活躍し、そこで調整する能力及び問題を解決する能力を修得するための機会として、理学療法士の視点と考え方を共有します。
多様な対象や人間のライフステージ・ライフサイクルを理解するための機会として、ノーマライゼーションの視点から実生活を観察する考え方を共有します。

到達目標

医療・福祉分野における人間工学の活用について理解を深める。
福祉機器や、住環境整備の基礎知識を得る。
患者や障害者の生活利便性、安全性、快適性の向上と支援者の負担軽減のため、人間工学の活用について考える。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習 と そのために 必要な時間
		（オリエンテーション）	講義内容について 予習90分、

第1回	姿勢の観察	重心と姿勢、バランスについて学ぶ	復習90分 配付資料を見直す
第2回	転倒と転倒予防	日常生活動作における転倒と転倒予防について学ぶ	講義内容について 予習90分、 復習90分 配付資料を見直す
第3回	日常生活動作と間接可動域	関節可動域の評価と日常生活動作に必要な関節可動域について学ぶ	講義内容について 予習90分、 復習90分 配付資料を見直す
第4回	日常生活動作と筋力	筋力の評価と日常生活動作に必要な筋力について学ぶ	講義内容について 予習90分、 復習90分 配付資料を見直す
第5回	起居動作	立ち上がり動作をはじめとする動作分析について学ぶ	講義内容について 予習90分、 復習90分 配付資料を見直す
第6回	歩行	歩行分析について学ぶ	講義内容について 予習90分、 復習90分 配付資料を見直す
第7回	福祉機器	身体特性に応じた福祉機器について学ぶ	講義内容について 予習90分、 復習90分 配付資料を見直す
第8回	車椅子体験	車椅子操作を体験し、車椅子利用者の視点について学ぶ	講義内容について 予習90分、 復習90分 配付資料を見直す
第9回	日常生活の援助①	ボディメカニクスを使った援助、食事の援助について学ぶ（講義）	講義内容について 予習90分、 復習90分 配付資料を見直す
	日常生活の援助	【アクティブラーニング】	講義内容について 予習90分、

第10回	②	ボディメカニクスを使った援助、食事の援助について学ぶ（実技）	復習90分 配付資料を見直す
第11回	歩行障害	歩行補助具の種類と杖歩行のパターンについて学ぶ	講義内容について 予習90分、 復習90分 配付資料を見直す
第12回	事例紹介	福祉用具の活用や住環境整備の実際の事例について紹介する	講義内容について 予習90分、 復習90分 配付資料を見直す
第13回	フィールドワーク①	【アクティブラーニング】 障害者、高齢者の立場からキャンパス内の建造物、環境を見直す（グループワーク）	講義内容について 予習90分、 復習90分 配付資料を見直す
第14回	フィールドワーク②	【アクティブラーニング】 障害者、高齢者の立場からキャンパス内の建造物、環境を見直す（グループワーク）	講義内容について 予習90分、 復習90分 配付資料を見直す
第15回	まとめ	これまでの講義のまとめを行う	講義内容について 予習90分、 復習90分 配付資料を見直す

教科書

なし（授業時に資料を配布する）

参考書

なし（授業時に資料を配布する）

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上（定期試験100％評価）（授業中の提出物を加味して最終的な点数を算出する）

**課題等に対する
フィードバックの方法**

授業中に出た課題等は、当日もしくは後日の授業中にフィードバックを行います。
実技については、授業中に都度、フィードバックを行います。

履修のポイント

授業中の課題に積極的に取り組むことで、専門職としての学びが深まります。
小テストや試験に真摯に取り組むことで、国家試験受験時の準備ができます。

オフィス・アワー

授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じます。

講義コード	10180001
講義名	行動科学
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期（重複①）
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
区分	学部共通科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-C082
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 徐 淑子	指定なし

授業の概要と教育目標

この授業では、人々が健康を守る行動を起こすときにどんな心理社会的仕組みが働いているのかについて、学びます。また、それらの知識を健康教育や患者教育にどのように応用できるかについて、考えます。まずは、じぶん自身の行動をモデルに当てはめて考えてみることから学習を始めましょう。
行動モデルの発想を、保健医療の現場で生かすための、基礎をつくることを目的とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

到達目標

１．「健康と病気」をめぐる行動のさまざまなすがたについて、理解を深める
２．行動モデルを用いて，身近な健康現象を理解・説明することができるようになる
３．看護師・保健師国家試験の事例問題等を読み、保健行動のモデルで解釈できる記述を指摘することができる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	保健行動の多様性１	健康と病気にかかわるさまざまな行動を、いくつかの視点で分類しながら理解する。看護職者がとりあつかうケア範囲の広さを確認する。	個人ワーク／視聴覚資料
第2回	保健行動の生起とその習慣化１	生活構造論、段階的変化理論について取り上げ、保健行動の習慣化、保健行動がどのようにして個人の生活の中に組み込まれていくのかについて考える。	個人ワーク／視聴覚資料
		保健行動を説明する代表的な行動モデルについて学習	

第3回	保健行動の生起とその習慣化２	する。 ①教育モデルとヘルス・リテラシー ②恐怖アピールモデルは人々の行動を変えるか ③保健信念モデルーグッド・ニュースとバッド・ニュースのバランス	個人ワーク／視聴覚資料
第4回	保健行動の生起とその習慣化３	保健行動を説明する代表的な行動モデルについて学習する。 ④保健行動シーソーモデルー保健動機と生活動機の連合 ⑤計画的行動理論と人の判断	個人ワーク／視聴覚資料
第5回	保健行動の生起とその習慣化４	社会的学習理論（自己効力感モデル）の考え方より、行動変容の過程について考える。	個人ワーク／視聴覚資料
第6回	精神健康が保健行動に与える影響	生活ストレス論の立場から、「なぜ、かんたんな保健行動が起こせない／続かない人がいるのか」について、考える。	個人ワーク／視聴覚資料
第7回	行動科学的な知見の応用１（生活習慣指導への応用）	行動科学的知見を、生活習慣指導における個別支援にどのように活用できるか、ワークをとおして体験的に学ぶ。 ①認知行動療法の基本的な考え方	個人ワーク／視聴覚資料
第8回	行動科学的な知見の応用２（生活習慣指導への応用）	行動科学的知見を、生活習慣指導における個別支援にどのように活用できるか、ワークをとおして体験的に学ぶ。 ②認知行動療法的な発想を、生活習慣指導にとりいれる	個人ワーク／視聴覚資料

教科書

指定教科書はありません。教員が資料を配布します。

参考書

授業中に、その都度、情報の出典を示し、より深く学習したい方のために関連書籍や文献を紹介いたします。

成績評価の方法・基準

最終課題（レポート）100%で評価します。レポートは100点満点で、60点以上が合格となります。

履修のポイント

・視聴覚資料を毎回視聴します。
・授業中に個別ワークにとりくんでもらいます。
・最終課題は授業中に実施するワークを統合したかたちで出題されます。学習成果を最終課題にうまく生かせるよう、授業内ワークでその都度確認しながら学習に取り組んでください。
・私語厳禁でお願いいたします。

講義コード	10190001
講義名	コミュニケーション論
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
区分	学部共通科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-R008
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大澤 靖彦	指定なし

授業の概要と教育目標

人との関係性に見られるコミュニケーションは、対人援助職にとって極めて重要であるとよく言われる。では、現代においてコミュニケーション能力が求められるのはなぜなのか、そもそもコミュニケーションとは何なのか、コミュニケーションが上手とか下手とかは何をもって判断されるのか。この授業では、今日のコミュニケーション研究の成果を学修しながら、多面的にコミュニケーションについて理解を深める。演習形式を取り入れながら、体験を通した学修を進める予定である。教育目標として、日常的なコミュニケーション場面の特徴を広く学修し、その基本的な理論や原理を修得し、自他を理解する基本的態度の修得を目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人に対する理解を深めることを目指し、対人関係上で交わされるコミュニケーションの理解を通してその目的達成に資する知識を養う。そして、看護職として看護対象となる人の健康の諸側面、健康生活と社会との関係について、対人的なコミュニケーションの重要性を理解し、自己理解と他者理解に基づいた看護実践ができるようになることを目指す。

到達目標

１．コミュニケーションにかかわる基本的な理論や原理を理解できる。
２．自己と他者の違いを実感し、自分の対人関係場面でみられる特徴を自覚できる。
３．他者とのコミュニケーションを通して、人の話を「聞く」とはどういうことか、自分のことを相手に「伝える」とはどういうことかを理解できる。
４．コミュニケーションに関する知見を、看護における対人援助場面での人とのかかわりに適用して考えることができる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	人付き合いのスタートの心理学①	人付き合いのスタートでは、どのようなことが大切なのかについて考えてみる	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：配布資

			料の整理、まとめ。
第2回	人付き合いのスタートの心理学②	人間関係を深めていくためには何が大切なのかについて考えてみる	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：配布資料の整理、まとめ。
第3回	自己理解	コミュニケーションの基本となる自分自身についての理解を深める	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：配布資料の整理、まとめ。
第4回	人とかかわること	対人場面での不安や緊張を軽減することを学ぶ	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：配布資料の整理、まとめ。
第5回	グループメンバーと知り合う	仲間関係を深めることを学ぶ	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：配布資料の整理、まとめ。
第6回	聞きになろう	相手の話の聞き方について学ぶ	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：配布資料の整理、まとめ。
第7回	傾聴スキルを使って信頼関係を築こう	第6回で学んだスキルを活かして、よりよい関係を気づくことを学ぶ	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：配布資料の整理、まとめ。
第8回	話し上手になろう	自分のことを上手に伝えること、アサーションの考え方について学ぶ	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：配布資料の整理、まとめ。
第9回	ノンバーバル・コミュニケーションを学ぼう	ノンバーバル・コミュニケーションの重要性について学ぶ	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：配布資料の整理、まとめ。
第10回	自分と他者の「認知」の違いを知ろう	自分が認知していることと他者が認知していることにはズレが生じていることを学ぶ	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：配布資

			料の整理、まとめ。
第11回	自己理解・他者理解	ジェノグラムを使って自己理解を深め、他者理解を深める	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：配布資料の整理、まとめ。
第12回	恋愛の心理学①	人に好意を持ったり持たれたりする仕組みについて考える①	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：配布資料の整理、まとめ。
第13回	恋愛の心理学②	人に好意を持ったり持たれたりする仕組みについて考える②	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：配布資料の整理、まとめ。
第14回	職場の人間関係①	職場のリーダーシップ：どのようなリーダーシップが生産性を上げるのか考える	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：配布資料の整理、まとめ。
第15回	職場の人間関係②	職場のコミュニケーション：どのようなコミュニケーションがあれば仕事で頑張れるのか	予習90分：事前にシラバス等を確認する。 復習90分：配布資料の整理、まとめ。

教科書

特に指定せず。

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
筆記試験40％ レポート・課題30％ 授業への積極性・態度30％

課題等に対するフィードバックの方法

授業内でレポートや課題を課すことがある。返却するので学習の参考にすること。また、授業の振り返りの資料とその解答を配布するので、授業内容の理解に役立てること。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待します。演習を取り入れて授業を進めます。授業時間外の学習として、幅広い興味関心のもとに日常的な出来事における人の行動を見つめることを予習に、本講義の配布資料・ノートの見直しやまとめを復習に勧めます。

オフィス・アワー

水曜日・木曜日、12：30～13：20（昼休み）、11 号館第 8 研究室。
※講義終了前後にも、適宜受け付けます。

講義コード	10200001
講義名	基礎英語I（Aクラス）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	３時限
区分	学部共通科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-R009
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 女鹿 喜治	指定なし

授業の概要と教育目標

高校まで身につけた英語の基礎事項を確認し、さらに使える英語を身に着けるようにします。基本的には、基礎的な英文法を見直すことによって、リーディングの学力を伸ばしていきます。比較的簡単な英語ですので、最終的には、できるだけ訳さないで、英語のままで理解できるようにします。一応、講義計画表通り進めていきますが、みなさんの英語力と予習の出来を見ながら進度を調節します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保健・医療を通じて、国際社会にも貢献できることが時代の要請となっています。将来、大学院などで英語の文献を読まなければならないことになった場合、それに対処できるだけの基礎力を身に付けます。

到達目標

英語を英語として読み、聞いてすぐに理解し、訳さないようにする。基本的な英語のやり取りを身に着ける。TOEIC 500点程度を目指します。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	英語の基礎力はどうすれば伸ばせるのか。	英語の基礎力はどうすれば伸ばせるのかを考えます。少し、教科書をやるかもしれません。	予習：30分程度 復習：30分程度
第2回	文法事項の総復習	自動詞と他動詞	予習：30分程度 復

			習：30分程度
第3回	〃	主語と述語 / 動詞の時制(1)	予習：30分程度 復習：30分程度
第4回	〃	進行形と完了形	予習：30分程度 復習：30分程度
第5回	〃	名詞と冠詞 / 代名詞	予習：30分程度 復習：30分程度
第6回	〃	前置詞 / 形容詞と副詞	予習：30分程度 復習：30分程度
第7回	〃	関係代名詞 / 関係副詞	予習：30分程度 復習：30分程度
第8回	〃	文の種類	予習：30分程度 復習：30分程度
第9回	〃	句と節 / 接続詞	予習：30分程度 復習：30分程度
第10回	〃	不定詞 / 分詞	予習：30分程度 復習：30分程度
第11回	〃	動名詞 / 比較表現	予習：30分程度 復

			習：30分 程度
第12回	〃	受動態 / 使役構文	予 習：30分 程度 復 習：30分 程度
第13回	〃	助動詞 / 動詞の時制(2)	予 習：30分 程度 復 習：30分 程度
第14回	〃	仮定法	予 習：30分 程度 復 習：30分 程度
第15回	〃	話法 / 5文型	予 習：30分 程度 復 習：30分 程度

教科書

英文法再入門. 桑本祐二、他 (2019). 開拓社.

参考書

教室で適宜指示します。

成績評価の方法・基準

単位認定は60点以上：試験(2回やるかもしれません)の点数(90%)と教室での発言やその内容など(10%)。

課題等に対する
フィードバックの方法

答案用紙は採点して返却するか、何らかの形で講評をコメントします。

履修のポイント

全く当たり前のことですが、予習・復習をして下さい大雑把でいいですから、事前に文棒に関する説明を読んで、内容を把握しておいてください。練習問題は自分で何がわかってないのかを意識して授業に臨んでください。練習問題の一部を宿題にする場合があります。小テストという形をとるかもしれません。

オフィス・アワー

基本的には、私の空いた時間ならいつでも来室してください。ただ、それなりの話をするつもりなら、予約を取ってください。

講義コード	10200002
講義名	基礎英語I（Bクラス）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	３時限
区分	学部共通科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-R009
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 女鹿 喜治	指定なし

授業の概要と教育目標

高校まで身につけた英語の基礎事項を確認し、さらに使える英語を身に着けるようにします。基本的には、基礎的な英文法を見直すことによって、リーディングの学力を伸ばしていきます。比較的簡単な英語ですので、最終的には、できるだけ訳さないで、英語のままで理解できるようにします。一応、講義計画表通り進めていきますが、みなさんの英語力と予習の出来を見ながら進度を調節します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保健・医療を通じて、国際社会にも貢献できることが時代の要請となっています。将来、大学院などで英語の文献を読まなければならないことになった場合、それに対処できるだけの基礎力を身に付けます。

到達目標

英語を英語として読み、聞いてすぐに理解し、訳さないようにする。基本的な英語のやり取りを身に着ける。TOEIC 500点程度を目指します。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	英語の基礎力はどうすれば伸ばせるのか。	英語の基礎力はどうすれば伸ばせるのかを考えます。少し、教科書をやるかもしれません。	予習：30分程度 復習：30分程度
第2回	文法事項の総復習	自動詞と他動詞	予習：30分程度 復

			習：30分程度
第3回	〃	主語と述語 / 動詞の時制(1)	予習：30分程度 復習：30分程度
第4回	〃	進行形と完了形	予習：30分程度 復習：30分程度
第5回	〃	名詞と冠詞 / 代名詞	予習：30分程度 復習：30分程度
第6回	〃	前置詞 / 形容詞と副詞	予習：30分程度 復習：30分程度
第7回	〃	関係代名詞 / 関係副詞	予習：30分程度 復習：30分程度
第8回	〃	文の種類	予習：30分程度 復習：30分程度
第9回	〃	句と節 / 接続詞	予習：30分程度 復習：30分程度
第10回	〃	不定詞 / 分詞	予習：30分程度 復習：30分程度
第11回	〃	動名詞 / 比較表現	予習：30分程度 復

			習：30分 程度
第12回	〃	受動態 / 使役構文	予 習：30分 程度 復 習：30分 程度
第13回	〃	助動詞 / 動詞の時制(2)	予 習：30分 程度 復 習：30分 程度
第14回	〃	仮定法	予 習：30分 程度 復 習：30分 程度
第15回	〃	話法 / 5文型	予 習：30分 程度 復 習：30分 程度

教科書

英文法再入門. 桑本祐二、他 (2019). 開拓社.

参考書

教室で適宜指示します。

成績評価の方法・基準

単位認定は60点以上：試験(2回やるかもしれません)の点数(90%)と教室での発言やその内容など(10%)。

課題等に対する
フィードバックの方法

答案用紙は採点して返却するか、何らかの形で講評をコメントします。

履修のポイント

全く当たり前のことですが、予習・復習をして下さい大雑把でいいですから、事前に文棒に関する説明を読んで、内容を把握しておいてください。練習問題は自分で何がわかってないのかを意識して授業に臨んでください。練習問題の一部を宿題にする場合があります。小テストという形をとるかもしれません。

オフィス・アワー

基本的には、私の空いた時間ならいつでも来室してください。ただ、それなりの話をするつもりなら、予約を取ってください。

講義コード	10210001
講義名	基礎英語II（Aクラス）
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	金曜日
代表時限	３時限
区分	学部共通科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-R023
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 女鹿 喜治	指定なし

授業の概要と教育目標

看護に関わる英語教材を使い、将来、働くことになる医療機関で使われている語彙や表現を身に付け、主に看護に関わる会話と英語表現を身に付ける練習をします。一応、講義計画表通り進めていきますが、みなさんの英語力と予習の出来を見ながら進度を調節します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保健・医療を通じて、国際社会にも貢献できることが時代の要請となっています。将来、看護に関わる基本的な会話表現と語彙を身に付けます。

到達目標

看護に関わる基本的な語彙を身に付け、医療現場で、看護に関わる英語表現ができるようにする。TOIECで500点以上を目指します。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	導入	看護と医学に関わる語彙と英語表現について考えます	
第2回	看護に関わる基本的な語彙と会話表現の練習	初心 / 医学・看護に関わる語彙と表現(1)	予習：30分程度 復習：30分程度
第3回	〃	病状の把握 / 医学・看護に関わる語彙と表現(2)	予習：30分程度 復習：30分程度
第4回	〃	問診 / 医学・看護に関わる語彙と表現(3)	予習：30分程度 復習：30分程度

第5回	〃	道案内 / 医学・看護に関わる語彙と表現(4)	予習：30分程度 復習：30分程度
第6回	〃	医師の診察 / 医学・看護に関わる語彙と表現(5)	予習：30分程度 復習：30分程度
第7回	〃	緊急医療 / 医学・看護に関わる語彙と表現(6)	予習：30分程度 復習：30分程度
第8回	〃	入院 / 医学・看護に関わる語彙と表現(7)	予習：30分程度 復習：30分程度
第9回	〃	入院生活 / 医学・看護に関わる語彙と表現(8)	予習：30分程度 復習：30分程度
第10回	〃	バイタル測定 / 医学・看護に関わる語彙と表現(9)	予習：30分程度 復習：30分程度
第11回	〃	食事 / 医学・看護に関わる語彙と表現(10)	予習：30分程度 復習：30分程度
第12回	〃	薬の服用など / 医学・看護に関わる語彙と表現(11)	予習：30分程度 復習：30分程度
第13回	〃	退院 / 医学・看護に関わる語彙と表現(12)	予習：30分程度 復習：30分程度
第14回	〃	進度の調整	予習：30分程度 復習：30分程度
第15回	〃	進度の調整	予習：30分程度 復習：30分程度

教科書

松岡里枝子 (2015). 看護師のための英会話. 新宿スタジオ.

参考書

教室で適宜指示します。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上：試験(2回するかもしれません)の点数(90%)と教室での発言やその内容な
(10%)

ど
課題等に対する フィードバックの方法
答案用紙は採点して返却するか、何らかの形で講評をコメントします。
履修のポイント
ことばですから、日常生活の中でこの場合は英語では何というのだろうと常に考えながら生活してみてください。こうすることで英語の表現力が高まります。ことばは知らないと表現できません。自宅では、その日に習った英語を口で言って、書いてください。そして、それがすぐに口から出るように何度も練習してください。英語を通して看護を見ると、看護の別の側面が見えてくることでしょう。英語はやれば必ずできるようになります。才能ではありません。コツコツやりましょう。特に、英語の語彙や表現は地道にやるしかありません。
オフィス・アワー
基本的には、私の空いた時間ならいつでも来室してください。ただ、それなりの話をするつもりなら、予約を取ってください。

講義コード	10210002
講義名	基礎英語II（Bクラス）
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期（重複②）
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	３時限
区分	学部共通科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-R023
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 女鹿 喜治	指定なし

授業の概要と教育目標

看護に関わる英語教材を使い、将来、働くことになる医療機関で使われている語彙や表現を身に付け、主に看護に関わる会話と英語表現を身に付ける練習をします。一応、講義計画表通り進めていきますが、みなさんの英語力と予習の出来を見ながら進度を調節します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保健・医療を通じて、国際社会にも貢献できることが時代の要請となっています。将来、看護に関わる基本的な会話表現と語彙を身に付けます。

到達目標

看護に関わる基本的な語彙を身に付け、医療現場で、看護に関わる英語表現ができるようにする。TOIECで500点以上を目指します。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	導入	看護と医学に関わる語彙と英語表現について考えます	
第2回	看護に関わる基本的な語彙と会話表現の練習	初心 / 医学・看護に関わる語彙と表現(1)	予習：30分程度 復習：30分程度
第3回	〃	病状の把握 / 医学・看護に関わる語彙と表現(2)	予習：30分程度 復習：30分程度
第4回	〃	問診 / 医学・看護に関わる語彙と表現(3)	予習：30分程度 復習：30分程度

第5回	〃	道案内 / 医学・看護に関わる語彙と表現(4)	予習：30分程度 復習：30分程度
第6回	〃	医師の診察 / 医学・看護に関わる語彙と表現(5)	予習：30分程度 復習：30分程度
第7回	〃	緊急医療 / 医学・看護に関わる語彙と表現(6)	予習：30分程度 復習：30分程度
第8回	〃	入院 / 医学・看護に関わる語彙と表現(7)	予習：30分程度 復習：30分程度
第9回	〃	入院生活 / 医学・看護に関わる語彙と表現(8)	予習：30分程度 復習：30分程度
第10回	〃	バイタル測定 / 医学・看護に関わる語彙と表現(9)	予習：30分程度 復習：30分程度
第11回	〃	食事 / 医学・看護に関わる語彙と表現(10)	予習：30分程度 復習：30分程度
第12回	〃	薬の服用など / 医学・看護に関わる語彙と表現(11)	予習：30分程度 復習：30分程度
第13回	〃	退院 / 医学・看護に関わる語彙と表現(12)	予習：30分程度 復習：30分程度
第14回	〃	進度の調整	予習：30分程度 復習：30分程度
第15回	〃	進度の調整	予習：30分程度 復習：30分程度

教科書

松岡里枝子 (2015). 看護師のための英会話. 新宿スタジオ.

参考書

教室で適宜指示します。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上：試験(2回するかもしれません)の点数(90%)と教室での発言やその内容な
(10%)

ど
課題等に対する フィードバックの方法
答案用紙は採点して返却するか、何らかの形で講評をコメントします。
履修のポイント
ことばですから、日常生活の中でこの場合は英語では何というのだろうと常に考えながら生活してみてください。こうすることで英語の表現力が高まります。ことばは知らないと表現できません。自宅では、その日に習った英語を口で言って、書いてください。そして、それがすぐに口から出るように何度も練習してください。英語を通して看護を見ると、看護の別の側面が見えてくることでしょう。英語はやれば必ずできるようになります。才能ではありません。コツコツやりましょう。特に、英語の語彙や表現は地道にやるしかありません。
オフィス・アワー
基本的には、私の空いた時間ならいつでも来室してください。ただ、それなりの話をするつもりなら、予約を取ってください。

講義コード	10220001
講義名	実践英会話（Aクラス）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	２時限
区分	学部共通科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-C031
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ マチャコン ヘルチェル	指定なし

授業の概要と教育目標

英語のlistening能力の養成を図りながら、多くの日常英語表現を学び、あらゆる状況に応じてspeaking能力を身に付け、実践的な英語の表現能力の向上を目指す。さらに時事・文化的な表現も学習し、国際社会人として、諸外国の人々との相互理解ができる様にする。 授業は英語で行い、オンラインデジタル教材も利用する。外国の文化を学びながら、英語のlisteningやspeaking能力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人に対する理解を深めることを目指している。国際化を背景に、コミュニケーションツールとして、英語のlisteningやspeaking能力を養うことを目指ものとする。

到達目標

1.The students can comprehend and respond to various oral directions and questions.
様々な口頭の指示や質問に対応できること。
2. The students will learn how to interact in everyday situations using English.
日常生活で英語を使用して対話をできること。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	オリエンテーション Basic English Review	授業の進め方、オンライン資料の紹介、デジタル録音の仕方 International Englishについて 英語復習：Time, Dates, Months, Numbers, Directions etc.	予習90分：英語のリーディングを練習する。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第2回	The Rules Scene	Asking permission and learning the rules	予習90分：Unit1を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.10-13を見直す
			予習90分：Unit2を読む。

第3回	The Time Scene & Culture Talk 1	Talking about time and schedules Culture Talk: Gestures and Taboos	復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.22-25を見直す。
第4回	The Polite Request Scene & Idioms	Making polite requests and offers Commonly used Idioms	予習90分：Unit3を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.34-36を見直す。
第5回	Putting Things Away Scene	Asking about location and where things go	予習90分：Unit4を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.46-48を見直す。
第6回	The Location Scene & Idioms	Asking where places are and giving directions Commonly used Idioms	予習90分：Unit5を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.58-61を見直す。
第7回	The Directions Scene	Giving directions about how to get somewhere	予習90分：Unit7を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.82-85を見直す。
第8回	① 総括と学習到達度の確認（Mini-Test） ② The Shopping Scene	① 1 回目～7回目の授業についての総括を行い、学習到達度の確認テスト（Mini-test）を実施する。 ② Shopping and asking about preferences	予習90分：Unit1-5、７、を見直す。Unit6を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.70-71を見直す。
第9回	The Restaurant Scene & Culture Talk 2	Ordering and Serving Food in a restaurant Culture Talk: Strange Foods	予習90分：Unit8を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.94-95を見直す。
第10回	The Complaint Scene	Making and responding to complaints	予習90分：Unit9を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.106-107を見直す。
第11回	The Illness Scene	Describing a medical problem and asking advice	予習90分：Unit10を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.118-119を見直す。
第12回	Practical English & Culture Talk 3	Reporting an Emergency Culture Talk: Superstitious Beliefs	予習90分：Unit10を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.118-120を見直す。
第13回	The "How To" Scene	Asking for instructions and explaining how to do something	予習90分：Unit11を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.130-131を見直す。
第14回	Write your own script (グループワーク)	Scenario script writing 学習したトピックスを参考に、シナリオを考え、シナリオのスクリプトを作成する。 （アクティーブラーニング:ディスカッション＆コラボレーション）	予習90分：学習したトピックスを参考に、シナリオを考える。 復習90分：台詞を練習する。
		考えたシナリオを英語で演技す	

第15回	総括と学習到達度の確認 （Role Playing）	る。 ペアワーク ：（ロール・プレイングはは必修となります。）	予習90分：台詞を練習する。

教科書

Performance -Conversation Scenes from Everyday Life
David Harrington and Charles LeBeau

参考書

イギリスのBBC: http://www.bbc.co.uk/worldservice/learningenglish/
学習題材を提示する教材サイト

成績評価の方法・基準

授業への積極性(25%), 課題 (15%)、テスト(30%)、Role Playing (30%) で評価する。
*定期試験は実施しない。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

課題に対する質問や解答例を次回の授業で公表し、解説をおこなう。

履修のポイント

①「基礎英語I、基礎英語II」を履修済みであることが望ましい。
②授業への積極な取り組みを期待する。
③上記授業内容については、あらかじめ自己学習しておくことをすすめる。配布資料及び教科書の該当箇所を参照し、学習内容に応じた準備学習（予習・復習）を行うこと。

オフィス・アワー

毎週金曜日 昼休み 研究室：9号館3F 第12研究室（情報環境研究室）
メール：prof.mach.dr@gmail.com

講義コード	10220002
講義名	実践英会話（Bクラス）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	１時限
区分	学部共通科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-C031
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ マチャコン ヘルチェル	指定なし

授業の概要と教育目標

英語のlistening能力の養成を図りながら、多くの日常英語表現を学び、あらゆる状況に応じてspeaking能力を身に付け、実践的な英語の表現能力の向上を目指す。さらに時事・文化的な表現も学習し、国際社会人として、諸外国の人々との相互理解ができる様にする。 授業は英語で行い、オンラインデジタル教材も利用する。外国の文化を学びながら、英語のlisteningやspeaking能力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人に対する理解を深めることを目指している。国際化を背景に、コミュニケーションツールとして、英語のlisteningやspeaking能力を養うことを目指ものとする。

到達目標

1.The students can comprehend and respond to various oral directions and questions.
様々な口頭の指示や質問に対応できること。
2. The students will learn how to interact in everyday situations using English.
日常生活で英語を使用して対話をできること。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	オリエンテーション Basic English Review	授業の進め方、オンライン資料の紹介、デジタル録音の仕方 International Englishについて 英語復習：Time, Dates, Months, Numbers, Directions etc.	予習90分：英語のリーディングを練習する。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第2回	The Rules Scene	Asking permission and learning the rules	予習90分：Unit1を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.10-13を見直す
			予習90分：Unit2を読む。

第3回	The Time Scene & Culture Talk 1	Talking about time and schedules Culture Talk: Gestures and Taboos	復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.22-25を見直す。
第4回	The Polite Request Scene & Idioms	Making polite requests and offers Commonly used Idioms	予習90分：Unit3を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.34-36を見直す。
第5回	Putting Things Away Scene	Asking about location and where things go	予習90分：Unit4を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.46-48を見直す。
第6回	The Location Scene & Idioms	Asking where places are and giving directions Commonly used Idioms	予習90分：Unit5を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.58-61を見直す。
第7回	The Directions Scene	Giving directions about how to get somewhere	予習90分：Unit7を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.82-85を見直す。
第8回	① 総括と学習到達度の確認（Mini-Test） ② The Shopping Scene	① 1 回目～7回目の授業についての総括を行い、学習到達度の確認テスト（Mini-test）を実施する。 ② Shopping and asking about preferences	予習90分：Unit1-5、７、を見直す。Unit6を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.70-71を見直す。
第9回	The Restaurant Scene & Culture Talk 2	Ordering and Serving Food in a restaurant Culture Talk: Strange Foods	予習90分：Unit8を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.94-95を見直す。
第10回	The Complaint Scene	Making and responding to complaints	予習90分：Unit9を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.106-107を見直す。
第11回	The Illness Scene	Describing a medical problem and asking advice	予習90分：Unit10を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.118-119を見直す。
第12回	Practical English & Culture Talk 3	Reporting an Emergency Culture Talk: Superstitious Beliefs	予習90分：Unit10を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.118-120を見直す。
第13回	The "How To" Scene	Asking for instructions and explaining how to do something	予習90分：Unit11を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。p.130-131を見直す。
第14回	Write your own script (グループワーク)	Scenario script writing 学習したトピックスを参考に、シナリオを考え、シナリオのスクリプトを作成する。 （アクティーブラーニング:ディスカッション＆コラボレーション）	予習90分：学習したトピックスを参考に、シナリオを考える。 復習90分：台詞を練習する。
		考えたシナリオを英語で演技す	

第15回	総括と学習到達度の確認 （Role Playing）	る。 ペアワーク ：（ロール・プレイングはは必修となります。）	予習90分：台詞を練習する。

教科書

Performance -Conversation Scenes from Everyday Life
David Harrington and Charles LeBeau

参考書

イギリスのBBC: http://www.bbc.co.uk/worldservice/learningenglish/
学習題材を提示する教材サイト

成績評価の方法・基準

授業への積極性(25%), 課題 (15%)、テスト(30%)、Role Playing (30%) で評価する。
*定期試験は実施しない。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

課題に対する質問や解答例を次回の授業で公表し、解説をおこなう。

履修のポイント

①「基礎英語I、基礎英語II」を履修済みであることが望ましい。
②授業への積極な取り組みを期待する。
③上記授業内容については、あらかじめ自己学習しておくことをすすめる。配布資料及び教科書の該当箇所を参照し、学習内容に応じた準備学習（予習・復習）を行うこと。

オフィス・アワー

毎週金曜日 昼休み 研究室：9号館3F 第12研究室（情報環境研究室）
メール：prof.mach.dr@gmail.com

講義コード	10230001
講義名	医療保健英語
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
区分	学部共通科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-C041
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 女鹿 喜治	指定なし

授業の概要と教育目標

将来、働くことになる医療機関で使われている語彙や表現は英語ではどのように表されるのでしょうか。看護の事例を英語で読み、看護に関わる英語の語彙力と読解力を身に付けます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

みなさんは、卒業後、実践の場に行くことになるでしょうが、しばらくすれば、必ず看護研究に関わることになると思います。その時には、英語で書かれた論文を読むことになるでしょう。その基礎的な訓練になると思います。

到達目標

看護の事例に関わる英文の内容をすばやく、深く読みとる。TOEIC 550点程度。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	導入	看護に関わる英語表現について考えます	
第2回	看護に関わる英文の講読	Risk for injury (1)	予習：30分程度 復習：30分程度
第3回	〃	Risk for injury (2)	予習：30分程度 復習：30分程度
第4回	〃	Self-care deficit (1)	予習：30分程度 復習：30分程度
第5回	〃	Self-care deficit (2)	予習：30分程度 復習：30分程度
第6回	〃	Repiratory disorders (1)	予習：30分程度 復習：30分程度
第7回	〃	Repiratory disorders (2)	予習：30分程度 復習：30分程度

第8回	〃	Fluid volume deficit (1)	予習：30分程度 復習：30分程度
第9回	〃	Fluid volume deficit (2)	予習：30分程度 復習：30分程度
第10回	〃	Insomnia (1)	予習：30分程度 復習：30分程度
第11回	〃	Insomnia (2)	予習：30分程度 復習：30分程度
第12回	〃	Chronic pain (1)	予習：30分程度 復習：30分程度
第13回		Chronic pain (2)	予習：30分程度 復習：30分程度
第14回	〃	Healthy dietary practice (1)	予習：30分程度 復習：30分程度
第15回	〃	Healthy dietary practice (2)	予習：30分程度 復習：30分程度

教科書

杉田由仁 & R. Caraker(2007). 事例で学ぶ看護英語. 成美堂.

参考書

教室で適宜指示します。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上：試験の点数(80%)と教室での発言とその内容など(20%)。（履修人数が少なければ、平常点のみ。）

**課題等に対する
フィードバックの方法**

答案用紙は採点して返却するか、何らかの形で講評をコメントします。

履修のポイント

英語を通して看護を見ると、看護の別の側面が見えてきます。そのきっかけ作りを覗きたければ、履修して下さい。大雑把でいいですから、事前に英文を読んで、内容を把握しておいてください。そして、講義の後には、その英語がそのまま頭の中に入ってくるまで何度も読んでください。古くさいかもしれませんが、こういった積み重ねが英語力を高めます。

オフィス・アワー

基本的には、私の空いた時間ならいつでも来室してください。ただ、それなりの話をするつもりなら、予約を取ってください。

講義コード	10240001
講義名	英書講読
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
区分	学部共通科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-C042
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 女鹿 喜治	指定なし

授業の概要と教育目標

2年の「医療保健英語」の続編を意図した内容です。将来、働くことになる医療機関で使われている語彙や表現は英語ではどのように表されるのでしょうか。看護の事例を英語で読み、看護に関わる英語の語彙力と読解力を身に付けます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

みなさんは、卒業後、実践の場に行くことになるでしょうが、しばらくすれば、必ず看護研究に関わることになると思います。その時には、英語で書かれた論文を読むことになるでしょう。その基礎的な訓練になると思います。

到達目標

看護の事例に関わる英文の内容をすばやく、深く読みとる。TOEIC 550点程度。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	導入	看護に関わる英語表現について考えます	
第2回	看護に関わる英文の講読	Urinary retention (1)	予習：30分程度 復習：30分程度
第3回	〃	Urinary retention (2)	予習：30分程度 復習：30分程度
第4回	〃	Constipation (1)	予習：30分程度 復習：30分程度
第5回	〃	Constipation (2)	予習：30分程度 復習：30分程度
第6回	〃	Impaired physical mobility (1)	予習：30分程度 復習：30分程度
第7回	〃	Impaired physical mobility (2)	予習：30分程度 復習：30分程度

第8回	〃	Impaired skin integrity (1)	予習：30分程度 復習：30分程度
第9回	〃	Impaired skin integrity (2)	予習：30分程度 復習：30分程度
第10回	〃	Visual alternations (1)	予習：30分程度 復習：30分程度
第11回	〃	Visual alternations (2)	予習：30分程度 復習：30分程度
第12回	〃	Surgical client (1)	予習：30分程度 復習：30分程度
第13回	〃	Surgical client (2)	予習：30分程度 復習：30分程度
第14回	〃	Memory impairment (1)	予習：30分程度 復習：30分程度
第15回	〃	Memory impairment (2)	予習：30分程度 復習：30分程度

教科書

杉田由仁 & R. Caraker(2007). 事例で学ぶ看護英語. 成美堂.

参考書

教室で適宜指示します。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上：試験の点数(80%)と教室での発言とその内容など(20%)。（履修人数が少なければ、平常点のみ。）

課題等に対する
フィードバックの方法

答案用紙は採点して返却するか、何らかの形で講評をコメントします。

履修のポイント

英語を通して看護を見ると、看護の別の側面が見えてきます。そのきっかけ作りを覗きたければ、履修して下さい。大雑把でいいですから、事前に英文を読んで、内容を把握しておいてください。そして、講義の後には、その英語がそのまま頭の中に入ってくるまで何度も読んでください。古くさいかもしれませんが、こういった積み重ねが英語力を高めます。

オフィス・アワー

基本的には、私の空いた時間ならいつでも来室してください。ただ、それなりの話をするつもりなら、予約を取ってください。

講義コード	10250001
講義名	中国語
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	５時限
区分	学部共通科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-C032
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 佐々木 百合	指定なし

授業の概要と教育目標

中国語を初めて学習する者を対象にした授業です。教科書に沿って中国語の発音の基礎となる声調とピンインの発音練習から行います。また、中国語の基礎的な単語や慣用句、文法を学び、日常会話までを目指します。そして、隣国中国の文化が古くから日本文化に大きな影響を与えてきたことの理解をいっそう深めることです。
将来様々な職業に従事し、一般社会において中国人と接した時、中国語で積極的に交流ができること。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連で、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人間に対する理解を深めることを目標としている。外国人増加と国際化を背景に、コミュニケーションツールとして最低限の中国語会話能力を養成することを目指すものとする。

到達目標

中国語の正しい発音と簡単なあいさつから日常会話までの読む・聴く・話す・書くを総合的にバランスよく習得する。基礎的な単語を覚え、基礎的な文法を理解することで、簡単な中国語の表現ができることを目標とします。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	発音1	声調・単母音・発音練習	予習(15分)：発音の予習を行う 復習(30分)：文法の復習を行う
第2回	発音2	子音・複合母音・発音練習	予習(15分)：発音の予習を行う

			復習(30分)：文法の復習を行う
第3回	発音3	ピンインの組み合わせ・発音のまとめ	予習(15分)：発音の予習を行う 復習(30分)：文法の復習を行う
第4回	第1課 挨拶と自己紹介	人称代名詞・「是」の文・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	予習(15分)：発音の予習を行う 復習(30分)：文法の復習を行う
第5回	第2課 疑問文	指示代名詞1・疑問詞疑問文・「的」の用法・副詞「也」の用法・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	予習(15分)：発音の予習を行う 復習(30分)：文法の復習を行う
第6回	第3課 動詞の文	所有を表す「有」・省略疑問の「呢」・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	予習(15分)：発音の予習を行う 復習(30分)：文法の復習を行う
第7回	第4課 形容詞の文	量詞・指示代名詞2・形容詞の文・「几」と「多少」・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	予習(15分)：発音の予習を行う 復習(30分)：文法の復習を行う
第8回	第5課 数のいろいろ	数字・日付時刻を表す語・動作の時点を言う表現・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	予習(15分)：発音の予習を行う 復習(30分)：文法の復習を行う
第9回	第6課 完了・所在のアスペクト	完了を表す「了」・所在を表す「在」・助動詞1「想」・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	予習(15分)：発音の予習を行う 復習(30分)：文法の復習を行う
第10回	第7課 介詞の用法（1）	介詞1「在」「离」・存在を表す「有」・反復疑問文・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	予習(15分)：発音の予習を行う 復習(30分)：文法の復習を行う
第11回	第8課 介詞の	介詞2「从」・助動詞2「得」・「時間量」・単語の	予習(15分)：発音の予習を行う

	用法（2）	発音練習・会話文の解説・トレーニング	復習(30分)：文法の復習を行う
第12回	第9課 介詞の用法（3）	介詞３「跟，給」・過去の経験を表す「　」・「是～的」文・単語の発音練習・会話文の解説・トレーニング	予習(15分)：発音の予習を行う 復習(30分)：文法の復習を行う
第13回	総復習	単語と文法のまとめ	予習(15分)：発音の予習を行う 復習(30分)：文法の復習を行う
第14回	試験範囲の問題	総合練習	予習(15分)：発音の予習を行う 復習(30分)：文法の復習を行う
第15回	まとめと解説	試験および解説	予習(15分)：発音の予習を行う 復習(30分)：文法の復習を行う

教科書

＜最新２訂版＞中国語はじめの一歩 尹景春・竹島毅 著 白水社

参考書

特になし

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上授業中の問答に１０％、期末試験を９０％として、合計６０％以上を合格とします。

**課題等に対する
フィードバックの方法**

課題に対する質問や解答例を次回の授業で詳細に解説を行う。

履修のポイント

中国語を母国語とする学生の履修は認めません。授業中は中国の様々なことについてたくさん質問して下さい。

オフィス・アワー

授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じます。

講義コード	10260001
講義名	スペイン語
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	５時限
区分	学部共通科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-C025
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 伊勢島 セリア 明美	指定なし

授業の概要と教育目標

モデル会話の文型を確認しながら、リスニングを含む練習問題に答えて頂きます。
授業の後半にミニ会話を発表して頂き、初級会話の養成を目標とします。
適宜、音楽を初め、ラテン文化も紹介します。

卒業認定・学位授与の方針との関連

国際化が急速に進む社会環境で、言語を通して多文化に
親しみを感じることを目指します。

到達目標

初歩的な会話能力を身に付けると同時に異文化理解を深めることを目標とします。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）
第1回	¿Qué tal？	アルファベット、挨拶
第2回	Yo soy Carmen.	動詞ser、否定形、単語力UP: 国名、国籍
第3回	¿Eres tú japonés？	疑問文と答え方
第4回	Él es mi hermano.	所有形容詞、単語力UP: 家族
第5回	Tu hermana es muy guapa.	指示詞、単語力UP：形容詞①
第6回	¿Qué es esto？	不定冠詞、指示形容詞、単語力UP：形容詞②
第7回	Yo ceno a las 8.	時間を表す表現、数詞①
第8回	Yo tengo 18 años.	動詞tener、数詞②
第9回	¿Dónde está Roxana？	動詞estar、前置詞en
第10回	¿Eres tú estudiante？	前置詞de、単語力UP：学部、職業
第11回	Yo trabajo todos los días.	現在形-ar、前置詞con
第12回	Ella corre los domingos.	現在形-er, -ir、曜日

第13回	Yo voy a la biblioteca.	動詞ir、未来形
第14回	¿Trabajaste tú ayer？	過去形-ar, -er, -ir、月の名前
第15回	Yo tengo dolor de estómago.	症状の表現

教科書
教材プリントを配布します。
参考書
桜庭雅子・貫井一美「しっかり学ぶスペイン語」 ベレ出版
成績評価の方法・基準
単位認定：６０点以上 小テスト（８０%）会話発表（２０%）で１００%評価
課題等に対する フィードバックの方法
基本文型の復習及び動詞の活用の確認
履修のポイント
学習した文型の応用を広めること
オフィス・アワー
授業終了後に質問を受け付けます。

講義コード	10270001
講義名	ポルトガル語
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	５時限
区分	学部共通科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-C024
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 伊勢島 セリア 明美	指定なし

授業の概要と教育目標

基本文法を取り上げた後、練習問題を通して学習を確認します。
授業の後半は口頭練習及びリスニングを行い、
初級会話の養成を目標とします。
適宜、ポルトガル語圏の文化も紹介したいと思います。

卒業認定・学位授与の方針との関連

国際化が急速に進む社会環境で、言語を通して多文化に
親しみを感じることを目指します。

到達目標

挨拶を初め、初歩の会話を身につけると同時に異文化理解を目標とします。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）
第1回	Qual é o seu nome?	アルファベット、挨拶、基本構文
第2回	Eu sou japonês.	動詞ser、否定文、疑問文、出身地を表す前置詞de
第3回	Meu pai é professor.	所有形容詞とその変化
第4回	Meu irmão é alto.	形容詞とその変化
第5回	O português é mais difícil do que o japonês?	定冠詞、比較の表現
第6回	Quantos anos você tem?	動詞ter、数詞、名詞の数
第7回	Eu gosto de estudar.	動詞gostar、動詞preferir
第8回	Eu quero um computador preto.	不定冠詞、動詞querer、色の名前
第9回	Meu celular está na bolsa.	動詞estar、場所を表す前置詞em
第10回	Meu amigo vai à biblioteca.	動詞ir、方向を表す前置詞a、交通手段を表す前置詞de

第11回	A que horas você acorda?	ar動詞の現在形、時間の表現
第12回	Ela entende português.	er動詞の現在形、同伴を表す前置詞com
第13回	Eu abro e-mail todos os dias.	ir動詞の現在形、月の名前
第14回	Ele estudou português.	完全過去形、時を表す前置詞em、曜日の名前
第15回	Escreveremos uma carta.	未来形

教科書

教材プリントを配布します。

参考書

初級ブラジルポルトガル語
深沢暁著 東洋書店

成績評価の方法・基準

単位認定：６０点以上
小テスト（８０%）会話発表（２０%）で１００%評価

**課題等に対する
フィードバックの方法**

動詞の活用及び前置詞の変化の確認

履修のポイント

練習問題及び会話発表に積極的に取り組むこと

オフィス・アワー

授業日の授業終了後に教室で相談に応じます。

講義コード	10280001
講義名	統計学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	１時限
区分	学部共通科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-C010
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 石井 広二	指定なし

授業の概要と教育目標

統計学は、偶然に起きると思われる事象から得られるデータを、数表化、視覚化したり、数学的道具を用いてより科学的に分析したりして、その集団の特徴や傾向を把握し、その結果を人間の活動や社会生活に広く役立てていくことを目的としている。そのためにこの授業は、統計学の概念を理解し、科学的に考え、分析するための基礎的な見方を身につけることを目標にし、必要となる統計的手法について、記述統計から推測統計まで演習を通して学ぶ。
また、授業ではグループでの学び合いも取り入れたい。予習・復習ではMoodleを活用する予定である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

この授業は、医療保健学部看護学科DPの「人間に対して、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から理解」を目指し、社会において数値や図表として表現されているデータの持っている意味を様々な側面から分析できるような力を養う。その上で、専門的な科目での健康の諸側面、健康生活と社会との関係について、科学的な理解を行えるような学力を身に付ける。

到達目標

・統計学の概念を理解する
・標本を抽出し、度数分布表が作成できる
・データを集計し、各種統計量を求められる
・正規分布などの確率分布の特性を理解する
・母平均などの推定が行える
・統計的仮説検定の考え方を理解し、実際に母平均の検定などが行える

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	統計学とは（１）	母集団や標本などの統計学の基本概念と数学知識の確認、電卓の使用方法 【電卓を持参すること】	予習90分：高校の数学「データの分析」について、教科書等で確認 復習90分：教科書および配布教材の見直し

第2回	統計学とは（２）	標本抽出、度数分布表の作り方 課題	予習90分：教科書p17～36を読む 復習90分：教科書および配布教材の見直し、課題を解く
第3回	標本分布の特性値（１）	中心的傾向の特性値（平均、中央値、最頻値など）の求め方	予習90分：教科書p49～62を読む 復習90分：教科書および配布教材の見直し
第4回	標本分布の特性値（２）	変動の特性値（不偏分散、標準偏差など）の求め方 課題 【アクティブラーニングの内容】 グループワーク：課題の検討	予習90分：教科書p63～71を読む 復習90分：教科書および配布教材の見直し、課題を解く
第5回	前半のまとめ	確認テスト①	予習90分：教科書の～ｐ76までの範囲 復習90分：教科書および配布教材の見直し
第6回	確率分布	確率分布の性質について （確率ｐ78～88については、授業中扱いませんので、各自で学習してください）	予習90分：教科書p77～101を読む 復習90分：教科書および配布教材の見直し
第7回	正規分布	正規分布の性質や標準化、標準正規分布表の見方などについて 課題 【アクティブラーニングの内容】 グループワーク：課題の検討	予習90分：教科書p107～130を読む 復習90分：教科書および配布教材の見直し、課題を解く
第8回	標本平均の分布	統計的有意性（有意水準、信頼係数など）と 標本平均の分布、中心極限定理、推定方法の基本的な考え方	予習90分：教科書p131～138を読む 復習90分：教科書および配布教材の見直し
第9回	母平均の推定（１）	正規分布と母平均の推定 課題 【アクティブラーニングの内容】 グループワーク：課題の検討	予習90分：教科書p139～150を読む 復習90分：教科書および配布教材の見直し、課題を解く
第10回	母平均の推定（２）	t分布と母平均の推定 課題	予習90分：教科書第6章を読む 復習90分：教科書および配布教材の見直し、課題を解く
第11回	母平均の推定（３）	母平均の推定のまとめ	予習90分：配布教材を読む 復習90分：教科書および配布教材の見直し
第12回	仮説検定（１）	統計的仮説検定の考え方（有意水準、有意確率、棄却域、仮説）	予習90分：配布教材・教科書第8章を読む 復習90分：教科書および配布教材の見直し
第13回	仮説検定（２）	母平均に関する仮説検定の方法 課題 【アクティブラーニングの内容】 グループワーク：課題の検討	予習90分：配布教材・教科書第8章を読む 復習90分：教科書および配布教材の見直し、課題を解く
			予習90分：配布教材・教科書

第14回	仮説検定（３）	母平均に関する仮説検定のまとめ 課題	第8章を読む 復習90分：教科書および配布教材の見直し、課題を解く
第15回	まとめ	講義のまとめ、確認テスト②	予習90分：教科書・配布教材の見直し 復習90分：授業全体の振り返り

教科書

「はじめての統計学」鳥居泰彦（日本経済新聞社）

参考書

「ナースのための統計学」高木廣文（医学書院）「完全独習統計学入門」小島寛之（ダイヤモンド社）「マンガでわかるナースの統計学」（オーム社）など

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。課題への取り組み30%、確認テスト70%。

課題等に対する
フィードバックの方法

確認テストについて、返却をしますので、参考にしてください。
課題については解答を明らかにしますので、各自で確認し、疑問点は質問してください。

履修のポイント

数学的な理論には深入りせず、なるべく具体例で統計学の考え方を身に付けられるように配慮していく予定であるが、理解のため演習課題は必ず自分で解くこと。
・講義には【電卓】『平方根の機能がついたもの！』を持参すること。
・課題については必ず自分の力で解き、疑問点などは質問すること（その際Moodleを積極的に利用すること）
・授業に欠席（公欠も含む）した場合は、授業の課題等を確認すること

オフィス・アワー

火曜日の昼休み。それ以外の曜日・時間については、授業の際に伝える。また、研究室は9号館3階第11研究室。

講義コード	10290001
講義名	情報処理基礎演習（Aクラス）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	４時限
区分	学部共通科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-R011
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ マチャコン ヘルチェル	指定なし

授業の概要と教育目標

我々の生活や仕事は情報化によって変化している。病院では、患者に関する情報がコンピュータによって処理されている。ICT「情報通信技術」時代の要請にそって、情報処理の教育は必要である。そこで、コンピュータやネットワークの利用を通して、情報処理を学ぶ。演習を通して、コンピュータの基本的な操作法を習得する。更に、インターネットに関する知識や技術も習得する。
アプリケーションソフト（Office 2016/2019：Word, Excel, Powerpoint)やインターネットに関する知識や技術を習得するとともに、コンピュータリテラシーの向上を目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、臨床現場でチーム医療の一員として活躍し、そこで調整する能力及び問題を解決する能力の修得を目標とする。これにおいて、情報処理能力が求められているため、情報処理に関する知識や技術を養うことを目指すものとする。

到達目標

①コンピュータの基本構成を理解の上で基本操作を習得する。
②アプリケーションソフトの基本機能を理解し、基本的なスキルを習得する。
③インターネットを利用した情報検索や情報発信を学び、インターネットを使いこなす。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	オリエンテーション パソコンの基本操作	パソコンの構成とソフトウェア、WindowsOSの基礎知識、基本操作、 E-メールのアカウントの設定、情報モラル	予習90分：PCの操作法を確認する。 復習90分：教科書1章を見直す。
第2回	Wordの活用（1）	Wordの基本操作、基本編集	予習90分：教科書2章を読む。 復習90分：教科書2章（p.23-

			30, p.33-36, p.67,を見直す。
第3回	Wordの活用（2）	文書作成	予習90分：教科書2章(p.31-32, p.37-51)を読む。 復習90分：教科書2章（p.24-30, p.33-36, p.68,を見直す。
第4回	Wordの活用（3）	表の作成	予習60分：教科書2章（p.52-55)を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第5回	Wordの活用（4）	図形を描く	予習90分：教科書2章（p.56-66)を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第6回	総括と学習到達度の確認（Word応用）	2 回目～5回目の授業についての総括を行い、学習到達度の確認として応用課題を実施する。（WORD応用課題）	予習90分：教科書2章を見直す。 復習60分：回答できなかった部分を再確認する
第7回	インターネットの利用	インターネットの概要、Webブラウザと検索、 本大学の図書館資料検索（OPAC)	予習90分：教科書6章を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第8回	PowerPointの活用(1)	プレゼンテーションの概要、スライドの作成	予習90分：教科書3章(p.71-85)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第9回	PowerPointの活用(2)	医療学会の発表会で使えるアニメーションの作成	予習90分：教科書3章(p.86-90)を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第10回	Excelの活用（1）	Excelの基本操作 (アンケート用紙の作成）	予習90分：教科書4章(p.94-116)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第11回	Excelの活用（2）	数値入力と関数とグラフ	予習90分：教科書4章(p.117-137)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第12回	Excelの活用（3）	アンケートデータの入力と集計	予習90分：教科書4章(p.138-149)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第13回	Excelの活用（4） データ分析	関係を求める（相関係数）	予習60分：教科書4章(p.121, p.192-193)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第14回	総括と学習到達度の確認（Excelの実技）	10 回目～13 回目の授業についての総括を行い、学習到達度の確認テスト（実技テスト）を実施する。	予習90分：教科書4章を見直す。 復習：回答できなかった問題を再確認する
第15回	情報発言	医療機関おける個人情報保護に関する調べたテーマをポスターにする。 最終課題：ポスター作成	予習90分：前回に配布された資料を読む。

教科書
医療系のための情報リテラシー ISBN-978-4489022050 松木秀明 (著), 須藤真由美 (著), 松木勇樹 (著) 東京図書
参考書
30時間アカデミック 情報リテラシー Office2016 Windows 10対応 実教出版 ISBN:978-4-407-34023-5 実教出版編集部
成績評価の方法・基準
単位認定 60点以上 課題 (20%)、実技テスト(40%)、応用課題・最終課題（40%） で評価する。 *定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
① 課題に対する質問や解答例を次回の授業で公表し、解説をおこなう。 ② 課題の完成版を配布し、または、その処理の仕方の動画をオンラインで公開することもある。
履修のポイント
上記授業内容については、あらかじめ自己学習しておくことをすすめる。配布資料及び教科書の該当箇所を参照し、学習内容に応じた準備学習（予習・復習）を行うこと。
オフィス・アワー
毎週金曜日 昼休み 研究室：9号館3F 第12研究室（情報環境研究室） メール：prof.mach.dr@gmail.com

講義コード	10290002
講義名	情報処理基礎演習（Bクラス）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	４時限
区分	学部共通科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-R011
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ マチャコン ヘルチェル	指定なし

授業の概要と教育目標

我々の生活や仕事は情報化によって変化している。病院では、患者に関する情報がコンピュータによって処理されている。ICT「情報通信技術」時代の要請にそって、情報処理の教育は必要である。そこで、コンピュータやネットワークの利用を通して、情報処理を学ぶ。演習を通して、コンピュータの基本的な操作法を習得する。更に、インターネットに関する知識や技術も習得する。
アプリケーションソフト（Office 2016/2019：Word, Excel, Powerpoint)やインターネットに関する知識や技術を習得するとともに、コンピュータリテラシーの向上を目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、臨床現場でチーム医療の一員として活躍し、そこで調整する能力及び問題を解決する能力の修得を目標とする。これにおいて、情報処理能力が求められているため、情報処理に関する知識や技術を養うことを目指すものとする。

到達目標

①コンピュータの基本構成を理解の上で基本操作を習得する。
②アプリケーションソフトの基本機能を理解し、基本的なスキルを習得する。
③インターネットを利用した情報検索や情報発信を学び、インターネットを使いこなす。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	オリエンテーション パソコンの基本操作	パソコンの構成とソフトウェア、WindowsOSの基礎知識、基本操作、 E-メールのアカウントの設定、情報モラル	予習90分：PCの操作法を確認する。 復習90分：教科書1章を見直す。
第2回	Wordの活用（1）	Wordの基本操作、基本編集	予習90分：教科書2章を読む。 復習90分：教科書2章（p.23-

			30, p.33-36, p.67,を見直す。
第3回	Wordの活用（2）	文書作成	予習90分：教科書2章(p.31-32, p.37-51)を読む。 復習90分：教科書2章（p.24-30, p.33-36, p.68,を見直す。
第4回	Wordの活用（3）	表の作成	予習60分：教科書2章（p.52-55)を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第5回	Wordの活用（4）	図形を描く	予習90分：教科書2章（p.56-66)を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第6回	総括と学習到達度の確認（Word応用）	2 回目～5回目の授業についての総括を行い、学習到達度の確認として応用課題を実施する。（WORD応用課題）	予習90分：教科書2章を見直す。 復習60分：回答できなかった部分を再確認する
第7回	インターネットの利用	インターネットの概要、Webブラウザと検索、 本大学の図書館資料検索（OPAC)	予習90分：教科書6章を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第8回	PowerPointの活用(1)	プレゼンテーションの概要、スライドの作成	予習90分：教科書3章(p.71-85)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第9回	PowerPointの活用(2)	医療学会の発表会で使えるアニメーションの作成	予習90分：教科書3章(p.86-90)を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第10回	Excelの活用（1）	Excelの基本操作 (アンケート用紙の作成）	予習90分：教科書4章(p.94-116)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第11回	Excelの活用（2）	数値入力と関数とグラフ	予習90分：教科書4章(p.117-137)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第12回	Excelの活用（3）	アンケートデータの入力と集計	予習90分：教科書4章(p.138-149)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第13回	Excelの活用（4） データ分析	関係を求める（相関係数）	予習60分：教科書4章(p.121, p.192-193)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第14回	総括と学習到達度の確認（Excelの実技）	10 回目～13 回目の授業についての総括を行い、学習到達度の確認テスト（実技テスト）を実施する。	予習90分：教科書4章を見直す。 復習：回答できなかった問題を再確認する
第15回	情報発言	医療機関おける個人情報保護に関する調べたテーマをポスターにする。 最終課題：ポスター作成	予習90分：前回に配布された資料を読む。

教科書
医療系のための情報リテラシー ISBN-978-4489022050 松木秀明 (著), 須藤真由美 (著), 松木勇樹 (著) 東京図書
参考書
30時間アカデミック 情報リテラシー Office2016 Windows 10対応 実教出版 ISBN:978-4-407-34023-5 実教出版編集部
成績評価の方法・基準
単位認定 60点以上 課題 (20%)、実技テスト(40%)、応用課題・最終課題（40%） で評価する。 *定期試験は実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
① 課題に対する質問や解答例を次回の授業で公表し、解説をおこなう。 ② 課題の完成版を配布し、または、その処理の仕方の動画をオンラインで公開することもある。
履修のポイント
上記授業内容については、あらかじめ自己学習しておくことをすすめる。配布資料及び教科書の該当箇所を参照し、学習内容に応じた準備学習（予習・復習）を行うこと。
オフィス・アワー
毎週金曜日 昼休み 研究室：9号館3F 第12研究室（情報環境研究室） メール：prof.mach.dr@gmail.com

講義コード	10300001
講義名	情報処理応用演習（Aクラス）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	２時限
区分	学部共通科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-C026
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ マチャコン ヘルチェル	指定なし

授業の概要と教育目標

「情報処理基礎演習」に引き続き、看護研究や学習において欠かせない情報処理能力を向上させるよう、より応用的な形で情報処理方法を学ぶ。PCとインターネットを活用して、看護医療データの収集や整理、Excelによる統計処理方法を含む、データ・情報の解析方法についての演習を行う。医療分野におけるコンピュータと情報の応用的なスキルを中心に、マルチメディアやコンピュータグラフィックスに関する基礎的編集技術も身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、臨床現場でチーム医療の一員として活躍し、そこで調整する能力及び問題を解決する能力の修得を目標とする。これにおいて情報処理能力が求められているため、俵計算ソフトによる統計処理方法を含む、データ・情報の解析方法、マルチメディアやコンピュータグラフィックスに関する知識や技術を養うことを目指すものとする。

到達目標

①Excelを利用して、医療・看護データを統計処理スキルを身につける。
②オープンデータの活用ができる。
③音声ファイルの編集加工ができる。
④画像編集ソフトや医用画像ソフトの簡単な操作ができる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	Excelの復習	Excelの基本操作の復習	予習90分：Excelの基本操作を再確認する。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第2回	Excel応用(1)	アンケート調査, クロス集計表, ピボットテーブル	予習90分：教科書1章(p.2-8), 12章(p.160-171)を読む。復習90分：授業で学習した内容を再確認する。

第3回	Excel応用(2)	データの種類 度数分布表によるデータのまとめ方（ヒストグラム）	予習90分：教科書(p. xv～xxiv), 2章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第4回	Excel応用(3)	平均値と標準偏差によるデータのまとめ方 散布図・相関係数によるデータのまとめ方	予習90分：教科書3章,5章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第5回	Excel応用(4)	回帰直線によるデータのまとめ方 確率分布とその数表の作り方	予習90分：教科書6章,8章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第6回	Excel応用(5)	リスク比とオッズ比 区間推定によるデータのまとめ方	予習90分：教科書7章(p.83-88),9章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第7回	Excel応用(6)	仮説の検定によるデータのまとめ方	予習90分：教科書10-11章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第8回	Excel応用(7)	重回帰分析によるデータのまとめ方	予習90分：教科書13章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第9回	総括と学習到達度の確認（Excelの実技）	1回目～9 回目の授業についての総括を行い、学習到達度の確 認テスト（実技テスト）を実施する	予習90分：第１回～第9回の授業で学習した内容を確認する。 復習90分：回答できなかった問題を再確認する
第10回	データの可視化(1) オープンデータの活用	Gapminderの使い方：各自関心のあるテーマを選択し、Gapminderを用いて、データを可視化する	予習90分：オープンデータについてインターネットで調べる。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第11回	データの可視化(2) オープンデータの活用	Group Work (アクティブ・ラーニング：ディスカッション＆コラボレーション） 可視化データをPowerPointを用いてまとめる	予習90分：収集したデータを分析し、考えたストーリーをPowerPointでまとめる。
第12回	データの可視化(3) オープンデータの活用	Group Work (プレゼンテーション）：必修 可視化データをPowerPointを用いて、説明する （受講者の人数により、回数を変更する場合があります）	予習90分：プレゼンテーションの練習をする。
第13回	マルチメディア情報処理	音声ファイルの編集・加工（呼吸音）	予習90分：前回に配布された資料を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第14回	コンピュータグラフィックス	画像ファイルの編集・加工	予習90分：前回に配布された資料を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第15回	医療情報	DICOM形式医用画像	予習90分：前回に配布された資料を読む。

教科書
よくわかる統計学 看護医療データ編 第2版 東京図書 ISBN-13: 978-4489021916 石村 貞夫 (著), 石村 友二郎 (著), 久保田 基夫 (著)
参考書
①医療系のための情報リテラシー ISBN-978-4489022050 東京図書 ② 教育・心理系研究のためのデータ分析入門 第2版 東京図書 ISBN-13: 978-4489022623 ③参考資料を配布する。
成績評価の方法・基準
単位認定 60点以上 課題 (20%)、実技テスト(50%)、プレゼンテーション(30%) で評価する。 *定期試験を実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
① 課題に対する質問や解答例を次回の授業で公表し、解説をおこなう。 ② 課題の完成版を配布し、または、その処理の仕方の動画をオンラインで公開することもある。
履修のポイント
①上記授業内容については、あらかじめ自己学習しておくことをすすめる。配布資料及び教科書の該当箇所を参照し、学習内容に応じた準備学習（予習・復習）を行うこと。 ②「情報処理基礎演習」と「統計学」を履修済みであることが望ましい。
オフィス・アワー
毎週金曜日 昼休み 研究室：9号館3F 第12研究室（情報環境研究室） メール：prof.mach.dr@gmail.com

講義コード	10300002
講義名	情報処理応用演習（Bクラス）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	５時限
区分	学部共通科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-C026
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ マチャコン ヘルチェル	指定なし

授業の概要と教育目標

「情報処理基礎演習」に引き続き、看護研究や学習において欠かせない情報処理能力を向上させるよう、より応用的な形で情報処理方法を学ぶ。PCとインターネットを活用して、看護医療データの収集や整理、Excelによる統計処理方法を含む、データ・情報の解析方法についての演習を行う。医療分野におけるコンピュータと情報の応用的なスキルを中心に、マルチメディアやコンピュータグラフィックスに関する基礎的編集技術も身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、臨床現場でチーム医療の一員として活躍し、そこで調整する能力及び問題を解決する能力の修得を目標とする。これにおいて情報処理能力が求められているため、俵計算ソフトによる統計処理方法を含む、データ・情報の解析方法、マルチメディアやコンピュータグラフィックスに関する知識や技術を養うことを目指すものとする。

到達目標

①Excelを利用して、医療・看護データを統計処理スキルを身につける。
②オープンデータの活用ができる。
③音声ファイルの編集加工ができる。
④画像編集ソフトや医用画像ソフトの簡単な操作ができる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	Excelの復習	Excelの基本操作の復習	予習90分：Excelの基本操作を再確認する。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第2回	Excel応用(1)	アンケート調査, クロス集計表, ピボットテーブル	予習90分：教科書1章(p.2-8), 12章(p.160-171)を読む。復習90分：授業で学習した内容を再確認する。

第3回	Excel応用(2)	データの種類 度数分布表によるデータのまとめ方（ヒストグラム）	予習90分：教科書(p. xv～xxiv), 2章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第4回	Excel応用(3)	平均値と標準偏差によるデータのまとめ方 散布図・相関係数によるデータのまとめ方	予習90分：教科書3章,5章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第5回	Excel応用(4)	回帰直線によるデータのまとめ方 確率分布とその数表の作り方	予習90分：教科書6章,8章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第6回	Excel応用(5)	リスク比とオッズ比 区間推定によるデータのまとめ方	予習90分：教科書7章(p.83-88),9章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第7回	Excel応用(6)	仮説の検定によるデータのまとめ方	予習90分：教科書10-11章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第8回	Excel応用(7)	重回帰分析によるデータのまとめ方	予習90分：教科書13章を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第9回	総括と学習到達度の確認（Excelの実技）	1回目～9 回目の授業についての総括を行い、学習到達度の確 認テスト（実技テスト）を実施する	予習90分：第１回～第9回の授業で学習した内容を確認する。 復習90分：回答できなかった問題を再確認する
第10回	データの可視化(1) オープンデータの活用	Gapminderの使い方：各自関心のあるテーマを選択し、Gapminderを用いて、データを可視化する	予習90分：オープンデータについてインターネットで調べる。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第11回	データの可視化(2) オープンデータの活用	Group Work (アクティブ・ラーニング：ディスカッション＆コラボレーション） 可視化データをPowerPointを用いてまとめる	予習90分：収集したデータを分析し、考えたストーリーをPowerPointでまとめる。
第12回	データの可視化(3) オープンデータの活用	Group Work (プレゼンテーション）：必修 可視化データをPowerPointを用いて、説明する （受講者の人数により、回数を変更する場合があります）	予習90分：プレゼンテーションの練習をする。
第13回	マルチメディア情報処理	音声ファイルの編集・加工（呼吸音）	予習90分：前回に配布された資料を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第14回	コンピュータグラフィックス	画像ファイルの編集・加工	予習90分：前回に配布された資料を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第15回	医療情報	DICOM形式医用画像	予習90分：前回に配布された資料を読む。

教科書
よくわかる統計学 看護医療データ編 第2版 東京図書 ISBN-13: 978-4489021916 石村 貞夫 (著), 石村 友二郎 (著), 久保田 基夫 (著)
参考書
①医療系のための情報リテラシー ISBN-978-4489022050 東京図書 ② 教育・心理系研究のためのデータ分析入門 第2版 東京図書 ISBN-13: 978-4489022623 ③参考資料を配布する。
成績評価の方法・基準
単位認定 60点以上 課題 (20%)、実技テスト(50%)、プレゼンテーション(30%) で評価する。 *定期試験を実施しない。
課題等に対する フィードバックの方法
① 課題に対する質問や解答例を次回の授業で公表し、解説をおこなう。 ② 課題の完成版を配布し、または、その処理の仕方の動画をオンラインで公開することもある。
履修のポイント
①上記授業内容については、あらかじめ自己学習しておくことをすすめる。配布資料及び教科書の該当箇所を参照し、学習内容に応じた準備学習（予習・復習）を行うこと。 ②「情報処理基礎演習」と「統計学」を履修済みであることが望ましい。
オフィス・アワー
毎週金曜日 昼休み 研究室：9号館3F 第12研究室（情報環境研究室） メール：prof.mach.dr@gmail.com

講義コード	10310001
講義名	文献検索とクリティーク
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
区分	学部共通科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-C043
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ マチャコン ヘルチェル	指定なし

授業の概要と教育目標

科学論文の検索方法について理解し、実践する。実際の論文を例にとり、論文の背景や目的、研究方法、結果、考察などの記述の仕方を学ぶ。さらに論文に対する批評的な読解法についても学習する。科学論文の検索方法を習得し、研究論文に対する批評的な読解法を学び、文献クリティークの基礎能力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、臨床現場でチーム医療の一員として活躍し、そこで調整する能力及び問題を解決する能力を修得を目標とする。臨床で働く看護師は、問題を解決し、研究を行うために、文献や情報検索や論文のクリティークする機会が多い。そこで、この科目では、文献や情報の検索方法、クリティークに関する知識や技術を養うことを目指すものとする。

到達目標

① 情報・文献検索ができる。
② 論文のクリティークを行うことができる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	オリエンテーション	授業の進め方、文献とは何か 研究論文とは何か 課題：英文論文読解	復習90分：授業で学習した内容を再確認する。 英文論文の内容をまとめる。
第2回	学習到達度の確認	①課題提出 ②英文論文の内容を理解したかどうかの確認（Q&A方式） （一人一人への質問）	予習90分：授業で配布された英文論文の内容を再確認する。 復習90分：質問で答えられな

		（受講者の人数により、回数を変更する場合がある。）	かった部分に関して、論文を読んで再確認する。
第3回	①情報検索 ②文献検索（1）	① 看護とWeb検索・文献検索 （サーチエンジンによる情報・文献検索） ② データベースで調べてみよう (NDL-OPAC（国立国会図書館蔵書検索) 最新看護索引Web	予習90分：教科書1章、書2章(2-3,2-4)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第4回	文献検索（2）	文献の探し方：国内の電子ジャーナル・データベース 医学中央雑誌Web 版、JDreamII、CiNii	予習90分：教科書2章(2-1,2-2,2-5)を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第5回	文献検索（3） （和文編）	文献の探し方：国内の電子ジャーナル・データベース メディカルオンライン	予習90分：前回に配布された資料を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第6回	文献検索（4） （欧文編）	文献の探し方：外国の電子ジャーナル・データベース PubMed、Cochrane	予習90分：教科書2章(2-6)を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第7回	文献検索（5）	看護に役立つデータベースとWebサイト	予習90分：教科書3章を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第8回	総括と学習到達度の確認 （文献検索の実技）	2回目～6回目の授業についての総括を行い、学習到達度の確 認テスト（実技テスト）を実施する。	予習90分：教科書1章-2章で学習した内容を確認する。 復習90分：回答できなかった問題を再確認する
第9回	科学研究論文のクリティーク（1）	クリティークとは何か	予習90分：前回に配布された資料を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第10回	科学研究論文のクリティーク（2）	研究における統計学の基本知識の復習	予習90分：前回に配布された資料を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
第11回	科学研究論文のクリティーク（3）	国内のジャーナルから原著論文(和文）のクリティーク	予習90分：前回に配布された資料を読む。 復習60分：授業で学習した内容を再確認する。
第12回	グループワーク1： 文献レビュー・マトリックスの作成（１）	(アクティブ・ラーニング：ディスカッションやコラボレーション） 医療分野の研究テーマの選択、文献の収集	予習90分：前回に配布された資料を読む。 復習90分：授業で学習した内容を再確認する。
	グループワー	(アクティブ・ラーニング：ディスカッションやコラボ	予習90分：前回に収集した文献

第13回	ク2： 文献レビュー・マトリックスの作成（2）	レーション） 12回目の授業で選んだテーマに関して、収集した文献を整理する	の内容を確認する。 復習90分：文献レビュー・、マトリックスの内容を再確認する。
第14回	総括と学習到達度の確認（1）（文献レビュー・マトリックスのまとめ）	文献レビューのプレゼンテーションまたはインタビュー (必修) （受講者の人数により、回数を変更する場合がある。）	予習90分：作成した文献レビュー・マトリックスを再確認する。
第15回	総括と学習到達度の確認（2）（文献レビュー・マトリックスのまとめ）	文献レビューのプレゼンテーションまたはインタビュー (必修) （受講者の人数により、回数を変更する場合がある。）	予習90分：作成した文献レビュー・マトリックスを再確認する。

教科書

看護師のためのWeb検索・文献検索入門 (JJNスペシャル), 医学書院 ISBN-13: 978-4260019125
佐藤 淑子／和田 佳代子

参考書

1.看護研究のための文献検索ガイド 第4版 増補版
（日本看護協会出版会）ISBN-13: 978-4818014985
2. 参考資料を配布する。

成績評価の方法・基準

単位認定 60点以上
課題（10%）、論文読解（15%)、実技テスト（35%)、プレゼンテーション・インタビュー(40%）で評価する。

*定期試験は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

① 課題に対する質問や解答例を次回の授業で公表し、解説をおこなう。
② 課題の処理の仕方の動画をオンラインで公開することもある。

履修のポイント

①上記授業内容については、あらかじめ自己学習しておくことをすすめる。配布資料及び教科書の該当箇所を参照し、学習内容に応じた準備学習（予習・復習）を行うこと。
②「統計学」を履修済みであることが望ましい。
③ 多くの研究論文を読むことをすすめる。

オフィス・アワー

毎週金曜日 昼休み 研究室：9号館3F 第12研究室（情報環境研究室）
メール：prof.mach.dr@gmail.com

講義コード	10320001
講義名	医療保健論
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期（重複①）
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	１時限
区分	専門基礎科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-R120
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 髙橋 美砂子	指定なし

授業の概要と教育目標

地域社会は、保健医療の目的である「健康」に大きな影響力を有する。まず、地域社会のいかなる要因が健康に影響を及ぼすかについて、自分が生活する地域の自然環境、生活環境、政治、風土、特産物等の要因について検討し、それに対する現状の保健福祉施策について学習する。その上で今後の地域社会の住民の健康のために必要な保健医療サービスについて考える。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本学のディプロマ・ポリシーである医療保健分野に関する幅広い知識と確かな技術を修得するための序章として科目であり、日本の国民健康づくり施策および身近な地域の健康づくり計画とその背景について理解する。社会環境の質としてのソーシャルキャピタル、社会とのつながり（ネットワーク）等をキーワードに地域を構成する人々の健康と保健医療福祉サービスの関連について理解・説明することができることを目指す。

到達目標

１．日本の健康つくりについて理解できる ２．地域社会での暮らしと健康の関連が理解できる ３．健康な生活を送りための社会資源とその活用が理解できる ４．地域力と健康の関係が理解できる ５．これからの日本や身近な地域の保健医療問題を考えることができる

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	医療と保健⑴	・授業ガイダンス・日本の保健医療福祉の現状について 毎回書き込み用ワークノートを配布し、授業内容を整理する。 【アクティブ・ラーニングの内容】 日本の歳入出と社会保障費、医療費ことを自分の家計に置きかえて考えたときについてディスカッション	〔予習60分〕日本の保健医療福祉に関する最近の話題を調べる 〔復習60分〕 ワークノートを仕上げ、授業内容を整理する。わからなことろは次回必ず質問する。
		・日本の健康づくり政策の変遷と健康日本21(2次)	〔予習60分〕日本の保健医療福祉に関する最近の話題を調べる

第2回	医療と保健⑵	毎回書き込み用ワークノートを配布し、授業内容を整理する。 【アクティブ・ラーニングの内容】 少子高齢社会の現状について、意見交換する	〔復習60分〕 ワークノートを仕上げ、授業内容を整理する。わからなことろは次回必ず質問する。
第3回	地域と健康⑴	・健康寿命と健康格差とは ・日常の生活習慣と生活習慣病について 毎回書き込み用ワークノートを配布し、授業内容を整理する。 【アクティブ・ラーニングの内容】 自分たちの生活習慣を見直すためのディスカッション	〔予習60分〕生活習慣病について調べること 〔復習60分〕 ワークノートを仕上げ、授業内容を整理する。わからなことろは次回必ず質問する。
第4回	地域と健康⑵	・群馬県の特徴と健康づくり施 ・大学隣接の市の特徴と健康づくり施策 毎回書き込み用ワークノートを配布し、授業内容を整理する	〔予習60分〕群馬県、みどり市、桐生市野の基本統計について調べる 〔復習60分〕 ワークノートを仕上げ、授業内容を整理する。わからなことろは次回必ず質問する。
第5回	地域と健康⑶	【アクティブ・ラーニングの内容】 ・健康づくりワークショップ 生活習慣病予防のための啓発教材の作成	〔予習60分〕ワークショップに活用する資料を教材を準備し、授業時に持参する。 〔復習60分〕健康への関心を高める他の方法について調べる
第6回	保健医療と社会資源⑴	・地域力としてのソーシャルキャピタルと保健、医療、福祉 毎回書き込み用ワークノートを配布し、授業内容を整理する	〔予習60分〕地域の持つ力についての文献を検索する 〔復習60分〕 ワークノートを仕上げ、授業内容を整理する。わからなことろは次回必ず質問する。
第7回	保健医療と社会資源⑵	・保健医療の専門職について・地域ケアシステムとネットワーク（チーム連携）のあり方 毎回書き込み用ワークノートを配布し、授業内容を整理する 【アクティブ・ラーニングの内容】 連携する専門職ついて調べて発表する	〔予習60分〕保健医療の専門職についてどのような職種があるのか資料をみておく 〔復習60分〕 ワークノートを仕上げ、授業内容を整理する。わからなことろは次回必ず質問する。
第8回	保健医療の今後展望	・本講座のポイント、振り返り・自分の考えを述べる（まとめ）レポート（論述問題について） ・健康づくりワークショップの作品講評 【授業評価】	〔予習60分〕論述課題の解決に関する文献を見つける 〔復習60分〕 これまでの授業内容を振り返る。自分の興味のあるテーマを選定、記述できるようにする。

教科書

授業時に毎回、書き込み資料（ワークノート）を配布します。

参考書

国民衛生の動向、医療福祉総合ガイドブック(医学書院）、社会福祉士シリーズ17保健医療サービス（弘文堂）〔予習50分〕
その他、必要時紹介します。

成績評価の方法・基準

単位認定は60点以上。記述問題60%、 ワークショップ30%、 ワークノート10%
課題等に対する フィードバックの方法
自分で調べて、考える学習を取り入れます。体験型学習（ワークショップ）もしますので、準備をしてきてください。
履修のポイント
私たちが生活している地域のことをよく知り、自然環境や習慣、世間体など様々な社会資源と、健康・医療問題を関連付けて考えられる、そんな問題提起をしていきます。
オフィス・アワー
授業開講曜日（水曜日）および研究室在室時は対応します。（10号館2階）

講義コード	10330001
講義名	チーム連携論
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
区分	専門基礎科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-C160
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 髙橋 美砂子	指定なし
教員	片野 吉子	指定なし

授業の概要と教育目標

今日の医療ニーズの多様化に対応したより良質なサービスを提供するためには、医療・保健・福祉などの多様な専門職による役割と機能の有機的な連携や協働が必要不可欠である。本授業では、チーム医療の意義を理解し、チームアプローチの実際についてグループ討議を通して学習する（オムニバス方式全15回）。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本学のディプロマ・ポリシーである幅広い知識と確かな技術を修得するために、医療・保健・福祉領域の各専門職種の役割、機能、責任についてさらに学習し、より専門性の高い良質なサービス提供を目指すチーム医療実現のための役割と機能について理解し、将来その一端を担う人材となることを目指す。

到達目標

１．チーム医療の背景、あり方、倫理といった基本的な知識を習得し、説明できる。
２．各専門職に対する理解を深めるとともに、チーム構成員の役割、機能、責任を説明できる。
３．情報の伝達やコミュニケーションの重要性について、異なる専攻学生とのグループワークの中で実践できる。
４．効果的で円滑なチーム医療を展開する方法についてグループ発表やレポート報告ができる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	チーム連携の基本（１）	・授業ガイダンス ・連携の概念、目的、目標 ・連携のプロセス	〔予習90分〕これまでの実習を振り返り、連携した職種について整理する 〔復習90分〕授業時に配布した資料を再度復習し、内容を理解する。わからないことは次回必ず質問する。
		・チームとは ・チームワークの利点と課題	〔予習90分〕これまでの実習を振り返

第2回	チーム連携の基本（２）	・リーダーシップとは 【アクティブラーニングの内容】 グループワークの進め方について意見を聞く	り、連携した職種について整理する 〔復習90分〕授業時に配布した資料を再度復習し、内容を理解する。わからないことは次回必ず質問する。
第3回	地域ケアにおける連携（１）	・連携する医療保健福祉分野の専門職 【アクティブラーニングの内容】グループワーク グループ毎に連携する職種を詳しく調べ、発表して学習したことを全員で共有する。	〔予習90分〕早期体験合同実習等の学びを振り返り更に詳しく調べて、その資料作成をする。 〔復習90分〕本日のグループワークで学んだことを各自まとめる
第4回	地域ケアにおける連携（２）	・地域包括ケアシステムについて ・退院支援における多職種連携について 【アクティブラーニングの内容】グループワーク ＤＶＤをみて、 ワークブックを活用して、グループ毎に学習を整理する	〔予習90分〕地域包括ケアシステムに関する文献を検索する 〔復習90分〕学習した内容からワークブックを仕上げる。
第5回	地域ケアにおける連携（３）	・住み慣れた地域で暮らす高齢者の療養生活を支援する他職種連 携の在り方を考える 【アクティブラーニングの内容】グループワーク ＤＶＤをみて、 ワークブックを活用して、学習を整理する	〔予習90分〕地域での療養に関する文献を検索する 〔復習90分〕学習した内容からワークブックを仕上げる。
第6回	地域ケアにおける連携（４）	【アクティブラーニングの内容】 ・事例検討の方法 ・事例検討におけるグループワークの実際 ・情報共有ワークシートを使っってのアセスメント	〔予習90分〕地域での療養に関する文献を検索する 〔復習90分〕学習した内容からワークブックを仕上げる。
第7回	チーム医療の実際（１）	・チーム医療とは 【外部講師】 チーム医療の実際（１） 施設におけるチーム医療	〔予習90分〕ＮＳＴについて予習する 〔復習90分〕授業時に配布した資料を再度復習し、内容を理解する。
第8回	チーム医療の実際（２）	・チーム医療の実際（２） 【外部講師】 施設におけるチーム医療 （中間授業評価）	〔予習90分〕ＲＳＴについて予習する 〔復習90分〕授業時に配布した資料を再度復習し、内容を理解する。
第9回	チーム医療の実際（３）	・チーム医療の実際（３） 【外部講師】 施設におけるチーム医療	〔予習90分〕糖尿病チームについて予習する 〔復習90分〕授業時に配布した資料を再度復習し、内容を理解する。
第10回	チーム医療の実際（４）	・チーム医療の実際（４） 【外部講師】 施設におけるチーム医療	〔予習90分〕褥瘡チームについて予習する 〔復習90分〕授業時に配布した資料を再度復習し、内容を理解する。
		【アクティブラーニングの内	

第11回	チーム連携の事例検討(１)	容】 ・事例検討グループワーク グループメンバーの役割、ルールを決める 事例の紹介 (在宅療養を希望するがん末期患者の事例)	〔予習90分〕事例の背景について、わからないことを調べておく。 〔復習90分〕授業時に配布した資料を再度復習し、内容を理解する。
第12回	チーム連携の事例検討(２)	【アクティブラーニングの内容】 ・事例検討グループワーク ワークシートを用いて、情報の整理とアセスメント かかわる職種の役割と連携	〔予習90分〕事例の背景について、わからないことを調べておく。 〔復習90分〕 発表資料を作成し、提出する。
第13回	チーム連携の事例検討(３)	【アクティブラーニングの内容】 ・事例検討グループワーク 発表用資料の作成、提出	〔予習90分〕発表資料作成で必要なものを準備する 〔復習90分〕発表資料を作成し、指定日までに提出する。
第14回	事例検討のまとめ(発表)	【アクティブラーニングの内容】 ・事例検討グループワーク 発表 発表会の運営について（係とその役割）	〔予習90分〕他のグループの発表について内容を理解した上で質問を考える。 〔復習90分〕他のグループ発表を参考にわかりやすく発表する練習をする
第15回	事例検討のまとめ(発表)	【アクティブラーニングの内容】 ･事例検討グループワーク 発表（つづき） チームで協働することからの気づき レポート課題ついて （最終授業評価）	〔予習90分〕 他のグループの発表について内容を理解した上で質問を考える。 〔復習90分〕この授業で学修したことからまとめレポートを書くテーマについて考える。

教科書

指定の教科書はありません。必要時、資料を配布します。

参考書

地域包括ケアと多職種連携(日本医師会）
平成２７年度文部科学省「成長分野における中核的専門人材育成等の戦略的推進事業

成績評価の方法・基準

単位認定は60点以上とする。 ①グループワークの参加状況、②発表資料作成、③発表態度・・・30%、 ワークブックの書き込み・レポート・・・70%

課題等に対する
フィードバックの方法

授業で配布したワークブックは書き込みと問題回答をし提出した後、まとめレポートと一緒にコメントして返却する。

履修のポイント

患者や地域住民を中心とした良質な保健医療サービスを提供するためには、チームによる協働は必要不可欠である。これまでの実習を振り返り、知識の補強をしましょう。認定看護師によるチームケアの実際を聞く機会を設けました。

オフィス・アワー

授業開講日および研究室にいる場合、いつでも対応します。（10号館２階）

講義コード	10340001
講義名	早期体験合同実習
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	実験・実習
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
区分	専門基礎科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-R110
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 三木 園生	指定なし
教員	伊藤 美鈴	指定なし

授業の概要と教育目標

学習初期の時期に対象者の立場から、医療・保健施設の現場を知り、施設を利用している人々と関わることを通して、対象者について理解を深める。また、自己の専攻する専門職の役割について考えることで、今後の学習の動機づけとし、主体的に学ぶための方法を理解する。
本科目は、看護学科・栄養学科合同実習とすることで、自己理解とともに、専攻の異なる学生間で認識を共有し、チーム連携の重要性を知る機会とすることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、対象者を理解し、将来的に臨床現場でチーム医療の一員として活躍するための基本的な考え方を獲得することを目指すものとする。

到達目標

1．対象者の立場から、医療施設のサービスを観察する。
2．看護師の活動を観察し、その役割を知る。
3．各専門職の役割を知り、その連携について考える。
4．今後の学習上の課題を明らかにする。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	学内実習①	オリエンテーション・事前課題	復習90分：オリエンテーションを受け、実習に臨む姿勢について考える。事前課題に取り組む。
	学内	施設別・グループ別演習 【アクティブラーニングの内容】	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確

第2回	実習②	グループディスカッションにより、事前学習した内容を確認しあい、翌日からの臨地実習に向けて準備する	認する。復習90分：グループ別演習を通して学んだことをまとめ、振り返る。
第3回	臨地実習①	対象者の立場から医療施設のサービスを観察する カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。復習90分：観察したことをまとめ、振り返る。
第4回	臨地実習②	看護師の活動を知る カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。復習90分：観察したことをまとめ、振り返る。
第5回	臨地実習③	各専門職の活動を知り、連携について考える カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。復習90分：観察したことをまとめ、振り返る。
第6回	学内実習③	グループ別演習・実習のまとめ 【アクティブラーニングの内容】 午前：グループごとにまとめを行う 午後：栄養学科と合同で、実習で得られた成果を発表し、認識を共有する	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。臨地実習で学んだことをまとめ、グループ別演習に向けて準備する。復習90分：実習全体を振り返り、レポートにまとめる。

教科書

別途指示します。

参考書

鷹野和美編著：チーム医療論、医歯薬出版株式会社

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
事前課題・日々の記録・事後レポート等により、総合的に評価します

課題等に対する
フィードバックの方法

前課題を行ない、臨地実習前のグループワークおよび臨地実習に臨む必要があります。さらに、臨地実習では、日々学んだことを記録し、次の日の学習目標を明確化すること、さらにこの授業で学んだことについてレポート作成します。実習の記録物は返却しますので学習の振り返りに活用してください。

履修のポイント

事前学習、グループワーク、臨地実習で構成されています。臨地実習前の事前学習やグループワークが重要です。積極的に各々参加してください。

オフィス・アワー

曜日に関わらず、在室時は随時対応します。
10号館2階 研究室7

講義コード	10350001
講義名	人体の構造と機能I
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
区分	専門基礎科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R111
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 煙山 健仁	指定なし

授業の概要と教育目標

看護では、各種疾患の病態を正しく把握するために非常に多くの知識が必要となり、正常な体の構造や機能を知ることが大変重要である。骨格、筋肉、各種の臓器、血管系や神経系、さらに感覚器や内分泌腺、などが、体のどこに存在し、どのような形で、それらがどのように統合されているか理解することが必要である。この様な体の構造に加え、看護では生きた人体を扱うので、絶えず働いている各種の臓器・組織の機能も知る必要がある。人体の構造と機能は人体についての知識の基礎であり、病気の理解や看護の実際の基礎となる。
本科目は、人体の構造と機能において、細胞と組織の基本構造と機能、体の支持と運動、栄養の消化と吸収、呼吸と血液の働き、血液の循環とその調節、を理解することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーでは、「看護学の基礎となる、人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について理解していること」、「看護の基本精神・基礎技術を理解した上で、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識を修得していること」が求められており、人体の構造と機能の理解を通して、その目標達成に必要な知識を養う。

到達目標

人間の日常的活動において、体の中で絶え間なく行われている生命活動が、具体的にどの臓器・組織でどの様に行われているかを理解し、その理解に基づいて人間の日常的活動を説明できる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	解剖学・生理学とは	解剖学と生理学の歴史、学問の対象、学習方法 <アクティブラーニングの内容> 「生きるために	予習45分：教科書序章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。

		は？」を考える。	
第2回	細胞組織の基礎１	細胞・組織の構造と機能	予習45分：教科書1章Bを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第3回	細胞組織の基礎２	ATP産生、タンパク質の合成	予習45分：教科書1章Bを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第4回	細胞組織の基礎３	細胞膜の機能、細胞増殖、組織の種類	予習45分：教科書1章Bを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第5回	細胞組織の基礎４	体液とホメオスタシス	予習45分：教科書1章Cを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第6回	細胞組織の基礎５	人体の方向、位置を示す用語、人体の区分	予習45分：教科書1章Aを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第7回	身体の支持と運動１	人体の骨格、骨の連結、骨格筋	予習45分：教科書7章A、B、Cを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第8回	身体の支持と運動２	体幹の骨格と筋	予習45分：教科書7章Dを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第9回	身体の支持と運動３	上肢の骨格と筋、下肢の骨格と筋	予習45分：教科書7章E、Fを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第10回	身体の支持と運動４	頭頚部の骨格と筋	予習45分：教科書7章Gを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第11回	身体の支持と運動５	筋の収縮機構	予習45分：教科書7章Hを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第12回	身体の支持と運動６	骨格・筋系のまとめ	予習45分：骨格・筋系の配布資料を整理する。復習45分：まとめを聞いて、疑問点を再度まとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第13回	栄養の消化と吸収１	口、咽頭、食道の構造と機能	予習45分：教科書2章Aを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第14回	栄養の消化と吸収２	腹部消化管の構造	予習45分：教科書2章Bを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第15回	栄養の消化と吸収３	腹部消化管の機能、排便のメカニズム	予習45分：教科書2章Bを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第16回	栄養の消化と吸収４	糖質、タンパク質、脂肪の消化と吸収	予習45分：教科書2章Bを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第17回	栄養の消化と吸収５	膵臓、肝臓、胆嚢の構造と機能	予習45分：教科書2章C、Dを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第18回	栄養の消化と	消化器系のまとめ	予習45分：消化器系の配布資料を整理する。復習45分：まとめを聞いて、疑問点を再度まとめる。

	吸収６		疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第19回	前半のまとめ	前半のまとめ、中間試験	予習45分：骨格・筋系、消化器系の配布資料を整理する。復習45分：まとめを聞いて、疑問点を再度まとめる。予習とは別に中間試験に向けて学修する。
第20回	呼吸と血液のはたらき１	中間試験の解説、呼吸器の構造、内呼吸と外呼吸	予習45分：教科書3章A、Bを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第21回	呼吸と血液のはたらき２	呼吸気量、ガス交換、酸素と二酸化炭素の運搬	予習45分：教科書3章Bを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第22回	呼吸と血液のはたらき３	呼吸運動の調節、病的呼吸、換気障害	予習45分：教科書3章Bを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第23回	呼吸と血液のはたらき４	血液の組成と機能、血球の機能	予習45分：教科書3章Cを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第24回	呼吸と血液のはたらき５	血漿タンパク質のはたらき、血液凝固、血液型	予習45分：教科書3章Cを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第25回	呼吸と血液のはたらき６	呼吸器系・血液のまとめ	予習45分：呼吸器系・血液の配布資料を整理する。復習45分：まとめを聞いて、疑問点を再度まとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第26回	血液の循環とその調節１	心臓の位置と構造、心臓の拍出機能 、心電図	予習45分：教科書4章A、B、Cを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第27回	血液の循環とその調節２	血圧、心周期 、血圧の調節、微小循環	予習45分：教科書4章Eを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第28回	血液の循環とその調節３	浮腫、 チアノーゼ、心不全、高血圧	予習45分：教科書4章E、Fを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第29回	血液の循環とその調節４	循環器系のまとめ	予習45分：循環器系の配布資料を整理する。復習45分：まとめを聞いて、疑問点を再度まとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第30回	まとめ	人体の構造と機能Iのまとめ	予習45分：これまでの配布資料を整理する。復習45分：まとめを聞いて、疑問点を再度まとめる。予習とは別に期末試験に向けて学修する。

教科書
人体の構造と機能（１）解剖生理学、坂井建雄・岡田隆夫 編集、医学書院
参考書
解剖生理学(ナーシング・グラフィカ)、林正健二 編集、メディカ出版

成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 授業中の中間試験やレポート（40%）、期末試験（60%）で評価する。
課題等に対する フィードバックの方法
授業内での中間試験やレポートは、実施した次の回の授業で内容を解説する。
履修のポイント
自分だけの学習では正しい知識の理解が難しいので、講義に出席することが大切です。 講義では話し（ストーリー）を聞くことに集中して下さい。
オフィス・アワー
月曜日～水曜日、金曜日（09：20～18：10）、10号館病理・解剖実習研究室

講義コード	10360001
講義名	人体の構造と機能II
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	２時限
区分	専門基礎科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R112
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 煙山 健仁	指定なし

授業の概要と教育目標

看護では、各種疾患の病態を正しく把握するために非常に多くの知識が必要となり、正常な体の構造や機能を知ることが大変重要である。骨格、筋肉、各種の臓器、血管系や神経系、さらに感覚器や内分泌腺、などが、体のどこに存在し、どのような形で、それらがどのように統合されているか理解することが必要である。この様な体の構造に加え、看護では生きた人体を扱うので、絶えず働いている各種の臓器・組織の機能も知る必要がある。人体の構造と機能は人体についての知識の基礎であり、病気の理解や看護の実際の基礎となる。
本科目は、人体の構造と機能において、全身の血管、体液の調節と尿の生成、内臓機能の調節、を理解することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーでは、「看護学の基礎となる、人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について理解していること」、「看護の基本精神・基礎技術を理解した上で、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識を修得していること」が求められており、人体の構造と機能の理解を通して、その目標達成に必要な知識を養う。

到達目標

人間の日常的活動において、体の中で絶え間なく行われている生命活動が、具体的にどの臓器・組織でどの様に行われているかを理解し、その理解に基づいて人間の日常的活動を説明できる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	全身の血管１	肺循環と体循環	予習45分：教科書4章Dを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第2回	全身の血管２	動脈と静脈、リンパ	予習45分：教科書4章D、Fを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決で

			きない場合は、早めに質問に来る。
第3回	体液の調節と尿の生成１	腎臓の構造、尿生成のメカニズム	予習45分：教科書5章Aを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第4回	体液の調節と尿の生成２	傍糸球体装置と血圧、腎クリアランスと糸球体の障害	予習45分：教科書5章Aを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第5回	体液の調節と尿の生成３	体液の調節、蓄尿と排尿、水の出納	予習45分：教科書5章B、Cを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第6回	体液の調節と尿の生成４	脱水、電解質異常、酸塩基平衡	予習45分：教科書5章Cを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第7回	体液の調節と尿の生成５	腎・泌尿器系のまとめ	予習45分：腎・泌尿器系の配布資料を整理する。復習45分：まとめを聞いて、疑問点を再度まとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第8回	前半のまとめ	前半のまとめ、中間試験	予習45分：全身の血管、腎・泌尿器系の配布資料を整理する。復習45分：まとめを聞いて、疑問点を再度まとめる。予習とは別に中間試験に向けて学修する。
第9回	内臓機能の調節１	中間試験の解説、自律神経系の構造と機能	予習45分：教科書6章Aを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第10回	内臓機能の調節２	ホルモンの分類と受容体、下垂体、甲状腺	予習45分：教科書6章B、Cを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第11回	内臓機能の調節３	副甲状腺、膵臓、性腺、その他のホルモン	予習45分：教科書6章C、Dを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第12回	内臓機能の調節４	糖代謝、カルシウム代謝、ストレス、血圧	予習45分：教科書6章Eを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第13回	内臓機能の調節５	自律神経系・内分泌系のまとめ	予習45分：自律神経系・内分泌系の配布資料を整理する。復習45分：まとめを聞いて、疑問点を再度まとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第14回	招聘講義	環境生理学	予習45分：図書やインターネットで環境生理学について調べる。復習45分：授業の内容をまとめ、疑問点は早めに質問に来る。
第15回	まとめ	人体の構造と機能IIのまとめ	予習45分：これまでの配布資料を整理する。復習45分：まとめを聞いて、疑問点を再度まとめる。予習とは別に期末試験に向けて学修する。

教科書

人体の構造と機能（１）解剖生理学、坂井建雄・岡田隆夫 編集、医学書院

参考書

解剖生理学(ナーシング・グラフィカ)、林正健二 編集、メディカ出版
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 授業中の中間試験やレポート（40%）、期末試験（60%）で評価する。
課題等に対する フィードバックの方法
授業内での中間試験やレポートは、実施した次の回の授業で内容を解説する。
履修のポイント
自分だけの学習では正しい知識の理解が難しいので、講義に出席することが大切です。講義では話し（ストーリー）を聞くことに集中して下さい。
オフィス・アワー
月曜日～水曜日、金曜日（09：20～18：10）、10号館病理・解剖実習研究室

講義コード	10370001
講義名	人体の構造と機能III
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	１時限
区分	専門基礎科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R121
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 煙山 健仁	指定なし

授業の概要と教育目標

看護では、各種疾患の病態を正しく把握するために非常に多くの知識が必要となり、正常な体の構造や機能を知ることが大変重要である。骨格、筋肉、各種の臓器、血管系や神経系、さらに感覚器や内分泌腺、などが、体のどこに存在し、どのような形で、それらがどのように統合されているか理解することが必要である。この様な体の構造に加え、看護では生きた人体を扱うので、絶えず働いている各種の臓器・組織の機能も知る必要がある。人体の構造と機能は人体についての知識の基礎であり、病気の理解や看護の実際の基礎となる。
本科目は、人体の構造と機能において、神経系の構造と機能、感覚器の構造と機能、皮膚、免疫、体温調節、生殖・発生・老化のメカニズム、を理解することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーでは、「看護学の基礎となる、人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について理解していること」、「看護の基本精神・基礎技術を理解した上で、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識を修得していること」が求められており、人体の構造と機能の理解を通して、その目標達成に必要な知識を養う。

到達目標

人間の日常的活動において、体の中で絶え間なく行われている物質代謝が、具体的にどの臓器・組織でどの様に行われているかを理解し、その理解に基づいて人間の日常活動を説明できる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	情報の受容と処理１	神経系の構造と機能、脊髄の構造と機能	予習45分：教科書8章A、Bを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第2回	情報の受容と処理	脳の構造と機能、脊髄神経と脳神経	予習45分：教科書8章B、Cを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解

	2		決できない場合は、早めに質問に来る。
第3回	情報の受容と処理3	脳の高次機能、中枢神経系の障害	予習45分：教科書8章Dを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第4回	情報の受容と処理4	運動機能と下行伝導路、感覚機能と上行伝導路	予習45分：教科書8章E、Fを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第5回	感覚器の構造と機能１	眼の構造と機能	予習45分：教科書8章Gを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第6回	感覚器の構造と機能２	耳の構造と機能、平衡覚	予習45分：教科書8章Hを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第7回	感覚器の構造と機能３	味覚、嗅覚、痛覚	予習45分：教科書8章I、Jを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第8回	前半のまとめ	前半のまとめ、中間試験	予習45分：神経系・感覚器系の配布資料を整理する。復習45分：まとめを聞いて、疑問点を再度まとめる。予習とは別に中間試験に向けて学修する。
第9回	身体機能の防御と適応１	中間試験の解説、皮膚の構造と機能	予習45分：教科書9章Aを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第10回	身体機能の防御と適応２	生体の防御機構と関連臓器	予習45分：教科書9章Bを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第11回	身体機能の防御と適応３	代謝と運動、体温とその調節	予習45分：教科書9章C、Dを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第12回	生殖、発生と老化のしくみ１	男性生殖器、女性生殖器	予習45分：教科書10章A、Bを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第13回	生殖、発生と老化のしくみ２	女性の性周期、受精と胎児の発生	予習45分：教科書10章B、Cを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第14回	生殖、発生と老化のしくみ３	胎児の血液循環、成長と老化	予習45分：教科書10章C、Dを読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第15回	まとめ	人体の構造と機能IIIのまとめ	予習45分：これまでの配布資料を整理する。復習45分：まとめを聞いて、疑問点を再度まとめる。予習とは別に期末試験に向けて学修する。

教科書

人体の構造と機能（１）解剖生理学、坂井建雄・岡田隆夫 編集、医学書院

参考書

解剖生理学(ナーシング・グラフィカ)、林正健二 編集、メディカ出版

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上

授業中の中間試験やレポート（40%）、期末試験（60%）で評価する。
課題等に対する フィードバックの方法
授業内での中間試験やレポートは、実施した次の回の授業で内容を解説する。
履修のポイント
自分だけの学習では正しい知識の理解が難しいので、講義に出席することが大切です。 講義では話し（ストーリー）を聞くことに集中して下さい。
オフィス・アワー
月曜日～水曜日、金曜日（09：20～18：10）、10号館病理・解剖実習研究室

講義コード	10380001
講義名	人体の生化学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	１時限
区分	専門基礎科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R113
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 榮 昭博	指定なし

授業の概要と教育目標

生体を構成する成分・化合物を理解するために、糖、脂質、タンパク質についてその化学を学びさらに消化吸収・代謝・排泄を学ぶ。また、代謝などを調節する内分泌や遺伝子とその働きも学ぶ。人体の構造と機能、特に各栄養素の働きを生化学的に理解することを目標としている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

看護学の基礎となる、人体のしくみについて理解し、さらに、医療者として必要な理論を理解することを卒業認定の条件の一つとする。

到達目標

生体を構成する分子の構造・機能を理解する。また、各分子の代謝を理解する。さらに遺伝子・遺伝情報発現に関することを理解する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	生化学の概要	化学の基礎と生化学を概説する。また、国家試験における生化学の概要についても解説する。プリントを配布する。	予習：教科書p4～20を読み理解する。 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。講義ノートは最終回（15回）に提出する。予習復習を合わせて4時間以上学習する。
第2回	糖質の構造と性質	糖の化学、単糖・少糖・多糖の種類、特にグルコースの構造を理解し、糖の化学的性質との関連をみる。プリントを配布する。アクティブラーニング：本日学習する内容について質問し、その回答に対してコメントをする。	予習：教科書p50～66を読み理解する。 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて4時間以上学習する。
第3回	脂質の構造と	脂質の分類と定義、脂肪、複合脂質、ステロイド、エイコサノイドについて学ぶ。アクティブラーニング：本日学習す	予習：教科書p98～107を読み理解する。 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予

	性質	る内容について質問し、その回答に対してコメントをする。	習復習を合わせて4時間以上学習する。
第4回	脂質の構造と性質（2）	コレステロール・リポタンパク質ついて学ぶ。特にリポタンパク質の機能について理解する。アクティブラーニング：本日学習する内容について質問し、その回答に対してコメントをする。	予習：教科書p107～110を読み理解する。 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて4時間以上学習する。。
第5回	蛋白質の構造と性質	アミノ酸およびペプチドの構造と性質について学ぶ。アクティブラーニング：本日学習する内容について質問し、その回答に対してコメントをする。	予習：教科書p130～140を読み理解する。 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて4時間以上学習する。
第6回	核酸	塩基、ヌクレオシドとヌクレオチド、DNAとRNAの構造と機能について学ぶ。アクティブラーニング：本日学習する内容について質問し、その回答に対してコメントをする。	予習：教科書p183～187を読み理解する。 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて4時間以上学習する。
第7回	水とミネラル	水の機能と役割、ミネラルの機能について学ぶ。アクティブラーニング：本日学習する内容について質問し、その回答に対してコメントをする。	予習：事前配布するプリントを読み理解する。 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて4時間以上学習する。
第8回	ビタミン（1）	脂溶性ビタミンを中心にその種類と生理作用について学ぶ。アクティブラーニング：本日学習する内容について質問し、その回答に対してコメントをする。	予習：教科書p39～43およびプリントを読み理解する。 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて4時間以上学習する。
第9回	ビタミン（2）	主に水溶性ビタミンの種類と生理作用について学ぶ。アクティブラーニング：本日学習する内容について質問し、その回答に対してコメントをする。	予習：教科書p39～44およびプリントを読み理解する。 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて4時間以上学習する。
第10回	ホルモンと生理活性物質I	ホルモンの定義、ホルモンの種類、作用を学ぶ。アクティブラーニング：本日学習する内容について質問し、その回答に対してコメントをする。	予習：教科書p261～267およびプリントを読み理解する。 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて4時間以上学習する。
第11回	ホルモンと生理活性物質II	前回に続きホルモンを学び、サイトカインについても学ぶ。また、内分泌疾患の一部を学ぶ。アクティブラーニング：本日学習する内容について質問し、その回答に対してコメントをする。	予習：教科書p261～267およびプリントを読み理解する。復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて4時間以上学習する。
第12回	糖代謝	グリコーゲンおよびグルコース代謝（解糖・TCAサイクル）などについて学ぶ。アクティブラーニング：本日学習する内容について質問し、その回答に対してコメントをする。	予習：教科書p68～96を読み理解する。 復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて4時間以上学習する。
第13回	脂質代謝	脂質の消化吸収、脂肪酸・脂質の生体内の動向および代謝について学ぶ。アクティブラーニング：本日学習する内容について質問し、その回答に対してコメントをする。	予習：教科書p112～128を読み理解する。復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて4時間以上学習する。
		蛋白質の消化吸収・アミノ酸の代謝につ	予習：教科書p142～154を読み

第14回	蛋白質代謝	いて学ぶ。アクティブラーニング：本日学習する内容について質問し、その回答に対してコメントをする。	理解する。復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて4時間以上学習する。
第15回	遺伝情報とその発現	遺伝子による複製・転写・翻訳および蛋白質合成について学ぶ。アクティブラーニング：本日学習する内容について質問し、その回答に対してコメントをする。	予習：教科書p194～198、214～228を読み理解する。復習：授業中の内容を講義ノートにまとめる。予習復習を合わせて4時間以上学習する。

教科書

『系統看護学講座 専門基礎２ 人体の構造と機能[2] 生化学』医学書院

参考書

配付プリント

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。定期試験（100点満点）の得点に、講義ノートの点（10点）を加える。例：試験78点＋ノート10点の場合、評価点は88点となる。ただし、合計点の上限は100点とする。

課題等に対するフィードバックの方法

事前の学習と授業の内容について、講義ノートを作成し提出すること。講義ノートは10点とし、ノートにその旨を期して返却する。

履修のポイント

化学の知識を必要とするので化学（特に有機化学）を復習しておくことが望ましい。

オフィス・アワー

授業開講日の１２：３０～１３：２０に１１号館３階第14研究室で行う。ただし、この時間帯以外でも講義・会議・出張等の校務がない場合行うことができることがある。

講義コード	10390001
講義名	生命倫理
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	２時限
区分	専門基礎科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R130
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 村上 隆夫	指定なし

授業の概要と教育目標

生命倫理学を倫理学の一分野として位置づけて、その成立から今日までの発展をその研究分野全般にわたって説明する。看護倫理も含めて生命倫理学についての基礎的な知識を獲得して、看護師国家試験に対応できるようにすることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

生命倫理学の研究分野全般にわたる概括的知識を習得して、看護師の国家試験に対応できる能力の獲得を目指す必修科目として、卒業認定・卒業要件と関連している。

到達目標

生命倫理学についての知見を看護実践において活用できるようにすること。そのための資格試験に備えられることを到達目標とする。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）
第1回	生命倫理学への導入	伝統的な倫理学からの生命倫理学の形成について説明する。
第2回	死生観の歴史的変化	死生観の歴史的な変化を未開社会からキリスト教の成立まで辿る。
第3回	近代哲学における生命と身体	近代医学の成立をその生命観と身体観について説明する。
第4回	死と葬送の歴史的変化	西欧における葬送儀礼の変化を古代から臨床医学の成立まで辿る。
第5回	身体所有と身体加工	身体を所有する主体としての人格の形成と身体の加工技術の発展について説明する。
第6回	脳死と臓器移植	脳死問題と臓器移植問題についての倫理学的議論について説明する。
第7回	インフォームド・コンセント	医療におけるインフォームド・コンセントに関する倫理学的議論について説明する。

第8回	妊娠中絶	妊娠中絶問題および胚と胎児の取り扱いに関する倫理学的議論について説明する。
第9回	安楽死と尊厳死	終末期医療と延命処置の限界に関する倫理学的議論について説明する。
第10回	生殖技術	人工受精を含む生殖技術に関する倫理学的議論について説明する。
第11回	医療専門家と患者	医師・看護師など医療専門家と患者との関係に関する倫理学的議論について説明する。
第12回	医療行為と正義	医療資源の分配にあたっての正義の原理に関する倫理学的議論について説明する。
第13回	自然との関係および動物との関係	環境倫理学・動物倫理学と生命倫理学との関係について説明する。
第14回	総括と展望	西洋哲学における集団的な見方と個人的な見方について生命倫理学的に説明する。
第15回	補足と討論	これまでの講義について補論を行い、さらに討論の時間を設ける。

教科書
使用しない。講義の際にレジュメを配布する。
参考書
講義のなかで適宜指示する。
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上。筆記試験100％評価とする。
課題等に対する フィードバックの方法
授業後に1時間程度の資料検索を行うことが望ましい。
履修のポイント
レジュメについてさらにノートを用いて補足してまとめることが必要である。

講義コード	10400001
講義名	生命科学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	４時限
区分	専門基礎科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-C170
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 時田 昇臣	指定なし

授業の概要と教育目標

生命科学とは生物学を基本とした面と実社会での活動を通じた応用面から成り立っています。すなわち、ひとつには生命現象を遺伝子やタンパク質の分子レベルで捉えた生物学的分野です。もう一方は、医学や薬学、農学および工学などの応用面です。したがって生命科学ではこれらを総合的に取り扱う科学となります。
そのため本講では、まず地球上における生命誕生から進化の過程について地質年代による区分に従い生命体の出現や衰退あるいは滅亡の様相を概括します。そして現存する生命体が獲得した能力や機能について学びます。特に、地球環境に関わる放射線、紫外線および大気構成などと人の健康との関係性を学びます。これにより、生物細胞の維持や機能に密接なDNAやゲノム、生殖と発生や分化、代謝生理および免疫機能などについて理解します。
次いで、近年では人の健康に関わる食品とその機能について関心が高まっており、また、高齢化社会に対応した食事の在り方についても医療分野で注目されるようになってきました。そこで、人を対象とした生命科学分野において、世界的なレベルでの食材（食料）の生産と供給の実情を理解し、従来の食品に関わる栄養素の一次機能（栄養成分）に加え、二次機能（食事のおいしさ）や、次機能（疾病予防や免疫機能など）について学びます。
以上により、生物学的視点からの生命科学を捉えるとともに、人の健康や医療においても生命科学の知識や技術が応用され、看護医療に深く関係していることを学びます。そして医療の問題点やその解決に対応できるようになることを目標とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、自立した専門職としての知識・技能・態度および考え方に関する総合能力を養うことを目指し、生命科学を通じて、豊かな人間性の育成、国際社会に貢献できる専門知識を修得することに努める。同時に、地域社会における保健・医療・福祉に貢献できる実践的職業人の育成を目指すものとする。

到達目標

１．生命の誕生と人類の進化について理解するとともに、地球環境の特性について説明できる。
２．自然生態系の構成要素を理解し、医療分野の実情を生態系モデルとして示すことができる。
３．生命維持に必要な有機物とその代謝の様相を理解し、人の健康維持や疾病予防について説明できる。
４．現代人の食習慣を理解し、食材に含まれる三次機能物質の作用や健康との関係を説明できる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	生命の誕生と人類の進化	地球の地質年代を辿りながら、生命の誕生と人類の進化の歴史について概観します。同時に、地球環境の変遷との生物の盛衰との関係を理解します。 アクティブラーニングとして、受講者相互の意見交換を通じて、内容の理解を深める。	予習・復習ともに60分間
第2回	人や動物に影響する植物の生産物質	地球環境の形成にはさまざまな植物（独立栄養植物）が関係していること学びます。また、植物が生産する物質が人を含めた動物（従属栄養生物）に果たす役割や生理的な作用を理解します。アクティブラーニングとして、以下の課題レポートに取り組む。（課題レポート：このような物質について自分で調べてみます。）	予習・復習ともに60分間
第3回	自然生態系	生物と無生物（環境）は相互に影響を与えながら、ある方向へと進んでいきます。この関係は生態系として捉えることができます。そこで生態系を構成する要因について学び、さまざまな生態系の特徴を理解します。 アクティブラーニングとして、受講者相互の意見交換を通じて、内容の理解を深める。	予習・復習ともに60分間
第4回	人の生活圏を取り巻く環境	上記の生態系について、生物相を人として捉えた場合、どのような生態系が描かれるでしょうか。人の生活を取巻く環境について学び、看護技術やや医療情報がどのような位置づけにあるかを理解します。 アクティブラーニングとして、以下の課題レポートに取り組む。（課題レポート：看護学で扱われるさまざまな知識や技術が人の健康にどのように関わっているのか、図示します。）	予習・復習ともに60分間
第5回	有機物質の消化と吸収	生物が生命を維持し、次世代へと子孫を継承するためには、体外から有機物を取り込み、生命活動を営む必要があります。ここでは哺乳類を対象として摂取する有機物の特徴を学び、栄養成分の消化と吸収について種による違いを比較して理解します。 アクティブラーニングとして、受講者相互の意見交換を通じて、内容の理解を深める。	予習・復習ともに60分間
第6回	現在日本人の食習慣	現代日本人の食習慣はどのようになっているでしょうか。食を取巻く環境について学びます。特に、映像資料により世界の食料生産や消費について理解します。 アクティブラーニングとして、以下の課題レポートに取り組む。（課題レポート：映像資料で紹介された内容を整理し、感想をまとめます。）	予習・復習ともに60分間
第7回	三次栄養とは	人の食生活を取巻く環境について、近年では「三次栄養」として健康増進や成人病の予防などへの関心が高まっています。そこで、食の三次機能とは何かを学びます。また三次機能をもたらす食材について具体的に理解します。 アクティブラーニングとして、受講者相互の意見交換を通じて、内容の理解を深める。	予習・復習ともに60分間
第8回	三次機能と生	三次機能を持つ食材は人の食生活において「食の楽しみ」をもたらすことが予想され、新たな魅力とその活用が期待されています。ここでは三次機能を持つ食材について比較して学びます。そしてこれらの食材が人の生命活動に有用であることを理解します。	予習・復習とも

	命活動	アクティブラーニングとして、受講者相互の意見交換を通じて、これまでの授業を整理し、内容の理解を深める。	に60分間

教科書
特に指定なし。
参考書
特に指定なし。
成績評価の方法・基準
授業の予習・復習(10%)、授業への参加意欲と質疑応答(20)、試験・レポートの成績(70%)
課題等に対する フィードバックの方法
課題についてのコメント等を参照し、理解を深めること。また、メールによる対応も可能。
履修のポイント
授業内容についてノートに整理し、不明な点については質問したり、自己学習により関連の情報を理解する。
オフィス・アワー
非常勤講師のため設定しない。質問等については要点をメモ書きし、教務係に連絡して下さい。

講義コード	10410001
講義名	疾病の成り立ち
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	２時限
区分	専門基礎科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R122
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 岡安 勲	指定なし

授業の概要と教育目標

疾病の成り立ち（病理学Pathology）とは病気の本質について理解・研究する医学の一分野であり、病気の過程、つまり病気の原因、発生の仕組み、経過、転帰といった一連の過程を調べる事により、病気の本態を研究する学問です。したがって、病理学は解剖学、細胞・分子生物学、生理学、生化学などの基礎の上に存在し、他方では臨床医学と密接な関係を持っています。この意味で病理学は医学の一分野と言うより、総合医学とみなすべきであり、臨床医学における診断や治療のみならず、看護学の実践も病理学を基礎として行われています。つまり、皆さんが今後、看護学を学 び、実践していく上で大変重要であり、基礎となる学問です。
看護師国家試験に高頻度なキーワードも含めて解説・討論します。また、アクティブラーニングを想定し、１４班にグループ分けして、あらかじめグループ毎に課題を設定して発表（プレゼンテーション）してもらいます。グループの発表後に質疑応答を行い、理解を含めます（アクティブラーニング）。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科の目標である「自立した専門職としての知識・技能・態度及び考え方の総合的能力を身につけた人材」「地域社会及び国際社会に貢献できる専門的職業人」「地域社会の保健・医療・福祉環境の中で力を発揮できる実践的職業人」をめざして、そのディプロマ・ポリシーとしての「看護学の基礎となる、人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係を理解」できるようにする。 具体的には疾患の原因・成因、病態を理解し、さらにそれを自分の言葉で説明できるようにする。
看護師として、患者さんに適切な看護業務を行えるように、疾患の基礎および臨床的事項を基礎知識として習得し、これを自ら説明できるようにする。

到達目標

１．疾患の原因・成因、病態の概念を理解して、説明できるようにする。
２．疾患に関する専門用語の意味を理解して、習得し、説明できるようにする。
３．疾患の成り立ちについて興味を持ち、その予防・治療について、看護の面から自ら考える習慣を身に付ける。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニ	予習・復習と そのために必要な

		ングの内容を含む）	時間
第1回	病理学の概要	病理学の歴史、病理学の概要、看護と病理学、病気の原因、医療における病理学の役割 初回は以上の項目を説明し、相互討論する	予習90分。教科書１章を読む。 復習90分。教科書、メモ、ノートを読み直す。
第2回	細胞、組織の障害と修復	細胞・組織の損傷と適応、細胞の死、細胞と組織の変性、組織の修復と創傷治癒 グループ課題（プレゼンテーション、アクティブラーニング）： 細胞の死と変性の違いは？ 細胞の死のメカニズムにはどのようなもの（２種類）があり、その違いは？	予習90分。教科書２章を読む。 復習90分。教科書、メモ、ノートを読み直す。
第3回	循環障害	浮腫、充血とうっ血、出血、血栓症、塞栓症、虚血と梗塞、側副循環による障害、ショック、高血圧症、DIC グループ課題（プレゼンテーション、アクティブラーニング）： 浮腫（むくみ）はどうしておきるのか？ 血栓と塞栓の違いは？ 虚血と梗塞との違いは？	予習90分。教科書３章を読む。 復習90分。教科書、メモ、ノートを読み直す。
第4回	炎症と免疫、移植と再生医療－1	炎症とその分離 （炎症とは、炎症の各型）、免疫と免疫不全 グループ課題（プレゼンテーション、アクティブラーニング）： 炎症の4徴候とは？ そのメカニズムは？ 結核症をはじめとする肉芽種性炎症の特徴は？	予習90分。教科書４章前半を読む。 復習90分。教科書、メモ、ノートを読み直す。
第5回	炎症と免疫、移植と再生医療－2	アレルギーと自己免疫疾患、移植と再生医療 グループ課題（プレゼンテーション、アクティブラーニング）： アレルギー性疾患の種類とその特徴は？ 自己免疫疾患（自己免疫病）にはどどうして生じるのか？ どのような疾患があるのか？	予習90分。教科書４章４後半を読む。 復習90分。教科書、メモ、ノートを読み直す。
第6回	感染症	感染と宿主の防御機構、主な病原体と感染症（性感染症含む）、感染症の治療と予防 グループ課題（プレゼンテーション、アクティブラーニング）： 一般的な細菌感染症の説明は？ 院内感染症とは？ その対応策としてどうしたらよいか？	予習90分。教科書５章を読む。 復習90分。教科書、メモ、ノートを読み直す。
第7回	代謝障害	脂質代謝障害、タンパク質代謝障害、糖尿病、その他（痛風、黄疸、結石） グループ課題（プレゼンテーション、アクティブラーニング）： 糖尿病の病態は？ その診断は？ その治療は？ その合併症は？	予習90分。教科書６章を読む。 復習90分。教科書、メモ、ノートを読み直す。
第8回	老化と死	個体の老化と老年症候群、加齢に伴う諸臓器の変化、個体の死と終末期医療 グループ課題（プレゼンテーション、アクティブラーニング）：	予習90分。教科書７章を読む。 復習90分。教科

		死の判定はどのようになされているか？ 脳死とその判定基準はどういうものか？ 死体の解剖にはどのような種類があり、それぞれの目的は？	書、メモ、ノートを読み直す。
第9回	先天異常と遺伝子異常	遺伝の生物学、先天異常、遺伝子の異常と疾患、先天異常・遺伝子異常の診断と治療 グループ課題（プレゼンテーション、アクティブラーニング）： 遺伝子異常にはどのようなものがあるか？ 胎児期遺伝子診断の意義とそのリスクは？	予習90分。教科書８章を読む。 復習90分。教科書、メモ、ノートを読み直す。
第10回	腫瘍１	腫瘍の定義と分類、悪性腫瘍の広がりと影響、腫瘍の発生病理 グループ課題（プレゼンテーション、アクティブラーニング）： 良性腫瘍と悪性腫瘍の違いは？ 悪性腫瘍の広がり方法と個体への影響は？	予習90分。教科書９章前半を読む。 復習90分。教科書、メモ、ノートを読み直す。
第11回	腫瘍２	腫瘍の診断と治療、腫瘍の統計（疫学） グループ課題（プレゼンテーション、アクティブラーニング）： 腫瘍の一般的な診断方法は？ 悪性腫瘍の治療には一般的にどのような方法があり、医療現場でどのように選択されているか？	予習90分。教科書９章後半を読む。 復習90分。教科書、メモ、ノートを読み直す。
第12回	循環器系・血液造血系の疾患	先天性心疾患、虚血性心疾患、心臓弁膜症 不整脈、心不全、動脈硬化、動脈瘤、静脈の疾患 貧血、白血病、リンパ節炎、悪性リンパ腫 グループ課題（プレゼンテーション、アクティブラーニング）： 動脈硬化のメカニズムは？ 貧血を原因から分けるとどういう種類になるか？	予習90分。教科書１０、１１章を読む。 復習90分。教科書、メモ、ノートを読み直す。
第13回	呼吸器系・消化器系の疾患	気管・気管支・肺炎、慢性閉塞性肺疾患、肺の循環障害、肺がん 食道炎、胃炎、胃・十二指腸潰瘍、炎症性腸疾患、肝炎、肝硬変、胆石症、悪性腫瘍 グループ課題（プレゼンテーション、アクティブラーニング）： 慢性閉塞性肺疾患とはどういう病態か？ その原因は？ ウイルス性肝炎の経過は？	予習90分。教科書１２，１３章を読む。 復習90分。教科書、メモ、ノートを読み直す。
第14回	腎・泌尿器、生殖器系、乳腺、内分泌系の疾患	糸球体腎炎、腎盂腎炎、腎不全、尿路結石症 腎尿路系・婦人科系・男性生殖器系・乳腺・内分泌系腫瘍の特徴 グループ課題（プレゼンテーション、アクティブラーニング）： 糸球体腎炎のタイプにはどのようなものがあるか？ 不妊症のタイプにはどのようなものがあるか？	予習90分。教科書１４，１５章を読む。 復習90分。教科書、メモ、ノートを読み直す。
		脳血管障害、アルツハイマー病、パーキンソン病、脳腫瘍、 骨粗鬆症、関節炎、椎間板ヘルニア、骨肉	

第15回	脳・神経・筋肉系・運動器系の疾患 眼・耳・皮膚疾患	腫、転移性骨腫瘍 眼・耳・皮膚疾患、病理診断の実際 グループ課題（プレゼンテーション、アクティブラーニング）： 脳動脈瘤の破裂が破裂するとどういう病態になるか？ 骨粗鬆症はどのような病態で、その治療は？	予習90分。教科書１６，１７，１８章を読む。 復習90分。教科書、メモ、ノートを読み直す。

教科書

大橋 健一・他『≪系統看護学講座 専門基礎分野≫疾病のなりたちと回復の促進[1]病理学』(医学書院)

参考書

医療系の病理学教科書ないしは参考書。臓器別の臨床系教科書ないしは参考書。
（例）ロビンス&コトラン 鷹橋浩幸、羽野 寛、白石泰三、福田国彦監訳「病理学アトラス」エルゼビア・ジャパン

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上。
筆記試験 80%、レポート・課題・授業への参加度（グループのプレゼンテーション含む）20%

課題等に対する
フィードバックの方法

毎回の講義修了前に課題（授業内課題）を与え、ミニレポートを提出する。
この授業内課題の評価として、次回の講義のはじめに講評をコメントする。このことによって、疾患の理解、基礎知識の習得を促進する。
各グループの課題のプレゼンテーションには他の学生に客観的評価をしてもらい、授業への参加度の算定に利用する。また、質問を出してもらい、質疑応答を行う（アクティブラーニング）。
定期試験の結果は採点して返却する。

履修のポイント

予習・復習の積み重ねが知識を身につける力になり、試験対策にもつながります。
範囲が広く、また理解が難しい点もありますので、興味のある箇所を読み込んでおいて、授業に参加してください。また、授業の後に疑問を持った個所を自分で調べるのも効果的です。
一度の読み、聞きでは理解できなくても、繰り返すことで理解できることが多々ありますので、病気の成り立ちのメカニズムにこだわって、習得するようにしましょう。

オフィス・アワー

月曜日 12:50-13:20。金曜日 12:50-14:00、４号館２階教員居室。

講義コード	10420001
講義名	感染と防御
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	２時限
区分	専門基礎科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R141
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 煙山 健仁	指定なし

授業の概要と教育目標

微生物としての細菌、真菌、原虫、ウイルスなどについて、その一般的性状と、各種微生物によって引き起こされる代表的な感染症について学習する。また、感染防御の基礎となる免疫機構について講義し、感染予防のための滅菌、消毒、予防接種や、感染症治療のための化学療法などについての概要を学習する。
本科目は、病原微生物の種類と特徴、感染症とはどのようなものか、感染症予防などを専門基礎知識として理解することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーでは、「看護学の基礎となる、人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について理解していること」、「看護の基本精神・基礎技術を理解した上で、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識を修得していること」が求められており、感染と防御の理解を通して、その目標達成に必要な知識を養う。

到達目標

病原微生物の種類と特徴、感染症とはどのようなものかを理解し、実際の看護に役立つ感染症予防方法の基礎知識を説明できる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	微生物と人間、細菌の性質	微生物とはなにか、微生物の発見と歩み、細菌の形態と構造、細菌の増殖、遺伝、病原性	予習45分：教科書1、2章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第2回	真菌・原虫の性質	真菌の形態と構造 、原虫の形態と構造	予習45分：教科書3、4章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。

第3回	ウイルスの性質	ウイルスの特徴、構造、分類、増殖	予習45分：教科書5章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第4回	感染症とは	感染症の概念、感染のメカニズム	予習45分：教科書6章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第5回	免疫１	免疫とは、免疫に関与する細胞と組織	予習45分：教科書7章1、2を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第6回	免疫２	抗体の構造と機能、抗体産生、補体、抗原抗体反応、抗原認識	予習45分：教科書7章3、4、5を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第7回	免疫３	サイトカイン、細胞性免疫と液性免疫、アレルギー	予習45分：教科書7章4、5、6を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第8回	感染の予防	感染の予防、予防接種、消毒と滅菌、診断、治療、院内感染	予習45分：教科書8章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第9回	前半のまとめ	前半のまとめ、中間試験	予習45分：これまでの配布資料を整理する。復習45分：まとめを聞いて、疑問点を再度まとめる。予習とは別に中間試験に向けて学修する。
第10回	細菌感染症１	中間試験の解説、グラム陽性球菌、グラム陰性桿菌と球菌、グラム陽性桿菌、の各感染症	予習45分：教科書9章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第11回	細菌感染症２	らせん菌、抗酸菌、嫌気性菌、の各感染症、リケッチア、クラミジア、マイコプラスマ	予習45分：教科書9章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第12回	真菌・原虫感染症	真菌・原虫の各感染症	予習45分：教科書10、11章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第13回	ウイルス感染症１	DNAウイルス、RNAウイルス、の各感染症	予習45分：教科書12章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第14回	ウイルス感染症２	HIVウイルス、肝炎ウイルス、などの各感染症	予習45分：教科書12、13章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第15回	まとめ	感染と防御のまとめ	予習45分：これまでの配布資料を整理する。復習45分：まとめを聞いて、疑問点を再度まとめる。予習とは別に期末試験に向けて学修する。

教科書
微生物学、西條政幸 著、サイオ出版
参考書
わかる！身につく！病原体・感染・免疫、藤本秀士 編著、南山堂
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 授業中の中間試験やレポート（40%）、期末試験（60%）で評価する。
課題等に対する フィードバックの方法
授業内での中間試験やレポートは、実施した次の回の授業で内容を解説する。
履修のポイント
自分だけの学習では正しい知識の理解が難しいので、講義に出席することが大切です。 講義では話し（ストーリー）を聞くことに集中して下さい。
オフィス・アワー
月曜日～水曜日、金曜日（09：20～18：10）、10号館病理・解剖実習研究室

講義コード	10430001
講義名	臨床検査
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	金曜日
代表時限	１時限
区分	専門基礎科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R124
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 立崎 國男	指定なし

授業の概要と教育目標

病気に悩む人々やその他の人々の健康を増進するには、各種の医療専門職が理念及び知識を共有し対応することが重要である。例えば、医療現場では臨床討論（カンファレンス）が行われ、医療専門職が話し合って患者個々に最適の医療を行う計画が立てられる。こうした討論をスムースに行うには医療専門職すべてが共通の言語を使って患者の治療方針、治療効果、などについて話し合わなくてはならない。その共通言語の一つが臨床検査であることを理解していく。
臨床検査の基礎知識を学習することを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間の健康の保持・増進・疾病の予防の側面から尊厳・生きる権利を目指す。

到達目標

授業（後期）では系統看護学講座 別巻 臨床検査 第7版（医学書院） を15回にわたり授業を行い、授業終了時に単位認定筆記試験を実施し、成績評価が合格点に達した場合に単位を与える。
合格点に達しない場合は再試験を行い評価を行う。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	「臨床検査の基礎」①	臨床検査の役割・種類・目的について	教科書第1章を読む 予習・復習 各60分
			教科書第1章を

第2回	「臨床検査の基礎」②	臨床検査の評価・変動・測定誤差	読む 予習・復習 各60分
第3回	臨床検査の流れと看護師の役割①	検査の流れ・準備・説明と注意	教科書第2章を読む 予習・復習 各60分
第4回	臨床検査の流れと看護師の役割②	検体の採取法・保存・移送法・危険とその防止・簡易迅速検査の実施・介助・検査結果の取り扱い	教科書第2章を読む 予習・復習 各60分
第5回	「各論」 一般検査	尿検査・便検査・体内貯留液・髄液・間接液他	教科書第3章を読む 予習・復習 各60分
第6回	血液検査①	血液検査・出血凝固・溶血性貧血の検査・骨髄検査	教科書第4章を読む 予習・復習 各60分
第7回	血液検査②	血液一般検査の概要について (各血球成分・白血球分類・凝固因子について)	教科書第4章を読む 予習・復習 各60分
第8回	臨床化学検査①	血清酵素の検査・糖代謝の検査・脂質代謝の検査・胆汁排泄関連物質の検査・窒素化合物の検査	教科書第5章を読む 予習・復習 各60分
第9回	臨床化学検査②	骨代謝関連物質の検査・腎機能の検査・水電解質の検査・血液ガス分析・鉄代謝関連物質・銅代謝関連物質検査・ビタミンの検査・血中薬物濃度の検査	教科書第5章を読む 予習・復習 各60分
第10回	免疫・血清検査①	炎症マーカー・液性免疫・細胞性免疫・自己抗体・アレルギー検査	教科書第6章を読む 予習・復習 各60分
			教科書第6章を

第11回	免疫・血清検査②	免疫学的妊娠反応・腫瘍マーカー・輸血	読む 予習・復習 各60分
第12回	内分泌学的検査	下垂体前葉ホルモン・下垂体後葉ホルモン・甲状腺ホルモン	教科書第7章を読む 予習・復習 各60分
第13回	微生物検査	感染症の診断と検査・各種病原体と検査	教科書第8章を読む 予習・復習 各60分
第14回	病理検査・生体検査	生理検査・画像検査・細胞診・病理組織検査・剖検診断	教科書第10章を読む 予習・復習 各60分
第15回	臨床検査総括・試験	総括・試験	教科書第9章を読む 予習・復習 各60分

教科書

『系統看護学講座 別巻 臨床検査』 第7版（医学書院） 2014,1,15発行 ISBN 978-4-260-01803-6

参考書

特に指定しない。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上

課題等に対するフィードバックの方法

授業内で中間と後半のまとめを行い、前半・後半の重要点を解説する。配付資料と教科書をまとめ、理解に役立てる。

オフィス・アワー

(授業日のみ)授業前もしくは終了後に教室にて質問等に応じます。

講義コード	10440001
講義名	栄養学
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	金曜日
代表時限	１時限
区分	専門基礎科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R114
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 榮 昭博	指定なし
教員	吉村 英悟	指定なし

授業の概要と教育目標

身体の成長発達や生命維持に必要な各種栄養素の代謝、生体エネルギー源としての栄養素と生体機能との関連について学ぶ。さらにこれらの知識に基づき、各対象者に適した栄養アセスメント、栄養ケアの方法について習得する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

栄養学の知識を習得し、演習を通して栄養マネジメントについて学ぶ.。看護学の基礎となる、人間と健康や人体のしくみについて理解し、さらに、医療者として必要な理論を理解することを卒業認定の条件の一つとする。

到達目標

栄養学の知識を習得し、食と健康の関連を理解する。さらに演習を通して対象者に適した栄養マネジメントの実践能力を取得する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	栄養学を学ぶということ	栄養と栄養素、栄養学の歴史、人間栄養学等について学ぶ。	榮 担当 教科書ｐ2～8を読み理解すること。 予習復習の自己学習時間を1時間以上行うこと
第2回	看護と栄養	食事における看護師の役割、経口摂取と栄養補給、食欲を低下させる原因他について学習する。	榮 担当 教科書ｐ12～16を読み理解すること。 予習復習の自己学習時間を1時間以上行うこと
			榮 担当 教科書

第3回	栄養素のはたらき（1）	糖、脂質の栄養について学習する	ｐ18～23を読み理解すること。 予習復習の自己学習時間を1時間以上行うこと
第4回	栄養素のはたらき（2）	たんぱく質の栄養について学習する	榮 担当 教科書 ｐ23～26を読み理解すること。 予習復習の自己学習時間を1時間以上行うこと
第5回	栄養素のはたらき（3）	ビタミンについて学習する。	榮 担当 教科書 ｐ26～32を読み理解すること。 予習復習の自己学習時間を1時間以上行うこと
第6回	栄養素のはたらき（4）	ミネラルについて学習する。	榮 担当 教科書 ｐ32～42を読み理解すること。 予習復習の自己学習時間を1時間以上行うこと
第7回	栄養素の消化吸収	消化器・消化の過程および吸収について学ぶ	榮 担当 教科書 ｐ44～56を読み理解すること。 予習復習の自己学習時間を1時間以上行うこと
第8回	エネルギー代謝	エネルギーの出納、呼吸商、エネルギー代謝の測定法、エネルギー消費量、安静時代謝量、基礎代謝量、活動時の代謝量について学習する	榮 担当 教科書 ｐ72～88を読み理解すること。 予習復習の自己学習時間を1時間以上行うこと
第9回	食物繊維と水	食物繊維の機能、水の機能について学ぶ	榮 担当 教科書 ｐ40～41を読み理解すること。 予習復習の自己学習時間を1時間以上行うこと
第10回	栄栄養状態の判定と評価（1）	栄養アセスメント、栄養状態の評価判定法	榮 担当 教科書 ｐ110～113および ｐ128～131を読み理解すること。 予習復習の自己学習時間を1時間以上行うこと
第11回	栄養状態の判定と評価（1）	臨床検査データに基づく評価判定	榮 担当 教科書 ｐ131～146を読み理解すること。 予習復習の自己学習時間を1時間以上行うこと

第12回	栄養ケア・マネジメント	医療や保健における栄養ケア・マネジメントの流れ	吉村 担当 予習復習の自己学習時間を1時間以上行うこと
第13回	ライフステージと栄養（１）	妊娠期・授乳期の生理的特徴と栄養管理について	吉村 担当 予習復習の自己学習時間を1時間以上行うこと
第14回	ライフステージと栄養（２）	高齢期の生理的特徴と栄養管理について	吉村 担当 予習復習の自己学習時間を1時間以上行うこと
第15回	ライフステージと栄養（３）まとめ	・その他のライフステージの栄養について ・まとめ	吉村 担当 予習復習の自己学習時間を1時間以上行うこと

教科書

『系統看護学講座 専門基礎３ 人体の構造と機能[３] 栄養学』医学書院

参考書

配布プリントを参考にすること

成績評価の方法・基準

60点以上で単位認定。
定期試験１００％ 第１回～11回は榮、12回～15回は吉村が各担当の分野について問題を作成する。

履修のポイント

生化学を並行して学習しておくことが望ましい

オフィス・アワー

授業開講日の１２：３０～１３：２０に１１号館３階第14研究室で行う。ただし、この時間帯以外でも講義・会議・出張等の校務がない場合行うことができることがある。

講義コード	10450001
講義名	食品学
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	５時限
区分	専門基礎科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-C123
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 荒井 勝己	指定なし

授業の概要と教育目標

食品に含まれる個々の成分の特徴を把握しておくことは、食品自体を理解するためだけではなく、栄養学的あるいは生理学的な視点から食生活を考えていくためにもたいへん重要である。本講義では看護学科の学生（養護教諭資格取得を目指している学生）にとって知っておく必要のある基礎的な知識や最新の食に関わるニュースをわかりやすく解説し、理解を深めることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として「2.看護学の基礎となる、人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について、理解している。さらに、医療者として必要な倫理、守るべき法令を理解し、それに沿って行動できる。」に基づき、看護師・養護教諭として必要な“食品”や“栄養”に関する基礎知識を理解・習得することを目的とする。

到達目標

“食品とは何か”を理解するために、食品中に含まれている主要成分のそれぞれの科学的な特徴を理解し、食品成分に関する知識を習得する。また、食品の機能性や食品表示や規格、食品加工・貯蔵技術などについて理解することを目標とする。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	食品の種類と分類	食品とは、食品の特性、食品の分類など 【アクティブラーニング】授業内容についての質問や疑問などを学生に提示し、その場で出てきた解答や意見に対してディスカッションを行う時間を設ける（第2回～第8回も同様）	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
			予習90分：教科書を読み、わからない単語や

第2回	食品の成分I 水分・炭水化物	水分（食品中の水の状態、水分活性など）・炭水化物（単糖類、二糖類、多糖類、食物繊維など）	内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第3回	食品の成分II 脂質	脂質の働き、分類（脂肪酸、リン脂質、コレステロール）、油脂の化学的特性など	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第4回	食品の成分III たんぱく質	アミノ酸・たんぱく質の構造・種類・働きなど	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第5回	食品の成分IV ビタミン・ミネラル	ビタミン（ビタミンの分類と働きについて）・ミネラル（ミネラルの種類および生理作用について）	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第6回	食品のおいしさにかかわる要因と成分	色、味、香り、テクスチャー（物性）など	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第7回	食品の機能性	食品の機能、栄養強調表示と健康強調表示、保健機能食品、特別用途食品、「いわゆる健康食品」の概略	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。
第8回	食品の表示と規格	国内規格、国際規格、品質規格制度の歴史、期限表示、成分表示など	予習90分：教科書を読み、わからない単語や内容について調べる。 復習90分：配布した試料をまとめ、復習問題を解き、理解できなかった内容について調べる。

教科書
『身近な食品学 第2版』豊沢 功・能岡 浄・阿倍史子共著（化学同人）
参考書
単元ごとにプリント教材を配布する。
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 筆記試験 100％
課題等に対する フィードバックの方法
授業内に問題を提示したり、課題を課すことがある。学期末の筆記試験にも関与する事柄なので、必ず復習しておくこと。また、単元ごとに復習問題を配付するので、必ず問題を解いて授業内容の理解に役立てること。
履修のポイント
予習・復習の積み重ねが知識を身につける力となり、試験対策にもつながっていく。教科書の内容以外の事柄についても取り入れていくので、授業には積極的に参加すること。
オフィス・アワー
授業内容等の質問については、授業終了後、または月～金曜日のお昼休みに11号館3F研究室13で受け付ける。

講義コード	10460001
講義名	臨床薬理学
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
区分	専門基礎科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R125
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 煙山 健仁	指定なし

授業の概要と教育目標

疾患の治療において薬は重要な位置を占める。薬は疾患の原因を取り除くために使用されることが多く、疾患の原因を理解、投薬される医薬品の薬理作用について学習する。講義では代表的な疾患に対する治療薬について、作用と副作用（有害反応）および禁忌事項を講義し、生理学と医薬品の薬理作用の関係を中心に学習する。
本科目では、薬物治療を行うために必要な臨床薬理学の基礎知識を学修し、臨地実習や将来、臨床の現場で役立つ知識を修得することを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーでは、「看護学の基礎となる、人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について理解していること」、「看護の基本精神・基礎技術を理解した上で、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識を修得していること」が求められており、薬理学の理解を通して、その目標達成に必要な知識を養う。

到達目標

疾患に対する代表的な薬物の薬品名、その薬理作用および副作用（有害反応）などを理解する。また、病院で処方された医薬品やドラッグストア等で売られている医薬品がどのような症状に効くのかを説明できる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	医薬品の総論、自律神経に関わる医薬品	医薬品の定義、エラーの予防、医薬品の作用機序、交感神経作動薬、副交感神経作動薬、など	予習45分：教科書17、18、1、2章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第2回	血液・輸液	貧血、輸血と輸液に使用する医薬品	予習45分：教科書5、6章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。

第3回	循環器疾患で使用する医薬品	降圧剤、心筋梗塞・心不全に使用する医薬品、利尿薬、など	予習45分：教科書7章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第4回	呼吸器疾患で使用する医薬品	気管支喘息治療薬、鎮咳薬、など	予習45分：教科書8章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第5回	消化器疾患で使用する医薬品１	消化性潰瘍治療薬、健胃薬、制吐薬、瀉下薬	予習45分：教科書9章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第6回	消化器疾患で使用する医薬品２	止瀉薬、肝疾患、その他の消化器疾患に対する医薬品	予習45分：教科書9章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第7回	前半のまとめ	前半のまとめ、中間試験	予習45分：これまでの配布資料を整理する。復習45分：まとめを聞いて、疑問点を再度まとめる。予習とは別に中間試験に向けて学修する。
第8回	代謝疾患で使用する医薬品	中間試験の解説、糖尿病、痛風、脂質異常症に使用する医薬品	予習45分：教科書10章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第9回	中枢神経系の異常に対して使用する医薬品	パーキンソン病治療薬、抗不安薬、睡眠薬、向精神病薬、抗うつ薬、抗てんかん薬、麻酔	予習45分：教科書12、13章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第10回	抗炎症薬	アレルギーと炎症時に使用する医薬品	予習45分：教科書3、4章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第11回	抗菌薬	抗生物質、抗ウィルス薬、など	予習45分：教科書14章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第12回	抗がん薬	さまざまな抗がん薬	予習45分：教科書15章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第13回	内分泌疾患で使用する医薬品	甲状腺ホルモン製剤、ホルモン製剤、など	予習45分：教科書11章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第14回	その他の薬	散瞳薬・縮瞳薬、緑内障治療薬、解毒薬、消毒薬、など	予習45分：教科書16章を読む。復習45分：配布資料を見直し、疑問点をまとめる。疑問点が解決できない場合は、早めに質問に来る。
第15回	まとめ	臨床薬理学のまとめ	予習45分：これまでの配布資料を整理する。復習45分：まとめを聞いて、疑問点を再度まとめる。予習とは別に期末試験に向けて学修する。

教科書
イラストでまなぶ薬理学、田中越郎 著、医学書院
参考書
はじめる！つかえる！看護のための薬理学、時政孝行 著、南山堂
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上 授業中の中間試験やレポート（40%）、期末試験（60%）で評価する。
課題等に対する フィードバックの方法
授業内での中間試験やレポートは、実施した次の回の授業で内容を解説する。
履修のポイント
自分だけの学習では正しい知識の理解が難しいので、講義に出席することが大切です。 講義では話し（ストーリー）を聞くことに集中して下さい。
オフィス・アワー
月曜日～水曜日、金曜日（09：20～18：10）、10号館病理・解剖実習研究室

講義コード	10470001
講義名	臨床心理学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	３時限
区分	専門基礎科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R133
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大澤 靖彦	指定なし

授業の概要と教育目標

【授業の概要】臨床心理学は、心理学で蓄積された理論や技法を用いた応用的・実践的な学問領域である。人のこころの安定をはかるための臨床心理援助活動の実際について理解を深めることが求められるが、その基本はこころの疾患の特徴を理解し、その理解のもとに対象者を看る視点を養うことにある。本講義では、こころの疾患に関すること、発達上の障がいに関すること、心理アセスメントの実際、カウンセリングの理論、という４つのテーマに沿って、臨床心理学に関連する内容を取り上げる。授業は講義形式だが、テーマによってVTR視聴や実習を取り入れることもある。
【教育目標】心理臨床の現場で用いられる考え方や技法は、看護の場面でも応用可能なものがある。一方で、通常の心理臨床で用いられる対象者に対するアプローチが、看護場面では適用しにくいこともある。心理臨床の基本的な考え方や技法の学習を通して、それらが看護場面でどのように生かすことができるのかについての視点を獲得する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人に対する理解を深めることを目指し、心理的側面の理解を通してその目的達成に資する知識を養う。また、看護学の基礎となる、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について、精神的疾患の理解と対応の面から知見を深めることを目指す。

到達目標

１．心理的な疾患の種類、特徴について理解する。
２．臨床心理学で用いられる専門用語について理解する。
３．こころの疾患、疾患を抱える患者・家族の状態を理解する視点を養う。
４．対人場面におけるコミュニケーションの特徴について理解する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
	オリエンテー		予習90分：教

第1回	ション 臨床心理学とは何か①	一般的な問題解決のプロセスと臨床心理学における問題解決のプロセスの異同および臨床心理学の位置づけについて取り上げる。	科書pp.12-23を読む。 復習90分：配布資料の整理し、教科書と照合する
第2回	臨床心理学とは何か②	臨床心理学の活動や基本理念について取り上げる。	予習90分：教科書pp.24-44を読む。 復習90分：配布資料の整理し、教科書と照合する
第3回	アセスメント①	アセスメントのための情報収集や分析方法からケース・フォーミュレーションを行うこと、つまり援助は自分の勘や経験によって進められるのではなく、仮説－検証のプロセスが大切であることを取り上げる。	予習90分：教科書pp.46-54を読む。 復習90分：配布資料の整理し、教科書と照合する
第4回	アセスメント②	心理検査の概要（検査の特色や目的等）について取り上げる。	予習90分：教科書pp.56-75を読む。 復習90分：配布資料の整理し、教科書と照合する
第5回	人の発達と心の問題①	発達段階における特徴と諸問題について取り上げる。	予習90分：教科書pp.78-85を読む。 復習90分：配布資料の整理し、教科書と照合する
第6回	人の発達と心の問題②	発達過程における具体的な問題について取り上げる。	予習90分：教科書pp.86-119を読む。 復習90分：配布資料の整理し、教科書と照合する
第7回	心の疾患と理解①	異常心理学、不安障害について取り上げる。	予習90分：教科書pp.122-143を読む。 復習90分：配布資料の整理し、教科書と照合する
第8回	心の疾患と理	気分障害や精神病について取り上げる。	予習90分：教科書pp.144-151、160-165を読む。 復習90分：配

	解②		布資料の整理し、教科書と照合する
第9回	心の疾患と理解③	パーソナリティ障がいについて取り上げる。	予習90分：教科書pp.152-159を読む。 復習90分：配布資料の整理し、教科書と照合する
第10回	問題への介入①	自分に向き合っていくための心理療法について取り上げる。	予習90分：教科書pp.168-179を読む。 復習90分：配布資料の整理し、教科書と照合する
第11回	問題への介入②	自分の行動や考え方に焦点を当てた心理療法について取り上げる。	予習90分：教科書pp.180-193を読む。 復習90分：配布資料の整理し、教科書と照合する
第12回	問題への介入③	10・１１回で扱った以外の心理療法について取り上げる。	予習90分：教科書pp.194-235を読む。 復習90分：配布資料の整理し、教科書と照合する
第13回	コミュニティへの介入①	児童虐待について取り上げる。	予習90分：教科書pp.194-197,226,246を読む。 復習90分：配布資料の整理し、教科書と照合する
第14回	コミュニティへの介入②	危機介入について取り上げる。	予習90分：教科書pp.194-197,226,246を読む。 復習90分：配布資料の整理し、教科書と照合する
第15回	社会と臨床心理学	社会の中でと臨床心理学がどのように活用しているのかについて取り上げる。	予習90分：教科書pp.272-285を読む。 復習90分：配布資料の整理し、教科書と照合する

教科書
下山晴彦監修 『面白いほどよくわかる！臨床心理学』 西東社
参考書
適宜紹介する。
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上。 筆記試験40％ レポート・課題30％ 授業への積極性・態度30％
課題等に対する フィードバックの方法
授業内でレポートや課題を課すことがある。返却するので学習の参考にすること。また、授業の振り返りの資料（「今日の復習」）とその解答を配布するので、授業内容の理解に役立てること。
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待します。授業時間外の学習として、予習では各回の主題に該当する教科書に目を通し、復習では本講義の配布資料・ノートのまとめと小テストの見直しを復習として勧めます。
オフィス・アワー
水曜日・木曜日、12：30～13：20（昼休み）、11 号館第 8 研究室。 ※講義終了前後にも、適宜受け付けます。

講義コード	10480001
講義名	ヘルスカウンセリング
(副題)	【教職必修】【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	４時限
区分	専門基礎科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-C171
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 間戸 美恵	指定なし
教員	松沼 晶子	指定なし

授業の概要と教育目標

心身の健康に関する悩みや問題を抱える人の心理を理解し、ヘルスカウンセリングの基本的な理論と技法を学習する。援助を必要とする対象への健康の維持または改善のための適切な支援について考察し、実践する能力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講義は、看護の基礎及び健康問題別発達段階別看護の知識と技術を修学した学生において、支援する対象の健康課題を的確に捉え、カウンセリングマインドを活用した実践的な援助技術を習得することを目指すものである。

到達目標

ヘルスカウンセリングの理論と方法について理解し、対象の背景や健康課題に応じた基本的な対応ができるようになる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	オリエンテーション ヘルスカウンセリングの基本的理解	授業概要の説明 ヘルスカウンセリングの定義を学習し、その目的や役割について理解する	復習45分：参考資料等を見直す
第2回	ヘルスカウンセリングの基本的理解	ヘルスカウンセリングの定義を学習し、その目的や役割についての理解を深める	復習45分：参考資料等を見直す
第3回	健康相談に活かすカウンセリングの基本	医療･行政･学校教育の現場において支援者が行う相談活動に活かすためのカウンセリングの主な理論と	復習45分：参考資料等

	的知識と技法について	技法を知る	を見直す
第4回	ヘルスカウンセリングの進め方①	ヘルスカウンセリングの実際を学ぶ	復習45分：参考資料等を見直す
第5回	ヘルスカウンセリングの進め方②	ヘルスカウンセリングの実際を学ぶ	復習45分：参考資料等を見直す
第6回	対象の健康課題と相談活動の実際について	幼児期から青年期までの健康課題と対象のライフステージに応じた支援方法を理解する	復習45分：参考資料等の見直し及び調べ学習をする
第7回	対象の健康課題と相談活動の実際について	成人期から高齢期までの健康課題と対象のライフステージに応じた支援方法を理解する	復習45分：参考資料等の見直し及び調べ学習をする
第8回	支援と連携について	対象者を取り巻く支援者間や関係機関との連携の重要性について理解する	復習45分：参考資料等を見直す
第9回	ヘルスカウンセリングの演習①	事例を取り上げてグループワークをする	復習45分：参考資料等を見直す
第10回	ヘルスカウンセリングの演習②	事例を取り上げてグループワークをする	事前学習45分：調べ学習を行う
第11回	がん患者の現状と課題	1981年以降がんは一貫して我が国日本の死因第一となり、上昇を続け、2016年の主な死因別の死亡率（人口10万対）をみると、がん298.3、心臓病158.4、肺炎95.4の順になっている。更にがんは２人に１人が罹る時代となり	復習45分：参考資料等を見直す
第12回	がん患者の心理とがん相談支援	がんになった患者及びその家族の心理について理解し、どのようなことに、悩み苦しんでいるのか、がん相談の必要性とその支援方法について学ぶ。	復習45分：参考資料等を見直す
第13回	ロールプレイ	者役・看護師役・観察者に分かれてテーマに沿ってロールプレイを行う。事例のテーマに関する自分自身のコミュニケーションを振り返ることや患者の気持ちを体験することができる	
第14回	ロールプレイ	ロールプレイの振り返りを行い、学生同士で共有する。	復習45分：資料等を読み直し、レポートを作成する
第15回	まとめ	今まで学んだことを振り返り、自己の気づきなどを学生同士で共有し、デスカッションする。	復習90分：資料等を読み直し、レポートを作成する
第16回			

教科書
講義資料は授業で配付する。
参考書
齋藤敦子著「ワークブック：カウンセリングを学ぶ」医学書院, 1995.
成績評価の方法・基準
レポート20点、テスト80点の合計100点として、60点以上で単位取得とする。
課題等に対する フィードバックの方法
授業で関心を持ったことについて、図書館等で調べて自己学習をして深めてください。
履修のポイント
演習の教科のため、積極的に授業に参加してください。また、日頃の自己のコミュニケーションを振り返り、相手に与える影響について体験してください。
オフィス・アワー
在室時に対応します。

講義コード	10490001
講義名	疾病の回復促進I
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	４時限
区分	専門基礎科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R131
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 山﨑 純一	指定なし
教 員	岡田 克之	指定なし

授業の概要と教育目標

疾病の回復促進は、すべての疾患の原因・病態・症状から検査所見、治療・予後までを扱う学問分野で、医療・看護の根幹をなすものである。疾病の成り立ちでは病気を大別して学ぶのに対して、「疾病の回復促進I」では器官ごとの疾患について学ぶもので、看護の理解を深める上でも不可欠な学問である。講義では代表的な頻度の高い疾患を理解し、看護に必要な知識・技能を習得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保険学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「看護学の基礎となる人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について理解していること」を達成するため、幅広い知識・技能とともに豊かな人間性の構築を目指すものとする。

到達目標

１．人体の解剖・生理機能を理解する。
２．代表的な疾病の原因・症状・診断・治療などを理解し、看護に展開できるよう知識・技能を習得する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	内分泌・代謝異常１	糖尿病	（予習90分）講義の概要を教科書で確認 （復習90分）配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読
第2回	内分泌・代謝異常２	脂質異症、痛風、骨粗鬆症	（予習90分）講義の概要を教科書で確認 （復習90分）配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読

第3回	生殖器疾患	女性生殖器疾患（月経異常、感染症、腫瘍）、男性生殖器疾患	（予習90分）講義の概要を教科書で確認 （復習90分）配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読
第4回	脳・神経疾患、筋疾患１	脳血管障害、髄膜・髄液の障害	（予習90分）講義の概要を教科書で確認 （復習90分）配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読
第5回	脳・神経疾患、筋疾患２	睡眠障害、意識障害、認知症	（予習90分）講義の概要を教科書で確認 （復習90分）配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読
第6回	脳・神経疾患、筋疾患３	運動麻痺、筋疾患	（予習90分）講義の概要を教科書で確認 （復習90分）配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読
第7回	皮膚疾患１	アレルギー疾患、炎症性皮膚炎、水疱症など	（予習90分）講義の概要を教科書で確認 （復習90分）配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読
第8回	皮膚疾患２	皮膚腫瘍（皮膚線維症、メラノーマ、扁平上皮癌、皮膚Ｔ細胞リンパ腫など）	（予習90分）講義の概要を教科書で確認 （復習90分）配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読

教科書

『疾病の成り立ちと回復の促進II』『病態生理学』医学書院

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
試験80%、課題10%、授業への参加度10%

**課題等に対する
フィードバックの方法**

授業内でレポートや課題を課すことがある。授業での講義内容を資料として配布するので、授業内容の理解に役立てること。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待する。予習・復習は不可欠であり、予習では講義の概要を教科書で確認し、復習では配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読する（90分）。

オフィス・アワー

講義終了後に適宜受け付ける。その他、火・木・金曜日に適宜受け付けるので、教務課に依頼し予約すること。

講義コード	10500001
講義名	疾病の回復促進II
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	３時限
区分	専門基礎科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R132
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 山﨑 純一	指定なし

授業の概要と教育目標

「疾病の回復促進」は、すべての疾患の原因・病態・症状から検査所見、治療・予後までを扱う学問分野で、医療・看護の根幹をなすものである。疾病の成り立ちでは病気を大別して学ぶのに対して、「疾病の回復促進II」では器官ごとの疾患について学ぶもので、看護の理解を深める上で不可欠な学問である。講義では代表的な頻度の高い疾患を理解し、看護に必要な知識・技能を習得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保険学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「看護学の基礎となる人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について理解していること」を達成するため、幅広い知識・技能とともに豊かな人間性の構築を目指すものとする。

到達目標

１．人体の解剖・生理機能を理解する。
２．代表的な疾病の原因・症状・診断・治療などを理解し、看護に展開できるよう知識・技能を習得する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	血液のはたらきとその異常-１	貧血、白血病、悪性リンパ腫、GVDH	（予習90分）講義の概要を教科書で確認（復習90分）配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読
第2回	血液のはたらきとその異常-２	多発性骨髄腫、血小板減少性紫斑病、DIC	（予習90分）講義の概要を教科書で確認（復習90分）配布した講義資料参考に教

			科書で関係領域を通読
第3回	循環のしくみとその異常-1	狭心症、心筋梗塞、不整脈、先天性心疾患	（予習90分）講義の概要を教科書で確認（復習90分）配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読
第4回	循環のしくみとその異常-２	心弁膜症、心不全、高血圧症	（予習90分）講義の概要を教科書で確認（復習90分）配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読
第5回	循環のしくみとその異常-３	動脈硬化症（大動脈解離・大動脈瘤・閉塞性動脈硬化症）、肺塞栓症	（予習90分）講義の概要を教科書で確認（復習90分）配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読
第6回	呼吸器のしくみとその異常-1	呼吸器系の解剖と機能、呼吸器疾患の症状と気胸・胸水、呼吸不全、動脈血酸素飽和度	（予習90分）講義の概要を教科書で確認（復習90分）配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読
第7回	呼吸器のしくみとその異常-２	拘束性障害と閉塞性障害、COPD（肺気腫、慢性気管支炎）、呼吸器感染症（気管支炎、肺炎）、気管支喘息、肺結核、肺腫瘍	（予習90分）講義の概要を教科書で確認（復習90分）配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読
第8回	消化・吸収のしくみとその異常-１	嚥下障害、逆流性食道炎、胃・十二指腸潰瘍、クローン病、潰瘍性大腸炎、腸閉塞、過敏性腸症候群、イレウス	（予習90分）講義の概要を教科書で確認（復習90分）配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読
第9回	消化・吸収のしくみとその異常-２	消化ホルモン、消化酵素、肝炎、肝硬変、食道静脈瘤	（予習90分）講義の概要を教科書で確認（復習90分）配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読
第10回	消化・吸収のしくみとその異常-３	胆石症、膵炎、消化器の腫瘍	（予習90分）講義の概要を教科書で確認（復習90分）配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読
第11回	腎・泌尿器のはたらきとその異	糸球体の疾患（原発性と続発性）	（予習90分）講義の概要を教科書で確認（復習90分）配布した講義資料参考に教

	常-１		科書で関係領域を通読
第12回	腎・泌尿器のはたらきとその異常-２	急性腎不全と慢性腎不全（慢性腎不全）、排尿障害	（予習90分）講義の概要を教科書で確認（復習90分）配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読
第13回	内分泌・代謝異常１	クッシング症候群、原発性アルドステロン症、褐色細胞腫、アジソン病、尿崩症、副甲状腺機能亢進症	（予習90分）講義の概要を教科書で確認（復習90分）配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読
第14回	内分泌・代謝異常２	高血圧、糖尿病	（予習90分）講義の概要を教科書で確認（復習90分）配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読
第15回	内分泌・代謝異常３	内分泌・代謝異常３	（予習90分）講義の概要を教科書で確認（復習90分）配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読

教科書

『疾病の成り立ちと回復の促進II』医学書院

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
試験80%、課題10%、授業への参加度10%

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内でレポートや課題を課すことがある。授業での講義内容を資料として配布するので、授業内容の理解に役立てること。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待する。予習・復習は不可欠であり、予習では講義の概要を教科書で確認し、復習では配布した講義資料参考に教科書で関係領域を通読する（90分）。

オフィス・アワー

講義終了後に適宜受け付ける。その他、火・木・金曜日に適宜受け付けるので、教務課に依頼し予約すること。

講義コード	10510001
講義名	疾病の回復促進III
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	４時限
区分	専門基礎科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R140
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 山﨑 純一	指定なし
教 員	久松 徹也	指定なし

授業の概要と教育目標

疾病の回復促進は、すべての疾患の原因・病態・症状から検査所見、治療・予後までを扱う学問分野で、医療・看護の根幹をなすものである。疾病の成り立ちでは病気を大別して学ぶのに対して、「疾病の回復促進III」では器官ごとの疾患について学び、看護の理解を深める上でも不可欠な学問である。講義では脳・神経系疾患と感覚器系疾患を理解し、看護に必要な知識・技能を習得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保険学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として「看護学の基礎となる人体のしくみ、健康の諸側面、健康生活と社会との関係について理解していること」を達成するため、幅広い知識・技能とともに豊かな人間性の構築を目指すものとする。

到達目標

１．人体の解剖・生理機能を理解する。
２．代表的な疾病の原因・症状・診断・治療などを理解し、看護に展開できるよう知識・技能を習得する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	脳・神経疾患・筋疾患１	脳血管障害、髄膜・髄液の障害	（予習90分）当日の講義の概要を教科書で確認 （復習90分）配布した講義資料を中心に教科書の関係領域を通読
第2回	脳・神経疾患・筋疾患２	睡眠障害、意識障害、認知症	（予習90分）当日の講義の概要を教科書で確認 （復習90分）配布した講義資料を中心に教科書の関係領域を通

			読
第3回	脳・神経疾患・筋疾患３	運動麻痺、筋疾患	（予習90分）当日の講義の概要を教科書で確認 （復習90分）配布した講義資料を中心に教科書の関係領域を通読
第4回	感覚器のはたらきと病態生理	視覚器・聴覚器・味覚器・嗅覚器・皮膚の構造と機能	（予習90分）当日の講義の概要を教科書で確認 （復習90分）配布した講義資料を中心に教科書の関係領域を通読
第5回	精神医学の歴史、精神症状のとらえ方	精神医学の分類と発展、精神疾患の大まかな分類と症状	（予習90分）当日の講義の概要を教科書で確認 （復習90分）配布した講義資料を中心に教科書の関係領域を通読
第6回	精神障碍とその症例、治療法１	神経症性障碍、ストレス関連障碍、身体表現性障碍	（予習90分）当日の講義の概要を教科書で確認 （復習90分）配布した講義資料を中心に教科書の関係領域を通読
第7回	精神障碍とその症例、治療法２	統合失調症	（予習90分）当日の講義の概要を教科書で確認 （復習90分）配布した講義資料を中心に教科書の関係領域を通読
第8回	精神障碍とその症例、治療法３	気分（感情）障碍	（予習90分）当日の講義の概要を教科書で確認 （復習90分）配布した講義資料を中心に教科書の関係領域を通読

教科書

『疾病の成り立ちと回復の促進II』医学書院

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上
試験80%、課題10%、授業への参加度10%

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内でレポートや課題を課すことがある。授業での講義内容を配布するので、授業内容の理解に役立てること。

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待する。予習：当日の講義の概要を教科書で確認する。復習：配布した講義資料を中心に教科書の関係領域を通読する（90分）。

オフィス・アワー

講義終了後に適宜受け付ける。その他、火・木・金曜日に適宜受け付けるので、教務課に依頼し予約すること。

講義コード	10520001
講義名	疫学
(副題)	【教職必修】【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	２時限
区分	専門基礎科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R172
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 岩田 昇	指定なし

授業の概要と教育目標

保健・医療情報に関する科学的アプローチとして発展してきた疫学の概念と歴史、疫学の指標、疫学研究方法論、スクリーニング、疫学研究の倫理的側面と法的整備などについて総合的に学ぶ。また、看護研究への将来的な応用を視野に、簡単な質問紙調査票を作成し、データ収集ならびにデータ解析を体験的に学ぶ。
なお、授業ではほぼ毎回、現代社会における疫学的所見・報道などを題材として、グループディスカッションおよびプレゼンテーションの時間を設定し、自らの判断・見解を持ち、それを他者に示すスキルも学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、「人間の理解」を主軸に、「健康・疾病・生活・社会」に関する理解に基づく観察力や判断能力を養うとともに、保健・医療分野を支えるための専門基礎科目として、保健・医療情報の科学的な収集方法・データ解析評価技法・倫理に係る疫学を位置づける。

到達目標

・疫学の概念を理解し、根拠に基づいた保健・医療活動を把握できるようになる。
・医療・健康情報におけるバイアス・交絡要因を認識し、クリティカルにとらえられるようになる。
・保健医療の現象を解明するための方法論を説明できるようになる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	オリエンテーション	授業の進め方、国家試験出題基準	予習90分：国家資格出題基準をダウンロードし、疫学関連事項を確認しておくこと 復習90分：配布資料を見直し、疑問点を解消しておくこと

第2回	疫学とは	疫学の概念と歴史、臨床疫学、治験	予習90分：教科書P. 1〜12に目を通し、重要キーワードを調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、疑問点を解消しておくこと
第3回	疫学に使用される指標	割合・率・比、有病率と罹患率、致命率と死亡率、相対危険・寄与危険、オッズ比	予習90分：教科書P. 13〜27に目を通し、重要キーワードを調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、疑問点を解消しておくこと
第4回	疫学研究の基礎	標本集団と代表性、信頼性、妥当性	予習90分：教科書P. 29〜38に目を通し、重要キーワードを調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、疑問点を解消しておくこと
第5回	疫学の種類①	記述疫学、分析疫学、症例対照研究	予習90分：教科書P. 39〜61に目を通し、重要キーワードを調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、疑問点を解消しておくこと
第6回	疫学の種類②	コホート研究、介入研究	予習90分：教科書P. 62〜78に目を通し、重要キーワードを調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、疑問点を解消しておくこと
第7回	確認テスト１	確認テスト１の実施 解答と解説	予習90分：1〜6回の資料に目を通し、重要キーワードを理解しておくこと 復習90分：不正解個所を再度確認し、ノートに記しておくこと
第8回	システマティックレビュー、バイアス、交絡	メタアナリシス、選択バイアス、情報バイアス、交絡因子、因果関係	予習90分：教科書P. 79〜94に目を通し、重要キーワードを調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、疑問点を解消しておくこと
第9回	スクリーニング	スクリーニングの意義と適用、感度、特異度、陽性反応的中度、陰性反応的中度、ROC	予習90分：教科書P. 95〜100に目を通し、重要キーワードを調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、疑問点を解消しておくこと
第10回	情報処理、データベース	情報セキュリティ、診療関連データベース	予習90分：教科書P. 107〜110、137〜140に目を通しておくこと 復習90分：配布資料を見直し、疑問点を解消しておくこと

第11回	疫学研究と倫理	疫学に関する倫理指針、倫理審査委員会、インフォームド・コンセント、利益相反	予習90分：教科書P.141～154に目を通し、重要キーワードを調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、疑問点を解消しておくこと
第12回	情報収集方法①	調査票、調査票の作成	予習90分：教科書P.101～105に目を通し、調査項目・選択肢を作成しておくこと 復習90分：配布資料を見直し、項目・選択肢を修正しておくこと
第13回	情報収集方法②	調査実施および入力、SPSSを用いたデータ整理	予習90分：教科書P.111～121に目を通し、データ処理方法を調べておくこと 復習90分：データ解析を行うこと
第14回	情報収集方法③	解析結果の発表、論評	予習90分：データ処理を行い、結果の見える化に工夫すること 復習90分：結果が何を示唆しているのかを考察してみること
第15回	まとめ	全体確認テストの実施 解答および解説	予習90分：1～14回の資料に目を通し、重要キーワードを確認しておくこと 復習90分：不正解個所を再度確認し、ノートに記しておくこと

教科書

日本疫学会監修 はじめて学ぶやさしい疫学 改訂第３版 南江堂

参考書

浅野嘉延著 楽しく学べる！ 看護学生のための疫学・保健統計学 南山堂

成績評価の方法・基準

・単位認定は60点以上
・定期試験による筆記試験を60%、講義後に提出するフィードバックおよび質問紙調査票の出来栄えを40%

課題等に対する
フィードバックの方法

・確認テスト(45分程度)の後、解答および解説を行う。
・グループディスカッション・プレゼンテーションに対するコメント等、適宜行う。

履修のポイント

・健康水準の高い社会に住んでいることを自覚し、俯瞰的視点を持って、積極的に取り組むことを期待します。

オフィス・アワー

・水曜日・木曜日12:30～13:20（昼休み） 11号館第5研究室
（講義終了前後にも適宜受付可能）

講義コード	10530001
講義名	保健統計学
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	２時限
区分	専門基礎科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R180
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 岩田 昇	指定なし

授業の概要と教育目標

保健統計は集団の健康状態を把握するものであり、国・地域の保健関連状態に関する客観的情報となる重要なものである。保健師・看護師として保健医療福祉活動を実践する際には、各種保健統計資料からの情報の収集・整理及び活用、調査・研究に関する能力が求められる。保健統計学では、健康指標ならびに人口に関する指標、データの特徴を記述する記述統計、標本データから母集団の性質を求める推測統計(推定・検定)について学習する。
なお、授業ではほぼ毎回、現代社会における疫学的所見・報道などを題材として、グループディスカッションおよびプレゼンテーションの時間を設定し、自らの判断・見解を持ち、それを他者に示すスキルの取得も目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、「人間の理解」を主軸に、「健康・疾病・生活・社会」に関する理解に基づく観察力や判断能力を養うとともに、保健・医療分野を支えるための専門基礎科目として、疫学とともに保健・医療情報の科学的な収集方法・データ解析評価技法に係る保健統計学を位置づける。

到達目標

1. 保健医療分野における統計の意義と活用事例について述べることができる。
2. 人口統計の種類と定義・内容を述べることができる。
3. 母集団と標本、平均と標準偏差、相関など、推定と検定に関して述べることができる。
4. 統計ソフトを活用して要約統計量の算出や表・グラフの作成および検定を行うことができる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	オリエンテーション	保健統計学とは、保健統計の種類および概要、健康指標の分類	予習90分：国家試験出題基準のうち、保健統計・疫学に関するキーワードを調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、科目の概要を把握する

第2回	保健医療データの統計解析①	データの性質、母集団、標本抽出、要約統計量 SPSSの使い方	予習90分：教科書P. 111～121に目を通しておくこと 復習90分：配布資料を見直し、疫学の授業で収集したデータを解析してみること
第3回	保健医療データの統計解析②	推定と検定、データの関連性	予習90分：前回課された課題を行っておく 復習90分：配布資料を見直しておくこと
第4回	保健医療データの統計解析③	SPSSを用いた解析、図表の種類と使い方	予習90分：前回課された課題を行っておく 復習90分：疫学の授業で収集したデータの解析・見える化を行っておくこと
第5回	生命表・平均寿命	平均寿命の計算方法、生命表、健康寿命	予習90分：教科書P. 129～131に目を通しておくこと 復習90分：配布資料を見直しておくこと
第6回	保健統計調査①	人口静態調査、人口動態調査	予習90分：第4回までの課題をレポートにまとめ、授業前に提出のこと 復習90分：配布資料を見直しておくこと
第7回	保健統計調査②	国民健康・栄養調査、患者調査、国民生活基礎調査	予習90分：1～6回の学習内容を整理しておく 復習90分：配布資料を見直しておくこと
第8回	確認テスト１	確認テスト１の実施 解答と解説	予習90分：1～7回の学習内容を整理しておく 復習90分：確認テストの出題内容に関する疑問点を調べ、ノートに整理しておくこと
第9回	栄養疫学のデータ	食事アセスメント、バイアス	予習90分：教科書P. 155～158に目を通しておくこと 復習90分：配布資料を見直しておくこと
第10回	運動疫学のデータ	身体活動、運動、生活活動	予習90分：教科書P. 155～158に目を通しておくこと 復習90分：配布資料を見直しておくこと
第11回	分子疫学のデータ	分子マーカー、倫理的課題、研究例	予習90分：教科書P. 159～161に目を通しておくこと 復習90分：配布資料を見直しておくこと
第12回	感染症疫学のデータ	感染症疫学の指標、基本再生産数、発病率、ワクチン有効率	予習90分：教科書P. 162～163に目を通しておくこと 復習90分：配布資料を見直しておくこと
第13回	社会疫学・メンタルヘルスのデータ	社会格差、ライフコース、心理社会的変数	予習90分：教科書P. 164～171に目を通しておくこと 復習90分：配布資料を見直しておくこと
第14回	QOL・生きがいのデータ	生活機能の測定評価、認知機能の測定、幸福感の国際比較	予習90分：教科書P. 172～173に目を通しておくこと 復習90分：配布資料を見直しておくこ

			と
第15回	まとめ	全体確認テストの実施 解答と解説	予習90分：1～14回の学習内容を確認しておく 復習90分：不正解個所を確認・理解し、ノートに記しておくこと

教科書
日本疫学会監修 はじめて学ぶやさしい疫学 改訂第３版 南江堂
参考書
浅野嘉延著 楽しく学べる！ 看護学生のための疫学・保健統計学 南山堂
成績評価の方法・基準
・２回の筆記試験の成績（60%） ・３回のレポート課題の提出状況および内容（40%）
課題等に対する フィードバックの方法
・確認テスト(45分程度)の後、解答および解説を行う。 ・グループディスカッション・プレゼンテーションに対するコメント等適宜行う。 ・SPSSを用いた計算課題では、教員が実際に解析を実行し、各自の確認を促す。
履修のポイント
・健康水準の測定・評価方法を習得すべく、苦手意識を払拭し積極的に取り組むことを期待します。
オフィス・アワー
・水曜日・木曜日12:30～13:20（昼休み） 11号館第5研究室 （講義終了前後にも適宜受付可能）

講義コード	10550001
講義名	社会福祉学概論
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	４時限
区分	専門基礎科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-C126
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 服部 弘	指定なし

授業の概要と教育目標

わが国における社会福祉、社会保障の成り立ちについて学ぶとともに、保健、医療、福祉が密接な関係をもって私たちの暮らしを支えていることについて学習を行う。また、現在における人口の変化や世帯構造の変化が及ぼす社会福祉、社会保障のあり方について具体的事例などを踏まえて、様々な専門職との連携の重要性や地域における生活者としての視点の大切さを講義や演習により学習を進める。
社会福祉、社会保障の基本的理解を行い、生活を支えるための福祉サービス等のあり方と視点について学ぶことを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、社会福祉学を学ぶことによって、人間に対して、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面からの理解を深めることを目指すものとする。

到達目標

１．社会福祉、社会保障の成り立ちについて理解する。
２．社会構造の変化による社会福祉のあり方について理解する。
３．具体的な事例を通じて、医療、福祉の連携や生活支援のあり方について理解する。
４．社会における福祉的課題について関心をもち、地域支援への視点を養う。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	授業ガイダンス ・社会保障制度と社会福祉 ・現代社会の変化と 社会保障・社会福祉の動向	授業の進め方・学習の仕方などの説明 ・社会保障及び社会福祉の法制度 ・現代社会の変化 ・社会保障、社会福祉の動向	予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書・配布資料を見直す
		・医療保障制度の沿革	予習90分：教科書を読

第2回	医療保障	・医療保障制度の構造と体系 ・健康保険と国民健康保険 ・高齢者医療制度	む 復習90分：教科書・配布資料を見直す
第3回	介護保障	・介護保険制度創設の背景と介護保障の歴史 ・介護保険制度の概要 ・介護保険制度の課題と展望	予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書・配布資料を見直す
第4回	所得保障	・所得保障制度のしくみ ・年金保険制度 ・社会手当 ・労働保険制度	予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書・配布資料を見直す
第5回	公的扶助	・貧困、低所得問題と公的扶助制度 ・生活保護制度のしくみ ・低所得者対策 ・近年の動向	予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書・配布資料を見直す
第6回	社会福祉の分野とサービス①	・高齢者福祉 ・障害者福祉 ・児童家庭福祉	予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書・配布資料を見直す
第7回	社会福祉の分野とサービス② 社会福祉実践と医療・看護	・高齢者福祉・障害者福祉・児童家庭福祉 ・社会福祉援助 ・社会福祉実践と医療・看護との連携	予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書・配布資料を見直す
第8回	これまでの講義のまとめ	これまでの授業の習熟度の確認と振り返り	予習90分：教科書を読む 復習90分：教科書・配布資料を見直す

教科書
福田素生著者代表「社会保障・社会福祉 健康支援と社会保障制度３」医学書院
参考書
適宜紹介をする。
成績評価の方法・基準
単位認定６０点以上 筆記試験100%。 ※授業態度も加味する
課題等に対する フィードバックの方法
配布資料等を参考にし、理解に役立てること。
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待します。
オフィス・アワー
講義終了前後などに、適宜受け付けます。

講義コード	10560001
講義名	社会保障論（2年生）
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期（重複①）
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	１時限
区分	専門基礎科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R173
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松原 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

本講座は、看護学科教育課程の「健康支援と社会保障制度」の中の「社会保障の理念と基本的な制度の考え方」を理解するためのコースである。ここでは、疾病・老齢・要介護・失業などの危機に対応する医療保険・年金保険・介護保険・雇用保険などの公的保険制度と理念、その他の社会保障に関する制度と理念が、福祉・医療制度の中で、また私たちの生活の中でどのような機能を果たしているかを学修する。また、医療保健職として不可欠な知識を得るだけでなく、生活者として知っておくべきことがらについても学修していく。
この講座での学修により、現在の社会保障制度の基本的理念とそのしくみを理解し、さらに個々の社会保険の具体的内容と機能、その他の社会保障の制度内容を正確に理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間を社会との関係で理解し、看護学の基礎となる健康生活と社会について、理解する。その上で、対象者への実践的な援助において、多様な対応を可能とするような知識の修得を目ざす。

到達目標

１．社会保障の理念・機能を理解する。
２．社会保障の具体的しくみ、位置づけについて理解する。
３．社会保障と国民生活の関係、社会保障の課題について理解する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	オリエンテーション、社会保障制度と社会福祉、社会保障・社会福祉の動向	社会保障の概念・目的について理解した後、社会保障の概要・法制度について学習する。さらに、現代の社会保障を取り巻く環境の変化と、それに対する社会福祉政策の近年の動向と社会福祉の現状について学習する。	予習90分：教科書第1章・第2章を読む。復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
			予習90分：教科書

第2回	医療保険制度①	わが国の医療制度の沿革・特徴について学習し、また医療保険の種類を正しく理解する。 〈アクティブ・ラーニング〉 自分の加入している(被扶養者となっている)医療保険の被保険者証を確認し、グループごとに集計し、発表する。	第3章A～Cを読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第3回	医療保険制度②	高齢者医療制度について学習し、国民医療費を学習し、医療保障における見通し及び課題を検討する。	予習90分：教科書第3章D～Fを読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第4回	介護保険制度①	介護保険制度が創設された背景と現在までの沿革、および介護保険制度の概要について、学習する。 〈アクティブ・ラーニング〉 自分の居住している市町村の介護保険事業計画の特徴について、事前に調査した項目について、発表する。	予習120分：教科書第4章A・Bを読む。自分の居住している市町村の介護保険事業計画をホームページで見て、特徴を調べておく。 復習60分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第5回	介護保険制度②	具体的な介護保険制度のしくみについて学習し、市町村が主体的に実施する介護保険事業を中心に学習する。また、近年の介護保険改革とその内容について、学習する。	予習90分：教科書第4章B・Cを読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第6回	年金保険制度	所得保障制度制度の概要について学習する。具体的な所得保障制度の中心である年金保険制度について沿革・具体的内容及び課題を学習する。	予習90分：教科書第5章A・Bを読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第7回	社会手当 労働保険制度	各種社会手当、労働保険制度(雇用保険及び労働者災害補償保険)のしくみ･内容について概観する。	予習90分：教科書第5章C・Dを読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
	公的扶助、	社会保障制度における公的扶助の位置づけを理解し、生活保護制度を中心にその概要と具	予習90分：教科書第6章を読む。 復習90分：チェックテ

第8回	全体のまとめ	体的内容を学習する。公的扶助の現代の課題と生活保護以外の低所得層対策について学習する。これまで学習した制度の社会保障における位置づけについて、学習する。	ストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。

教科書

福田素生・他著『≪系統看護学講座 専門基礎分野≫ 健康支援と社会保障制度③社会保障・社会福祉』（医学書院)

参考書

厚生労働省編『厚生労働白書 平成30年度版』(ぎょうせい)

成績評価の方法・基準

平常点(授業時間内のチェックテスト、発表等)20%、定期テスト80%を総合して評価。総合点60点以上で単位認定する。

課題等に対する
フィードバックの方法

毎回授業終了前、10分間に10問のチェックテストを実施する。解答・解説は、授業終了時に配付するとともに、授業終了後に「桐生大学学生共有フォルダー」の「看護学科2年・社会保障論」のフォルダーにPDFファイルで掲載する。答案は、採点の後、次回の授業時に返却する。定期試験のマーク式解答については、試験終了後「桐生大学学生共有フォルダー」の「看護学科2年・社会保障論」のフォルダーにPDFファイルで掲載する。

履修のポイント

社会保障・社会福祉関連の資料をハンドアウトとして多数配布するので、整理しておくこと。この講座は、4年生配当の「医療関係法規」「医療保健福祉行政論」と深い関連のある講座である。

オフィス・アワー

月・水・金曜日，11時～15時（授業時間以外），11号館３階研究室11

講義コード	10570001
講義名	医療関係法規
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期（重複②）
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
区分	専門基礎科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R181
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松原 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

本講座は、「健康支援と社会保障制度」の一分野として位置づけられる「関係法規」に関する講座である。医療に関する法規としては、すでにさまざまなものが存在しているが、毎年さらに多くの法規が誕生し、また改廃されている。授業では、医療従事者の関わるさまざまな医療、保健衛生、社会福祉などに関連する具体的な法規について学習し、さらに患者の人権や医療過誤等に関する現代的問題についても、学習していく予定である。
この講座での学修により、医療従事者が従わなくてはならない個々の法令の目的・趣旨を理解して、そうした法令を遵守して対象者に医療を提供することができるように、医療関係法令の内容を正確に理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療者及び対象者を社会の側面から理解する講座であり、また看護学の基礎となる、健康生活と社会との関係について、理解するものである。さらに、医療者として必要な倫理、守るべき法令を理解し、行動する際の規範を理解する。

到達目標

１．医療従事者として知っておくべき基本的ルールを理解する。
２．保健医療の各分野の制度について、基本原則を理解し、それに関する具体的なルールを理解する。
３．社会の変化に伴う医療関係法令の改正についても、理解する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	法規の概念、厚生行政のしくみ	授業の進め方、看護師国家試験におけるこの教科目の位置づけについて説明した後、法規とその種類について、法学の基礎的知識を学習する。そして、衛生法規とは具体的に何を指すのか、それに基づく厚生行政はどのように実施されているかを学習する。	予習90分：教科書第1章を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科

			書・ハンドアウトで復習する。
第2回	医事法規(1)	医療を行う人に関する法規のうち、看護業務に関わりの深い医療従事者に関する法規について、その目的と主な規定内容について、学習する。具体的には、保健師助産師看護師法、医師法、看護師人材確保法等を学習する。	予習90分：教科書第2章を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第3回	医事法規(2)	主に医療を行う場・環境に関して規定している医療法について、その目的、具体的内容を学習する。特に、医療の目的、医療者の責務、医療機関、医療計画等、重要なことがらを中心に学習する。また、医療に関して規定しているその他の法規(臓器移植法、他）についても学習する。	予習90分：教科書第3章を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第4回	薬事法規	薬務法規と薬剤等を扱う人に関する法を学習する。医薬品等に関する一般法である医薬品、医療機器等法について学習し、さらに薬剤を主に扱う医療専門職に関する薬剤師法を学習する。また、さらに取り扱いに注意すべき薬剤・毒物等に関する法令を取り上げ、医療従事者の役割と規制内容について学習する。	予習90分：教科書第5章を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第5回	保健衛生法規(1)	保健に関する全般的な行政施策・担当組織等を規定している地域保健法と健康増進法について、その目的・主な内容等を学習した後、個別分野の保健方針・行政施策等を規定している各種保健法のうち、精神保健福祉法について学習する。	予習90分：教科書第4章p.118～p.132を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第6回	保健衛生法規(2)	保健に関して個別分野ごとに保健方針・行政施策等を規定している各種保健法のうち、母子保健法・母体保護法、学校保健安全法について、その目的、主な行政施策の内容等を学習する。さらに具体的な保健対策法のうち、近年の大きな課題となっているがん対策基本法、自殺対策基本法等について、学習する。	予習90分：教科書第4章p.132～p.143を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第7回	保健衛生法規(3)	保健衛生に関する法の中でも、感染症に関する法について学習する。具体的には、感染症予防法・予防接種法・検疫法について、その目的・沿革・とりうる行政施策等について学習する。また、食品に関す	予習90分：教科書第4章p.144～p.160を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違った

		る法のうち、代表的な食品安全基本法と食品衛生法について、概観する。	ところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第8回	環境衛生法規、環境保全法規	日常生活を取り巻く環境に関する法令について、特に水とゴミに関する法令を中心に学習する。さらに環境保全に関する法令について、環境基本法をはじめ、個別の公害防止法、さらには環境に関する主な条約についても学習する。	予習90分：教科書第6章・第10章を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第9回	労働関係法規	労働者に関する法規である労働法のうち、働く人たちの健康を守る立場である医療従事者として知っておく必要のある法令の内容について学習する。労働基準法、労働安全衛生法に加えて、特に働く女性の保護を規定している男女雇用機会均等法、育児休業・介護休業法について学習する。	予習90分：教科書第9章を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第10回	社会保険法(1)医療保険①	2年次の「社会保障論」の授業で学習した「医療保障」に係る社会保険法について、再度重要な部分を確認し、また補足説明をする。医療保険に関するいくつかの法規等を中心に学習する。	予習90分：教科書第7章p.189～p.197を読む。『社会保障・社会福祉』第3章A～Cを読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第11回	社会保険法(2)医療保険②	前回の授業で学習した「医療保障」に係る社会保険法について、引き続き、学習する。また、国民医療費等についても学習する。	予習90分：教科書第7章p.197～p.199を読む。『社会保障・社会福祉』第3章D～Gを読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第12回	社会保険法(3)介護保険	2年次の「社会保障論」の授業で学習した「介護保障」に係る社会保険法について、再度重要な部分を確認し、また補足説明をする。介護保険に関する規	予習90分：教科書教科書第7章p.199～p.205を読む。『社会保障・社会福祉』第4章A･B①～⑤を読む。 復習90分：チェック

	①	定を中心に学習する。	テストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第13回	社会保険法(4)介護保険②	前回の授業で学習した「介護保障」に係る社会保険法について、引き続き、学習する。介護保険の中でも地域支援事業等、市町村が主体となるサービスに関する規定を中心に学習する。	予習90分：教科書第7章p.205～p.206を読む。『社会保障・社会福祉』第4章B⑤～⑧・Cを読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第14回	社会保険法(5)年金保険・労働保険	2年次の「社会保障論」の授業で学習した「所得保障」に係る社会保険法について、再度重要な部分を確認し、また補足説明をする。年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険、社会手当について学習する。	予習90分：教科書第7章p.209～p.210を読む。『社会保障・社会福祉』第5章を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。
第15回	全体のまとめ	これまで学習したことがらについて、課題演習を行って、理解度を確認し、不足している部分について、補足説明をする。	予習90分：チェックテストの解答・解説1～14を確認する。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。

教科書

森山幹夫『《系統看護学講座 専門基礎分野》健康支援と社会保障制度④ 看護関係法令』(医学書院)

参考書

福田素生・他著『≪系統看護学講座 専門基礎分野≫ 健康支援と社会保障制度③社会保障・社会福祉』（医学書院)
『医療六法〈平成31年版〉』（中央法規出版）
手嶋豊・他、編『別冊ジュリスト・医事法判例百選（第２版）』（有斐閣）

成績評価の方法・基準

平常点(授業時間内の課題・チェックテスト等)20%、定期テスト80%を総合して評価。総合点60点以上で単位認定する。

課題等に対する フィードバックの方法
毎回授業終了前、10分間に10問のチェックテストを実施する。解答・解説は、授業終了時に配付するとともに、授業終了後に「桐生大学学生共有フォルダー」の「看護学科4年・医療関係法規」のフォルダーにPDFファイルで掲載する。答案は、採点の後、次回の授業時に返却する。定期試験のマーク式解答については、試験終了後「桐生大学学生共有フォルダー」の「看護学科4年・医療関係法規」のフォルダーにPDFファイルで掲載する。
履修のポイント
医療行政に関する法令、社会保障・社会福祉関連のハンドアウトを多数配布するので、整理しておくこと。 この講座では、2年次の「社会保障論」で学習したことがらも扱う。また、後期開講の「医療保健福祉行政論」と深く関連する講座である。
オフィス・アワー
月・水・金曜日，11時～15時（授業時間以外），11号館３階研究室11

講義コード	10580001
講義名	看護学原論I
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期（重複②）
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	４時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R211
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 三木 園生	指定なし
教員	吉田 幸枝	指定なし

授業の概要と教育目標

看護の歴史的発展や看護の基本的概念である人間・健康・環境・看護について、また、看護における対象理解や看護活動の場と実践について学習し、本科目において、看護とは何か、看護学とはなにかについて自己の考えを深められるようになることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、看護の基本精神を理解した上でさまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における看護の学習につなげることができるよう、看護の基礎となる自己の考えを深められることを目指すものとする。

到達目標

１．看護の歴史的発展を通して、看護概念の変遷を理解し、知識として修得することができる
２．看護職の目標・対象・役割と機能について学び、今後の学習に関連付けることができる
３．看護の対象である人間・健康のとらえ方について理解し、看護について考えることができる

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	看護とはなにか	科目ガイダンス、看護とは、看護学とはワークシートを配付し、看護を選んだ理由や看護に抱くイメージについて記述してもらう。その後、小グループを形成しグループ内で看護のイメージを分かち合う。グループごとにどのような内容が話し合われたか発表する。ワークシートを授業終了時に提出する。	予習90分：教科書全体を概観する。復習90分：配布資料を見直す。
第2回	看護の歴史的変遷	看護の起源、職業としての看護の誕生からナイチンゲールまで	予習90分：第1回の授業で提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料を見直す。

第3回	現代における看護	近代アメリカにおける看護の発展と日本の看護の発展	予習90分：第2回の授業で提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第4回	看護の対象の理解①	人間のさまざまなとらえ方	予習90分：第3回の授業で提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第5回	看護の対象の理解②	看護を必要としている人々	予習90分：第4回の授業で提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第6回	健康と病気	健康のとらえ方の変遷と健康の指標 ワークシートを配付し、現在の健康状態について、健康と判断した理由、どのような状態を「健康」と考えるかについて記述してもらう。ワークシートを授業終了時に提出する。	予習90分：第5回の授業で提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第7回	看護の概念	看護の諸定義	予習90分：第6回の授業で提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第8回	看護活動の場と看護実践	①保健医療システム、②保健医療福祉サービスの場、③医療施設における看護、④医療施設以外の看護の場と役割	予習90分：第7回の授業で提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料を見直す。

教科書

茂野香おる他著『系統看護学講座 専門分野I 基礎看護学〔1〕 看護学概論』医学書院
F.ナイチンゲール著、湯槇ます・薄井坦子・小玉香津子他訳『看護覚え書 改訂第７版』現代社
V.ヘンダーソン著、湯槇ます・小玉香津子訳『看護の基本となるもの』日本看護協会出版会

参考書

授業時に提示します

成績評価の方法・基準

単位認定は60点以上とする

課題等に対するフィードバックの方法

授業内でワークシートの記述等の課題を課すことがあります。返却しますので学習の振り返りに活用してください

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待します

オフィス・アワー

在室時、随時対応します。10号館2階 研究室7

講義コード	10590001
講義名	看護学原論II
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	１時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R220
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 三木 園生	指定なし

授業の概要と教育目標

看護が専門職であるためには、科学的根拠のある看護実践が必要であり、看護理論は看護にその科学的根拠を与えている。看護の対象について身体的側面・心理的側面・社会的側面から理解し、看護構築の初期に開発された理論について学ぶ。本科目は、科学的根拠に基づいた看護実践の必要性について理解することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、看護の基本精神を理解した上でさまざまな健康レベル、あらゆる発達課題における看護の学習につなげることができるよう、看護の対象について理解を深め、看護理論の発展の歴史と看護理論の成り立ちや機能・特徴を理解することを目指すものとする。

到達目標

１．看護の対象について身体的側面・心理的側面・社会的側面から理解する。
２．看護の概念と理論の意味・重要性を理解する。
３．看護理論が具体的な看護実践にどのように活用されるか理解する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	対象理解	科目ガイダンス 心理的側面からの理解 看護学原論Iを振り返り、看護とはなにかをテーマに小グループで話し合う。	予習90分：教科書第2章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第2回	対象理解	身体的側面からの理解	予習90分：教科書第2章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第3回	対象理解	社会的側面からの理解	予習90分：教科書第2章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
		看護理論に関連した用語の定義	

第4回	看護理論概説	主な看護理論 看護学原論Iで学んだ看護理論家の看護の定義について、小グループで話し合い発表する。	予習90分：第3回授業時に提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第5回	F．ナイチンゲールの考え方	①理論的背景、②看護理論の特徴	予習90分：第4回授業時に提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第6回	V．ヘンダーソンの考え方	①理論的背景、②看護理論の特徴	予習90分：第5回授業時に提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第7回	シスター・カリスタ・ロイの考え方 アーネスティン・ウィーデンバックの考え方	①理論的背景、②看護理論の特徴	予習90分：第6回授業時に提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第8回	パトリシア・ベナーの考え方 まとめ	①理論的背景、②看護理論の特徴 まとめ	予習90分：第7回授業時に提示された教科書の該当部分を読む。復習90分：配布資料を見直す。

教科書

茂野香おる他著 『系統看護学講座 専門分野I 基礎看護学① 看護学概論』 医学書院
F．ナイチンゲール著、湯槇ます・薄井坦子他訳 『看護覚え書 改訂第7版』 現代社
V．ヘンダーソン著、湯槇ます・小玉香津子訳 『看護の基本となるもの』 日本看護協会出版会

参考書

授業時に紹介します

成績評価の方法・基準

単位認定は60点以上とする

課題等に対するフィードバックの方法

授業内でワークシートの記述等の課題を課すことがあります。返却しますので学習の振り返りに活用してください

履修のポイント

授業への積極的な取り組みを期待します

オフィス・アワー

在室時、随時対応します。10号館2階 研究室7

講義コード	10600001
講義名	看護技術学概論
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	４時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R211
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 三木 園生	指定なし
教員	伊藤 美鈴	指定なし
教員	吉田 幸枝	指定なし

授業の概要と教育目標

看護技術という概念や看護技術を構成する要素は何か、その対象を学習し、看護技術の修得が、より効果的な看護を展開するためにいかに重要であるかを理解することが必要である。本科目は、看護技術の提供に共通する安全・安楽の技術、対象を自立に向けて支援する技術など看護技術学I～IVの特徴をオムニバス方式で学習することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における人々を対象とした看護の基礎技術を学ぶための共通概念について理解することを目指すものとする。

到達目標

１．看護技術とはなにか、構成要素・対象・用語について説明する
２．看護技術における安楽の意義、安楽確保の技術について説明する
３．看護技術における安全の意義、安全管理の技術について説明する
４．看護技術における自立に向けた教育的支援の意義、教育支援技術について説明する
５．看護過程の基本について説明する

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	看護技術学概説	看護技術とはなにか？看護技術はどのように構成されているか？看護技術の対象とは？看護技術の用語について	予習90分：教科書I序章を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第2回	安楽確保の技術	安楽の意義、安楽な体位の基本	予習90分：教科書I第2編第6章を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。

第3回	安楽確保の技術	ボディメカニクスの基本	予習90分：教科書I第2編第6章を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第4回	安全管理の技術	安全の意義、療養環境における危険防止	予習90分：教科書I第2編第5章を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第5回	安全管理の技術	感染予防の技術、日常的手洗い 実習室において日常的手洗いの方法を演習する。	予習90分：教科書I第2編第4章を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第6回	教育支援技術	自立に向けた教育的支援の意義	予習90分：教科書I第2編第3章を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第7回	看護過程の基本	クリティカルシンキングとはなにか？	予習90分：教科書I第1編第1章を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第8回	看護過程の基本	看護過程とはなにか？看護過程の５つの段階について	予習90分：教科書I第1編第2章を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。

教科書

深井喜代子編『新体系 看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術I』メヂカルフレンド社

参考書

医療情報科学研究所編『看護技術がみえる vol.1 基礎看護技術』メディックメディア
医療情報科学研究所編『看護技術がみえる vol.2 臨床看護技術』メディックメディア

成績評価の方法・基準

筆記試験で評価する。総合得点が60点以上で単位認定とする

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内で課題を課すことがあります。返却しますので学習の振り返りに活用してください。

履修のポイント

主体的に学習することを望む

オフィス・アワー

曜日に関わらず、在室中であればいつでも対応します。10号館2階 研究室7

講義コード	10610001
講義名	看護技術学I（Aクラス）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	３時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R212
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 三木 園生	指定なし
教員	伊藤 美鈴	指定なし
教員	吉田 幸枝	指定なし

授業の概要と教育目標

様々な健康レベルや環境下で生活している人々の生活環境を整え、自然治癒力を高めるための支援技術を学習する。その支援技術は、環境を調整する、清潔を保持する、安楽な体位を保持する、栄養状態を保つ、排泄の支援と調整、衣類の選択と更衣など、対象の生活に必要な支援技術である。その技術は対象の生活機能を維持・促進し自立に向けて支援するための技術で、科学的根拠をもとに学習する。本科目において、日常生活行動の基本的な支援技術を習得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における人々を対象とした看護の基礎となる技術について、その根拠を踏まえて習得できることを目指すものとする。

到達目標

１．自力で日常生活行動が行えない患者に、安全・安楽な日常生活行動の援助を提供するための技術を行う方法を根拠とともに説明する
２．自力で日常生活行動が行えない患者に、自立に向けた教育的支援を考慮した日常生活行動の援助を提供するための技術を行う方法を説明する
３．自力で日常生活行動が行えない患者に、個別性を考慮した日常生活行動の援助を提供するための技術を行う方法を説明する
４．決められた手順に則って日常生活行動の援助技術を実施する
５．日常生活行動の援助の技術修得に向けた自己の課題を明らかにする

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
	環境	入院患者を取り巻く生活環境 病床環境の調整に必要な基礎知	

第1回	を整える技術	識 環境調整における看護の役割と看護技術 実習室の使用方法について	予習90分：教科書Ⅱ第1章・参考書①の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第2回	環境を整える技術	入院患者を取り巻く生活環境 病床環境の調整に必要な基礎知識 環境調整における看護の役割と看護技術 実習室の使用方法について	同上
第3回	ベッドメーキング	ベッドメーキング 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書Ⅱ第1章・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第4回	ベッドメーキング	ベッドメーキング 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	同上
第5回	活動・休息の援助技術	運動の意義と援助 休息の意義と援助 睡眠とその援助 移動の援助	予習90分：教科書Ⅱ第4章・参考書①の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第6回	活動・休息の援助技術	運動の意義と援助 休息の意義と援助 睡眠とその援助 移動の援助	同上
第7回	体位変換移動	体位変換 車椅子・ストレッチャーでの移動 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書Ⅱ第4章・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第8回	体位変換移動	体位変換 車椅子・ストレッチャーでの移動 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	同上
第9回	環境整備臥床患者のシーツ交換	病床の環境整備 臥床患者のシーツ交換 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書Ⅱ第1章・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。

第10回	環境整備 臥床患者のシーツ交換	病床の環境整備 臥床患者のシーツ交換 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	同上
第11回	衣生活の援助技術	衣生活の意義と援助方法	予習90分：教科書第5章X・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第12回	寝衣交換	寝衣交換 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第5章X・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第13回	清潔の援助技術	皮膚の清潔・粘膜の清潔 清潔の意義と援助方法	予習90分：教科書II第5章I～IX・参考書①の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第14回	清潔の援助技術	皮膚の清潔・粘膜の清潔 清潔の意義と援助方法	同上
第15回	全身清拭	全身清拭 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第5章IとVI・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第16回	全身清拭	全身清拭 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	同上
第17回	洗髪	洗髪 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第5章IとVII・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第18回	洗髪	洗髪 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	同上
第19回	食生活の援助技術	食事の意義 食生活の基本的援助	予習90分：教科書II第2章I～III・参考書①の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第20回	食事介助	食事の援助方法 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第2章I～III・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。

第21回	排泄の援助技術	人間にとっての排泄の意義 排泄のメカニズム 基本的援助	予習90分：教科書II第3章I～III・参考書①の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第22回	排泄の援助技術	人間にとっての排泄の意義 排泄のメカニズム 基本的援助	同上
第23回	排泄の援助 陰部洗浄	便器・尿器の当て方 陰部洗浄 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第3章I～III・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第24回	排泄の援助 陰部洗浄	便器・尿器の当て方 陰部洗浄 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	同上
第25回	感染予防の技術	感染予防とは 感染予防の意義・重要性 スタンダードプリコーション	予習90分：教科書I第4章・参考書①の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第26回	感染予防の技術	感染予防とは 感染予防の意義・重要性 スタンダードプリコーション	同上
第27回	感染予防の技術	日常的手洗い、無菌操作、ガウンテクニック、滅菌手袋の着脱 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書I第4章・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第28回	感染予防の技術	日常的手洗い、無菌操作、ガウンテクニック、滅菌手袋の着脱 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	同上
第29回	実技試験	技術テスト	空き時間を使用して実習室で技術の練習を十分に行い、試験に臨む
第30回	実技試験	技術テスト	空き時間を使用して実習室で技術の練習を十分に行い、試験に臨む

教科書

新体系 看護学全書 専門分野I 基礎看護学② 基礎看護技術I 深井喜代子編集 メヂカルフレンド社
新体系 看護学全書 専門分野I 基礎看護学③ 基礎看護技術II 深井喜代子編集 メヂカルフレンド社

参考書

看護技術がみえる vol.1 基礎看護技術 医療情報科学研究所編集 メディックメディア
看護技術がみえる vol.2 臨床看護技術 医療情報科学研究所編集 メディックメディア

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。筆記試験60%、実技試験30%、課題レポート10%を総合して評価する
課題等に対する フィードバックの方法
日常生活行動の援助の項目ごとに演習があり、毎回、課題レポートを課します。返却しますので学習の振り返りと技術の習得に活用してください
履修のポイント
主体的・積極的な学習への取り組みがのぞまれる
オフィス・アワー
在室時、随時対応します。10号館2階 研究室7

講義コード	10610002
講義名	看護技術学I（Bクラス）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	３時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R212
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 三木 園生	指定なし
教員	伊藤 美鈴	指定なし
教員	吉田 幸枝	指定なし

授業の概要と教育目標

様々な健康レベルや環境下で生活している人々の生活環境を整え、自然治癒力を高めるための支援技術を学習する。その支援技術は、環境を調整する、清潔を保持する、安楽な体位を保持する、栄養状態を保つ、排泄の支援と調整、衣類の選択と更衣など、対象の生活に必要な支援技術である。その技術は対象の生活機能を維持・促進し自立に向けて支援するための技術で、科学的根拠をもとに学習する。本科目において、日常生活行動の基本的な支援技術を習得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における人々を対象とした看護の基礎となる技術について、その根拠を踏まえて習得できることを目指すものとする。

到達目標

１．自力で日常生活行動が行えない患者に、安全・安楽な日常生活行動の援助を提供するための技術を行う方法を根拠とともに説明する
２．自力で日常生活行動が行えない患者に、自立に向けた教育的支援を考慮した日常生活行動の援助を提供するための技術を行う方法を説明する
３．自力で日常生活行動が行えない患者に、個別性を考慮した日常生活行動の援助を提供するための技術を行う方法を説明する
４．決められた手順に則って日常生活行動の援助技術を実施する
５．日常生活行動の援助の技術修得に向けた自己の課題を明らかにする

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
	環境	入院患者を取り巻く生活環境 病床環境の調整に必要な基礎知	

第1回	を整える技術	識 環境調整における看護の役割と看護技術 実習室の使用方法について	予習90分：教科書Ⅱ第1章・参考書①の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第2回	環境を整える技術	入院患者を取り巻く生活環境 病床環境の調整に必要な基礎知識 環境調整における看護の役割と看護技術 実習室の使用方法について	同上
第3回	ベッドメーキング	ベッドメーキング 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書Ⅱ第1章・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第4回	ベッドメーキング	ベッドメーキング 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	同上
第5回	活動・休息の援助技術	運動の意義と援助 休息の意義と援助 睡眠とその援助 移動の援助	予習90分：教科書Ⅱ第4章・参考書①の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第6回	活動・休息の援助技術	運動の意義と援助 休息の意義と援助 睡眠とその援助 移動の援助	同上
第7回	体位変換移動	体位変換 車椅子・ストレッチャーでの移動 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書Ⅱ第4章・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第8回	体位変換移動	体位変換 車椅子・ストレッチャーでの移動 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	同上
第9回	環境整備臥床患者のシーツ交換	病床の環境整備 臥床患者のシーツ交換 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書Ⅱ第1章・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。

第10回	環境整備 臥床患者のシーツ交換	病床の環境整備 臥床患者のシーツ交換 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	同上
第11回	衣生活の援助技術	衣生活の意義と援助方法	予習90分：教科書第5章X・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第12回	寝衣交換	寝衣交換 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第5章X・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第13回	清潔の援助技術	皮膚の清潔・粘膜の清潔 清潔の意義と援助方法	予習90分：教科書II第5章I～IX・参考書①の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第14回	清潔の援助技術	皮膚の清潔・粘膜の清潔 清潔の意義と援助方法	同上
第15回	全身清拭	全身清拭 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第5章IとVI・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第16回	全身清拭	全身清拭 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	同上
第17回	洗髪	洗髪 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第5章IとVII・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第18回	洗髪	洗髪 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	同上
第19回	食生活の援助技術	食事の意義 食生活の基本的援助	予習90分：教科書II第2章I～III・参考書①の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第20回	食事介助	食事の援助方法 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第2章I～III・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。

第21回	排泄の援助技術	人間にとっての排泄の意義 排泄のメカニズム 基本的援助	予習90分：教科書II第3章I～III・参考書①の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第22回	排泄の援助技術	人間にとっての排泄の意義 排泄のメカニズム 基本的援助	同上
第23回	排泄の援助 陰部洗浄	便器・尿器の当て方 陰部洗浄 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第3章I～III・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第24回	排泄の援助 陰部洗浄	便器・尿器の当て方 陰部洗浄 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	同上
第25回	感染予防の技術	感染予防とは 感染予防の意義・重要性 スタンダードプリコーション	予習90分：教科書I第4章・参考書①の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第26回	感染予防の技術	感染予防とは 感染予防の意義・重要性 スタンダードプリコーション	同上
第27回	感染予防の技術	日常的手洗い、無菌操作、ガウンテクニック、滅菌手袋の着脱 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書I第4章・参考書①の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第28回	感染予防の技術	日常的手洗い、無菌操作、ガウンテクニック、滅菌手袋の着脱 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	同上
第29回	実技試験	技術テスト	空き時間を使用して実習室で技術の練習を十分に行い、試験に臨む
第30回	実技試験	技術テスト	空き時間を使用して実習室で技術の練習を十分に行い、試験に臨む

教科書

新体系 看護学全書 専門分野I 基礎看護学② 基礎看護技術I 深井喜代子編集 メヂカルフレンド社
新体系 看護学全書 専門分野I 基礎看護学③ 基礎看護技術II 深井喜代子編集 メヂカルフレンド社

参考書

看護技術がみえる vol.1 基礎看護技術 医療情報科学研究所編集 メディックメディア
看護技術がみえる vol.2 臨床看護技術 医療情報科学研究所編集 メディックメディア

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。筆記試験60%、実技試験30%、課題レポート10%を総合して評価する
課題等に対する フィードバックの方法
日常生活行動の援助の項目ごとに演習があり、毎回、課題レポートを課します。返却しますので学習の振り返りと技術の習得に活用してください
履修のポイント
主体的・積極的な学習への取り組みがのぞまれる
オフィス・アワー
在室時、随時対応します。10号館2階 研究室7

講義コード	10620001
講義名	看護技術学II（Aクラス）
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	３時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R221
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 三木 園生	指定なし
教員	伊藤 美鈴	指定なし

授業の概要と教育目標

看護師は、医師の治療目標に向かって他の医療チームと協働で治療効果を上げる責任がある。治療過程を支援する技術は、特に安全に配慮した確実な技術や倫理的配慮が求められる。様々な症状、疼痛、発熱、呼吸困難、排泄障害などについて、看護の視点で症状緩和方法について学習する。本科目において、治療過程を支援する技術について理解を深め、技術の一端を体験することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、さまざまな健康レベル、あらゆる発達課題における人々を対象とした看護の基礎となる技術についてその根拠を踏まえて理解すること、また臨床現場でチーム医療の一員として活躍するための基礎技術を学ぶことを目指すものとする。

到達目標

１．治療過程支援技術および、症状緩和技術の目的・方法を説明する
２．安全・安楽に治療過程支援技術および、症状緩和技術を行うための環境調整を実施する
３．決められた手順に則って治療過程支援技術および、症状緩和技術を実施する
４．治療過程支援技術および、症状緩和技術の修得に向けた自己の課題を明らかにする

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	バイタルサイン	バイタルサインとは？ バイタルサインの観察方法 記録・報告	予習90分：教科書I第2編第1章III・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第2回	バイタルサイン	バイタルサインとは？ バイタルサインの観察方法 記録・報告	予習90分：教科書I第2編第1章III・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
		バイタルサインの測定・記	

第3回	バイタルサインの測定	録・報告 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書I第2編第1章III・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第4回	バイタルサインの測定	バイタルサインの測定・記録・報告 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書I第2編第1章III・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第5回	呼吸・循環を整える技術	呼吸の意義 酸素吸入療法 吸引（一時的・持続的） 人工呼吸	予習90分：教科書II第5編第1章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第6回	呼吸・循環を整える技術	呼吸の意義 酸素吸入療法 吸引（一時的・持続的） 人工呼吸	予習90分：教科書II第5編第1章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第7回	酸素吸入療法 吸引	酸素吸入療法 一時的吸引法 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第5編第1章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第8回	酸素吸入療法 吸引	酸素吸入療法 一時的吸引法 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第5編第1章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第9回	食生活と栄養摂取の援助技術	経腸栄養法と静脈栄養法	予習90分：教科書II第4編第2章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第10回	経管栄養法	経管栄養法 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第4編第2章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第11回	排泄の援助技術	排便障害と援助方法 排尿障害と援助方法	予習90分：教科書II第4編第3章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第12回	排泄の援助技術	排便障害と援助方法 排尿障害と援助方法	予習90分：教科書II第4編第3章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
		グリセリン浣腸 一時的導尿	

第13回	浣腸、導尿	教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第4編第3章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第14回	浣腸、導尿	グリセリン浣腸 一時的導尿 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第4編第3章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第15回	与薬の技術	薬物療法の意義・目的、看護師の役割 与薬に関する基本知識	予習90分：教科書II第5編第3章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第16回	与薬の技術	薬物療法の意義・目的、看護師の役割 与薬に関する基本知識	予習90分：教科書II第5編第3章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第17回	与薬の技術 検査に伴う看護技術	与薬の援助に関する共通事項、各種与薬の援助方法 検査に伴う看護と検査の種類、血液検査（静脈血採血法）	予習90分：教科書II第5編第3章第4章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第18回	与薬の技術 検査に伴う看護技術	与薬の援助に関する共通事項、各種与薬の援助方法 検査に伴う看護と検査の種類、血液検査（静脈血採血法）	予習90分：教科書II第5編第3章第4章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第19回	静脈血採血法	静脈血採血の方法 感染性廃棄物の取扱い 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第4編第4章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第20回	静脈血採血法	静脈血採血の方法 感染性廃棄物の取扱い 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第4編第4章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第21回	各種注射法	筋肉内注射法 点滴静脈内注射法 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第4編第3章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第22回	各種注射法	筋肉内注射法 点滴静脈内注射法 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を	予習90分：教科書II第4編第3章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助につい

		実施する。実施後は振り返りを行う。	て課題レポートで振り返る。
第23回	症状緩和技術	症状緩和技術とは 代替療法とは 看護の視点からみた症状緩和方法	予習90分：教科書I第2編第6章教科書II第5編第1章VIII・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第24回	症状緩和技術	症状緩和技術とは 代替療法とは 看護の視点からみた症状緩和方法	予習90分：教科書I第2編第6章教科書II第5編第1章VIII・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第25回	足浴・マッサージ罨法	足浴・マッサージ 冷罨法・温罨法 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書I第2編第6章教科書II第5編第1章VIII・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第26回	足浴・マッサージ罨法	足浴・マッサージ 冷罨法・温罨法 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書I第2編第6章教科書II第5編第1章VIII・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第27回	実技試験	技術テスト	空き時間を使用して実習室で技術の練習を十分に行い、試験に臨む
第28回	実技試験	技術テスト	空き時間を使用して実習室で技術の練習を十分に行い、試験に臨む
第29回	総合演習	総合演習 教員からアドバイスを受けたあと、グループごとの援助計画に沿って実施する。実施後は結果を踏まえ評価する。	予習90分：事前に提示された事例をもとに援助の計画を立てる。復習90分：実施した援助を振り返り、評価する。
第30回	総合演習	総合演習 教員からアドバイスを受けたあと、グループごとの援助計画に沿って実施する。実施後は結果を踏まえ評価する。	予習90分：事前に提示された事例をもとに援助の計画を立てる。復習90分：実施した援助を振り返り、評価する。

教科書

新体系 看護学全書 専門分野I 基礎看護学② 基礎看護技術I 深井喜代子編集 メヂカルフレンド社
新体系 看護学全書 専門分野I 基礎看護学③ 基礎看護技術II 深井喜代子編集 メヂカルフレンド社

参考書

看護技術がみえる vol.1 基礎看護技術 医療情報科学研究所編集 メディックメディア
看護技術がみえる vol.2 臨床看護技術 医療情報科学研究所編集 メディックメディア
フィジカルアセスメントがみえる 医療情報科学研究所編集 メディックメディア

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。筆記試験60%、実技試験30%、課題レポート10%を総合して評価。

課題等に対する

フィードバックの方法
治療過程支援技術の項目ごとに演習があり、毎回、課題レポートを課します。返却しますので学習の振り返りと技術の習得に活用してください
履修のポイント
主体的・積極的な学習への取り組みがのぞまれる
オフィス・アワー
在室時、随時対応します。10号館2階 研究室7

講義コード	10620002
講義名	看護技術学II（Bクラス）
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	３時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R221
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 三木 園生	指定なし
教員	伊藤 美鈴	指定なし

授業の概要と教育目標

看護師は、医師の治療目標に向かって他の医療チームと協働で治療効果を上げる責任がある。治療過程を支援する技術は、特に安全に配慮した確実な技術や倫理的配慮が求められる。様々な症状、疼痛、発熱、呼吸困難、排泄障害などについて、看護の視点で症状緩和方法について学習する。本科目において、治療過程を支援する技術について理解を深め、技術の一端を体験することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、さまざまな健康レベル、あらゆる発達課題における人々を対象とした看護の基礎となる技術についてその根拠を踏まえて理解すること、また臨床現場でチーム医療の一員として活躍するための基礎技術を学ぶことを目指すものとする。

到達目標

１．治療過程支援技術および、症状緩和技術の目的・方法を説明する
２．安全・安楽に治療過程支援技術および、症状緩和技術を行うための環境調整を実施する
３．決められた手順に則って治療過程支援技術および、症状緩和技術を実施する
４．治療過程支援技術および、症状緩和技術の修得に向けた自己の課題を明らかにする

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	バイタルサイン	バイタルサインとは？ バイタルサインの観察方法 記録・報告	予習90分：教科書I第2編第1章III・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第2回	バイタルサイン	バイタルサインとは？ バイタルサインの観察方法 記録・報告	予習90分：教科書I第2編第1章III・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
		バイタルサインの測定・記	

第3回	バイタルサインの測定	録・報告 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書I第2編第1章III・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第4回	バイタルサインの測定	バイタルサインの測定・記録・報告 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書I第2編第1章III・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第5回	呼吸・循環を整える技術	呼吸の意義 酸素吸入療法 吸引（一時的・持続的） 人工呼吸	予習90分：教科書II第5編第1章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第6回	呼吸・循環を整える技術	呼吸の意義 酸素吸入療法 吸引（一時的・持続的） 人工呼吸	予習90分：教科書II第5編第1章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第7回	酸素吸入療法 吸引	酸素吸入療法 一時的吸引法 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第5編第1章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第8回	酸素吸入療法 吸引	酸素吸入療法 一時的吸引法 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第5編第1章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第9回	食生活と栄養摂取の援助技術	経腸栄養法と静脈栄養法	予習90分：教科書II第4編第2章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第10回	経管栄養法	経管栄養法 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第4編第2章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第11回	排泄の援助技術	排便障害と援助方法 排尿障害と援助方法	予習90分：教科書II第4編第3章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第12回	排泄の援助技術	排便障害と援助方法 排尿障害と援助方法	予習90分：教科書II第4編第3章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
		グリセリン浣腸 一時的導尿	

第13回	浣腸、導尿	教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第4編第3章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第14回	浣腸、導尿	グリセリン浣腸 一時的導尿 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第4編第3章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第15回	与薬の技術	薬物療法の意義・目的、看護師の役割 与薬に関する基本知識	予習90分：教科書II第5編第3章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第16回	与薬の技術	薬物療法の意義・目的、看護師の役割 与薬に関する基本知識	予習90分：教科書II第5編第3章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第17回	与薬の技術 検査に伴う看護技術	与薬の援助に関する共通事項、各種与薬の援助方法 検査に伴う看護と検査の種類、血液検査（静脈血採血法）	予習90分：教科書II第5編第3章第4章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第18回	与薬の技術 検査に伴う看護技術	与薬の援助に関する共通事項、各種与薬の援助方法 検査に伴う看護と検査の種類、血液検査（静脈血採血法）	予習90分：教科書II第5編第3章第4章・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第19回	静脈血採血法	静脈血採血の方法 感染性廃棄物の取扱い 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第4編第4章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第20回	静脈血採血法	静脈血採血の方法 感染性廃棄物の取扱い 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第4編第4章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第21回	各種注射法	筋肉内注射法 点滴静脈内注射法 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書II第4編第3章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第22回	各種注射法	筋肉内注射法 点滴静脈内注射法 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を	予習90分：教科書II第4編第3章・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助につい

		実施する。実施後は振り返りを行う。	て課題レポートで振り返る。
第23回	症状緩和技術	症状緩和技術とは 代替療法とは 看護の視点からみた症状緩和方法	予習90分：教科書I第2編第6章教科書II第5編第1章VIII・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第24回	症状緩和技術	症状緩和技術とは 代替療法とは 看護の視点からみた症状緩和方法	予習90分：教科書I第2編第6章教科書II第5編第1章VIII・参考書の該当部分を読む。復習90分：教科書・参考書・配布資料を見直す。
第25回	足浴・マッサージ罨法	足浴・マッサージ 冷罨法・温罨法 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書I第2編第6章教科書II第5編第1章VIII・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第26回	足浴・マッサージ罨法	足浴・マッサージ 冷罨法・温罨法 教員によるデモンストレーションに注目し、その後小グループに分かれて援助を実施する。実施後は振り返りを行う。	予習90分：教科書I第2編第6章教科書II第5編第1章VIII・参考書の該当部分を読む。演習に向けた事前課題に取り組む。復習90分：実施した援助について課題レポートで振り返る。
第27回	実技試験	技術テスト	空き時間を使用して実習室で技術の練習を十分に行い、試験に臨む
第28回	実技試験	技術テスト	空き時間を使用して実習室で技術の練習を十分に行い、試験に臨む
第29回	総合演習	総合演習 教員からアドバイスを受けたあと、グループごとの援助計画に沿って実施する。実施後は結果を踏まえ評価する。	予習90分：事前に提示された事例をもとに援助の計画を立てる。復習90分：実施した援助を振り返り、評価する。
第30回	総合演習	総合演習 教員からアドバイスを受けたあと、グループごとの援助計画に沿って実施する。実施後は結果を踏まえ評価する。	予習90分：事前に提示された事例をもとに援助の計画を立てる。復習90分：実施した援助を振り返り、評価する。

教科書

新体系 看護学全書 専門分野I 基礎看護学② 基礎看護技術I 深井喜代子編集 メヂカルフレンド社
新体系 看護学全書 専門分野I 基礎看護学③ 基礎看護技術II 深井喜代子編集 メヂカルフレンド社

参考書

看護技術がみえる vol.1 基礎看護技術 医療情報科学研究所編集 メディックメディア
看護技術がみえる vol.2 臨床看護技術 医療情報科学研究所編集 メディックメディア
フィジカルアセスメントがみえる 医療情報科学研究所編集 メディックメディア

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。筆記試験60%、実技試験30%、課題レポート10%を総合して評価。

課題等に対する

フィードバックの方法
治療過程支援技術の項目ごとに演習があり、毎回、課題レポートを課します。返却しますので学習の振り返りと技術の習得に活用してください
履修のポイント
主体的・積極的な学習への取り組みがのぞまれる
オフィス・アワー
在室時、随時対応します。10号館2階 研究室7

講義コード	10630001
講義名	看護技術学III
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	金曜日
代表時限	３時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R230
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 伊藤 美鈴	指定なし

授業の概要と教育目標

看護におけるヘルスアセスメントの目的・意義を理解し、対象者の健康状態を身体的・心理的・社会的側面から統合的にアセスメントするための知識と基本的技術を学ぶ。特に身体的アセスメントについては、看護実践の基盤となる観察技術を中心に正確な身体情報を把握する。さらにその情報から対象者の健康レベルや正常・異常を理解できるまでの一連のアセスメント技術と看護者として望ましい基本的態度を修得する。なお本科目は、対象者の健康状態を実際にアセスメントできる基本的技術と看護者としての基本的態度を修得できるようにすることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシー〈看護の基礎技術を理解した上での実践的な援助を実施する〉に関連し、看護におけるヘルスアセスメントの目的・意義を理解し、あらゆる健康レベルにある人々の身体構造と機能の系統的観察・測定技術の必要性と方法を学べるようにする。将来的な展望としては、対象者の健康状態を実際にアセスメントできるようにすることを目指すものとする。

到達目標

1. ヘルスアセスメントの意義および必要性を述べる。
2. 人間を身体的－心理・社会的存在としてとらえる必要性を述べる。
3. 対象者を総合的にアセスメントするために、ヘルスアセスメントの基本的技術を実施する。
4. ヘルスアセスメント時の看護者としての基本的態度について考える。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	ヘルスアセスメントの概要[講義]	ヘルスアセスメントの目的・意義と基本的技法	予習90分：「ヘルスアセスメントの目的・意義と基本的技法」との関連事項を読む。復習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。
第2回	看護面接の進め	看護面接の進め方	予習90分：「看護面接の進め方」との関連事項を読む。復習90分：課題

	方[講義]		の実施。授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。
第3回	系統的アセスメント：看護面接[演習]	看護面接の実際：クラス別 【アクティブ・ラーニングの内容】 第2回授業の内容を学生は実際に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める	予習90分：配布課題の実施。教科書の関連事項を読む。復習90分：事後レポートの実施。
第4回	皮膚・頭頸部のフィジカルアセスメント[講義]	皮膚・頭頸部のフィジカルアセスメントの進め方	予習90分：「皮膚・頭頸部のフィジカルアセスメントの進め方」との関連事項を読む。課題の実施。復習90分：課題の実施。授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。
第5回	系統別アセスメント：皮膚・頭頸部のフィジカルアセスメントと身体各部の計測の実際	皮膚・頭頸部のフィジカルアセスメントと身体各部の計測の実際：クラス別 【アクティブ・ラーニングの内容】 第4回授業の内容を学生は実際に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める	予習90分：配布課題の実施。教科書の関連事項を読む。復習90分：事後レポートの実施。
第6回	呼吸器系のフィジカルアセスメント[講義]	呼吸器系のフィジカルアセスメントの進め方	予習90分：「呼吸器系のフィジカルアセスメント」の関連事項を読む。復習90分：課題の実施。授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。
第7回	系統別アセスメント：呼吸器系のフィジカルアセスメント[演習]	呼吸器系のフィジカルアセスメントの実際：クラス別 【アクティブ・ラーニングの内容】 第6回授業の内容を学生は実際に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める	予習90分：配布課題の実施。教科書の関連事項を読む。復習90分：事後レポートの実施。
第8回	循環器系のフィジカルアセスメント［講義］	循環器系のフィジカルアセスメントの進め方	予習90分：「循環器系のフィジカルアセスメント」の関連事項を読む。復習90分：課題の実施。授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。
第9回	系統別アセスメント：循環器系のフィジカルアセスメント[演習]	循環器系のフィジカルアセスメントの実際：クラス別 【アクティブ・ラーニングの内容】 第8回授業の内容を学生は実際に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める	予習90分：配布課題の実施。教科書の関連事項を読む。復習90分：事後レポートの実施。

第10回	消化器系のフィジカルアセスメント[講義]	消化器系のフィジカルアセスメントの進め方	予習90分：「消化器系のフィジカルアセスメント」の関連事項を読む。復習90分：課題の実施。授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。
第11回	系統別アセスメント：消化器系のフィジカルアセスメント[演習]	消化器系のフィジカルアセスメントの実際：クラス別 【アクティブ・ラーニングの内容】 第10回授業の内容を学生は実際に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める	予習90分：配布課題の実施。教科書の関連事項を読む。復習90分：事後レポートの実施。
第12回	感覚器・運動器・中枢神経系のフィジカルアセスメント[講義]	感覚器系・運動器系・中枢神経系のフィジカルアセスメントの進め方	予習90分：「感覚器系・運動器系・中枢神経系のフィジカルアセスメント」の関連事項を読む。復習90分：課題の実施。授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。
第13回	系統別アセスメント：感覚器・運動器・中枢神経系のフィジカルアセスメント[演習]	感覚器系・運動器系・中枢神経系のフィジカルアセスメントの実際①：クラス別 【アクティブ・ラーニングの内容】 第13回授業の内容を学生は実際に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める	予習90分：配布課題の実施。教科書の関連事項を読む。復習90分：事後レポートの実施。
第14回	系統別アセスメント：感覚器・運動器・中枢神経系のフィジカルアセスメント[演習]	感覚器系・運動器系・中枢神経系のフィジカルアセスメントの実際②：クラス別 【アクティブ・ラーニングの内容】 第13回授業の内容を学生は実際に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める	予習90分：配布課題の実施。教科書の関連事項を読む。復習90分：事後レポートの実施。
第15回	情報収集および解釈・分析［演習］	情報収集および解釈・分析：ゴードンの機能的健康パターンを用いて 【アクティブ・ラーニングの内容】 あらかじめ配布した事例展開の内容を学生は実際に実施する。その中で、看護技術を実際に経験することで学びを深める	予習90分：配布課題の実施。看護技術学IVの関連事項を読む。復習90分：授業中の教科書使用箇所・配布資料を見直す。事後レポートの実施。

教科書

岡庭豊：フィジカルアセスメントがみえる,メディックメディア,2015.

参考書
松尾ミヨ子編：ナーシンググラフィカ 基礎看護学② ヘルスアセスメント,2018. 山内豊明：フィジカルアセスメント ガイドブック－目と手と耳でここまでわかる（第2版）,医学書院,2011.
成績評価の方法・基準
講義・演習参加状況・演習レポート30%、事例レポート20%、筆記試験50%を総合して評価する。 総合得点が60点以上で単位認定とする。ただし、事例レポートが合格することを必須とする。
課題等に対する フィードバックの方法
系統別アセスメントの演習を効果的に行うために人体の構造のレポートを作成する。演習前にフィジカルアセスメントのDVDを視聴する。
履修のポイント
事前事後の学習課題を行い、主体的・積極的に参加すること。記録類の提出は、時間厳守すること。
オフィス・アワー
月曜日の午前中対応します。10号館2階11研究室です。

講義コード	10640001
講義名	看護技術学IV
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	４時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R231
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 三木 園生	指定なし

授業の概要と教育目標

看護過程の展開は看護理論をもとに、対象にどのような問題点があるか、どのような看護ケアが必要か、どのような事象が展開されるかを予測的に説明することができる方法である。本科目は専門基礎で学んだ知識と看護学を統合する学習であり、既修学習した様々な知識を想起して、これから始まる看護学各論の科目、特に臨地実習と関連させる方法論を学ぶことを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における人々を対象とした看護展開の基礎となる考え方を理解することを目指すものとする。

到達目標

１．看護過程とはなにか説明する
２．看護過程の各段階とその機能を説明する
３．看護過程の展開方法について説明する
①「アセスメント」を展開する方法
②「看護診断（問題の明確化）」を展開する方法
③「計画」を展開する方法
④「実施」を展開する方法
⑤「評価」を展開する方法

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	看護過程概説 看護過程の各段階と機	看護過程とは 看護過程の各段階と機能とは	予習90分：教科書第1章を読む。 復習90分：教科書・配布資料を見直す。

	能		
第2回	アセスメント	アセスメントとは	予習90分：教科書第2章を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第3回	アセスメント	アセスメントとは 事例展開に向けた学習（病態・治療、発達段階）	予習90分：教科書第2章を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第4回	アセスメント	事例をもとに情報整理 第3回授業で配布された事例展開に関する資料をもとに、小グループに分かれて相談しながら、ゴードンの枠組みに沿って情報を記入する。	予習90分：事例に関する資料を精読する。復習90分：実施した演習について振り返り、課題に取り組む。
第5回	アセスメント	情報の修正、情報の解釈・分析 ゴードンの枠組みに沿って整理した情報をもとに、小グループに分かれて相談しながら、解釈・分析する。	予習90分：事例に関する資料を精読する。復習90分：実施した演習について振り返り、課題に取り組む。
第6回	診断	診断とは	予習90分：教科書第3章を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第7回	診断	診断とは 関連図を用いた問題の明確化 関連図作成 小グループごとに相談しながら、手順に沿って関連図を作成する。	予習90分：教科書第3章を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。実施した演習について振り返り、課題に取り組む。
第8回	診断	関連図修正、診断リスト作成 小グループごとに相談しながら、作成した関連図をもとに診断リストに記入する。	予習90分：事例に関する資料を精読する。復習90分：実施した演習について振り返り、課題に取り組む。
第9回	計画	計画とは 期待される成果	予習90分：教科書第4章を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第10回	計画	計画とは 看護介入	予習90分：教科書第4章を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第11回	計画	期待される成果（目標）の設定 具体策（看護介入計画）の立案 小グループに分かれ、相談しながら期待される成果および具体策を記入する。	予習90分：事例に関する資料を精読する。復習90分：実施した演習について振り返り、課題に取り組む。
第12回	計画	期待される成果（目標）の設定 具体策（看護介入計画）の立案 小グループに分かれ、相談しながら期待される成果および具体策を記入する。	予習90分：事例に関する資料を精読する。復習90分：実施した演習について振り返り、課題に取り組む。
第13回	実施	実施とは 実施と記録	予習90分：教科書第5章を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第14回	評価	評価とは 目標達成の評価、看護過程全体の見直し	予習90分：教科書第6章を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第15回	まと	具体策修正 看護過程のまとめ	予習90分：これまでの授業で学習した内容を見直す。復習90分：実

	め	事例の展開について全体を見直す。	施した演習について振り返り、課題に取り組む。

教科書
ロザリンダ・アルファロ-ルフィーヴァ著、本郷久美子監訳『基本から学ぶ 看護過程と看護診断 第7版』医学書院 リンダ.J.カルペニート著、新道幸恵監訳『看護診断ハンドブック 第11版』医学書院
参考書
授業時に提示します
成績評価の方法・基準
事例展開（課題レポート）50%、筆記試験50%を総合して評価する。どちらも60点以上取れることを必須とする
課題等に対する フィードバックの方法
看護過程の5段階ごとに演習があり、毎回、課題レポートを課します。返却しますので学習の振り返りに活用してください
履修のポイント
主体的・積極的な学習への取組が望まれる
オフィス・アワー
曜日に関わらず、在室中で時間があればいつでも対応します。10号館2階 研究室7

講義コード	10650001
講義名	看護技術学V
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期（重複②）
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R232
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 吉田 幸枝	指定なし

授業の概要と教育目標

少子高齢化、疾病構造の変化等により、保健医療システムの変革は病院完結治療から地域包括システムへと移行している。その為、人々は病院のみならず、地域における生活の中でも健康問題に対して主体的に取り組むことが求められている。このことから日常生活の援助者である看護師は対象の疾病の予防、健康の維持・増進をはかり、対象が自ら健康問題に取り組み、健康管理できるよう学習を支援していく役割を担う。
本講義では対象者の学習支援に必要な基礎的な知識を学び、人々の発達段階や様々な状況に応じて指導できる技術の基本を理解することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、看護の基本精神・看護技術を理解したうえで、様々な健康レベル・発達段階における対象の学習支援につなげることができる様、基礎的な知識及び基本的な技術についての理解を目指すものとする。

到達目標

1.看護の教育的支援の役割が理解できる。
2.発達段階や療養の場に応じた学習支援の方法が理解できる。
3.理論を活用した効果的な学習支援の方法が理解できる。
4.学習支援に役立つ理論が理解できる。
5.事例検討を通して、自己の教育支援について省察（リフレクション）ができる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	看護の教育的支援の役割	1)社会背景からとらえた教育支援の必要性 2)看護における学習支援（教育支援）とその役割	予習９０分：①諸外国に比べて、日本の高齢化の特徴を調べる。②平成３０年度の社会保障給付費について、その特徴を調べる。 復習９０分：日本の社会背景から学習支援の必要性をノートに整理する。

第2回	発達段階や療養の場に応じた学習支援の方法	1)成人の学習者と子どもの学習者 2)対象と場面に応じた教育的なかかわり 3)様々な場所で行われる学習支援 4)健康状態の変化に伴う学習支援 5)指導形式	予習９０分：①発達段階について諸理論を基に発達とその特徴を調べる。 ②「アンドラゴジー」の言葉の概念を調べる。 復習９０分：子どもと成人の学習支援の違いをノートに整理する。
第3回	理論を活用した効果的な学習支援の方法	1)患者指導技術の構造とその支援方法 2)教育支援プロセスの理解	予習９０分：以下の文献を準備し、読んでから講義に臨む。 石岡薫他：看護者の患者指導技術の構成要素と構造化の試み,日本看護研究学会雑誌,vol32,No4,2009. 復習９０分：患者指導のプロセス及びその影響要因をノートに整理する。
第4回	効果的な教育支援方法	1)学習者が好む指導スタイル 2)指導方法 3)指導の評価 4)看護職者の患者教育実施の目的	復習９０分：従来の看護職者の患者教育実施の問題点についてノートに整理する。
第5回	教育支援に役立つ理論	1)理論とは 2)理論の紹介 (1)健康信念モデル (2)自己効力感 (3)変化のステージ理論	予習９０分：以下の購入図書を読んでから講義に臨む。 松本千明著「健康行動理論の基礎 生活習慣病を中心に」医歯薬出版株式会社,2019,p1～p35. 復習９０分：講義で紹介された理論について、内容を整理し不明な点を明らかにして、次回講義時に質問できるようノートに整理する。
第6回	学習支援の実際	1)学習支援の実際 2)事例検討に向けての説明 (1)記載用紙の説明 (2)事例検討の進め方 (3)事例紹介 (4)リフレクション方法 (5)事例検討の発表会の説明 3)事例検討（個人ワーク）	予習９０分：患者指導プロセス及び指導のプロセスに影響を及ぼす要因について、復習して講義に臨む。 復習９０分：事例の病態や必要な看護を調べ、必要事項を記録用紙に整理する。
第7回	事例検討	1)個人ワークを基にグループで事例検討を行う 2)事例検討についての発表の準備	予習９０分：事例の病態や必要な看護を調べ、必要事項を記録用紙に整理する。 復習９０分：講義における学びやグループで話し合った結果を踏まえて、自己の記録の修正を行う。
第8回	事例検討・リ	1)事例検討について発表	予習９０分：①講義における学びやグループで話し合った結果を踏まえて、自己の記録の修正を行う。

	フレクション	2)教育支援についてのリフレクション	復習９０分：教育支援について、リフレクションを行い、レポートに記述して提出する。

教科書
深井喜代子他著「新体系看護学全書 基礎看護学②基礎看護技術I」メジカルフレンド社 松本千明著「医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎 生活習慣病を中心に」医歯薬出版株式会社
参考書
講義時に提示します。
成績評価の方法・基準
単位認定は６０点以上、レポート・課題評価３０%、定期試験７０%
課題等に対する フィードバックの方法
講義時、課題に関する説明・講評を行います。講評は内容により、口頭又はプリントで行います。更に不明な点に関しては個別指導で対応します。
履修のポイント
予習の課題に取り組むことが講義の理解を促します。又、復習内容は講義の要点になっているため、その都度、自分の考えをノートに整理し、最終講義時のリフレクションに活用できるようにしておいてください。
オフィス・アワー
在室時、随時対応します。１０号館２階 研究室８

講義コード	10660001
講義名	看護技術学VI
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期（重複①）
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R233
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 伊藤 美鈴	指定なし

授業の概要と教育目標

看護学科は、医療保健の高度化・専門化・複雑化・多様化に伴い、社会が求める看護に生涯にわたって対応し、活躍できる人材の基盤を養うために、看護技術学VI（対人援助方法）を提供する。
本科目は既習のコミュニケーション論、看護技術学I・II・IVおよび基礎看護学実習Iでの学習経験を基盤とする。看護としての対人援助技術（対人コミュニケーション、治療的コミュニケーション）を修得していく。具体的には、効果的なコミュニケーションの方法および看護におけるコミュニケーションについて看護理論を踏まえて学習する。さらに、実際にコミュニケーション技術を実施し、その内容を学んでいく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーの関連として人間に対してコミュニケーションの面から理解することを目指す。将来的には、患者支援に向けて看護職者として対人援助技術を発揮する意義を踏まえ、実施できるようになることを目指すものとする。

到達目標

１．言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーションの特徴について学ぶ。
２．人間のコミュニケーションは相互作用であることを理解する。
３．対人関係における効果的コミュニケーションについて学ぶ。
４．コミュニケーションを促進し、よい人間関係を築くためには、自己理解を深める必要性があることを学ぶ。
５．看護師がコミュニケーション技術を用いて、看護の目的を達成していくことの重要性について理解する。
６．看護理論家がコミュニケーションをどのようにとらえているかについて関心を持ち、学習を深める。
７．コミュニケーションは所属している文化に強く影響されていることを理解する。
８．ケアリングは、効果的なコミュニケーションによる対人関係をとおして実践できることを理解する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間

第1回	I. コミュニケーションとは	・コミュニケーションの双方向性 ・コミュニケーション技術獲得の難しさ	予習90分：教科書を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第2回	II. 対人関係プロセスとしての看護	・看護師と患者の関係 ・対人関係の成立に不可欠な条件	予習90分：教科書を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第3回	III. 看護におけるケアリングとコミュニケーション	・他者との関係における２つの儀式 ・ケアリングの概念の今日的意味	予習90分：教科書を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第4回	IV. 看護理論とコミュニケーション	・ペプロウ ・オーランド ・トラベルビー	予習90分：教科書を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第5回	V. 看護とコミュニケーション	・コミュニケーションの要素 ・コミュニケーションの送り手と受け手との関係による分類 ・コミュニケーションの特性による分類 ・コミュニケーションプロセス	予習90分：教科書を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第6回	VI. コミュニケーションのプロセスに影響する要因	・文化とコミュニケーション ・医療文化とコミュニケーション ・人間関係と空間	予習90分：教科書を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第7回	VII. 医療における信頼関係とコミュニケーション	・信頼関係の基本であるコミュニケーション ・看護師―患者関係 【アクティブ・ラーニング】 演習課題を提示し、グループになり実際にコミュニケーション技法を学生同士で実施する。	予習90分：教科書を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。
第8回	VIII. 疾患に伴ったコミュニケーション障害がある人への対応 コミュニケーション演習	・言語的コミュニケーション機能とは ・言語的コミュニケーション障害のある人への対応 ・コミュニケーション演習 【アクティブ・ラーニング】 演習課題を提示し、グループになり実際にコミュニケーション技法を学生同士で実施する。	予習90分：教科書を読む。復習90分：教科書・配布資料を見直す。

教科書

◆深井喜代子編：新体系 看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術I，メヂカルフレンド社，2017.

参考書

◆渡辺富栄：対人コミュニケーション入門 看護のパワーアップにつながる理論と技術，ライフサポート社，2011.
◆平井さよ子：改訂版 看護職のキャリア開発，日本看護協会出版会，2009.
◆平田オリザ：わかりあえないことから－コミュニケーション能力とは何か，講談社,2012.
◆シラバス
◆配布資料

成績評価の方法・基準

筆記試験（１００％）

課題等に対する
フィードバックの方法

授業を効果的にするためにコミュニケーション論の授業を復習することを勧める。自身が日常経験している身近な人々とのコミュニケーション内容を内省する。 第7・8回で実施する演習内容を事前に配布する「演習ノート」に記載し、提出する。
履修のポイント
授業事後の復習を行い、主体的・積極的に授業に参加すること。
オフィス・アワー
在室中で時間があればいつでも対応します。10号館2階11研究室です。

講義コード	10670001
講義名	基礎看護学実習I
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	実験・実習
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R222
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 三木 園生	指定なし
教員	伊藤 美鈴	指定なし
教員	吉田 幸枝	指定なし

授業の概要と教育目標

看護の対象である患者および患者を取り巻く生活の場を理解し、実際に観察、コミュニケーションの技術を活用しながら、対象者の基本的ニーズを満たすための援助の必要性を考え、日常生活行動の援助を実践する。また、看護の主要な対象である患者がどのような健康上の問題をもって生活しているかを理解し、看護が担う役割と責任について理解する。本科目は、看護者の立場から患者の健康上の問題について考え、基本的ニーズを満たすために日常生活行動の援助を実施することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、コミュニケーションや観察を通して患者の健康上の問題と援助の必要性を考え、日常生活行動の援助を実施することにより、看護者としての基本精神・基本技術を理解することを目指すものとする。

到達目標

1．患者に必要な日常生活行動の援助について、原理・原則に基づき実施方法を計画する
2．患者に必要な日常生活行動の援助を実施する
3．患者との関わりを通して、自己の言動が相手に与える影響について気づきを示す
4．患者に質の高い技術を提供するための看護師のあり方について考える

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	臨地実習	病棟オリエンテーション、日常生活行動の観察カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとめる。
	臨	日常生活行動および援助の観察、健康状態の観察	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認

第2回	地実習	必要な援助の抽出、日常生活行動の援助計画立案	する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとめる。
第3回	臨地実習	日常生活行動の援助の実施 カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとめる。
第4回	臨地実習	日常生活行動の援助の実施 カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとめる。
第5回	臨地実習	日常生活行動の援助の実施 カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を確認する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとめる。

教科書

使用せず

参考書

看護技術学概論、看護技術学I、IIで使用した教科書および授業プリント
看護学原論I、IIで使用した教科書および授業プリント

成績評価の方法・基準

行動目標の達成状況により評価し60点以上を合格とする。

課題等に対する
フィードバックの方法

実習中は毎日、学習計画表に記載し、提出が求められます。また、基礎看護学実習Iの記録用紙も複数あります。これらの記録物は返却されますので、学習の振り返りに活用してください。

履修のポイント

主体的・積極的な学習への取り組みを期待します

オフィス・アワー

在室時、随時対応します。10号館2階 研究室7（三木）

講義コード	10680001
講義名	基礎看護学実習II
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	実験・実習
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R240
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 三木 園生	指定なし
教員	伊藤 美鈴	指定なし
教員	吉田 幸枝	指定なし

授業の概要と教育目標

健康障害を体験している一人の患者を受け持ち、患者を全人的にとらえ、ニーズの充足を目指して科学的根拠に基づく日常生活行動の援助を計画・実施・評価するプロセスを学習する。実施においては修得した技術の提供を通し、看護技術の個別化の意義を学ぶ。さらに、看護者としてふさわしい態度を考え、自己を振り返り、看護への理解と関心を深める。本科目は、一人の患者を受け持ち、看護過程の一連の過程を体験することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、看護の基本精神・基礎技術を理解した上で一人の患者を受け持ち看護過程を展開することで、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における人々へ提供する看護介入方法の基本について学ぶことを目指すものとする。

到達目標

１．一人の患者を受け持ち、アセスメント、診断、計画、実施、評価の一連の過程を経験する。
２．看護理論に基づいて個別性のある看護を行うための方法を理解する。
３．患者との援助関係を発展させるよう自発的に行動する。
４．質の高い看護を提供するために、倫理観や科学的根拠に基づき、看護を展開することの看護師の責任を確認する。
５．目標１～４を通し、看護学学習上の自己の課題を明らかにする。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	臨地実習	病棟オリエンテーション、患者紹介、情報収集カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を理解する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとめる。
	臨		

第2回	地実習	情報収集、情報の解釈・分析 カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を理解する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとめる。
第3回	学内実習	情報の解釈・分析、関連図作成	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を理解する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとめる。
第4回	臨地実習	情報の解釈・分析、関連図修正、問題の明確化 カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を理解する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとめる。
第5回	臨地実習	問題の明確化、看護診断の選択、目標設定、計画立案 カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を理解する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとめる。
第6回	臨地実習	問題の明確化、看護診断の選択、目標設定、計画立案 カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を理解する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとめる。
第7回	臨地実習	目標設定 計画立案：観察計画・直接ケア計画・教育計画 カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を理解する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとめる。
第8回	臨地実習	計画の実施・評価、修正 カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を理解する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとめる。
第9回	臨地実習	計画の実施・評価、修正 カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を理解する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとめる。
第10回	臨地実習	計画の実施・評価、修正、まとめ カンファレンス	予習90分：実習要項を精読し、その日の目標を理解する。事前学習を行う。復習90分：その日の学習内容を記録用紙にまとめる。

教科書

使用せず

参考書

看護技術学I～IVで使用した教科書および授業プリント
看護学原論I・IIで使用した教科書および授業プリント
関連する領域の資料

成績評価の方法・基準

行動目標の達成可否により評価し、60点以上を合格とする

課題等に対する
フィードバックの方法

実習中は毎日、学習計画表に記載し、提出が求められます。また、看護過程展開に関する記録用紙が複数あります。これらの記録物は返却されますので、学習の振り返りに活用してください。

履修のポイント

主体的・積極的な学習への取り組みを期待します

根拠をもって判断し行動することを求めます
オフィス・アワー
在室時、随時対応します。10号館2階 研究室7（三木）

講義コード	10690001
講義名	母性看護学概論
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期（重複①）
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	３時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R234
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 黒澤 やよい	指定なし

授業の概要と教育目標

少子化に伴う女性のライフサイクルをリプロダクティブヘルス・ライツの視点で概観し、その成長発達過程における健康問題と課題について学習する。思春期から老年期におけるライフステージの健康問題に対応できる看護の知識及び実践について学習する。母性の概念を明らかにし、母性看護の目的・対象・役割について理解し、母性と社会・生命倫理、母子保健より、今日の課題とそのれに対する対応について学習する。なお、本科目は、母性のライフステージにおける女性とその家族を理解し看護の実践ができる基礎を学ぶことを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として、女性の発達段階に沿った生理的、および心理・社会的変化を学修し、ライフサイクルの変化に応じた看護援助を行うための基盤となる学修を目指すものである。

到達目標

１．母性の概念について理解する。 ２．母性看護の目的・対象、展開について理解する。 ３．ﾘﾌﾟﾛﾀﾞｸﾃｨﾌﾞﾍﾙｽ･ﾗｲﾂについて理解する。 ４．人間の生と性、性反応、ｾｸｼｭｱﾘﾃｨについて理解する。 ５．思春期・成熟期・更年期・老年期の健康問題と対処について理解する。 ６．母性看護と生命倫理の意義について考察できる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	母性の概念と母性看護の意義・役割	母性とは何か、親になるということ、母子関係、セクシャリティ、リプロダクティブヘルス・ライツ、生命倫理 ＜アクティブラーニング＞「親になるということ」について、グループディスカッションを行う。課題レポートで個々の考えを述べる。	予習90分：テキスト第1章を読む 復習90分：課題レポート作成（A4 1600字程度 フォント10.5 表紙無、学籍番号と氏名：最上段右揃え）第3か授業時提出
	母性		

第2回	看護を取り巻く社会の変遷と現状	母性看護の変遷、母子保健動向、母性支援組織と法律、母子保健の施策、母性看護の対象と環境	予習90分：テキスト第２章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第3回	母性看護の対象理解	生殖器の解剖と生理、性行動、性反応、受胎のメカニズム 第1回の課題レポート提出	予習90分：テキスト第３章５章を読む復習90分：配布資料を見直す
第4回	思春期女性の健康と看護	第二次性徴、、性周期とホルモン、月経異常、思春期やせ症、性感染症、若年妊娠	予習90分：テキスト第3章5章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第5回	成熟期女性の健康と看護	月経随伴症状、月経困難症、、子宮筋腫、子宮内膜症、生殖器腫瘍と看護、高齢妊娠、不妊	予習90分：テキスト第5章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第6回	更年期・老年期女性の健康と看護	更年期と症状、尿失禁、骨粗鬆症、更年期うつ	予習90分：テキスト第5章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第7回	リプロダクティブヘルスケア	家族計画、性感染症、人工妊娠中絶、妊娠と喫煙 ＜アクティブラーニング＞グループディスカッションを行ない学生がその内容を発表する。	予習90分：テキスト第６章を読む 復習90分：ディスカッションを通しての学びをレポートにまとめる。（A4 1600字程度 フォント10.5 表紙無、学籍番号と氏名：最上段右揃え）
第8回	母子保健に関する今日的課題まとめ	性暴力、虐待、、トランスジェンダー、ＨＩＶ 国際化と看護 ＜アクティブラーニング＞グループディスカッションを行ない学生がその内容を発表する。	予習90分：テキスト第６章を読む 復習90分：ディスカッションを通しての学びをレポートにまとめる。（（A4 1600字程度 フォント10.5 表紙無、学籍番号と氏名：最上段右揃え）

教科書

森恵美他：系統看護学講座 専門分野II 母性看護学概論 医学書院

参考書

メデイックメデイア 病気が見えるvol.9 第４版（婦人科 乳腺外科）、メディックメディア 病気

がみえるvol.10 産科4版
成績評価の方法・基準
リアクションペーパー・課題レポートの結果を統合し、60点以上を単位認定とする
課題等に対する フィードバックの方法
リアクションペーパー内での質問や疑問を題材に講義内で解説してゆく。
履修のポイント
成人期にある自分自身の発達や課題を意識しつつ、セクシュアリティやリプロダクティブヘルス・ライツに関心を持って学修してほしい。自分自身についての客観的理解が、看護の対象理解につながることを期待します。
オフィス・アワー
9〜18時の在室時 kurosawa-ya@kiryu-u.ac.jp

講義コード	10700001
講義名	母性看護方法
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	３時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R241
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 森島 知子	指定なし

授業の概要と教育目標

主として妊娠期・分娩期および産褥期にある女性と新生児期の看護について学習する。具体的には、妊婦、産婦、褥婦および新生児の生理的変化、家族を含めた対象の心理、社会的特性について学習する。また、対象者が正常からの逸脱を予防するためのセルフケアができ、更に家族の協力を得て新しい家族を迎えた生活に円滑に適応していけるように、演習やグループワークを通して看護の実践方法を学ぶことを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、人間のライフサイクルの中でも成熟期および周産期に起こる様々な現象を科学的に分析し、看護ケアの実践能力を学修することを目指すものとする。

到達目標

1．妊娠による女性の身体的・精神的・社会的変化を理解する。2．胎児の発育・発達を理解する。3．妊婦の健康診査、保健指導の必要性と内容を理解する。4．分娩の3要素を理解する。5．分娩各期の援助を理解する。6．妊娠・分娩の異常を理解する。7．褥婦の退行性・進行性変化が理解でき、促進のための援助を理解する。8．母子・父子関係、家族関係構築を促す援助について理解する。9．産褥や新生児の異常の鑑別及び健康回復のための援助を理解する。10．看護過程の展開ができるようになる。11．母性看護に必要な看護技術を理解する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	妊娠期における看護１	オリエンテーション、妊娠の生理、妊娠期間、妊娠の成立、胎児と胎芽、胎児の生理、胎児循環、胎児付属物	予習90分：テキスト第3章一Aを読む。復習90分：配布資料を見直す。
第2回	妊娠期におけ	妊娠とその診断、分娩予定日算出法、妊娠による全身的変化、妊婦の心理、小テスト①と解説	予習90分：テキスト第3章一Bを読む。復習90分：配布資料を見直

	る看護２		す。
第3回	妊娠期における看護３	妊婦と胎児の経過診断とアセスメント、妊婦健康診査の項目と内容、胎児発育に伴う母体のアセスメント（子宮底長・腹囲測定、体重管理、栄養）	予習90分：テキスト第3章ーCを読む。復習90分：配布資料を見直す。
第4回	妊娠期における看護４	胎児の健康状態のアセスメント（児心音聴取、レオポルド触診法）、胎児心拍モニタリング、ノンストレステスト、超音波診断法、母子保健サービス、小テスト②と解説	予習90分：テキスト第3章ーDを読む。復習90分：配布資料を見直す。
第5回	妊娠期における看護５	グループにて妊娠期の日常生活支援（栄養、排泄、姿勢と運動、身体の清潔、性生活、喫煙と飲酒）について調べ、ディスカッションし、まとめる。	予習90分：妊娠期資料を見直す。復習90分：グループワークの追加・修正を行う。
第6回	妊娠期における看護６	グループにて妊娠期の日常生活支援（栄養、排泄、姿勢と運動、身体の清潔、性生活、喫煙と飲酒）について調べ、ディスカッションし、まとめる。発表用資料を作成する。	予習90分：妊娠期資料を見直す。復習90分：グループワークの追加・修正を行う。
第7回	妊娠期における看護７	妊娠期の日常生活支援について、グループ学習した内容を発表する。	予習90分：作成した資料を見直す。復習90分：グループワークの追加・修正を行う。
第8回	分娩期における看護１	分娩とは、分娩の区分、分娩の経過、分娩の3要素、陣痛、骨産道と軟産道、小テスト③と解説	予習90分：テキスト第4章ーAを読む。復習90分：配布資料を見直す。
第9回	分娩期における看護２	娩出物（胎児と付属物）、児頭応形機能、児頭の回旋、破水（羊水）の種類と観察、分娩DVD	予習90分：テキスト第4章ーBを読む。復習90分：配布資料を見直す。
第10回	分娩期における看護３	産婦と胎児の健康状態のアセスメント、胎児心拍陣痛図、胎児機能不全、産通緩和、産婦の心理、小テスト④と解説	予習90分：テキスト第4章ーC・Dを読む。復習90分：配布資料を見直す。
第11回	産褥期のおける看護１	産褥とは、退行性変化（子宮復古、悪露、後陣痛）、進行性変化と乳汁分泌のしくみ、母乳栄養の特徴	予習90分：テキスト第6章ーAを読む。復習90分：配布資料を見直す。
第12回	産褥期のおける看護２	母親への適応過程（ルービンの母性論）、褥婦の全身変化（バイタルサイン値）、バースレビュー（出産体験の振り返り）	予習90分：テキスト第6章ーBを読む。復習90分：配布資料を見直す。
	産褥		予習90分：テキスト

第13回	期における看護３	産褥経過のアセスメント、退行性変化を促す援助、進行性変化を促す援助、授乳状況の観察、母乳栄養確立への支援	第6章ーC・Dを読む。復習90分：配布資料を見直す。
第14回	新生児期における看護１	新生児の定義と分類、新生児の子宮外適応現象（呼吸、循環、体温、消化と吸収、排泄、免疫、反射と感覚機能）、胎外環境への適応生理IDVD	予習90分：テキスト第5章ーAを読む。復習90分：配布資料を見直す。
第15回	新生児期における看護２	新生児の診断、ハイリスク児の評価、、出生直後の看護、アプガースコア、シルバーマンスコア	予習90分：テキスト第5章ーBを読む。復習90分：配布資料を見直す。
第16回	新生児期における看護３	新生児のフィジカルアセスメント、バイタルサイン測定、新生児の意識レベル、退院までの看護、生理的体重減少、胎外環境への適応生理IIDVD	予習90分：テキスト第5章ーCを読む。復習90分：配布資料を見直す。
第17回	妊娠の異常と看護	ハイリスク妊娠、流産、早産、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、多胎、風疹	予習90分：テキスト第7章ーIを読む。復習90分：配布資料を見直す。
第18回	分娩の異常と看護	産道の異常（児頭骨盤不均衡）、陣痛の異常（微弱・過強陣痛）、分娩時異常出血、分娩誘発と促進、帝王切開術前後の看護	予習90分：テキスト第7章ーIIを読む。復習90分：配布資料を見直す。
第19回	産褥の異常と看護	子宮復古不全、産褥熱、乳房トラブル、マタニティブルーズと産褥うつ病、産褥血栓症	予習90分：テキスト第7章ーIVを読む。復習90分：配布資料を見直す。
第20回	新生児の異常と看護	新生児黄疸の種類、生理的黄疸、高ビリルビン血症、溶血性黄疸、検査と治療、新生児ビタミンK欠乏性出血症	予習90分：テキスト第7章ーIIIを読む。復習90分：配布資料を見直す。
第21回	不妊治療と看護１	遺伝相談、出生前診断の実際と看護、不妊とその原因、不妊検査、不妊治療、胎児異常事例を用いてグループディスカッション、	予習90分：テキスト第2章ーBを読む。復習90分：配布資料を見直す。
第22回	不妊治療と看護２	不妊治療における諸問題、事例を用いて「女性にとって子供を持つ意味を考える」グループディスカッション、がん患者の妊孕性温存	予習90分：テキスト第2章ーCを読む。復習90分：配布資料を見直す。
第23回	事例検討１（看護過程）	母性看護学領域における看護過程の特徴、ウェルネス型看護診断の特徴と意義、用語の意味と定義、母性看護の対象者への看護とは、診断類型と診断名の表現、看護目標とケア計画	予習90分：妊娠期資料を読む。復習90分：配布資料を見直す。

第24回	事例検討2（看護過程）	妊娠36週の事例から情報収集、分析・解釈、診断名を記述する。	予習90分：妊娠期配布資料を読む。復習90分：展開した事例に修正・追加する。
第25回	事例検討3（看護過程）	グループメンバーと相談しながら、分娩～産褥3日目の事例から情報収集、解釈・分析、診断名を記述する。	予習90分：分娩期配布資料を読む。復習90分：展開した事例に修正・追加する。
第26回	事例検討4（看護過程）	グループメンバーと相談しながら、分娩～産褥3日目の事例から情報収集、解釈・分析、診断名を記述する。	予習90分：産褥期配布資料を読む。復習90分：展開した事例に修正・追加する。
第27回	事例展開5（看護過程）	グループメンバーと相談しながら、出生～日齢3日目の事例から情報収集、解釈・分析、診断名を記述する。	予習90分：新生児期配布資料を読む。復習90分：展開した事例に修正・追加する。
第28回	事例展開6（看護過程）	グループメンバーと相談しながら、出生～日齢3日目の事例から情報収集、解釈・分析、診断名を記述する。	予習90分：展開中の事例を見直す。復習90分：展開した事例に修正・追加する。
第29回	事例展開7（看護過程）	グループメンバーと相談しながら、産褥3日目の褥婦と日齢3日目の新生児事例の診断名をもとに看護計画を立案する。発表用資料を作成する。	予習90分：展開中の事例を見直す。復習90分：展開した事例に修正・追加する。
第30回	事例展開8（看護過程）	グループ学習の成果として産褥3日目の褥婦と日齢3日目の新生児事例の診断名をもとに立案した看護計画を発表する。	予習90分：展開中の事例と発表用資料を見直す。復習90分：展開した事例に修正・追加する。

教科書

森恵美編集：系統看護学講座 専門分野II 母性看護学各論,医学書院.

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
筆記試験80%、課題提出物10%、講義への参加度10%

課題等に対する
フィードバックの方法

講義内で小テストを行うことがある。解説しながら答え合わせを行うので学習の参考にすること。
履修のポイント
周産期における看護で重要なことは、地域や家庭で生活する対象者に対して、セルフケアによって安全で快適な妊娠期・分娩期が過ごせ、新しい家族関係が構築できるよう支援することです。妊・産・褥婦が健康を維持・増進することができるよう、看護について学びを深めてることを期待します。
オフィス・アワー
木曜日16時40分～17時30分 10号館2階第6研究室

講義コード	10710001
講義名	母性看護学実習
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	通年
講義区分	実験・実習
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R250
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 森島 知子	指定なし

授業の概要と教育目標

周産期にある対象者の身体・心理・社会的変化を理解したうえで、母児を受け持ち、看護過程を展開する。情報収集から分析解釈し看護計画立案（実施・評価）するプロセスを通し、周産期にある母子の生理的変化や適応状態を把握し、対象のニーズの充足や親役割獲得への看護実践を学ぶことを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、妊娠・分娩・産褥・新生児期にある対象者の特徴を理解し、ウェルネスの視点に基づく看護実践について学修することを目指すものとする。

到達目標

1．周産期にある対象者の身体・心理・社会的変化について情報を収集し、個別性に応じたアセスメントができるようになる。2．周産期にある対象者の健康維持・増進、正常からの逸脱を予防するための援助ができるようになる。3．母子関係を促進し、母親役割獲得への援助について理解する。4．周産期における看護の役割とチーム医療について理解する。5．周産期にある対象者への看護技術を安全・安楽に実施できるようになる。6．対象者の人権を尊重または擁護でき、プライバシーや看護倫理に配慮した看護を理解する。

授業計画

教科書

森恵美：系統看護学講座 専門分野II 母性看護学２ 医学書院

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
詳細は実習評価表を参照すること。

課題等に対する
フィードバックの方法

記録物については適宜確認し、不足点を伝えるので修正し学習の参考にすること。

履修のポイント
実習前後に母性看護学概論・方法におけるポイントを振り返り、学びを深めることが知識・技術の定着につながる。また臨地実習にて対象者を理解（分析・解釈）するために、活用できる基礎的な知識をまとめた事前学習を勧める。
オフィス・アワー
毎週金曜日14～15時 10号館2階研究室6

講義コード	10720001
講義名	小児看護学概論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期（重複②）
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	１時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R235
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 丸本 真理	指定なし

授業の概要と教育目標

各成長発達においての特徴及び看護を学び、家族を含めて小児看護の対象であることを理解する。また小児看護においての医療者に期待される役割や倫理を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、医療者として必要な倫理、守るべき法令を理解することま、たさまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識を習得することを目指している。よって、本授業では子どもの身体的・心理的・社会的特徴を理解し、健全な成長・発達の知識を習得し、医療者としての倫理、法令を学ぶ。

到達目標

1.小児の特徴と理念について理解する。
2.子どもの成長・発達について学ぶ。
3.家族について理解する。
4.子どもをとりまく社会について理解する。
5.障害のある子どもと家族の背景、看護を学ぶ。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	小児看護の特徴と理念	小児看護の対象、目標、変遷、倫理、課題など	予習90分 復習90分 教科書P4～28
第2回	子どもの成長・発達	成長・発達とは、成長・発達の評価など	予習90分 復習90分 教科書P30～50
第3回	子どもの栄養	子どもにとっての栄養の意義、食育、発達段階別の子どもの 特徴と看護など	予習90分 復習90分 教科書P52～60
			予習90分 復

第4回	新生児・乳児	形態的特徴、身体生理の特徴、養育及び看護など	習90分 教科書P68～97
第5回	幼児・学童	形態的特徴、身体生理の特徴、養育及び看護など	予習90分 復習90分 教科書P100～128
第6回	思春期・青年期	形態的特徴、身体生理の特徴、養育及び看護など	予習90分 復習90分 教科書P132～150
第7回	家族の特徴とアセスメント	子どもにとっての家族とは、家族のアセスメントなど	予習90分 復習90分 教科書P154～165
第8回	子どもと家族をとり巻く社会	児童福祉、母子保健、医療費の支援、予防接種、学校保健など	予習90分 復習90分 教科書P170～197

教科書
奈良間美保他著 系統看護学講座 専門分野II 「小児看護学」医学書院
参考書
授業の中で適宜紹介します。
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上：テスト80%、レポート・課題 10% 授業への参加度10%で評価します。
課題等に対する フィードバックの方法
授業内でレポートや課題を課すことがあります。返却するので学習の参考にしてください。
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待します。
オフィス・アワー
月曜日 12：30～13：20（昼休み）10号館10研究室

講義コード	10730001
講義名	小児看護方法
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	１時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R242
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 丸本 真理	指定なし

授業の概要と教育目標

成長・発達過程で抱える健康問題（疾病・障害）を学び、子どもの発達段階と健康段階にあった基本的援助方法を見出せるよう、学習する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマ・ポリシーとの関連として、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識を習得を目指し、小児看護学概論で学んだ知識を基に、成長・発達を理解したうえで、健康問題（疾病・障害）を学び、子どもとその家族に及ぼす影響を理解する。成長・発達段階と健康段階に応じた子どもと家族への基本的な援助を提供できるよう知識の習得をめざす。

到達目標

1.様々な発達段階、健康状態にある子どもについて理解できる。
2.子どもの健康問題の病態生理と治療、処置について理解し、記述することがきる。
3.様々な状況にある子どもとその家族への看護について考えることがきる。
4.病態生理を基に根拠を考え、看護を理解することができる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	健康障害や入院が子どもに及ぼす影響とその看護	子どもと家族の影響、子どもと入院、病院での遊び	予習90分 復習90分 小児看護概論P222～234
第2回	遺伝・先天性疾患と看護	小児の主な遺伝・先天性疾患と看護	予習90分 復習90分 教科書P2～14 配付資料を見直す
			予習90分 復習90分

第3回	代謝性疾患と看護	小児の主な代謝性疾患、内分泌疾患の特徴と看護	教科書P66～83 配付資料を見直す
第4回	免疫性疾患、アレルギー性疾患・ リュウマチ性疾患と看護	小児の主なアレルギー疾患、 全身性自己免疫疾患と看護	予習90分 復習90分 教科書P104～135 配付資料を見直す
第5回	感染症と看護	小児の主な感染症疾患と看護	予習90分 復習90分 教科書P138～171 配付資料を見直す
第6回	呼吸器疾患と看護	小児の主な呼吸器疾患と看護	予習90分 復習90分 教科書P174～186 配付資料を見直す
第7回	循環器疾患と看護	小児期の主な循環器疾患と看護	予習90分 復習90分 教科書P188～220 配付資料を見直す
第8回	循環器疾患と看護	小児期の主な循環器疾患と看護	予習90分 復習90分 教科書P188～220 配付資料を見直す
第9回	消化器疾患と看護	小児期の主な消化器疾患と看護	予習90分 復習90分 教科書P224～276 配付資料を見直す
第10回	消化器疾患と看護	小児期の主な消化器疾患と看護	予習90分 復習90分 教科書P224～276 配付資料を見直す
第11回	血液・造血器疾患と看護	小児期の主な血液・造血器疾患と看護	予習90分 復習90分 教科書P278～295 配付資料を見直す
			予習90分 復習90分 教科

第12回	悪性新生物と看護	小児期の主な悪性新生物と看護	書P298～329 配付資料を見直す
第13回	腎・泌尿器疾患と看護	小児期の主な腎疾患、尿路疾患と看護	予習90分 復習90分 教科書P332～371 配付資料を見直す
第14回	神経疾患と看護	小児の主な神経疾患と看護	予習90分 復習90分 教科書P374～409 配付資料を見直す
第15回	運動器疾患と看護	小児期の主な運動器疾患と看護	予習90分 復習90分 教科書P412～429 配付資料を見直す
第16回	眼疾患、耳鼻咽頭疾患と看護と看護	小児期の主な眼疾患、耳鼻咽頭疾患と看護	予習90分 復習90分 教科書P466～478 配付資料を見直す
第17回	新生児の看護	新生児によくみられる症状、主な疾患と看護	予習90分 復習90分 教科書P18～63 配付資料を見直す
第18回	ハイリスク新生児の看護	ＮＩＣＵ看護：ハイリスク新生児の生涯発達を考慮した 看護の実際	配付資料を見直す
第19回	事故・外傷と看護	小児期によくみられる事故、外傷の理解と看護	予習90分 復習90分 教科書P516～532 配付資料を見直す
第20回	精神疾患・心身医学的問題と看護	精神疾患・心身医学的問題を抱える児と治療	予習90分 復習90分 教科書P516～532 配付資料を見直す
第21回	精神疾患・心身医学的問題と看護	精神疾患・心身医学的問題を抱える児と治療	予習90分 復習90分 教科書P516～532 配付資料を見直す

第22回	発達障害をもつ児の教育と特別支援教育について	発達障害の概要と支援、特別支援教育について	予習90分 復習90分 記述したノートを見直す
第23回	重度心身障害をもつ児の看護と支援	肢体不自由児、発達障害児の概要と支援、特別支援教育について	予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第24回	小児の基本的な看護技術	小児の基本的な看護技術	予習90分 復習90分 配付資料を見直す
第25回	小児の基本的な看護技術	小児の基本的な看護技術	予習90分 復習90分 配付資料を見直す ノートの作成
第26回	小児の基本的な看護技術	小児の基本的な看護技術	予習90分 復習90分 配付資料を見直す ノートの作成
第27回	小児の事例の展開方法	小児期の特徴をふまえた情報収集の視点とアセスメント方法	予習90分 復習90分 配付資料を見直す 授業で出された課題の作成
第28回	小児の事例の展開方法	小児期の特徴をふまえた情報収集とアセスメント方法	予習90分 復習90分 配付資料を見直す 授業で出された課題の作成
第29回	小児の事例の展開方法	アセスメント方法と関連図	予習90分 復習90分 配付資料を見直す 授業で出された課題の作成
第30回	小児の事例の展開方法	看護展開と具体策	授業で出された課題の作成

教科書

小児臨床看護各論(医学書院)

参考書

子どもの病気の地図帳（講談社）
子どものフィジカルアセスメント（金原書店）
写真で見る小児看護技術 （インターメディカ）

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上：テスト80%、レポート・課題 10% 授業への参加度10%で評価します。

課題等に対する フィードバックの方法
授業内でレポートや課題を課すことがあります。返却するので学習の参考にすること。
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待します。
オフィス・アワー
月曜日 12：30～13：20（昼休み）10号館10研究室

講義コード	10740001
講義名	小児看護学実習
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	通年
講義区分	実験・実習
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R252
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 丸本 真理	指定なし

授業の概要と教育目標

小児の成長発達を理解し、あらゆる健康段階にいる小児と家族に対して適切な看護が実践できる基礎能力を養う。小児を個として尊重し、権利を有する存在であることを理解する。
・病棟実習では、病態生理を理解し、必要な看護援助が導きだせるよう看護過程を展開する。
・特別支援学校では発達段階と教育を理解し、医療従事者となる自己の立場・役割を考え、
自己の課題を明確にする。
・保育園・幼稚園実習では、健康な小児の発達段階を理解する。2週間の実習をとおして、子どもをとりまく
環境を理解し、小児観を育んで下さい。

卒業認定・学位授与の方針との関連

看護学科のディプロマ・ポリシーは人間に対して、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から理解することから、子ども、家族とのコミュニケーションを通して、各発達段階においてのコミュニケーションスキルを学ぶ。健康生活と社会ともの関係について、理解し、医療従事者としての倫理、法令を理解し、それに沿って行動できることを目指す。
また、あらゆる発達段階における科学的知識を習得し、実践に必要な援助技術を習得することを目指す。

到達目標

1.児を個として尊重し、権利を有する存在であることを理解したうえで適切なコミュニケーションができる
2.患児の病態や発達段階の特徴にあわせた援助ができる
3.健康障害や入院が、患児と家族に与える影響について理解することができる
4.乳幼児の発達段階に応じた事故防止の必要性に気づくことができる
5.乳幼児の成長発達段階および個別性を理解できる
6.学生自身の小児に対するとらえ方やイメージを明らかにし、社会性を考慮した教育・支援について考えることができる
7.児の発達段階や個別性を通して、自己の課題を明確にすることができる
8.学生自身が持っている児に対するとらえ方やイメージを明らかにし、小児看護のあり方につい

て考えること ができる
9.学生自身が小児看護における課題を明確にし、主体的に学習できる

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	入院している患児、家族を理解し、必要な看護援助を行う。	1週目 入院中の患児を受け持ち、患児、及び家族に看護展開を行う。	実習2日まででまでに関連図を提出する
第2回	発達段階を理解する。	2週目 保育園、幼稚園実習では発達段階を理解する。 特別支援学校では発達障害、障がいを抱えた児を理解し、 医療従事者として求められる役割を考える。	最終日に大学でカンファレンスを行うので、それぞれの記録をまとめて 考察しておくこと

教科書

医学書院 小児看護学概論 小児臨床看護総論
医学書院 小児臨床看護各論

参考書

医学書院 小児看護技術
医学書院 小児看護過程

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上、事前学習、看護過程、実施をふまえ実習評価表に沿って評定させて頂きます

課題等に対するフィードバックの方法

日々の課題やレポートが課せられる。返却やアドバイスを行うので、学習の参考にすること

履修のポイント

実習目標を意識して実習に挑んでください
適宜教員に相談してください。
課題が出た場合は、速やかに学習し翌日教員に提出してください

オフィス・アワー

月曜日 12：30〜13：20（昼休み）10号館10研究室
実習後にも適宜受け付けます。

講義コード	10750001
講義名	成人看護学概論
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期（重複②）
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	５時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R236
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 吉田 幸枝	指定なし
教員	松沼 晶子	指定なし
教員	本島 茉那美	指定なし

授業の概要と教育目標

成人期は幅広く、人口層が厚く社会的にも重要な役割を担っている人々である。この時期の人々の健康問題を健康レベルに沿ってヘルスプロモーションから治療を必要とする対象、健康の再構築を必要としている対象、ソーシャルサポート、ターミナルケアが必要な対象などにわけて理解を深める。また、成人看護学に有効な看護理論・モデルを用いることで健康問題を客観的視点から考える視点を習慣付けるようにしていく。更に対象への継続看護や家族との関わりおよび社会資源の活用についてまで理解を深める。
以上を通して、成人期にある対象を主体に考え、健康レベルに沿ってニーズに対処できるよう成人期における基礎的な看護を理解することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、現代社会を背景とした成人各期の特及び健康問題に対し、成人期に有効な理論・モデル援助の基本について理解することで、急性期・慢性期を対象とした成人看護学実習につながる学びを目指す。

到達目標

成人にとっての健康保持増進の意義を理解できる。
成人期の保健動向から成人看護の特徴を理解できる。
成人の健康増進の必要性及び予防方法について理解できる。
対象に必要な看護展開の方法の理解をし、実習で応用できる。
対象だけではなく対象に関わる家族を含めた看護の方法を理解できる。
ケースによる社会資源の種類や活用方法について理解できる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
			予習90分：教科書の第I章（p3～16)を読み講義内

第1回	成人看護学の概念	1．看護理論の応用 2．成人看護学の対象と援助	容を把握する。 復習90分：成人期の社会的責任と役割についての説明をノートに記述する
第2回	成人看護学の特性	1．成人保健の動向 2．ライフサイクルの中での成人の位置づけと意義 3．成人の発達段階（身体的・精神的・社会的等） 4.成人を取り巻く環境（社会状況の変化）	予習90分：教科書の第II章（p17～46）を読み講義内容を把握する。 復習：90分：成人期の身体的特徴、心理・社会的特徴について、特に生殖機能の成熟と衰退、基礎代謝の変化は必ず理解しておく。
第3回	保健・医療・福祉における動向と課題	1．成人期における健康障害の特徴 ・生活習慣病の要因 ・就労条件・環境と疾病との関連 ・職業性疾患の要因と健康診断の受診行動 2.一次、二次、三次予防の現状と対応	予習45分：第III章（p51～77）を読み講義内容を把握する。 復習45分：講義内容を基に生活習慣病の特徴をノートに整理する。
第4回	成人看護における理論と看護者の役割	1．成人期における倫理的課題 2．看護者としての倫理 3．倫理的問題の解決過程	予習90分：第IV章（p79～94）を読み講義内容を把握する。 復習90分：倫理的意思決定の重要性について理解したこと及び看護職者としての自己の課題をノートに整理する。
第5回	成人期にある人の健康 健康レベルにおける枠組み	1．健康の定義 2．ヘルスプロモーションを必要とする対象（健康問題の現状と推移） 3．治療を必要とする対象（経過別看護援助、生活習慣病の要因、生活習慣の是正） 4．健康の再構築への支援を必要としている対象 5．ターミナル期の援助を必要としている対象（ターミナル期の定義、人々の特徴、必要な援助） （アクティブラーニングの内容）学生自身が自分の生活習慣について見直しが必要なことについて考える。	予習90分：教科書V章（p98～157）を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
	成人期にある人へ	1．ニード論 2	

第6回	の看護援助① 成人看護に使用される理論・モデル	．ストレス理論・ストレスコーピング・危機理論 3．生体侵襲理論 4．セルフケア論 5．適応理論 6．家族看護理論	予習90分：教科書VI章（p162～197、205～209、231～234）を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第7回	成人期にある人への看護援助② 成人看護に使用される理論・モデル	1．ケアリング（不確かさ、病みの軌跡） 2．自己効力理論 3．エンパワーメント 4．健康モデル 5．アンドラゴジー、アドヒアランス 6．代替・相補療法（アクティブラーニングの内容）どのような場面で理論を活かすことができるのか意見交換する。	予習90分：教科書VI章（p168～176、200～204、211～230、238～265）を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第8回	成人におけるヘルスアセスメント 看護過程の展開 継続看護と健康教育	1.成人看護学におけるヘルスアセスメント、内容と方法、必要な用具 2.成人期の特徴をとらえた看護過程とその実際 3.継続続看護の重要性 4.患者・家族への健康教育 5.社会資源の活用（アクティブラーニングの内容）8回の学びを振り返り意見交換する。	予習90分：教科書VII章（p268～322）を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。

教科書

大西和子、岡部聰子編集『成人看護学概論』ヌーベルヒロカワ

参考書

厚生労働統計協会編（各年）『国民衛生の動向』

成績評価の方法・基準

単位認定は６０点以上。 筆記試験で評価します。

課題等に対する
フィードバックの方法

既習学習である『看護理論』を確認しておいてください。

履修のポイント

主体的に積極的に授業に参加をしてください。2年次後期または3年次の実習時に必要になることを意識して授業に臨んでください。ニュース、新聞等で成人の健康についての記事に関心を持っ

て読んでください。

オフィス・アワー
在室時、随時対応します。 １０号館２階 研究室８（吉田）、研究室３（松沼）、研究室４（本島）

講義コード	10760001
講義名	成人看護方法I
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	３時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R243
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松沼 晶子	指定なし
教員	吉田 幸枝	指定なし

授業の概要と教育目標

慢性疾患のある患者及び家族の発達段階、発達課題、健康問題を理解し、更に全人的苦痛（トータルペイン）の視点から対象を理解する。更に患者、家族の今までの暮らしや生き方を理解し、患者、家族のQOL（quality of life）の維持、向上を目指し、患者が治療を継続しながら病と共に自分らしく生きる、新たな生活を再構築するためのセルフケアを高める看護について知識と技術を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、慢性疾患のある成人期の患者、家族に対する看護及び全人的苦痛（トータルペイン）の視点からの援助方法を学び、人間に対して、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から理解と
さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識、実践的な援助技術、臨床現場でチーム医療の一員として活躍し、そこで調整する能力及び問題を解決する能力の修得を目指す。

到達目標

慢性期看護の考え方を理解する。
慢性期にある人の特徴を理解する。
慢性期にある人への看護援助について理解する。
慢性疾患のある患者の疾患別の病態、治療方法、看護について理解する。
糖尿病のある患者のペーパーペイシェントによる看護過程を記述できる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
		慢性期とは	

第1回	慢性期看護の考え方	慢性期にある疾患の特徴 成人期の発達課題 自分らしさとは何か [アクティブラーニングの内容]学生自身の生活習慣病のリスクチェックを実施し、自分の状況を知ることで、生活習慣病を身近に感じられるようにする。	予習90分：教科書p4～21を読む。復習90分：配付された資料を読み返し、講義中に重要と聴いた内容について振り返りを行う。
第2回	慢性期看護の考え方	慢性疾患の治療の特徴 生活習慣病とその予防 ヘルスプロモーションの促進 慢性疾患を有する人を取り巻く療養環境 [アクティブラーニングの内容]前回の生活習慣病のリスクチェックを踏まえ、学生自身の改善が必要な点について、どのように改善していけば良いか考える。	予習90分：教科書p22～34を読む。復習90分：配付された資料を読み返し、講義中に重要と聴いた内容について振り返りを行う。
第3回	慢性期にある人の特徴と理解	慢性期にある人々の心理社会的特徴 患者理解（病みの軌跡） [アクティブラーニングの内容]喪失体験エクササイズ（喪失を模擬体験し、自己と向き合うことができるようにする。喪失する、した人の気持ちを理解できる。	予習90分：教科書p36～60を読む。復習90分：配付された資料を読み返し、講義中に重要と聴いた内容について振り返りを行う。
第4回	慢性期にある人の特徴と理解	疾病の受け入れ過程 疾病の受容 危機モデルからみた疾病の受容 病気がもたらす自己のゆらぎ [アクティブラーニングの内容]学生自身の自己概念について、自分はどのような人間であると感じているかありのままのじぶんを表現してみる。学生同士で共有する。	予習90分：教科書p61～80を読む。復習90分：配付された資料を読み返し、講義中に重要と聴いた内容について振り返りを行う。
第5回	慢性期にある人の特徴と理解	慢性疾患をもつ人と家族 [アクティブラーニングの内容]学生自身の家族について振り返り、家族機能に関する知識を深める。	予習90分：教科書p92～97、148～151を読む。復習90分：配付された資料を読み返し、講義中に重要と聴いた内容について振り返りを行う。
第6回	慢性期にある人の特徴と理解	慢性疾患をもつ人と家族 [アクティブラーニングの内容]象の背中のDVDを視聴し、家族の存在について考える。 慢性疾患を有する人に対する看護の役割 チーム医療 意思決定支援	予習90分：教科書p138～157を読む。復習90分：配付された資料を読み返し、講義中に重要と聴いた内容について振り返りを行う。
		病気とのつきあい 病いの「慢性性」と生活者	

第7回	慢性期にある人の特徴と理解	慢性疾患におけるコンプライアンスとアドヒアランス 編みなおしのためのステップ [アクティブラーニングの内容]学生自身の中で改善したいこと、変えたいことについて、健康教育における認知・情意・精 神運動領域の視点から具体的に考える。	予習90分：教科書p81～91を読む。 復習90分：配付された資料を読み返し、講義中に重要と聴いた内容について振り返りを行う。
第8回	慢性期にある人への看護援助	慢性疾患患者のQOL 慢性疾患患者のストレス・コーピングを促す支援 [アクティブラーニングの内容]学生自身のQOLについて考える。学生自身がフルマラソンに出場するという状況になった時のストレスコーピングについて考える。	予習90分：教科書p99～122を読む。 復習90分：配付された資料を読み返し、講義中に重要と聴いた内容について振り返りを行う。
第9回	慢性期にある人への看護援助	慢性疾患患者の行動変容を促す支援 生涯にわたるセルフマネジメント支援（患者教育） 自己効力感・エンパワーメント [アクティブラーニングの内容]自己効力感を高め、禁煙指導における、自己効力感を高めるための支援方法について考える。	予習90分：教科書p123～134を読む。復習90分：配付された資料を読み返し、講義中に重要と聴いた内容について振り返りを行う。
第10回	慢性期にある人への看護援助	療養生活を支える社会資源の活用 ヘルスケアシステムの調整 アドボカシー人権擁護・擁護役割 [アクティブラーニングの内容]1～10回までの内容を振り返り、慢性期疾患のある患者への看護について考える。	予習90分：教科書p138～169を読む。復習90分：配付された資料を読み返し、講義中に重要と聴いた内容について振り返りを行う。
第11回	実践編化学療法を受ける患者の看護 放射線治療を行ける患者の看護	化学療法の目的、外来化学療法を受ける患者の看護 放射線治療の特徴、外来放射線治療を受ける患者への看護	予習90分：教科書p457～488を読む。復習90分：配付された資料を読み返し、講義中に重要と聴いた内容について振り返りを行う。
第12回	実践編化学療法を受ける患者の看護 放射線治療を行ける患者の看護	化学療法の目的、外来化学療法を受ける患者の看護 放射線治療の特徴、外来放射線治療を受ける患者への看護	予習90分：教科書p457～488を読む。復習90分：配付された資料を読み返し、講義中に重要と聴いた内容について振り返りを行う。
	慢性の代謝	代謝機能障害の種類・病態生理・アセスメント	予習90分：教科

第13回	機能障害をもつ患者の看護糖尿病の患者への看護（演習）	糖尿病の病態、アセスメントのポイント、治療とそれに伴う看護 糖尿病の患者への看護 演習（看護過程の展開）・レポート （糖尿病のある患者のペーパーペイシェント）	書p299～312、490～495を読む。復習90分：ペーパーペイシェントで提示された患者のデータベース、アセスメント、関連図作成、看護診断の抽出、看護計画（指導案の指導媒体を作成）
第14回	慢性の代謝機能障害をもつ患者の看護糖尿病の患者への看護（演習）	糖尿病の病態、アセスメントのポイント、治療とそれに伴う看護 糖尿病の患者への看護 演習（看護過程の展開）・レポート （糖尿病のある患者のペーパーペイシェント）	予習90分：教科書p299～312、490～495を読む。復習90分：ペーパーペイシェントで提示された患者のデータベース、アセスメント、関連図作成、看護診断の抽出、看護計画（指導案の指導媒体を作成）
第15回	慢性の代謝機能障害をもつ患者の看護糖尿病の患者への看護（演習）	演習（看護過程の展開）・レポート （糖尿病のある患者のペーパーペイシェント） アセスメントのポイントや慢性疾患患者の価値・信念の分析	予習90分：教科書p299～312、490～495を読む。復習90分：ペーパーペイシェントで提示された患者のデータベース、アセスメント、関連図作成、看護診断の抽出、看護計画（指導案の指導媒体を作成）
第16回	慢性の代謝機能障害をもつ患者の看護、糖尿病の患者への看護（演習）	演習（看護過程の展開）・レポート （糖尿病のある患者のペーパーペイシェント） [アクティブラーニングの内容] 学生間で自身で展開した看護過程について共有する。	予習90分：教科書p299～312、490～495を読む。復習90分：ペーパーペイシェントで提示された患者のデータベース、アセスメント、関連図作成、看護診断の抽出、看護計画（指導案の指導媒体を作成）
第17回	慢性の内部環境調節障害をもつ患者の看護、慢性腎不全	内部環境調節障害種類・病態生理・アセスメント 慢性腎臓病の病態、治療 慢性腎臓病の患者への看護	予習90分：教科書p313～336、502～507を読む。復習90分：配付された資料を読み返し、講義中に重要と聴いた内容について振り返りを行う。
第18回	慢性の内部環境調節障害をもつ患者の看護、慢性腎不全	慢性腎臓病の病態、治療 慢性腎臓病の患者への看護 [アクティブラーニングの内容]事例編の事例3透析導入にともない闘病意欲の低下している患者の事例について考える。	予習90分：教科書p313～336、502～507を読む。復習90分：配付された資料を読み返し、講義中に重要と聴いた内容について振り返りを行う。
第19回	慢性の循環機能障害をもつ患者の看護	循環機能障害の種類・病態生理・アセスメント 虚血性心疾患・慢性心不全の病態・治療 虚血性心疾患・慢性心不全の患者への看護	予習90分：教科書p207～230を読む。復習90分：配付された資料を読み返し、講義中に重要と聴いた内容について振り返りを行う。
第20回	慢性の循環機能障害をもつ患者の看護	虚血性心疾患・慢性心不全の病態・治療 虚血性心疾患・慢性心不全の患者への看護	予習90分：教科書p207～230を読む。復習90分：配付された資料を読み返し、講義中に重要と聴いた内容について振り返りを行う。
		呼吸機能障害の種類・病態生	

第21回	慢性の呼吸機能障害をもつ患者の看護	理・アセスメント COPD（慢性閉塞性肺疾患）の病態・治療 COPD（慢性閉塞性肺疾患）の患者への看護 肺がん患者への看護	予習90分：教科書p173～206を読む。復習90分：配付された資料を読み返し、講義中に重要と聴いた内容について振り返りを行う。
第22回	慢性の呼吸機能障害をもつ患者の看護	COPD（慢性閉塞性肺疾患）の病態・治療 COPD（慢性閉塞性肺疾患）の患者への看護 肺がん患者への看護 [アクティブラーニングの内容]事例編の事例4在宅で療養している終末期肺がん患者の事例について考える。	予習90分：教科書p173～206を読む。復習90分：配付された資料を読み返し、講義中に重要と聴いた内容について振り返りを行う。
第23回	慢性の脳・神経機能障害をもつ患者の看護	脳・神経機能障害の種類・病態生理・アセスメント 脳梗塞の病態・治療 脳梗塞の患者への看護	予習90分：教科書p231～252を読む。復習90分：配付された資料を読み返し、講義中に重要と聴いた内容について振り返りを行う。
第24回	慢性の脳・神経機能障害をもつ患者の看護	脳梗塞の病態・治療 脳梗塞の患者への看護	予習90分：教科書p231～252を読む。復習90分：配付された資料を読み返し、講義中に重要と聴いた内容について振り返りを行う。
第25回	慢性の栄養摂取・消化機能障害をもつ患者の看護	栄養摂取・消化機能障害の種類・病態生理・アセスメント （急性）慢性膵炎、（急性）慢性肝炎・肝硬変の病態と治療 （急性）慢性膵炎、（急性）慢性肝炎・肝硬変患者への看護	予習90分：教科書p253～298、496～512を読む。復習90分：配付された資料を読み返し、講義中に重要と聴いた内容について振り返りを行う。
第26回	慢性の栄養摂取・消化機能障害をもつ患者の看護	（急性）慢性膵炎、（急性）慢性肝炎・肝硬変の病態と治療 （急性）慢性膵炎、（急性）慢性肝炎・肝硬変患者への看護 [アクティブラーニングの内容]事例編の事例2長期にわたる治療継続が必要な肝硬変患者の事例について考える。	予習90分：教科書p253～298、496～512を読む。復習90分：配付された資料を読み返し、講義中に重要と聴いた内容について振り返りを行う。
第27回	慢性の生体防御機能の障害をもつ患者の看護	生体防御機能の障害の種類・病態生理・アセスメント HIV感染者・AIDS患者への看護	予習90分：教科書p365～380を読む。復習90分：配付された資料を読み返し、講義中に重要と聴いた内容について振り返りを行う。
第28回	最新のがんの動向とがん患者の心理とケア	最新のがん統計 がん対する政策・取り組み がん患者や家族の心理とそのケアについて	予習90分：事前に配付された資料を読む。復習90分：配付された資料を読み返し、講義中に重要と聴いた内容について振り返りを行う。
		緩和ケアと看護師の役割 終末期ケアと在宅療養における看護師の役割 [アクティブラーニングの内	予習90分：事前に配付された資料を読む。復習90分：配付された資料を

第29回	緩和ケア	容] 全人的苦痛（トータルペイン）の理解と支援について考える	読み返し、講義中に重要と聴いた内容について振り返りを行う。
第30回	緩和ケア	緩和ケアと看護師の役割 終末期ケアと在宅療養における看護師の役割 [アクティブラーニングの内容] 全人的苦痛（トータルペイン）の理解と支援について考える	予習90分：事前に配付された資料を読む。復習90分：配付された資料を読み返し、講義中に重要と聴いた内容について振り返りを行う。

教科書

成人看護学 慢性期看護論 NOUVELLE HIROKAWA

参考書

成人看護学 慢性期看護 病気とともに生活する人を支える 南江堂
緩和ケア 尊厳ある生と死、大切な生活をつなぐ技と心 南江堂
リハビリテーション看護 障害をもつ人の可能性とともに歩む 南江堂
成人看護技術 生きた臨床技術を学び看護実践能力を高める 南江堂

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
筆記試験80%、演習・レポートの課題20%

課題等に対する
フィードバックの方法

既習学習である「成人看護学概論」を確認しておくこと。
3年生の実習で使用できるような自己学習ノートを作成するなど工夫してください。
演習・レポートについては、慢性疾患のある患者のペーパー・ペイシェントでの看護過程の展開を行います。各自で作業を進めますので、アセスメントや看護計画についてわからないことがあれば、積極的に教員へ相談し、3年の実習時の準備をすること。

履修のポイント

3年時の成人看護学実習I（慢性期）で必要となる知識や考え方、患者家族を理解するための関わり方及び看護援助方法について具体的に演習をもりこみながら学習していきます。また、授業におけるアクティブラーニングでは、患者や家族の体験していること感じていることを想像し、イメージしながら学生自身が感じることを大切に授業を展開しますので、予習、復習を行い積極的に授業に参加する。

オフィス・アワー

金曜日、12:30〜13:20（昼休み）、10号館第3研究室。
※講義終了時前後にも、適宜受け付けます。

講義コード	10770001
講義名	成人看護学実習I
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	通年
講義区分	実験・実習
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R253
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松沼 晶子	指定なし

授業の概要と教育目標

成人各期の健康段階および健康障害のある患者に対し、トータルペインの視点から対象を理解する。ニーズの充足に焦点をあて成長・発達、生活の質の維持・向上、および治療を継続しながらライフスタイルを再構築するために必要な看護実践能力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、医療者として必要な倫理、守るべき法令を理解し、それに沿って行動できること、看護の基本精神・基礎技術を理解した上で、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識をいかし、実践的な援助技術の修得を目指すものとする。また、臨床現場でチーム医療の一員として活躍し、そこで調整する能力及び問題を解決する能力の修得を目指すものとする。

到達目標

1.成人各期の入院患者を１名以上受け持ち、身体的、精神的、社会的、霊的な苦痛（トータルペイン）の視点から理解し、対象者のニーズや価値観・セルフマネジメン トをいかした看護過程の展開ができる。
2.患者、家族の疾病・障害の受容、療養法および症状マネジメントのための行動変容 プロセスの支援が実践できる。
3.慢性期の看護実践を通して、看護師としての自己を見つめることができる。
4.保健医療福祉チームの一員としての看護師の役割を認識し、看護学生として責任あ る行動をとることができる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
	学内実習	学内（午前） 実習目的の確認、記録用紙の確認、受持ち患者決定後の当日事前学習の説明、実習1週目及び2週目の流れと記録物の提出時期、実習中のカンファレンスについて、実	予習90分：成人看護学実習I慢性期事前学習課題を行い、読み返す。復習90分：受け持ち

第1回	（午前）病棟実習（午後）	習施設オリエンテーション 病棟（午後） 病棟オリエンテーション、受け持ち患者の紹介と患者選定、情報収集、1日目の実習終了後に、受け持ち患者の病態関連図、発達段階、発達課題、疾患別・症状別の標準看護計画、治療・処置別看護について自己学習し、翌日の実習に向けて準備する。	患者の病態関連図、発達段階、発達課題、疾患別・症状別の標準看護計画、治療・処置別看護を調べNo10～12の記録用紙に記載する。
第2回	病棟実習	患者基本情報（No2データベース）収集し、日常生活ケアの見学、実習指導者や看護師から受け持ち患者の看護計画や看護実践について情報を収集する。バイタルサイン測定、観察を実施する。カルテ、患者や家族とのコミュニケーションを通して、ゴードンの11の機能的健康パターンの分類に情報を整理する。データベースNo2を記載する。	予習90分：昨日の復習を行う。復習90分：本日情報収集したものをNo2データベース、No3アセスメントに記載する。
第3回	病棟実習	2日目と同様にカルテやコミュニケーションを通して得られた情報をゴードンの11の機能的健康パターンに分類し、情報の解釈・分析を記載する。優先順位の高い看護問題を抽出する。患者の疾患や治療だけでなく、今までの生き方や価値観等についてもコミュニケーションや患者の行動を観察し情報収集、分析・解釈を進める。日常生活ケアについては、ケアノートを作成し、手順について実習指導者、教員の確認を得てから、実習指導者、教員の見守りのもとで援助を実施する。シーツ交換、環境整備を実施。	予習90分：昨日の復習を行う。復習90分：本日情報収集したものをNo3アセスメントに記載し、分析・解釈後に看護診断を抽出し記載する。No5看護診断リストに看護診断名を記載し根拠を明確にした上で優先順位をつける。明日のカンファレンスでの発表の準備をする。
第4回	病棟実習	実習指導者、教員の見守りのもとで援助を実施する。シーツ交換、環境整備を実施。ゴードンの11の機能的健康パターンの分類から情報を分析・解釈、問題の明確化、内容を記載する。多職種とも積極的に関わり情報共有、多職種の目標について確認し、アセスメントや看護計画立案に活かす。（関連図の作成へ進む）[アクティブ・ラーニング]カンファレン時に、受け持ち患者の看護診断リストをもとに優先順位も含めて各自発表し、実習指導者や教員から指導を受ける。	予習90分：昨日の復習を行う。復習90分：カンファレンスで得られた教員、指導者からの助言をもとに、再度No3アセスメント、No5看護診断リストを変更、修正する。
第5回	学内実習	４日間の実習で得られた患者、家族の情報、分析・解釈（No2、3、5の記録）からNo4全体関連図を作成する。抽出された看護診断（看護問題）の優先順位を考え、目標の設定、No6看護計画を立案する。本日の学内実習中に優先順位1と2位の看護計画を立案し教員と確認する。看護計画を立案する際にポイントとしては、客観的な情報や疾患や症状だけにとらわれず、トータルペインの視点（精神的苦痛、社会的苦痛、霊的苦痛）で患者や家族を理解することによって、病と共に生きる、その暮らしを支える、患者・家族のQOLの維持・向上を目指した看護実践を行うための計画を立案する。実習1週目の中間評価として、評価表の項目に沿って自己評価を実施し、努力が必要な項目については、2週目で達成するためにどのような行動が必要か考え、教員へ相談する。	予習90分：昨日の復習を行う。復習：週末の休日を利用し、No2データベース、No3アセスメント、No4全体関連図、No5看護診断リストの記載を仕上げる。その後、来週から実施する予定のNo6看護計画を立案し、来週月に提出ができる

			ように準備する。
第6回	病棟実習	No2データベース、No3アセスメント、No4全体関連図、No5看護診断リスト、No6看護計画を実習開始前にを提出する。教員、病棟指導者と提出物の確認後に、修正点があれば変更する。その後、看護計画に沿って、看護を実践する。患者の病状や状況に合わせて、随時計画の修正を行う。看護計画について困っていることや検討したい内容を積極的に出し合い、教員と学生で共有し、問題解決できるようにする。多職種カンファレンスに参加し、受け持ち患者に関する多職種との情報交換、目標に対する意見交換を行う。	予習90分：記録の提出準備。復習90分：No6看護計画について、実習指導者、教員からの助言を参考に修正する。再度、患者目標の短期目標について、具体的であるか、実習終了日までに評価が可能であるか確認する。
第7回	病棟実習	立案した看護計画を実践する中で、患者の反応を確認し、目標に沿った援助計画を修正する。特に、患者のエンパワーメントや自己効力感に目を向け、患者自身が病いや今の現状に向き合い、調整できるような支援を考える。多職種とも看護計画で立案したケア内容について共有し、助言を得る。多職種カンファレンスに参加し、受け持ち患者に関する多職種との情報交換、目標に対する意見交換を行う。[アクティブ・ラーニング]カンファレンスでは、看護計画を実践する中で起こっている問題について、話し合い、計画の修正について、学生、教員で検討する。または、学生間で悩んでいるテーマついてカンファレンスで検討する。（[アクティブ・ラーニング]カンファレンスでは、チーム医療の必要性や看護師の役割についてディスカッションする）	予習90分：昨日の復習を行う。復習90分：立案した看護計画を実践後の評価を踏まえ、短期目標の達成に向けて具体策の修正、追加内容について記載する。患者の病状等の変化や新たな情報が追加された場合は、再アセスメントを行う。
第8回	病棟実習	日常生活の拡大や再発予防のための効果的な指導（患者教育）が必要な場合は、指導媒体（パンフレット、リーフレット）を作成し実習指導者や教員の指導を得る。指導案の計画に沿って実践する。また、立案した計画の目標が達成できているのか、できていない場合は、再アセスメント、分析を実施し、計画の修正、追加を行う。多職種カンファレンスに参加し、受け持ち患者に関する多職種との情報交換、目標に対する意見交換を行う。[アクティブ・ラーニング]カンファレンスでは、看護計画を実践する中で起こっている問題について、話し合い、計画の修正、変更について、学生、教員で検討する。（[アクティブ・ラーニング]カンファレンスでは、チーム医療の必要性や看護師の役割についてディスカッションする）	予習90分：昨日の復習を行う。復習90分：実習最終日に向けて、再度看護計画に沿って実施した結果を踏まえ、分析後に具体策について修正・追加する。最終カンファレンスの「No8実習の学び」について記載する。
第9回	病棟実習	実習最終日では、看護計画の実施、評価を行い、看護診断に挙げた問題を解決するための計画（具体策）が目標達成に効果的であったのか、否か評価する。患者や家族へ関わる中で、慢性疾患のある人の苦しみやつらさをどのように理解したのかを振り返り、自分自身の看護観について考える。[アクティブ・ラーニング]カンファレンスでは、実習のまなびについて発表する。特に、慢性期の看護で大切な疾患や障害を持ちながら生活する人の全人的苦痛（トータルペイン）からの理解とQOLについてどのような学びができたのか振り返える。	予習90分：昨日の復習を行う。復習90分：看護計画を実施した結果について目標に対する達成状況を具体的に評価する。さらにその評価を踏まえ計画の修正を行う。
		実習最終日では、30分程度[アクティブ・ラーニング]グループ全員でカンファレンスを行う。実習の学びについ	予習90分：昨日の

第10回	学内実習	てディスカッションする。その後、実践した看護計画の評価、自分の実践した看護を引き継ぐことを目的として、看護サマリーを記載する。また実習での記録用紙の未記入や記録内容の不足がないか全て確認し、記載する。午後から教員と学生で面談を行い、行動目標の達成度や今回の実習の自己評価等を確認する。決められた提出時間内に必要な記録物をすべて提出する。	復習を行う。復習90分：慢性期の看護実践を通して、看護師としての自己を振り返り、看護観の変化について考える。

教科書

成人看護学 慢性期看護 第3版 NOUVELLE HIROKAWA

参考書

エビデンスに基づく症状別看護ケア関連図改訂版 中央法規
エビデンスに基づく疾患別看護ケア関連図改訂版 中央法規
実習でよく挙げる看護診断計画ガイド 照林社
ゴードン博士の看護診断アセスメント指針 照林社
慢性疾患患者の闘病記等の書籍

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
成人看護学実習Iの評価表の項目に沿って達成の可否により評価する。

課題等に対する
フィードバックの方法

実習前に清潔ケア・血圧測定等の援助技術について確認が必要な学生は各自演習を行う。事前学習課題のレポートについては、実習期間中、常に携帯し活用する。実習指導者や教員から各学生の状況に合わせた課題が出されるため、学習したものについては、必ず報告し提出する。

履修のポイント

成人看護学I（慢性期）の実習では、治ることのない病いと共に生きる人そしてその家族が対象となります。学生として、目の前の患者さんのつらさにどのように寄り添えるのか、日々考え悩むことがあります。直ぐに解決できる問題ばかりではありませんが、問題解決に目を向けるのではなく、人の苦しみを理解することはどのようなことなのか一緒に学んでいきましょう。

オフィス・アワー

金曜日、12:30～13:20（昼休み）、10号館第3研究室。
※講義終了前後にも、適宜受け付けます。

講義コード	10780001
講義名	成人看護方法II
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	１時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R244
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 本島 茉那美	指定なし
教員	吉田 幸枝	指定なし

授業の概要と教育目標

授業の概要
1.周手術期及び急性期にある対象の特徴について学ぶ。
2.手術が必要な対象に対しての看護援助の方法について理解を深める。
3.外科的治療を疾患別に学習し、その特徴や必要な看護の視点について学ぶ。
教育目標
周手術期及び急性期における対象の理解から看護方法の実践的知識を習得する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、周手術期及び急性期にある成人期の患者、家族に対する看護を理解し、知識と技術の習得を目指す。

到達目標

周手術期及び急性期看護の考え方を理解する
周手術期及び急性期にある人の特徴を理解する
周手術期にある人の看護援助について理解する
周手術期にある患者の疾患別の病態、治療方法、看護について理解する
消化・吸収機能障害のある患者のペーパーペイシェントによる看護過程を記述できる

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	周手術期及び急性期看護の考え方	成人看護方法IIオリエンテーション 周手術期及び急性期とは	予習90分：教科書P1～29、51～71を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
		急性期の患者の看護	予習90分：教科書P32～41を読

第2回	急性期にある患者の看護①	侵襲に対する生体反応、体液の変化とサードスペースの形成、侵襲からの回復過程、侵襲下の栄養代謝の特徴	み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第3回	急性期にある患者の看護②	急性期の患者の看護 呼吸障害の特徴と呼吸管理の目的と看護 循環障害の特徴と循環管理の目的と看護	予習90分：教科書Pを読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第4回	周手術過程に応じた看護①	手術前の看護	予習90分：教科書P78～100を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第5回	周手術過程に応じた看護②	手術中の看護	予習90分：教科書P101～127を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第6回	周手術過程に応じた看護③	手術直後の看護	予習90分：教科書P129～144を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第7回	周手術過程に応じた看護④	手術後の継続看護	予習90分：教科書P145～149、229～259を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第8回	手術を受ける人の看護①	腹腔鏡下手術の適応のある患者の看護	予習90分：教科書P347～358を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第9回	術後合併症と予防のための看護①	術後合併症のリスクアセスメントと援助（肺合併症、循環不全）	予習90分：教科書P152～176を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第10回	術後合併症と予防のための看護②	術後合併症のリスクアセスメントと援助（イレウス、深部静脈血栓症）	予習90分：教科書P177～185、202～208を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第11回	術後合併症と予防のための看護③	術後合併症のリスクアセスメントと援助（術後感染、縫合不全）	予習90分：教科書P136～201を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
	術後合併症と予	術後合併症のリスクアセスメン	予習90分：教科書P38～41、220～227を読み講義内容を把握する。

第12回	防のための看護④	トと援助（せん妄、術後疼痛）	復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第13回	手術を受ける人の看護②	日帰り手術・外来での手術を必要とする患者の看護	予習90分：教科書P359～369を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第14回	手術を受ける人の看護③	循環器系に障害のある患者の看護（心臓疾患等）	予習90分：教科書P274～285を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第15回	手術を受ける人の看護④	呼吸機能障害のある患者の看護（肺がん等）	予習90分：P286～294教科書を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第16回	手術を受ける人の看護⑤	運動機能障害のある患者の看護（大腿骨頸部骨折、脊椎疾患等）	予習90分：教科書P327～335を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第17回	手術を受ける人の看護⑥	脳・神経機能障害のある患者の看護（脳血管障害・クモ膜下出血等）	予習90分：教科書P264～273を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第18回	手術を受ける人の看護⑦	消化・吸収機能障害のある患者への看護（胆・肝・膵等）	予習90分：資料を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第19回	手術を受ける人の看護⑧	消化・吸収機能障害のある患者への看護（上部消化管）	予習90分：教科書P296～308を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第20回	手術を受ける人の看護⑨	消化・吸収機能障害のある患者への看護（下部消化管）	予習90分：資料を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。
第21回	消化・吸収機能障害のある患者への看護過程の展開①	事例による看護過程の展開 周手術期看護の特性と11クラスターへの情報の分類	予習90分：事例を読み、11クラスターへの情報の分類。 復習90分：講義中に重要とされた内容について資料を見直し、11クラスターへ情報を分類し記載。
第22回	消化・吸収機能障害のある患者への看護過程の	事例による看護過程の展開 周手術期患者の術前・術中・術直後に必要なアセスメント	予習90分：資料を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について資料を見直

	展開②		し、11クラスターのアセスメントを記載。
第23回	消化・吸収機能障害のある患者への看護過程の展開③	事例による看護過程の展開 周手術期患者の関連図	予習90分：資料を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について教科書や資料を見直し、関連図を記載。
第24回	消化・吸収機能障害のある患者への看護過程の展開④	事例による看護過程の展開 手術侵襲の程度と個別性を踏まえた看護診断の抽出と妥当性の検討	予習90分：資料を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直し、看護診断を記載。
第25回	消化・吸収機能障害のある患者への看護過程の展開⑤	事例による看護過程の展開 手術侵襲の程度と個別性を踏まえた看護計画の立案と長期・短期目標の妥当性の検討	予習90分：資料を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直し、長期・短期目標を記載。
第26回	消化・吸収機能障害のある患者への看護過程の展開⑥	事例による看護過程の展開 事例患者の術後のモニタリング	予習90分：術後1日目のバイタルサイン測定時の観察項目を表にまとめる。 復習90分：講義中に重要とされた内容について教科書や資料を見直し追加を記載。
第27回	消化・吸収機能障害のある患者への看護過程の展開⑦	事例による看護過程の展開 術後1日目に行う全身清拭 術後初回の早期離床	予習90分：術後1日目の患者に行う全身清拭の方法と観察、術後初回の早期離床の方法と観察をまとめる。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直し追加を記載。
第28回	消化・吸収機能障害のある患者への看護過程の展開⑧	事例による看護過程の展開 パンフレットを活用した教育指導	予習90分：資料を読み講義内容を把握する。 復習90分：実施した看護計画の結果・評価を記載。
第29回	周手術期専門部門での看護	手術室看護と専門性について （非常勤講師による講義）	予習90分：教科書を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義の学びと考察をレポートとして提出。
第30回	救急医療における看護	救急医療における看護 救急医療における患者の特徴 心肺蘇生と救命処置	予習90分：教科書を読み講義内容を把握する。 復習90分：講義中に重要とされた内容について、教科書や資料を見直す。

教科書

周手術期看護：ヌーベルヒロカワ

参考書

系統看護学講座 各科専門分野：医学書院
成人看護学 急性期看護I：南江堂
成人看護学 急性期看護II：南江堂

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上 筆記試験80%、演習・レポートの課題20%
課題等に対する フィードバックの方法
既習学習である「成人看護学概論」を確認しておくこと。 3年時の実習で使用できるような自己学習ノートを作成するなど工夫して下さい。 演習・レポートについては、周手術期にある患者のペーパー・ペイシェントでの看護過程の展開を行います。 各自で作業を進めますので、アセスメントや看護計画について分からないことがあれば、積極的に教員へ相談し、3年時の実習の準備をして下さい。
履修のポイント
成人看護学概論を確認。成人看護学実習Ⅱに必要な学習であることを意識して講義にのぞむ。
オフィス・アワー
金曜日、12:30〜13:30（昼休み）、10号館研究室。 ※講義終了後にも、適宜受け付けます。

講義コード	10790001
講義名	成人看護学実習II
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	通年
講義区分	実験・実習
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R254
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 本島 茉那美	指定なし

授業の概要と教育目標

授業の概要
1.外科領域の病棟・手術室・ICUで実習を行う。
2.周手術期または急性期にある患者を受け持ち、看護過程の展開、必要な援助を考え実施及び評価をする。
教育目標
成人各期の健康のあらゆる段階における患者の健康上の問題を理解し、健康の維持・増進、健康障害からの回復と社会復帰に向けて必要な看護の実践能力を養う。

到達目標

1.成人各期の発達段階、発達課題をふまえて対象を理解する。
2.対象の障害された健康段階を知り、健康障害の状況にある対象を理解する。
3.各健康段階にある対象に対して必要な援助がわかり、その実践ができる。
4.身体機能に障害を持ちながら生活する人への理解を深め、その人なりのQOLを追求し、必要な援助ができる。
5.対象を支える家族の役割を理解し、家族に対する援助の必要性を理解する。
6.成人各期の対象を取り巻く家族・地域・職場などの環境を理解し、その対象に必要な援助のための保健医療福祉チームによるアプローチの必要性と、活用できる社会資源を理解する。
7.看護実践を通して、看護師としての自己を見つめることができる。
8.保健医療福祉チームの一員としての看護師の役割を認識し、看護学生として責任ある行動をとれる。

授業計画

	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）
第1回	周手術期患者の特徴を知り看護援助を考え実施・評価・修正をする。
第2回	成人各期の特徴をふまえて対象を理解する。
第3回	障害された健康段階と健康障害の状況にある対象の理解をする。
第4回	健康の維持増進のための社会資源活用と援助について理解をする。
第5回	各健康段階にある対象に対して必要な援助が分かり実践ができる。
第6回	急性期にある患者の特徴が述べられる。

第7回	急性期にある患者の特徴を踏まえた看護の理解ができる。
第8回	手術患者の特徴を理解し手術前・中・後に必要な看護が理解できる。
第9回	手術後、身体機能に障害を持ちながら生活する人への理解を深める。
第10回	保健医療福祉チームの一員としての看護師の役割を認識できる。
第11回	病棟以外での看護を学ぶ（手術室）。
第12回	病棟以外での看護を学ぶ（ICU・回復室）。
第13回	病棟以外での看護を学ぶ（リハビリ室）。
第14回	退院後の健康増進と生活の再構築について考え、セルフケア行動が確立できる退院時指導を学ぶ。 退院後の生活で必要な事項を考え患者に提供することができる。
第15回	退院後の社会資源の活用について考えることができる。

教科書

周手術期看護論：ヌーベルヒロカワ
急性期・周術期I：中央法規

参考書

各種疾病に関する看護の書籍
成人看護方法IIで使用した資料等

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上
実習目標の達成度、実習記録、事前学習の内容、提出期限の厳守等によって、総合的に臨床指導者とともに評価をする。

履修のポイント

事前学習を行い、主体的・積極的な実習への取り組みがのぞまれる。

オフィス・アワー

実習病院及び学内で対応します。

講義コード	10800001
講義名	セルフケア論
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期（重複②）
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	４時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-C245
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 泉 理恵	指定なし

授業の概要と教育目標

【授業概要】セルフケア論の概要と背景を理解することで、その成り立ちと看護への活用方法を学ぶ
【教育目標】健康の保持増進のための正しい知識を理解し自らの健康を守るという「セルフケア論」を理解する。本授業ではオレムの看護理論を中心にその理論的背景や概要を学ぶことでセルフケア論を理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマ・ポリシーとの関連は、さまざまな健康レベルや発達段階にある人々に対して行われる公衆衛生看護活動の展開の実際を通して保健師の役割や支援方法を理解することで目的達成に資する知識を養う。

到達目標

１．セルフケアの援助で必要とされる看護職の能力について理解できる。
２．セルフケアを促進するために必要な理論について理解できる。
３．事例演習を通してオレムの看護理論の活用方法を理解できる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	看護理論の中におけるセルフケア論 の位置づけ 看護理論をわかるためにその骨組み を見てみよう	看護の本質と看護理論 各理論家における理論の紹介 各理論家における理論の中でのセルフケア論 オレムセルフケア論について （セルフケア不足理	【予習90分】「看護理論」について学んでおく【復習90分】配布資料を見直す

		論と看護システム）	
第2回	ライフサイクルにおける発達課題 保健行動理論の中におけるセルフケア論の位置づけ	各ライフサイクルにおける発達課題とセルフケア 健康の捉え方・保健行動のタイプ 行動変容ステージ・自己決定への支援・エンパワーメントモデル	【予習90分】各ライフサイクルにおける発達課題について学んでおく【復習90分】配布資料を見直す
第3回	セルフケアの低下と再獲得 セルフケア再獲得を支援する方法	生命維持レベルのセルフケアの低下と再獲得 生活基本行動レベルのセルフケアの低下と再獲得 社会生活レベルのセルフケアの低下と再獲得	【予習90分】セルフケアが低下した状態とはどんなことを指すか？学んでおく【復習90分】配布資料を見直す
第4回	セルフケアを目指す看護の実際① オレムの看護理論を理解しよう	事例から考えるセルフケア支援 事例紹介・対象の把握 オレムの看護理論を使った看護計画（目標・計画）の立て方	【予習90分】今までの授業内容について配布資料を確認しておく。【復習90分】本日の配布資料を見直す
第5回	セルフケアを目指す看護の実際② オレムの看護理論を理解しよう	事例紹介・対象の把握 【アクティブラーニングの内容】 オレムの看護理論を使って看護計画（目標・計画）を立て発表する。	【予習90分】前回授業の配布資料内容を確認しておく【復習90分】援助について計画した内容について臨地実習でも使用できるよう復習ノートを作成しておく
第6回	患者が持っているセルフケア能力に着目しよう ストレスコーピングと健康行動	対象者への保健活動（保健指導・健康教育・セルフヘルプ） エンパワーメント メンタルヘルス予防におけるセルフケア（予防行動）とは	【予習90分】セルフケアを促すためにどんな方法（どんな関わり方）があるか調べておく【復習90分】配布資料を見直す
第7回	まとめ 小テスト	今までの授業の振り返り 小テスト実施	【予習90分】今まで配布した資料を復習しておく【復習90分】講義資料を活用し臨地実習でも使用できるようなノートを作成しておく
第8回	【国家試験問題にTRY】 看護理論・セルフケア論に関する国家試験を実際に説いてみよう	セルフケア論、看護理論に関する国家試験問題の紹介・説明・勉強方法について	【予習90分】授業での配布資料を再確認しておく【復習90分】授業で説明した内容について国家試験の勉強に活用できるようなノートを作成しておく。

教科書
指定する教科書は特にありません。 必要な教材は、授業資料として毎回配布します。
参考書
健康行動と健康教育 曽根智史 医学書院 標準保健師講座 地域看護技術2 医学書院 オレムのセルフケアモデル事例を用いた看護過程の展開 臨床で使いたくなる看護理論 城ケ端初子 MCメディカ出版 最新保健学講座（別巻１）健康教育論 メヂカルフレンド社
成績評価の方法・基準
単位認定：60点以上 授業内の小テスト50％ リアクションペーパー40％、授業態度10％を合計して評価します。再試験は行いません。
課題等に対する フィードバックの方法
毎回の授業をしっかり聞くことが大事です。 わからないことがあったら、授業後必ず質問をしてください。
履修のポイント
①看護理論は看護実践の道しるべとなるもので、さまざまな現象場面で揺るぎない考え方を示唆してくれます。積極的に授業に参加することで主体的に学び取って、自己の看護実践の礎にしていきましょう。②毎回、自筆による「リアクションペーパー」の提出を求めます。その日の授業内容に即した感想・意見・要望・質問などが書かれていることによって授業に出席したことを認めます。したがって白紙で提出された場合（出席証明にならない）や学籍番号と氏名が不一致の場合（個人の特定ができない）は「欠席扱い」となります。リアクションペーパーは「授業終了直後のみ受領」します。後日の提出はできません。
オフィス・アワー
在室時、適宜対応します。10号館１階基礎・成人研究室

講義コード	10820001
講義名	精神看護学概論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期（重複②）
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	３時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R227
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 片野 吉子	指定なし
教員	永井 道子	指定なし

授業の概要と教育目標

メンタルヘルスの現状から、さまざまな体験が人間の身体・精神、人間関係に影響をおよぼすことを理解する。精神に障がいを持つひとの治療の歴史を踏まえ、地域精神保健活動を推進していくうえでの精神看護師の役割と課題を見出す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として、看護学の基礎となる健康の諸側面、こころのしくみと人格の発達、人間の精神の発達からこころのありようについて理解する。看護の倫理と人権擁護から医療における患者の権利について考え、行動できることを目指す。

到達目標

①メンタルヘルスの現状から、現代社会のメンタルヘルスの課題と対策について考える。
②精神機能および精神機能の障害から、こころの仕組みと働きを理解する。
③ライフサイクルにおけるこころの危機とストレスを理解する。
④地域精神保健看護から、生活を支えるための社会資源・サービスを考える。
⑤精神に障がいを持つひとの精神保健から、リエゾン看護師の役割を理解する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	メンタルヘルスの現状と課題	精神/こころの健康 世界と日本におけるメンタルヘルスの現状	予習（90分）：教科書を読み内容を学習ノートにまとめる。 復習（90分）：精神障がいとともに生きるということ、社会的入院、偏見について調べ学習ノートにまとめる。

第2回	精神機能と障害	精神機能・障害 精神看護における看護理論	予習（90分）：教科書を読み内容を学習ノートにまとめる。 復習（90分）：精神障がいとともに生きるということについて、社会的入院、偏見について調べ学習ノートにまとめる。
第3回	ライフサイクルと精神保健	こころのしくみと人格の発達 こころの危機とストレス エリクソン・ハヴィガースト・カプラン	予習（90分）：教科書を読み内容を学習ノートにまとめる。 復習（90分）：人のこころを見る視点、こころの防衛機能、その危機と回復について調べ学習ノートにまとめる。
第4回	こころの健康と不健康	ライフサイクルにおけるこころの健康と不健康 精神に障がいを持つひと・家族のこころの健康	予習（90分）：教科書を読み内容を学習ノートにまとめる。 復習（90分）：①人間の成長発達やライフイベントに伴うストレスについて考え、メンタルヘルスに及ぼす影響について調べる。②家族とは何か、家族を見る視点、家族の在り方が精神に障がいを持つひとの治療に及ぼす影響について調べ学習ノートにまとめる。
第5回	リエゾン精神看護と看護者のメンタルヘルス	リエゾン精神看護 看護師における感情労働 看護師のメンタルヘルス	予習（90分）：教科書を読み内容を学習ノートにまとめる。 復習（90分）：精神科専門看護師について調べ、リエゾン精神看護専門看護師の役割を学習ノートにまとめる。
第6回	精神看護における人権ー看護倫理と法	精神看護における人権 看護倫理	予習（90分）：教科書を読み内容を学習ノートにまとめる。 復習（90分）：精神医療におけるアドボカシーの必要性について考え、地域生活における権利擁護について学習ノートにまとめる。
第7回	精神科医療看護の歴史・法律	精神に障がいを持つひとの治療の歴史 日本における精神医学・精神医療の流れ	予習（90分）：教科書を読み内容を学習ノートにまとめる。 復習（90分）：日本における精神医学・精神医療の流れについて調べ、日本の精神医療の現状と課題について考え、学習ノートにまとめる。
第8回	地域における精神保健と精神看護	地域精神保健活動 生活を支えるための社会資源・サービス	予習（90分）：教科書を読み内容を学習ノートにまとめる。 復習（90分）：生活を支えるための社会資源・サービスについて①治療を継続するためのリハビリテーションの場、②障害者総合支援法に伴うサービス、③住むための施設、④働くための施設、⑤精神科チーム医療におけるしれぞれの役割について調べ学習ノートにまとめる。

教科書

武井麻子他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ精神看護の基礎 精神看護学①，医学書院，2018.
参考書
授業中に紹介します。
成績評価の方法・基準
単位認定：60点以上 筆記試験（60%）、課題レポート（10%）、小テスト（10%）、学習ノート提出（20%）による総合評価で60%以上を単位認定とする。
課題等に対する フィードバックの方法
授業計画に示されている文献は必ず確認し、予習をして分からない部分は授業で解決するようにしてください。
履修のポイント
講義により、こころのしくみと働きを理解し精神に障がいを持つひとのメンタルヘルス上の課題について考えられるように授業を展開していきます。
オフィス・アワー
在室時、随時対応します。

講義コード	10830001
講義名	精神看護方法
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期（重複②）
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	３時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R246
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 片野 吉子	指定なし
教員	中村 郁美	指定なし

授業の概要と教育目標

精神に障がいのあるひとの特徴を知り、心を病む人を理解する過程を理解し、治療ならびに看護を踏まえ、そのひとを支える社会資源の活用について学ぶ。
事例展開をとおして、精神の健康課題に直面しているひととその家族のQOLを高める看護と展開方法を理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロ・マポリシーとの関連として、看護の基本精神を理解し、精神に障がいを持つひとの健康レベル、人間の成長やライフステージにおけるメンタルヘルスの特徴を理解する。また、症状や状態によってもたらされる生活の変化の把握と治療、看護について理解することを目指すものとする。

到達目標

1. 精神に障がいのあるひとの特徴を理解する。
2. 精神に障がいのあるひとの治療と看護について理解する。
3. 精神科看護における看護師の役割を理解する。
4. 精神に障がいのあるひとのストレングス、課題から実現可能な看護計画が立案できる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	ケアの人間関係①	ケアの原則 ケアの方法 患者ー看護師間で起こること	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①精神症状が対人関係に及ぼす影響、②看護師に求められるコミュニケーションについて事後学習ノートにまとめる。
		治療的かかわり 日常生活行動の	

第2回	精神看護におけるケアの方法	援助 看護理論 ストレングスモデル	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：セルフケアの援助について事後学習ノートにまとめる。
第3回	精精神症状と看護① (精神に障がいのあるひとの急性期から回復期、慢性期の看護)	急性期、回復期、慢性期の看護	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：統合失調症の急性期、回復期、慢性期の看護について事後学習ノートにまとめる。
第4回	精神症状と看護② (気分障害)	気分障害にある患者の看護	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：気分障害にある患者の看護について事後学習ノートにまとめる。
第5回	精神症状と看護③ (パーソナリティ障害・依存)	パーソナリティ障害・依存にある患者の看護	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：パーソナリティ障害・依存にある患者の看護について事後学習ノートにまとめる。
第6回	精神科における看護の役割① 精神科リハビリテーション	精神科リハビリテーション レクリエーション療法 治療的環境	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①リハビリテーションの概念、②リハビリテーション療法、③レクリエーション療法、④精神科における治療的環境について事後学習ノートにまとめる。
第7回	精神科における看護師の役割② 精神療法・社会療法	精神療法 認知行動療法 作業療法	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①精神療法、②認知行動療法、③作業療法について事後学習ノートにまとめる。
第8回	精神科における看護の役割③ 行動制限と看護	行動制限 隔離・拘束 安全を守る	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①精神保健福祉法における入院形態、行動制限について、②精神医療における権利擁護について事後学習ノートにまとめる。
第9回	精神科における看護の役割④ 薬物療法・電気けいれん療法	薬物療法 電気けいれん療法	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：統合失調症、気分障害の薬物の作用・有害事象について事後学習ノートにまとめる。
第10回	ケアの人間関係② 患者ー看護師関係	再構成・自己洞察 プロセスレコード	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：①自己の関りについて記録用紙に記入する。②プロセスレコードを通して自己の性格特性や行動の傾向について振り返り課題を明らかにする。
第11回	精神看護における看護過程	情報収集・アセスメント・看護目標・看護計画の立案・評価・修正	予習（90分）：教科書を熟読する。 復習（90分）：精神看護に求められる観察項目、アセスメントの視点およびストレングスについて事後学習ノートにまとめる。
第12回	看護過程の展開①統合失調症：慢性期）	看護過程の展開（個人ワーク）	予習（60分）：精神看護における看護過程における資料を熟読する。 復習（120分）：統合失調症：慢性期における看護過程の展開を実施する。
第13回	看護過程の展開②統合失調症：慢性期）	看護過程の展開（個人ワーク）	予習（60分）：精神看護における看護過程における資料を熟読する。 復習（120分）：統合失調症：慢性期における看護過程の展開を実施する。

第14回	看護過程の展開③統合失調症：慢性期）	看護過程の展開（グループワーク・発表）	予習（60分）：精神看護における看護過程における資料を熟読する。 復習（120分）：統合失調症：慢性期における看護過程について、グループメンバーの発表を聞き、自己の内容を追加・修正する。
第15回	精神保健活動とリハビリテーション	精神に障がいを持つひとの体験（当事者） 当事者としてのピアカウンセラー	予習（90分）：教科書を読み、内容を学習ノートにまとめる。 復習（90分）：①精神科チーム医療について、②ピアサポートについて学習ノートにまとめる。

教科書

1. 系統看護学講座 専門分野II 精神看護の展開 精神看護学② 医学書院
2. 全人的視点にもとづく精神看護過程 白石壽美子・武政奈保子編 医歯薬出版株式会社

参考書

授業中に紹介します。

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上 筆記試験（50%）、課題レポート（30%）、学習ノート提出（20%）による総合評価で60%以上を単位認定とする。

課題等に対するフィードバックの方法

精神看護学演習、精神看護学実習の基盤となる知識であるため、配布資料やテキストの熟読を勧めます。予習・復習において学習ノートを作成し、課題をノートにまとめて下さい。

履修のポイント

授業には主体的・積極的に参加してください。
精神看護学演習、精神看護学実習の基盤となる知識であるため、配布資料やテキストの熟読を予・復習として勧めます。

オフィス・アワー

在室時、随時対応します。

講義コード	10840001
講義名	精神看護学実習
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	通年
講義区分	実験・実習
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R255
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 片野 吉子	指定なし
教員	中村 郁美	指定なし

授業の概要と教育目標

精神疾患・障害のある人(対象)への看護を実践できるよう基礎的能力を養い、対象 の望む「生活」や「生き方」を実現できるような支援について学ぶことができる。 さらに、地域で生活を営む上での必要な支援について理解を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学科のディプロマポリシーの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から精神に障がいを持つひとの理解につなげることができる。臨地実習において看護の基本精神・基礎技術を理解した上で、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識、実践可能な援助技術を既習の学習と統合し実践することができる。さらに、臨床現場でチーム医療の一員として、調整能力及び問題解決する能力を養うことを目指す。

到達目標

1精神疾患・障害のある人（対象）の精神的・身体的・心理的・社会的側面から全体像をとらえ、対象を把握することができる。
2. 対象とのかかわりを通し、コミュニケーションスキルを高めることができる。
3. 対象の個別性を考慮し、援助を実践することができる。
4. 地域保健活動の重要性を理解し、対象が地域で暮らすための支援について学ぶことができる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
		・病棟オリエンテーションを受け、精神に障がいを持つひとが安心して治療に取り組むことができる病棟構	

第1回	精神疾患・障害のある人（対象）の精神的・身体的・心理的・社会的側面から全体像をとらえ、対象を把握することができる。	造と機能について理解できる。 ・対象のプロフィールを把握し、情報収集ができる。 ・対象の入院に至った経過・生活背景が理解できる。 ・薬物の作用・副作用を理解し、注意事項や観察点の把握ができる。 ・薬物の副作用が日常生活に与える影響について理解できる。 ・対象の状況から、精神保健福祉法に基づく入院形態、処遇の実際・必要性について考える。 ・対象の状況に即したコミュニケーションが図ることができる。	予習（90分）：精神看護学概論・精神看護方法において使用した教科書および配布資料を読む。 復習（90分）：実習記録用紙№3に記録する。
第2回	精神疾患・障害のある人（対象）の精神的・身体的・心理的・社会的側面から全体像をとらえ、対象を把握することができる。	・精神科における申し送り見学から、精神科における観察の必要性について理解できる。 ・精神に障がいを持つひとの治療的環境について理解ができる。 ・精神に障がいを持つひとのの対人関係の特徴を知り、基本的コミュニケーション技法をもとに関係を築くことができる。 ・対象の状況に即したコミュニケーションを図ることができる。 ・対象が安心できる距離の取り方が分かる。	予習（90分）：精神看護学概論・精神看護方法において使用した教科書および配布資料を読む。 復習（90分）：実習記録用紙№3に記録する。
第3回	対象とのかかわりを通し、コミュニケーションスキルを高めることができる。	・対象との相互作用の過程を明らかにし、自己の課題について考える。 ・プロセスレコードによる場面の再構成ができる。 ・自己の感情や行動の傾向に気づくことができる。 ・プロセスレコードから自己の言動を振り返ることができる。 ・精神に障がいを持つひとの状況に即したコミュニケーション技法を効果的に活用できる。	予習（90分）：精神看護学概論・精神看護方法において使用した教科書および配布資料を読む。 復習（90分）：実習記録用紙№7に記録する。
		・対象が自己の健康についてどのように認識しているのか情報収集し、対象のストレングス（強み）や課題について考える。	

第4回	精神疾患・障害のある人（対象）の精神的・身体的・心理的・社会的側面から全体像をとらえ、対象を把握することができる。	・精神機能から日常生活行動や自立を妨げている要因について考える。 ・対象の背景・現在の状況・今後の生活に向けた関連図が作成できる。 ・対象の健康面から、対象のストレングスに着目する。 ・対象の望む「生活」や「生き方」を実現できるように対象の考えを尊重する。	予習（90分）：精神看護学概論・精神看護方法において使用した教科書および配布資料を読む。 復習（90分）：実習記録用紙№3、№4に記録する。
第5回	精神疾患・障害のある人（対象）の精神的・身体的・心理的・社会的側面から全体像をとらえ、対象を把握することができる。	・対象の健康面から、対象のストレングス・課題を明確にする。 ・患者参画のもと、対象の自（律）立に向け、実現可能な目標を考える。 ・対象のストレングスを維持・継続できるように、ともに目標・計画が立案できる。 ・対象の人権を尊重し、安全・安楽に考慮した援助の実施ができる。 ・計画実施に伴い、対象とともに振り返ることができる。 ・計画実施後、評価、修正ができる。	予習（90分）：精神看護学概論・精神看護方法において使用した教科書および配布資料を読む。 復習（90分）：実習記録用 紙№3、№4、№5、№6に記録する。
第6回	対象の個別性を考慮し、援助を実践することができる。	・対象の状況に即した援助の実施ができる。 ・対象の人権を尊重し、安全・安楽に考慮した援助の実施ができる。 ・計画実施に伴い、対象とともに振り返ることができる。 ・計画実施後、評価、修正ができる。	予習（90分）：精神看護学概論・精神看護方法において使用した教科書および配布資料を読む。 復習（90分）：実習記録用 紙№3、№4、№5、№6に記録する。
第7回	対象の個別性を考慮し、援助を実践することができる。	・対象の状況に即した援助の実施ができる。 ・対象の人権を尊重し、安全・安楽に考慮した援助の実施ができる。 ・計画実施に伴い、対象とともに振り返ることができる。 ・計画実施後、評価、修正ができる。	予習（90分）：精神看護学概論・精神看護方法において使用した教科書および配布資料を読む。 復習（90分）：実習記録用紙№4、№5、№6に記録する。
	対象の個別性を考慮し、	・対象の状況に即した援助の実施ができる。 ・対象の人権を尊重し、安全・安楽に考慮した援助の実施ができる。	予習（90分）：精神看護学概論・精神看護方法において使用した教科書お

第8回	援助を実践することができる。	・計画実施に伴い、対象とともに振り返ることができる。 ・計画実施後、評価、修正ができる。	よび配布資料を読む。 復習（90分）：実習記録用紙№4、№5、№6に記録する。
第9回	対象の個別性を考慮し、援助を実践することができる。	・対象の状況に即した援助の実施ができる。 ・対象の人権を尊重し、安全・安楽に考慮した援助の実施ができる。 ・計画実施に伴い、対象とともに振り返ることができる。 ・計画実施後、評価、修正ができる。	予習（90分）：精神看護学概論・精神看護方法において使用した教科書および配布資料を読む。 復習（90分）：実習記録用紙№4、№5、№6に記録する。
第10回	対象の個別性を考慮し、援助を実践することができる。	・対象の状況に即した援助の実施ができる。 ・対象の人権を尊重し、安全・安楽に考慮した援助の実施ができる。 ・計画実施に伴い、対象とともに振り返ることができる。 ・計画実施後、評価、修正ができる。	予習（90分）：精神看護学概論・精神看護方法において使用した教科書および配布資料を読む。 復習（90分）：実習記録用紙№4、№5、№6に記録する。
第11回	対象の個別性を考慮し、援助を実践することができる。	・対象の状況に即した援助の実施ができる。 ・対象の人権を尊重し、安全・安楽に考慮した援助の実施ができる。 ・計画実施に伴い、対象とともに振り返ることができる。 ・計画実施後、評価、修正ができる。	予習（90分）：精神看護学概論・精神看護方法において使用した教科書および配布資料を読む。 復習（90分）：実習記録用紙№4、№5、№6に記録する。
第12回	対象の個別性を考慮し、援助を実践することができる。	・対象の状況に即した援助の実施ができる。 ・対象の人権を尊重し、安全・安楽に考慮した援助の実施ができる。 ・計画実施に伴い、対象とともに振り返ることができる。 ・計画実施後、評価、修正ができる。	予習（90分）：精神看護学概論・精神看護方法において使用した教科書および配布資料を読む。 復習（90分）：実習記録用紙№4、№5、№6に記録する。
第13回	地域保健活動の重要性を理解し、対象が地域で暮らすための支援について学ぶことができる。	・精神科における多職種間の連携について理解ができる。 ・医療チームメンバーの構成・役割の理解ができる ・医療チームメンバーの構成から看護師の役割について考えることができる。	予習（90分）：精神看護学概論・精神看護方法において使用した教科書および配布資料を読む。 復習（90分）：実習記録用紙№8、№9に記録する。
		・地域支援活動の必要性と、その実際を知ることが	

第14回	地域保健活動の重要性を理解し、対象が地域で暮らすための支援について学ぶことができる。	できる。 ・精神に障害があるひとが地域で生活することの意義をについて考えることができる。。 ・利用者の視点から地域で生活するための社会資源の活用方法を考える。	予習（90分）：精神看護学概論・精神看護方法において使用した教科書および配布資料を読む。 復習（90分）：実習記録用紙№2に記録する。
第15回	地域保健活動の重要性を理解し、対象が地域で暮らすための支援について学ぶことができる。	・精神科治療におけるチーム医療の連携と看護師の役割を学び、自己の考えをまとめることができる。	予習（90分）：精神看護学概論・精神看護方法において使用した教科書および配布資料を読む。 復習（90分）：実習記録用紙№8、№9に記録する。

教科書

1.武井麻子他：系統看護学講座 専門分野II精神看護の基礎 精神看護学①，②，医学書院，2018.
2. 全人的視点にもとづく精神看護過程 白石壽美子・武政奈保子編 医歯薬出版株式会社

参考書

臨地実習において、学習の進度に応じ提示します。

成績評価の方法・基準

単位認定：60%以上
学習状況、実習状況、記録物、出席状況等を対象に、実習目標の到達度を評価基準を用いて評価します。

課題等に対する
フィードバックの方法

精神看護学実習の目標が達成できるように、分からない部分は実習において解決するようにしてください。

履修のポイント

学内で学んできたことを活かし、精神に障がいiをもつ対象との関わりをとおして積極的に学習に取り組んでください。
また、ひとつひとつの事柄に対して、自分の知識や感情・思考・行動の傾向を確認し、自己の在り方を考える機会にしていきましょう。

オフィス・アワー

臨地および学内にて、随時対応します。

講義コード	10850001
講義名	高齢期看護学概論
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	３時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R238
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 髙橋 美砂子	指定なし

授業の概要と教育目標

超高齢社会と言われている現在を生きる高齢者の健康と生き方がこれまで以上に問われている。高齢者を取り巻く保健医療福祉制度や施策が充実しつつも多様な場で生活する高齢者とその家族の健康維持、介護予防、終末期ケアなどの一連の援助を尊厳を守りながら実施する看護職の在り方を考える。このような社会的な背景を踏まえた包括的なケアを理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本学のディプローマポリシーと関連して、看護の基本を理解した上で、高齢期における身体的、精神的、社会的特徴を理解し、その人らしさを損なわない援助と何かを考え、様々な事象に対応できる能力を養うことを目指す。高齢者を取り巻く社会的資源を把握し、対象にあった資源の活用と社会全体で高齢者や家族を支える仕組みと連携について学修する。

到達目標

１．加齢に伴う生理的変化を理解する
２．対象者の発達課題と健康課題について理解する
３．認知機能低下による生きにくさを理解し、倫理的問題について考える
４．高齢者とその家族を支える社会制度を知り、看護職の果たす役割について考える。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	授業ガイダンス 加齢と老化 高齢者を取り巻く環境	高齢者の定義 【アクティブ・ラーニングの内容】 加齢と老化 老いるとういことはどういうことか 高齢者と家族の抱える問題について、小グループで話し合う	〔予習60分〕 教科書1章を読んでくる 〔復習60分〕 配布資料の書き込みを仕上げる ミニテストの間違いを見直す
		高齢者対策と保健医療福祉制度 介護保険 後期高齢者医療制度 年	〔予習60分〕

第2回	超高齢社会と社会保障	金 地域包括ケアシステム 【アクティブ・ラーニングの内容】 高齢者の生活と健康問題を関連づけて考え、意見を聞く	教科書２章A,Bを読んでくる 〔復習60分〕 配布資料の書き込みを仕上げる ミニテストの間違いを見直す
第3回	高齢者と倫理的社会的問題	高齢者の認知機能と社会的対応 認知症対策 高齢者の権利擁護 高齢者虐待 【アクティブ・ラーニングの内容】 高齢者虐待の事例を示し、討論する	〔予習60分〕 教科書２章C 6章Cを読んでくる 〔復習60分〕 配布資料の書き込みを仕上げる ミニテストの間違いを見直す
第4回	加齢に伴う生理的変化 高齢者の日常生活機能と看護	高齢者の身体的、精神的変化とアセスメント 高齢者の日常生活機能（食事、排せつ、清潔）とその看護 事故防止（転倒予防とリスクマネージメント）	〔予習60分〕 教科書４章、５章を読んでくる 〔復習60分〕 配布資料の書き込みを仕上げる ミニテストの間違いを見直す
第5回	高齢者理解のために評価指標と尺度	日常生活機能評価とは ＡＤＬ，ＩＡＤＬの評価（バーセルインデックス他） 改訂長谷川式簡易知能評価他 【中間テスト】これまでのミニテスト内容を確認をします	〔予習60分〕 これまでの授業内容を整理し、中間テストの準備をする 〔復習60分〕 中間テストの見直し、と本日の授業の復習
第6回	高齢者の社会参加	高齢者の生きがい対策 閉じこもり問題 高齢者の就労、生涯学習 地域活動 仲間づくり 【アクティブ・ラーニングの内容】 高齢者の生きがいについてディスカッションし発表する	〔予習60分〕 教科書４章を読んでくる 〔復習60分〕 配布資料の書き込みを仕上げる ミニテストの間違いを見直す
第7回	死生観とターミナルケア	エンドオブライフとは 看取りと家族への支援	〔予習60分〕 教科書6章Dを読んでくる 〔復習60分〕 配布資料の書き込みを仕上げる ミニテストの間違いを見直す
第8回	高齢期看護の展望 まとめ	高齢期看護教育のあゆみ 高齢者を対象とした看護研究の動向 まとめ	〔予習60分〕 教科書３章を読んでくる 〔復習60分〕 配布資料の書き込みを仕上げる 最終テストの備えてこれまでの総復習をする

教科書

老年看護学 系統看護学講座(専門分野II）北川公子他 医学書院

参考書

高齢期看護学 第３版 亀井智子他 中央出版

老年看護学 高齢者の健康生活を支える看護 太田喜久子他 医歯薬出版(株)
成績評価の方法・基準
単位認定６０点以上 配布資料への書き込み・ミニテストの見なおし２０％ 中間テスト３０％ 最終テスト５０％
課題等に対する フィードバックの方法
授業に配布する資料やミニテスト実施後の見直しは最終日にファイルに閉じて提出。内容確認後、コメントして返却する。試験問題は持ち帰り可とするので、できなかった問題は必ず見直すこと。
履修のポイント
毎回授業を休まないで出席すること。学生自身が課題を考えたり、話し合ったりする時間を設けます。その結果を共有しながら進める双方対話型授業にしますので、新聞やインターネットのニュース等にも関心を持って情報収集してください。
オフィス・アワー
授業開講曜日（水曜日）および研究室在室時は対応します。１０号館２階

講義コード	10860001
講義名	高齢期看護方法
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	１時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R247
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田中 光子	指定なし

授業の概要と教育目標

老年期にある対象の特徴が基盤となるので十分に理解を深めたうえで、高齢者へのアセスメントの視点を身体・精神・心理・社会面からとらえる。高齢者における生活の場を把握し、高齢者特有の疾患および具体的な看護展開の方法について理解を深めることを目標とする。また、高齢者と社会保障、高齢者を支える医療連携について知識を習得することを目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科ディプロマ・ポリシーに関連して看護の基本精神・基本技術を理解した上で、様々な健康レベル、高齢期の発達段階における科学的知識を習得し、実践的な援助技術の学修となることを目指す。

到達目標

1.高齢者に劣っての生活および療養の場における看護の展開について習得する。
2. 高齢者の健康逸脱からの回復などを支える看護について検討ができる。
3. 高齢者を支える多職種チーム医療について把握する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	現代の高齢者とその理解1	A.高齢者の発達的特徴 ・老化とは 【アクティブラーニング】 隣席付近4～5名で老化と加齢の相違を相互に意見を出し合う。 何名かの学生に発表をしてもらい共有する。その後理論的な見方を教授する。 ・老年期の発達と成長 B.高齢者と環境 ・環境に対する反応 ・高齢者を取り巻く社会的環境	予習90分：テキスト第1章をP.1～5をよく読む。 復讐90分：配布資料などを読み返す。

第2回	現代の高齢者とその理解2	C.高齢者の健康 ・生活不活発病 ・老年症候群 ・老年病 【アクティブラーニング】 隣席付近4～5名で、今の学生の立場からとらえる高齢者についてブレーンストーミングで意見を出し合う。その後発表してもらうが、なぜそのように思っているのかを答えて、意見の共有をする。	予習90分：テキスト第1章P.6～16をよく読む。 復讐90分：配布資料などを読み返す。
第3回	老年看護の基本技術1	A.ヘルスアセスメントとは ・老年看護におけるヘルスアセスメントの意義 ・高齢者の示す症状の特徴	予習90分：テキスト第2章P.17～28をよく読む。 復讐90分：配布資料などを読み返す。
第4回	老年看護の基本技術2	B.ヘルスアセスメントの実際 【アクティブラーニング】 隣席者と2人ひと組になり教員が示す事例に従って、看護師役と患者役に分かれ、看護師が目の前にいる患者役の学生をアセスメントする。 ・高齢者への面接のすすめ方 ・面接の構造と老年看護におけるポイント ・身体所見の取り方と老年看護におけるポイント ・看護問題の確定と看護計画の立案 ・高齢者総合機能評価	予習90分：テキスト第2章P.17～28をよく読む。 復讐90分：配布資料などを読み返す。
第5回	高齢者の生活と看護1	1．呼吸 A.基礎知識 ・高齢者の呼吸の特徴・呼吸機能に影響する要因 B.看護実践の展開 ・看護技術が高齢者に及ぼす影響 【アクティブラーニング】 テキストP.35～39を参考にして呼吸に関するアセスメント・目標・介入・評価の留意点をワークシートに書き出す。 2．食事 A.基礎知識の確認 ・高齢者における食事とは ・高齢者の摂取機能の特徴 ・高齢者の摂取機能に影響する要因 B.看護実践の展開 【アクティブラーニング】 テキストP.43～46を参考にして食事に関するアセスメント・目標・介入・評価の留意点をワークシートに書き出す。	予習90分：テキスト第3章P.29～48をよく読む。 復讐：テキストを読み返す。
第6回	高齢者の生活	3．排泄 A.排尿における基礎知識 ・高齢者の株尿路の特徴・機能障害を起こす要因 B.看護実践の展開 【アクティブラーニング】 テキストP.52～56を参考にして排尿に関するアセスメント・目標・介入・評価の留意点をワークシートに書き出す。	予習90分：テキスト第3章P.49～62をよく読む。 復讐90分：テキス

	と看護2	4．排便 A.基礎知識 ・高齢者の直腸・校門の特徴・排便機能障害の要因 B.看護実践の展開 【アクティブラーニング】 テキストP.59～62を参考にして排便に関するアセスメント・目標・介入・評価の留意点をワークシートに書き出す。	トおよび配布資料を読み返す。
第7回	高齢者の生活と看護3	4．動作と移動 A.基礎知識 ・高齢者の動作と移動の特徴・能力に影響する要因 B.看護実践の展開 ・看護技術が高齢者に及ぼす影響 【アクティブラーニング】 P.43～46を参考にして食事に関するアセスメント・目標・介入・評価の留意点をワークシートに書き出す。 【アクティブラーニング】 順次高齢者体験セットを装着し、高齢者の疑似体験を行う。それをもとに看護展開の留意点をワークシートに書き出す。 5．睡眠 A.基礎知識 ・高齢者の睡眠の特徴・睡眠に影響する要因 B.看護の展開 ・看護技術が高齢者に及ぼす影響 【アクティブラーニング】 テキストP.85～88を参考にして睡眠に関するアセスメント・目標・介入・評価の留意点をワークシートに書き出す。	予習90分：テキスト第3章P.64～89をよく読む 復讐：90分：テキストおよび配布資料を読み返す。
第8回	高齢者の生活と看護4	6．体温 A.基礎知識 ・高齢者の体温調節の特徴 B..看護実践の展開 ・看護技術が高齢者に及ぼす影響 【アクティブラーニング】 P.93～95を参考にして体温に関するアセスメント・目標・介入・評価の留意点をワークシートに書き出す。 7．清潔 A.基礎知識 ・高齢者における皮膚の清潔・特徴・皮膚保護機能に影響する要因 B.看護の展開 ・看護技術が高齢者に及ぼす影響 【アクティブラーニング】 テキストP.101～103を参考にして皮膚保護に関するアセスメント・目標・介入・評価の留意点をワークシートに書き出す。	予習90分：テキスト 第3章P.90～105をよく読む 復讐90分：テキストおよび配布資料を読み返す。

第9回	高齢者の生活と看護5	8．コミュニケーション A.基礎知識 ・高齢者コミュニケーションの特徴・影響を及ぼす要因 B.看護の展開 ・看護技術が高齢者に及ぼす影響 【アクティブラーニング】 テキストP.110～115を参考にしてコミュニケーションに関するアセスメント・目標・介入・評価の留意点をワークシートに書き出す。 9．性 A.基礎知識 ・高齢者の性の特徴・性機能に影響する要因 B.B.看護の展開 ・看護技術が高齢者に及ぼす影響 【アクティブラーニング】 テキストP.118～124を参考にして高齢者の性に関するアセスメント・目標・介入・評価の留意点をワークシートに書き出す。	予習90分：テキスト 第3章P.106～124をよく読む 復讐90分：テキストおよび配布資料を読み返す。
第10回	高齢者の生活と看護6	・高齢者看護に関する映像を視聴する 【アクティブラーニング】 視聴した映像を参考にして、改めて高齢者看護について自分の意見を書いて提出する。	予習90分：テキスト第1～3章を読見直す 復讐90分：本日の講義を振り返り高齢者看護について考える
第11回	高齢者に特徴的な症状と看護1	1.起立・歩行障害 A.基礎知識 定義・疫学・病態と生理学的特徴など B.看護実践の展開 ・起立・歩行障害の予防と改善 【アクティブラーニング】 テキストP.143演習①を各自解いてみよう。 2．感覚機能障害 A.基礎知識 ・定義・疫学・病態と生理学的特徴など B.看護実践の展開 ・白内障・老人性難聴の予防・治す 【アクティブラーニング】 テキストP.156演習②を各自解いてみよう。	予習：テキスト 第4章P.125～156までよく読む 復習：テキスト及び配布資料を読み返す
第12回	高齢者に特徴的な症状と看護2	3.接触・嚥下障害 A.基礎知識 定義・疫学・病態と生理学的特徴など B.看護実践の展開 ・摂食・嚥下障害を予防・治す 【アクティブラーニング】 テキストP.166演習③を各自で解いてみよう 4．脱水 A.基礎知識 定義・疫学・病態と生理学的特徴など B.	予習：テキスト 第4章P.147 ～177までよく読む 復習：テキスト及び配布資料を読み返す

		看護実践の展開 ・脱水を予防・治す 【アクティブラーニング】 テキストP.176演習④を各自で解いてみよう	
第13回	高齢者に特徴的な症状と看護3	5．低栄養 A.基礎知識 定義・疫学・病態と生理学的特徴など B.看護実践の展開 ・低栄養を予防・治す 【アクティブラーニング】 テキストP.187演習⑤を各自で解いてみよう 6．皮膚掻痒感 A.基礎知識 定義・疫学・病態と生理学的特徴など B.看護実践の展開 皮膚掻痒症を予防・治す 【アクティブラーニング】 テキストP.198演習⑥を各自で解いてみよう	予習：テキスト第4章P.178～198までよく読む 復習：テキスト及び配布資料を読み返す
第14回	高齢者に特徴的な症状と看護4	7．痛み A.基礎知識 定義・疫学・病態と生理学的特徴など B.看護実践の展開 痛みを予防・緩和する 【アクティブラーニング】 テキストP.210演習⑦を各自で解いてみよう 8．褥瘡 A.基礎知識 定義・疫学・病態と生理的特徴など B.看護実践の展開 ・褥瘡をよぼう・直す 【アクティブラーニング】 テキストP.225演習⑧を各自で解いてみよう	予習：テキスト第4章P.199～225までよく読む 復習：テキスト及び配布資料を読み返す
第15回	高齢者に特徴的な症状と看護5	9．尿失禁 A.基礎知識 定義・疫学・病態と生理的特徴など B.看護実践の展開 ・尿失禁を予防・改善する 【アクティブラーニング】 テキストP.234演習⑨を各自で解いてみよう 10便秘・下痢 A.基礎知識 定義・疫学・病態と生理的特徴など B.看護実践の展開 ・便秘・下痢を予防する・治す 【アクティブラーニング】 テキストP.演習10を各自で解いてみよう	予習：テキスト第4章P.225～245までよく読む 復習：テキスト及び配布資料を読み返す
第16回	高齢者に特徴的な症	11．不眠 A.基礎知識 定義・疫学・病態と生理的特徴など B.看護実践の展開 ・不眠の予防・治す 【アクティブラーニング】 テキストP.255演習⑪、⑫を各自で解いてみよう １２．うつ A.基礎知識	予習：テキスト第4章P246～265までよく読む 復習：テキスト及

	状と看護6	定義・疫学・病態と生理的特徴など B.看護実践の展開 うつ病性障害を予防・治す 【アクティブラーニング】 テキストP.265演習⑬を各自で解いてみよう	び配布資料を読み返す
第17回	高齢者に特徴的な症状と看護7	13．ねたきり A.基礎知識 定義・疫学・病態と生理的特徴など B.看護実践の展開 ・寝たきりを予防・治す 【アクティブラーニング】 テキストP.275演習⑬を各自で解いてみよう 14．せん妄 A.基礎知識 定義・疫学・病態と生理的特徴など B.看護実践の展開 ・せん妄を予防・治す 【アクティブラーニング】 テキストP.283演習⑮を各自で解いてみよう	予習：テキスト第4章P.267～284までよく読む 復習：テキスト及び配布資料を読み返す
第18回	高齢者に特徴的な症状と看護8	15．転倒 A.基礎知識 定義・疫学・病態と生理的特徴など B.看護実践の展開 ・病院・施設入所者の店頭を予防する・ ・転倒発生時のケア ・再転倒の予防 16．骨折 A.基礎知識 定義・疫学・病態と生理的特徴など B.看護実践の展開 ・骨折を予防する・直す 【アクティブラーニング】 テキストP.293演習⑯、P.303演習⑰を各自で解いてみよう	予習：テキスト第4章P.285～304までよく読む 復習：テキスト及び配布資料を読み返す
第19回	高齢者に特徴的な症状と看護9	17．感染症 A.基礎知識 定義・疫学・病態と生理的特徴など B.看護実践の展開 各感染症発生時の看護における留意点 【アクティブラーニング】 テキストP.316演習⑱を各自で解いてみよう ・高齢者に特徴的な症状と看護におけるまとめ 【アクティブラーニング】 講義に出てこなかった症状について各自調べてみる。	予習：テキスト第4章P.305～317までよく読む 復習：テキスト及び配布資料を読み返す
第20回	高齢者に特徴的な疾患と看護1	1．急性期の看護 ・急性期から症状安定期までの看護のDVD視聴 【アクティブラーニング】 DVD視聴後、テキストP.320～332の事例を読んで高齢者の急性期看護のポイントを書き出す。	予習：テキスト第4章P.319～332までよく読む 復習：テキスト及び配布資料を読み返す

第21回	高齢者に特徴的な疾患と看護2	2．回復期リハビリテーションから在宅にむけての看護のDVDを視聴する 【アクティブラーニング】 テキストP.333～343の事例を読んで高齢者のリハビリテーション看護のポイントを書き出す。	予習：テキスト第4章P.333～343までよく読む 復習：テキスト及び配布資料を読み返す
第22回	高齢者に特徴的な疾患と看護3-①	3．高齢者紙上事例より看護過程を展開する。 【アクティブラーニング】 紙上事例を読み実際に看護過程を展開する	予習：これまでのまでのテキストをよみ返す 復習：テキスト及び配布資料を読み返す
第23回	高齢者に特徴的な疾患と看護3-②	3．高齢者紙上事例より看護過程を展開する。 【アクティブラーニング】 紙上事例を読み実際に看護過程を展開する	予習：これまでのまでのテキストをよみ返す 復習：テキスト及び配布資料を読み返す
第24回	高齢者に特徴的な疾患と看護3-③	3．高齢者紙上事例より看護過程を展開する。 【アクティブラーニング】 紙上事例を読み実際に看護過程を展開する	予習：これまでのまでのテキストをよみ返す 復習：テキスト及び配布資料を読み返す
第25回	高齢者に特徴的な疾患と看護3-④	3．高齢者紙上事例より看護過程を展開する。 【アクティブラーニング】 紙上事例を読み実際に看護過程を展開する	予習：これまでのまでのテキストをよみ返す 復習：テキスト及び配布資料を読み返す
第26回	高齢者に特徴的な疾患と看護3-⑤	3．高齢者紙上事例より看護過程を展開する。 【アクティブラーニング】 紙上事例を読み実際に看護過程を展開する	予習：これまでのまでのテキストをよみ返す 復習：テキスト及び配布資料を読み返す
第27回	高齢者に特徴的な疾患と看護4	4．認知機能障害の看護 ・認知症の種類と病態 ・アルツハイマー病の看護	予習：テキスト第5章P.357～374でよく読む 復習：テキスト及び配布資料を読み返す
第28回	高齢者に特徴的な疾患と看護5	5．緩和ケアの看護 ・事例：終末期大腸がんの緩和ケア	予習：テキスト第5章P.375～391までよく読む 復習：テキスト及び配布資料を読み返す
第29回	高齢者に特徴的な疾患と看護6	6．パーキンソン病の看護 ・パーキンソン病とは ・パーキンソン病の看護	予習：テキスト第5章P.392～403までよく読む 復習：テキスト及び配布資料を読み返す

第30回	高齢者に特徴的な疾患と看護7	7. 薬物療法を受ける高齢者の看護 ・病態と治療 ・薬物療法を受ける高齢者の看護	予習：テキスト第5章P.404～414までよく読む 復習：テキスト及び配布資料を読み返す
第31回	老年看護技術の新たな動向と課題	1. 感染症をめぐる最近の動向と課題 ・新興・再興感染症とは 2. 老年看護技術の新たな動向と課題 ・エコーを用いる ・サーモグラフィを用いる	予習：テキスト第6章P.415～424までよく読む 復習：テキスト及び配布資料を読み返す

教科書
看護学テキストナイス 老年看護学技術 真田弘美 編集 南江堂
参考書
系統看護学講座 老年看護学 医学書院
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上。筆記試験70%、演習課題記録20%、授業参加度10%
課題等に対する フィードバックの方法
授業内で課題を出すので返却後学習の参考にする。また、演習時は随時質疑応答体制をとるので、学習の理解につなげてほしい。
履修のポイント
授業への積極的な姿勢を期待します。
オフィス・アワー
金曜日12：30～13：20、16：30～17：50

講義コード	10870001
講義名	高齢期看護学実習I
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	実験・実習
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R256
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田中 光子	指定なし

授業の概要と教育目標

地域で生活している健康寿命を維持している高齢者とふれあい、客観的QOL（身体的状態・家庭・社会的状態など）と主観的QOL（高齢者自身の主観的満足感・生きがいなど）の両面を把握する。また高齢者のその人らしさ（個別性）・エンパワメント・生きる価値観を知ることで、医療倫理面の原則で重要な自己決定権の必要性を把握する。この2点の理解を深めることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連において、人間に対して社会・環境・コミュニケーションの諸側面から、社会に貢献してきた高齢者の理解を深めることを目指すものとする。

到達目標

1. 高齢期にある人の生活史を理解する。
2. 高齢期にある人の生活状態を理解する。
3. 高齢期にある人の健康状態と健康増進への取り組みについて理解する。
4. 高齢者への社会支援の役割を理解する。
5. 高齢者の個別性を理解する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	学内実習	【アクティブラーニング】 オリエンテーションを受け、グループ別に課題演習に取り組む。不明な点は各グループで調べ解明につなげる。臨地で明らかにした事象を抽出しておく。	予習90分：実習要綱の確認。復讐90分高齢期看護学方法論配布資料の確認をする。テキストを読む。
第2回	臨地実習	【アクティブラーニング】 地域の高齢者の活動、コミュニケーションを通して高齢期にある人の生活史、生活状態、健康状態と健康増進への理解を深める取り組みをす	予習90分：実習要綱の確認。復讐90分高齢期看護学方法論配布資料の確認をする。テキストを読む。

		る。	
第3回	臨地実習	【アクティブラーニング】 1. デイサービスおよびデイケアを利用している高齢者の健康状態や生活状況を把握し理解を深める。 2. デイサービスおよびデイケアの役割について理解を深め、高齢者の通所目的を知り理解を深める。 3. アクティビティケアに参加し観察を行う。	予習90分：実習要綱の確認。 復讐90分高齢期看護学方法論配布資料の確認をする。テキストを読む。
第4回	臨地実習	【アクティブラーニング】 1. デイサービスおよびデイケアを利用している高齢者の健康状態や生活状況を把握し理解を深める。 2. デイサービスおよびデイケアの役割について理解を深め、高齢者の通所目的を知る。 3. アクティビティケアに参加し観察を行う。	予習90分：実習要綱の確認。 復讐90分高齢期看護学方法論配布資料の確認をする。テキストを読む。
第5回	学内実習	グループ別演習・実習のまとめを行う。	復讐90分：5日間の実習を振り返り疑問個所は解決するように調べておく。

教科書
看護学テキストナイス 老年看護学技術 真田弘美編集 南江堂
参考書
適宜紹介する。
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上。実習評価・実習態度・指導者評価を総合的に判断する。
履修のポイント
実習への積極的な取り組みを期待します。

講義コード	10880001
講義名	高齢期看護学実習II
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	通年
講義区分	実験・実習
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R257
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田中 光子	指定なし

授業の概要と教育目標

健康障害をもつ高齢者を受け持ち看護過程を展開する。高齢者にとっての健康障害の状況や生活機能障害の状況を踏まえたうえで、個別性のある看護計画を立案し、実施・評価・修正をする。高齢者への看護実践を通して、高齢者の自己決定の尊重やその人らしい生き方および尊厳について理解を深めることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーに掲げてある「看護の基本精神・基礎技術を理解した上で、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的技術を習得し、実践的な援助技術を習得している」に関連し、高齢期における看護過程の理解を深めることを目指す。

到達目標

1. 高齢期にある対象の発達課題と特徴、高齢者を取り巻く環境に基づいて対象を理解する。
2. 高齢期にある対象の顕在・潜在する看護問題を身体・心理・社会的側面からアセスメントする。
3. 高齢期にある対象の顕在・潜在する看護問題の解決にむけた個別的看護計画を立案・実施・評価する。
4. 看護実践をとおして看護の意義を理解する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	学内実習・臨地実習	オリエンテーション（施設別）・事前課題の追加または修正・オリエンテーション（病棟）・情報収集	予習：90分実習要綱を熟読する。 復讐：受け持ち患者の疾患の理解を深める。
第2回	臨地実習	受け持ち患者の情報収集・アセスメント・カンファレンス	予習：実習行動計画のイメージトレーニング 復讐：受け持ち患者の疾患の理解を深め

			る。記録
第3回	臨地実習	受け持ち患者の情報収集・アセスメント・カンファレンス	予習：実習行動計画のイメージトレーニング 復讐：受け持ち患者の疾患の理解を深める。記録
第4回	臨地実習	受け持ち患者の関連図作成・看護問題抽出・カンファレンス	予習：受け持ち患者のデータベースを熟慮する。 復讐：看護問題に対しての具体的援助を考察する。
第5回	学内実習	受け持ち患者の看護計画の立案・教員による個別指導	予習：看護問題に対しての具体的援助を考察する。技術援助の再確認。 復讐：看護問題の優先順位を考察する。
第6回	臨地実習	受け持ち患者の看護計画実施・評価・修正を行う。カンファレンス	予習：看護問題の優先順位を考察する。技術援助の再確認。 復讐：看護計画実施後の修正・記録する。
第7回	臨地実習	受け持ち患者の看護計画実施・評価・修正を行う。カンファレンス	予習・復習：修正した看護計画に乗っ取ったイメージトレーニング、技術援助の再確認をする。
第8回	臨地実習	受け持ち患者の看護計画実施・評価・修正を行う。カンファレンス	予習・復習：修正した看護計画に乗っ取ったイメージトレーニング、技術援助の再確認をする。
第9回	臨地実習	受け持ち患者の看護計画実施・評価・修正を行う。臨地における最終まとめのカンファレンス。	予習・復習：修正した看護計画に乗っ取ったイメージトレーニング、技術援助の再確認をする。看護過程の振り返りをする。
第10回	学内実習	合同振り返り・記録の完成・個人面接	

教科書

看護学テキスト 老年看護学技術 真田弘美編集 南江堂

参考書

・看護師・看護がくせいのための なぜ？どうして？６ 老年看護 医療情報科学研究所 メディックメディア
・生活機能のアセスメントにもとづく老年看護過程 奥宮明子他著 医歯薬出版（株）

成績評価の方法・基準

単位認定６０点以上。教員・指導者による実習評価・実習態度・実習記録・面接において総合的に評価する。

課題等に対する
フィードバックの方法

実習時間中における疑問においては、助言を付し自発的探究心を促し確認をする。

履修のポイント

一歩先の行動を予測して、積極的に実習へ臨んでください。

オフィス・アワー

金曜日１２：３０～１３：２０、16:20 ～17:50

講義コード	10890001
講義名	在宅看護学概論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期（重複①）
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	３時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R239
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 永井 道子	指定なし

授業の概要と教育目標

現在わが国は少子・高齢社会、人口の減少、医療資源の有効活用など様々な課題を抱えている。医療制度改革においても病院から在宅への円滑な移行が進められている。また、療養者には、できる限り住み慣れた地域で家族や友人と暮らし続けたいというニーズがある。これらの社会情勢や療養者のニーズに対応するため、在宅看護の必要性は高まっている。在宅看護の特徴、展開方法及び制度など、在宅で療養する人々を看護するうえで必要となる基本的な知識について学修する。なお本科目は、在宅看護の特徴・制度・現状・看護展開方法を学ぶことにより、在宅看護を実践するための基礎的能力を修得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、様々な健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識を修得することについて、在宅看護学に関する知識を修得することを目指すものとする。

到達目標

１．　在宅看護が目指す方向性と看護師の役割について理解できる。
２．　在宅看護の対象者の特徴と看護の必要性について理解できる。
３．　在宅看護に関連する諸制度の内容について理解できる。
４．　在宅看護過程を展開するための情報収集とアセスメント方法について理解できる。
５．　在宅療養者と家族を支える社会資源の種類や関係職種を知り、連携の方法と必要性について理解できる。
６．　在宅看護の現状を学ぶことにより、在宅看護（訪問看護）が抱える問題と課題について考えることができる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	生活の場での	オリエンテーション（授業の進め方、成績評価など） 地域で生活しながら療養するということ 【アクティブラーニングの内容】 「学生自身が75歳になった時、どこで、誰	予習90分：教科書序章を読む。復習90分：配布資料を見直す。レポートを作成す

	療養	と、どのように暮らしていたいか」を考えさせ、発表を促す。レポートを作成し、後日提出する。	る。
第2回	在宅看護の目的と特徴	在宅看護の目的 看護師の役割と機能	予習90分：教科書第1章と第3章を読む。復習90分：配布資料を見直す。レポートを作成する。
第3回	在宅看護の対象者と支援方法	在宅療養者 家族 支援方法	予習90分：教科書第2章と第3章を読む。復習90分：配布資料を見直す。レポートを作成する。
第4回	在宅看護の制度	訪問看護制度 介護保険制度 地域包括ケアシステム 課題レポートを提出する。	予習90分：教科書第4章を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第5回	在宅看護の展開①	在宅看護過程の特徴 在宅看護過程の展開方法 課題レポートのまとめをフィードバックする。	予習90分：教科書 第5章A・Bを読む。復習90分：配布資料を見直す。
第6回	在宅看護の展開②	多職種との連携 安全性の確保	予習90分：教科書第5章Cを読む。復習90分：配布資料を見直す。
第7回	在宅看護の展開③	災害時の在宅看護 対象者の権利保障	予習90分：教科書第5章Dを読む。復習90分：配布資料を見直す。
第8回	まとめ	在宅看護学の展望	予習90分：教科書第1章～第5章を読む。復習90分：配布資料を見直す。

教科書

秋山正子・他『≪系統看護学講座 統合分野≫在宅看護論』(医学書院)

参考書

岡崎美智子『根拠がわかる在宅看護技術』(メヂカルフレンド社)
臺有桂・他編『ナーシング・グラフィカ 在宅看護論：地域療養を支えるケア』(メディカ出版)

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上
筆記試験（50%）、課題レポート（30%）、受講態度〔参加・貢献度〕（20%）を合計して評価する。

課題等に対するフィードバックの方法

授業内で課題レポートを課す。提出後、授業中にまとめを紹介する。

履修のポイント

在宅看護に関する基本的知識について学びます。積極的に授業に参加してください。日々の在宅療養に関するニュースや新聞記事に関心をもってください。

オフィス・アワー

在室時、随時対応します。11号館3階研究室1

講義コード	10900001
講義名	在宅看護方法
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期（重複①）
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	３時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R248
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 髙橋 美砂子	指定なし

授業の概要と教育目標

在宅における看護展開方法と技術について学ぶ。療養者と家族を対象に、基礎看護学、成人看護学、老年看護学等で学んだ内容を応用して、在宅における看護援助を考える。演習では事例をもとに看護過程を展開する。グループで療養者と家族を対象にした看護援助方法について話し合い、看護計画を立案し発表する。なお本科目は、在宅看護の技術について学び、事例をもとに看護過程を展開することにより、在宅看護を実践するための基礎的知識と技術を修得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、様々な健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識と技術を修得することについて、在宅看護学に関する知識と実践的な援助技術を修得することを目指すものとする。

到達目標

１．療養者と家族の生活を尊重した在宅での援助が理解できる。
２．家族の負担が軽減できるよう支援することの必要性が理解できる。
３．在宅で求められる看護技術について理解できる。
４．在宅における医療管理を必要とする看護について理解できる。
５．事例をもとに在宅看護過程を考えることができる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	在宅看護の展開方法	信頼関係の構築 「生活」の視点 在宅療養者と家族のニーズ 在宅看護介入時期別の特徴	予習45分：教科書第6章Aを読む。 復習45分：配布資料を見直す。
第2回	在宅看護の技術①	呼吸機能／食生活・嚥下／排泄	予習45分：教科書第6章Bを読む。 復習45分：配布資料を見直す。
第3回	在宅看護の技術②	移動・移乗／清潔	予習45分：教科書第6章Bを読む。 復習45分：配布資料を見直す。

第4回	在宅看護の技術③	認知機能／終末期看護	予習45分：教科書第6章Bを読む。 復習45分：配布資料を見直す。
第5回	在宅における医療技術①	褥創／尿道留置カテーテル	予習45分：教科書第6章Cを読む。 復習45分：配布資料を見直す。
第6回	在宅における医療技術②	ストーマ（人工肛門・人工膀胱）／経管栄養	予習45分：教科書第6章Cを読む。 復習45分：配布資料を見直す。
第7回	在宅における医療技術③	在宅中心静脈栄養法（HPN）／非侵襲的陽圧換気療法（NPPV)	予習45分：教科書第6章Cを読む。 復習45分：配布資料を見直す。
第8回	在宅における医療技術④	在宅酸素療法（HOT）／在宅人工呼吸療法（HMV）／疼痛コントロール	予習45分：教科書第6章Cを読む。 復習45分：配布資料を見直す。
第9回	在宅看護技術のまとめ	在宅看護の実践	予習45分：教科書第6章を読む。 復習45分：配布資料を見直す。
第10回	在宅看護過程	事例展開 【アクティブラーニングの内容】 グループに分かれ、事例検討を行う。	予習45分：教科書第7章を読む。 復習45分：事例展開記録を作成する。
第11回	在宅看護過程	事例展開 【アクティブラーニングの内容】 グループに分かれ、事例検討を行う。	予習45分：教科書第7章を読む。 復習45分：事例展開記録を作成する。
第12回	在宅看護過程	事例展開 【アクティブラーニングの内容】 グループに分かれ、事例検討を行う。	予習45分：教科書第7章を読む。 復習45分：事例展開記録を作成する。
第13回	在宅看護過程	在宅看護過程発表 【アクティブラーニングの内容】 グループ毎に、事例検討の発表を行う。	予習45分：教科書第7章を読む。 復習45分：配布資料を見直す。
第14回	在宅看護過程	在宅看護過程発表 【アクティブラーニングの内容】 グループ毎に、事例検討の発表を行う。	予習45分：教科書第6章を読む。 復習45分：配布資料を見直す。
第15回	在宅看護過程	在宅看護過程発表 【アクティブラーニングの内容】 グループ毎に、事例検討の発表を行う。	予習45分：教科書第6章を読む。 復習45分：配布資料を見直す。

教科書

秋山正子・他『≪系統看護学講座 統合分野≫在宅看護論』(医学書院)

参考書

岡崎美智子『根拠がわかる在宅看護技術』(メヂカルフレンド社)
臺有桂・他編『ナーシング・グラフィカ 在宅看護論：地域療養を支えるケア』(メディカ出版)

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上
筆記試験（50%）、事例検討記録（30%）、受講態度〔参加・貢献度〕（20%）を合計して評価する。

課題等に対する

フィードバックの方法
事例検討発表時に指導を行う。
履修のポイント
在宅における看護技術と看護過程について学びます。グループワークを行いますので、積極的に参加してください。
オフィス・アワー
在室時、随時対応します。11号館3階研究室1

講義コード	10910001
講義名	在宅看護学実習
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	通年
講義区分	実験・実習
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R258
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 髙橋 美砂子	指定なし

授業の概要と教育目標

在宅看護の特徴は、対象となる人々の「生活」の場で看護を展開するという点にある。そのため、人々の生き方、生活、健康に対する価値観や主体性を尊重しながら、自立支援や自己決定という視点をもち、療養生活の維持と質の向上を図ることが在宅看護の目的となる。在宅看護学実習では、在宅看護の対象者である療養者とその家族の特徴や援助方法、地域包括ケアシステムや社会資源の活用・調整方法、保健医療福祉の様々な職種との連携や協働の必要性、その中での看護の役割について学修する。なお本科目は、在宅療養者及び家族における健康障害と生活への影響を総合的にとらえ、在宅看護の特徴を理解し、療養者と家族の特性に応じた看護を実践するための基礎的能力を修得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、様々な健康レベル、あらゆる発達段階における実践的な援助技術の修得、知識と技術の統合、臨床現場でのチーム医療の一員として役割を担う能力、問題を解決する能力を修得することを目指すものとする。

到達目標

１．療養者の疾患・障害が、療養生活に及ぼしている影響を総合的に理解できる。
２．療養者と家族の生活・健康に関する価値観や主体性を尊重することの重要性が理解できる。
３．在宅療養における家族の状況と役割を知り、家族を対象とした看護の必要性が理解できる。
４．療養者と家族のケアニーズと個別性を尊重した援助計画が立案できる。
５．療養者と家族の意向を踏まえたマネジメントと療養生活の調整について理解できる。
６．療養者と家族の生活を支援する社会保障制度及び社会資源の活用方法が理解できる。
７．地域包括ケアシステムにおける関係機関との連携と、在宅ケアチームにおける看護職の役割・機能が理解できる。
８．療養者の権利の擁護、人権の尊重の重要性について理解できる。
９．看護学生として看護専門職の自覚を持ち、実習に積極的に取り組むことができる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
		桐生市地域包括支援センター１日、居宅介護支援事	

第1回	実習方法	業所１日、介護サービス関連施設１日、訪問看護ステーション４日、学内で３日（オリエンテーション、最終まとめ含む）実習する。	
第2回	（3日間） 在宅関連施設での実習	各施設の役割・事業・支援の実際を学び、地域包括ケアシステムにおける関係機関の連携・協働と、対象の特性に応じた援助方法について理解する。	予習60分：教科書の該当ページを読む。復習60分：記録を作成する。
第3回	（4日間） 訪問看護ステーションでの実習	アクティブラーニング 看護師と同行訪問し、事例の看護過程を展開することにより、在宅看護の実際と看護職の役割・機能について理解する。	予習60分：教科書の該当ページを読む。復習60分：記録を作成する。
第4回	（3日間） 学内実習	オリエンテーション カンファレンス 最終まとめ	予習60分：教科書の該当ページを読む。復習60分：記録を作成する。
第5回		実習初日にオリエンテーションを行う。 実習中のカンファレンス・報告会等を通して学習体験を共有する。 実習最終日には実習のまとめ及びカンファレンスを行う。 実習施設、実習スケジュール等については実習開始時期に説明する。	

教科書

在宅看護学実習要項を配布する。
秋山正子・他『≪系統看護学講座 統合分野≫在宅看護論』(医学書院)

参考書

岡崎美智子『根拠がわかる在宅看護技術』(メヂカルフレンド社)
臺有桂・他編『ナーシング・グラフィカ 在宅看護論：地域療養を支えるケア』(メディカ出版)

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上
到達目標の達成状況：100%

課題等に対するフィードバックの方法

実習記録に関して、個別に指導を行う。実習記録は実習終了後に返却する。

履修のポイント

在宅看護学実習の対象者は小児から高齢者まで幅広く、疾患もさまざまである。また、対象者の家族、取り巻く環境、地域も看護の対象となる。病院や施設における実習で学んだ知識・技術を最大限に活用し、在宅療養生活を援助する看護について学びを深める。事前学習課題は、実習初日に持参する。また日常生活援助技術を経験することが多いため、練習を行っておく。

オフィス・アワー

在室時、随時対応します。11号館3階研究室1

講義コード	10920001
講義名	公衆衛生看護学概論
(副題)	【教職必修】【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	２時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R330
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 檀原 三七子	指定なし

授業の概要と教育目標

公衆衛生看護は、公衆衛生を基盤にした看護活動であり、地域に住むすべての人々を対象とし、健康レベルやＱＯＬの向上を目指し、住民自身が主体的に取り組めるよう専門的な支援を行う。公衆衛生看護学の理念、歴史的背景や地域保健活動の変遷等を踏まえ、公衆衛生看護の果たす役割や期待される能力について学習する。また、諸外国の公衆衛生看護活動や国際協力のあり方について学習し、異なる文化や価値観に対して柔軟に対応しながら健康課題の解決を図るための取り組みを学習する。本科目は、地域を基盤とした公衆衛生看護の対象の捉え方、活動の場、活動方法に焦点をあてながら、多様化する社会現象と健康課題に対応する保健師の役割について理解することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマ・ポリシーとの関連は、看護学の基礎となる、健康の諸側面、健康生活と社会との関係から理解を深める。また、さまざまな健康レベルや発達段階にある人々に対して行われる公衆衛生看護活動を通して保健師の役割について理解することにより目的達成に資する知識を養う。

到達目標

１）個人・家族・集団・地域を対象とした看護領域であることを理解する。
２）地域で生活する人々の健康課題について考えることができるようになる。
３）地域の健康課題と保健計画について理解する。
４）公衆衛生看護活動における集団的支援・個別的支援について説明することができるようになる。
５）公衆衛生看護活動における現状の問題を踏まえて今後の課題について説明することができるようになる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	オリエンテーション公衆衛	・公衆衛生看護の定義 ・公衆衛生看護の理念	予習90分：教科書第１章Ａを読む。復

	生看護学の理念	・公衆衛生看護の目的や対象、活動の場 ・公衆衛生看護活動の法的根拠	習90分：配付資料と教科書を見直す。
第2回	公衆衛生の理念	・公衆衛生の定義 ・健康の定義 ・疾病予防（一次、二次、三次予防）の概念 ・プライマリヘルスケア ・ヘルスプロモーション 【アクティブラーニングの内容】 ヘルスプロモーションを理解するために自身の生活とヘルスプロモーションを関連付けて捉えることができるようグループワークを行う。	予習90分：教科書第１章Ｂを読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第3回	公衆衛生の概念	・健康を左右する条件 ・ソーシャルキャピタル ・わが国の健康政策の変遷、健康日本21、健康増進法 【アクティブラーニングの内容】 自身の生活を振り返り健康を左右する条件を考えるきっかけとして意見交換する。	予習90分：教科書p75-79を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第4回	公衆衛生看護の倫理	・保健師の活動と倫理的問題 ・情報社会における倫理と保護 【アクティブラーニングの内容】 公衆衛生看護の倫理的な課題を理解するために事例を用いて、グループワークを行う。	予習90分：教科書第1章Ｃを読む。 復習60分：配付資料と教科書を見直す。
第5回	公衆衛生看護の対象	・個人、家族、集団、地域を活動の対象とする捉え方 【アクティブラーニングの内容】 これまでの生活を振り返り、自身や家族が病気や介護が必要になった経験があれば、その時の家族の役割・機能が変更されたことを想起し、家族の役割・機能について意見交換する。	予習90分：教科書第２章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第6回	公衆衛生看護活動の場	・保健所、市町村における保健師の活動 ・保健所と市町村保健センターの法的位置づけ、役割・機能 ・医療施設と社会福祉施設における保健師の活動 【アクティブラーニングの内容】 行政機関である保健所や市町村保健センターに行った体験を想起させ、役割・機能について意見交換する。	予習90分：教科書第３章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第7回	社会情勢の変化と健康課題(1)	・人口構成及び疾病構造の変化 ・経済や産業構造の変化と健康課題 【アクティブラーニングの内容】 人口構成や疾病構造の変化を図表から読み取り発表する。	予習90分：教科書第4章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第8回	社会情勢の変化と健康課題(2)	・中間テスト ・地球環境、生活環境の変化と健康への影響 ・自然災害と健康 ・健康課題解決のための資源	予習90分：教科書第４章Ｄ、第５章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第9回	公衆衛生看護活動の展開(1)	・公衆衛生看護活動の展開の基本 ・地域診断に基づくPDCAサイクル（１）	予習90分：教科書第５章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
	公衆衛		予習90分：教科書第

第10回	生看護活動の展開(2)	・地域診断に基づくPDCAサイクル（２） ・保健計画の策定と実践、評価	６・7章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第11回	公衆衛生看護活動の展開(3)	・健康危機管理とリスクマネージメント	予習90分：教科書第９章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第12回	公衆衛生看護の歴史(1)	・わが国における公衆衛生・衛生行政の歴史的変遷 ・わが国の公衆衛生看護活動の歴史	予習90分：教科書10章Ａを読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第13回	公衆衛生看護の歴史(2)	・諸外国の公衆衛生看護活動の歴史 ・諸外国の保健師教育・規則	予習90分：教科書10章Ｂを読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第14回	公衆衛生看護の国際的視点	・国際保健の活動の対象と場 ・国際協力 ・多文化共生社会における健康課題	予習90分：教科書3章Ｆを読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第15回	公衆衛生看護管理総括	・公衆衛生看護管理の目的と領域 ・公衆衛生看護活動と研究的な視点	予習90分：教科書第8章を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。

教科書

標美奈子・他『標準保健師講座１ 公衆衛生看護学概論（第４版）』（医学書院）

参考書

⑴国民衛生の動向（厚生労働統計協会）
⑵保健師業務要覧（日本看護協会保健師職能委員会）
⑶公衆衛生（MCメディカ出版）
※補足資料として、適宜使用します。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
筆記試験：80%、数回のミニテスト10%、授業への参加態度10%

課題等に対するフィードバックの方法

各回の講義終了の直前に学習の振り返りとして学びをリアクションペーパーに記述し提出すること。その記述内容は次回の講義時、全体にフィードバックする。

履修のポイント

理解状況の確認のため複数回ミニテストを行います。
積極的な授業への参加を期待します。

オフィス・アワー

本科目の講義日は対応します。なお研究室に在室している時は対応します。10号館2階9研究室

講義コード	10930001
講義名	公衆衛生看護活動論I
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	１時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-C340
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 檀原 三七子	指定なし
教員	泉 理恵	指定なし

授業の概要と教育目標

公衆衛生看護活動は、地域の健康問題や健康課題の改善・解決に向けた看護実践の中で、個人・家族、集団、地域への支援を行っている。本科目は、地域の人々の健康な生活を支援するために必要な基本的な援助方法と援助技術を習得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマ・ポリシーとの関連は、さまざまな健康レベルや発達段階にある人々に対して行われる公衆衛生看護活動を通して保健師の役割及び支援方法について理解することで目的達成に資する知識を養う。

到達目標

１）公衆衛生看護活動の実践のための基本的な技術、方法について理解する。
２）公衆衛生看護の基盤となるさまざまな理論を理解する。
３）地域診断の意義と方法について理解する。
４）家庭訪問および健康教育の意義と方法について理解する。
５）グループ支援・地区組織育成支援の意義と方法について理解する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	オリエンテーション公衆衛生看護における機能と技術	・公衆衛生看護に求められるもの ・公衆衛生看護を取り巻く状況の変化 ・公衆衛生看護における保健指導	予習90分：①教科書第1章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
		・家庭訪問の法的根拠 ・家庭訪問のプロセス	

第2回	個人・家族への支援①	・家庭訪問における支援計画と方法、評価 【アクティブラーニングの内容】 家庭訪問のDVDを視聴し、家庭訪問時のマナーを含めて保健師の支援についてグループワークを行う。	予習90分：①教科書第2章A-1.2、第5章を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第3回	個人・家族への支援②	・健康相談（保健指導）の目的、対象、支援、評価 【アクティブラーニングの内容】 健康相談のDVDを視聴し、保健師の支援および個別の相談から地域の健康課題を把握し、施策化へつなげる保健師活動についてグループワークを行う。	予習90分：①教科書第4章健康相談を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第4回	個人・家族への支援③	・家庭訪問・健康相談で活用できる理論と技術	予習90分：①教科書第4章保健指導の主な技術、健康相談を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第5回	個人・家族への支援④	・健康診査の法的根拠 ・健康診査の目的、対象、方法、評価 【アクティブラーニングの内容】 大学で実施した健康診断の場面を想起させ、健康診断の一連の流れについてグループワークを行う。	予習90分：①教科書第4章健康診査を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第6回	集団・組織への支援①	・地域組織活動の歴史 ・地域組織活動の概念 ・地域組織活動の特徴と類型	予習90分：①教科書第7章地域組織活動の展開を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第7回	集団・組織への支援②	・地域組織活動で活用できる理論・方法論 【アクティブラーニングの内容】 地域住民が主体的に活動できるように支援するということを理解するために、学生生活を例に、「主体的」とはどういうことかグループワークを行う。	予習90分：①教科書第3章地域組織活動で活用できる理論・方法論を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第8回	集団・組織への支援③	・セルフヘルプグループの歴史、特徴、保健師の支援の実際	予習90分：①教科書第2章A-3グループ・組織の理解と支援技法、第7章当事者組織とその支援を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第9回	集団・組織への支援④	・地域組織活動とグループ支援の実際 【アクティブラーニングの内容】 地域組織とグループ支援に関するDVDを視聴し、グループの特徴を捉えながら保健師の役割や支援についてグループワークを行う。	予習90分：①教科書第2章A-3グループ・組織の理解と支援技法を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第10回	集団・組織への支援⑤	・地域組織活動の支援方法、評価 ・グループ支援の特徴、方法、評価	予習90分：①教科書第3章地域組織活動で活用できる理論・方法論、第7章、住民の自立支援と地域組織活動の実際を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。

第11回	コミュニティへの支援①	・地域診断の方法 コミュニティ-アズ-パートナーモデル プリシード・プロシードモデル 【アクティブラーニングの内容】 地域診断のDVDを視聴し、地域診断について理解する。その後、自身が暮らす地域の地域診断を実際に行い、レポートする。	予習90分：②教科書第6章を読み地域診断を想起する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第12回	コミュニティへの支援②	・保健医療福祉関連の統計資料とその活用・地域把握の方法と実際	予習90分：②教科書第6章を読み地域診断を想起する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第13回	コミュニティへの支援③	・健康教育の理論 ・ポピュレーションアプローチ ・健康教育の対象、方法、評価	予習90分：①教科書第6章健康教育の展開を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第14回	コミュニティへの支援④	・健康教育演習① 演習のためのオリエンテーション 地域診断に基づく健康教育のテーマ設定① 【アクティブラーニングの内容】 グループ毎に健康教育の企画書、指導案を作成し、健康教育を実施する。	予習90分：①教科書第6章健康教育の展開を熟読する。テーマに関連する資料や教科書を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第15回	コミュニティへの支援⑤	・健康教育演習② 地域診断に基づく健康教育のテーマ設定② 【アクティブラーニングの内容】 グループ毎に健康教育の企画書、指導案を作成し、健康教育を実施する。	予習90分：①教科書第6章健康教育の展開を熟読する。テーマに関連する資料や教科書を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第16回	コミュニティへの支援⑥	・健康教育演習③ ・健康教育の企画書と指導案の作成① 【アクティブラーニングの内容】 グループ毎に健康教育の企画書、指導案を作成し、健康教育を実施する。	予習90分：①教科書第6章健康教育の展開を熟読する。テーマに関連する資料や教科書を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第17回	コミュニティへの支援⑦	・健康教育演習④ ・健康教育の企画書と指導案の作成② 【アクティブラーニングの内容】 グループ毎に健康教育の企画書、指導案を作成し、健康教育を実施する。	予習90分：①教科書第6章健康教育の展開を熟読する。テーマに関連する資料や教科書を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第18回	コミュニティへの支援⑧	・健康教育演習⑤ ・健康教育の企画書と指導案の作成③ 【アクティブラーニングの内容】 グループ毎に健康教育の企画書、指導案を作成し、健康教育を実施する。	予習90分：①教科書第6章健康教育の展開を熟読する。テーマに関連する資料や教科書を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第19回	コミュニティへの支援⑨	・健康教育演習⑥ ・健康教育の企画書と指導案の作成④ 【アクティブラーニングの内容】 グループ毎に健康教育の企画書、指導案を作成し、健康教育を実施する。	予習90分：①教科書第6章健康教育の展開を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
		・健康教育演習⑦	予習90分：教科書第6章健康教育

第20回	コミュニティへの支援⑩	・健康教育の企画書と指導案の作成⑤ 【アクティブラーニングの内容】 グループ毎に健康教育の企画書、指導案を作成し、健康教育を実施する。	の展開を熟読する。テーマに関連する資料や教科書を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第21回	コミュニティへの支援⑪	・健康教育演習⑧ ・健康教育の企画書と指導案の作成⑥ 【アクティブラーニングの内容】 グループ毎に健康教育の企画書、指導案を作成し、健康教育を実施する。	予習90分：教科書第6章健康教育の展開を熟読する。テーマに関連する資料や教科書を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第22回	コミュニティへの支援⑫	・健康教育演習⑨ ・健康教育の企画書と指導案の作成⑦ 【アクティブラーニングの内容】 グループ毎に健康教育の企画書、指導案を作成し、健康教育を実施する。	予習90分：教科書第6章健康教育の展開を熟読する。テーマに関連する資料や教科書を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第23回	コミュニティへの支援⑬	・健康教育の発表① 【アクティブラーニングの内容】 学生は健康教育を受講する対象者になったり、保健師役になるなどそれぞれ役割を担い健康教育の発表を行う。	予習90分：教科書第6章健康教育の展開を熟読する。テーマに関連する資料や教科書を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第24回	コミュニティへの支援⑭	・健康教育の発表② 【アクティブラーニングの内容】 学生は健康教育を受講する対象者になったり、保健師役になるなどそれぞれ役割を担い健康教育の発表を行う。	予習90分：教科書第6章健康教育の展開を熟読する。テーマに関連する資料や教科書を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第25回	コミュニティへの支援⑮	・健康教育の評価① 【アクティブラーニングの内容】 健康教育発表時に捉えた、対象者の反応等から健康教育の評価をグループ毎に行い、発表をする。 改善の必要があれば、企画書と指導案へ修正を加える。	予習90分：教科書第6章健康教育の展開を熟読する。テーマに関連する資料や教科書を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第26回	コミュニティへの支援⑯	・健康教育の評価② 【アクティブラーニングの内容】 健康教育発表時に捉えた、対象者の反応等から健康教育の評価をグループ毎に行い、発表をする。 改善の必要があれば、企画書と指導案へ修正を加える。	予習90分：教科書第6章健康教育の展開を熟読する。テーマに関連する資料や教科書を読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第27回	地域ケアシステムの構築①	・地域ケアシステムの理念・目的 ・地域ケアシステムのつくり方 ・地域ケアシステムの発展過程 ・地域ケアシステムにおける保健師の活動	予習90分：教科書第8章Ａを熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第28回	地域ケアシステムの構築②	・ネットワークの形成とシステムづくり 【アクティブラーニングの内容】 事例を通して地域ケアシステムの構成員にはどのような関係職種や機関が必要かグループワークする。	予習90分：教科書第8章Ｂを熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。

第29回	地域ケアシステムの構築②	・地域ケアシステムの実際① 【アクティブラーニングの内容】 自身が暮らす地域を例にして、互助にはどのようなものがあるか、またどのような互助が必要かをグループワークする。	予習90分：教科書第3章地域組織活動で活用できる理論・方法論を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第30回	公衆衛生看護活動論の総括	・地域ケアシステムの実際② 【アクティブラーニングの内容】 前回のグループワークの意見を発表し合い、地域ケアシステムにおける保健師の役割を考察する。 ・まとめ	予習90分：配付資料を熟読し疑問点をまとめておく。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。

教科書

①中村裕美子・他『標準保健師講座２ 公衆衛生看護技術』（医学書院）
②標美奈子・他『標準保健師講座１ 公衆衛生看護学概論(第４版)』（医学書院）

参考書

・エリザベス T. アンダーソン他・編『コミュニティアズパートナー地域看護学の理論と実際（第2版）』(医学書院)2007
・守田孝恵編著 展開図でわかる「個」から「地域」へ広げる保健師活動 クオリティケア 2013
＊補足資料として適宜使用します。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
筆記試験50％、レポート課題10％、講義および演習への参加態度30％、プレゼンテーション10％

課題等に対するフィードバックの方法

各回の講義終了の直前に学習の振り返りとして学びをリアクションペーパーに記述し提出すること。その記述内容を次回の講義時、全体にフィードバックする。

履修のポイント

・保健師課程の科目です。グループワークが多いため、欠席しないよう体調管理し、協調性をもって臨んでください。
・既習科目と連動させながら学習を深めましょう。

オフィス・アワー

・本科目の講義日は対応します。なお研究室に在室している時は対応します。10号館2階９研究室

講義コード	10940001
講義名	公衆衛生看護活動論II
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-C360
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 檀原 三七子	指定なし
教員	泉 理恵	指定なし

授業の概要と教育目標

さまざまな健康レベル、発達段階にある対象者と課題別の活動展開として、母子保健活動、成人保健活動、高齢者保健活動、精神保健活動、障害者（児）保健活動、難病の保健活動、感染症の保健活動などの実際を学習する。本科目は対象別・課題別に活動の基盤となる法律や制度と関連させながら保健師の役割とその活動内容を具体的に理解することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマ・ポリシーとの関連は、さまざまな健康レベルや発達段階にある人々に対して行われる公衆衛生看護活動の展開の実際を通して保健師の役割や支援方法を理解することで目的達成に資する知識を養う。

到達目標

1）生涯を通じた健康の出発点である母子保健活動を理解する。
2）生活習慣を見直す時期である成人保健活動を理解する。
3）住み慣れた地域で自立して生活ができるよう高齢者保健活動を理解する。
4）心の健康づくりを目指した精神保健活動を理解する。
5）地域における障害者（児）、難病、感染症など課題別の保健活動を理解する。
6）地域における危機管理対策について理解する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	オリエンテーション母子保健活動	・母子保健の動向 ・母子保健活動の理念および歴史的変遷 ・母子保健に関する健康指標の動向と母子保健施策の変遷を理解する。 【アクティブラーニングの内容】 既習である母性、小児看護学実習での学習を通して、母性や小児保健の現状や課題をどのように捉えているのか、グループワークを行う。	予習90分：教科書第１章Ａ，Ｂを読む。復習90分：配付資料と教科書を見直す。

第2回	母子保健活動	・乳幼児期の成長発達と保健指導	予習90分：教科書第１章Ｃを読む。復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第3回	母子保健活動	・健康上のリスクを持つ母子への保健指導	予習90分：教科書第１章Ｄを読む。復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第4回	成人保健活動	・成人保健活動の対象、健康課題、社会背景、活動の基盤となる法律と制度	予習90分：教科書第2章を読む。復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第5回	成人保健活動	・メタボリックシンドロームとは ・生活習慣予防対策 ・特定健診、特定保健指導 ・がん対策	予習90分：教科書第2章を読む。復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第6回	高齢者保健活動	・高齢者保健の動向 ・高齢者の保健福祉施策と保健師活動 ・在宅要援護高齢者と家族への保健指導 ・地域包括ケアにおける保健師活動 【アクティブラーニングの内容】 既習である高齢期、在宅看護学実習での学習を通して、高齢者の現状や課題をどのように捉えているのか、グループワークを行う。	予習90分：教科書第3，11章を読む。復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第7回	中間評価 精神保健活動	・前回までの講義内容についてミニテストを行う ・精神保健活動の現状と保健師の役割	予習90分：教科書第4章を読む。復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第8回	精神保健活動	・面談時のアセスメント技法～ ・問題の理解とその背景 ・地域の中の自殺予防対策（ゲートキーパーの役割）	予習90分：教科書第4章を読む。復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第9回	難病対策	•難病対策の動向 •難病保健施策と保健師活動 •難病対策における保健師の役割 •難病患者の生活と保健指導	予習90分：教科書第6章を読む。復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第10回	障害者（児）保健活動	・障がい者（障がい児）保健活動の対象、健康課題と社会背景、活動の基盤となる法律と制度。保健師の役割	予習90分：教科書第5章を読む。復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第11回	感染症保健活動	・感染症とは ・感染症の予防対策と動向 ・活動の基盤となる法律と制度	予習90分：教科書第7章を読む。復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第12回	感染症保健活動	・結核管理、予防接種、HIV、AIDSの動向と相談体制、医療機関との連携	予習90分：教科書第7章を読む。復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第13回	口腔保健活動	・生涯を通じた歯科口腔保健、摂食嚥下機能低下予防対策、自己管理（セルフケア）	予習90分：教科書第8章を読む。復習90分：配付資料と教科書を見直す。
		・健康危機管理対策	

第14回	健康危機管理対策	・健康危機管理の４段階 ・健康危機管理の要素とその展開方法 ・感染症集団発生と保健活動 【アクティブラーニングの内容】 健康危機の発生防止のために平常時の保健活動の充実が重要であるが、その理解を促すために自身の生活を振り返り何か予防対策を行っているか、グループワークを行う。	予習90分：教科書第12章Ａ,Ｂを読む。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第15回	・災害と災害時の保健活動 ・まとめ	・災害の定義・分類 ・災害サイクルとフェーズおよび災害医療・災害保健 ・災害支援制度とシステム ・災害サイクルにおける災害対策と保健師活動 ・まとめ	予習90分：教科書第12章Ｃを読む。復習90分：配付資料と教科書を見直す。

教科書

・中谷芳美ほか 標準保健師講座「対象別公衆衛生看護活動」医学書院
・国民衛生の動向（厚生統計協会）

参考書

・第４版 公衆衛生看護学. ｊｐ インターメディカル 荒賀直子ほか
（看護学や検査・治療に関連した既存の各種教科書、資料等も参考にすること）

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
筆記試験80％、レポート課題20％

課題等に対する フィードバックの方法

各回の講義終了直前に学習の振り返りとして学びをリアクションペーパーに記述し提出すること。その記述内容は次回の講義時、全体にフィードバックする。

履修のポイント

積極的な授業への参加を期待します。
既習科目と連動させ学習を深めましょう。

オフィス・アワー

本科目の講義日は対応します。なお研究室に在室している時は対応します。10号館2階９研究室

講義コード	10950001
講義名	公衆衛生看護活動論III
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時限	２時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R370
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 檀原 三七子	指定なし

授業の概要と教育目標

看護管理や公衆衛生看護管理の「管理」という用語から、管理的立場にある保健師や看護師に求められる能力と思われがちである。しかし、管理は新人にも経験豊富な保健師・看護師にも求められるものであり、看護職が行う活動（ケア）の質を高める活動でもあり、看護の専門性を発揮するためには不可欠である。本科目は、職務遂行上何らかの責任をもつすべての看護職に必要な管理的機能についての基礎知識を習得し、公衆衛生看護管理の目的や機能、および健康危機管理における法律・制度を理解することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマ・ポリシーとの関連は、看護職としての必要な倫理、法令を理解するとともに、組織の一員として調整する能力および問題の解決方法について理解することを通して目的達成に資する知識を養う。

到達目標

１．公衆衛生看護管理の目的、機能を理解する。
２．公衆衛生看護管理に関する法律・制度を説明することができるようになる。
３．地域ケアの質を保証するために行う公衆衛生看護管理について理解する。
４．事例を通して健康危機管理の目的と方法を理解する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	オリエンテーション（授業の進め方、成績評価の方法など） 公衆衛生看護管理の意義	看護管理の定義 看護管理と公衆衛生看護管理の違い 公衆衛生看護管理の目的・機能 【アクティブラーニングの内容】 管理の諸側面を理解するために、就職を希望している病院に関する情報を調べ、管理的な情報が含まれていることをイメージできるよう課題学習する。	予習90分：教科書①p116-118、②166-168を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。

第2回	公衆衛生看護管理の基本 公衆衛生看護管理の機能①	公衆衛生看護管理の基本 公衆衛生看護管理の機能 事例管理 地区管理	予習90分：教科書①p119-122を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第3回	公衆衛生看護管理の機能②	公衆衛生看護管理の機能 事業・業務管理 組織運営・管理	予習90分：教科書①p128-134を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第4回	公衆衛生看護管理の機能③	公衆衛生看護管理の機能 予算管理 予算の原則・仕組み・種類	予習90分：教科書①p109-113、p134-137を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第5回	公衆衛生看護管理の機能④	公衆衛生看護管理の機能 人事管理・人材管理	予習90分：教科書①p138-146を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第6回	公衆衛生看護管理の機能⑤	公衆衛生看護管理の機能 情報管理	予習90分：教科書①p122-127を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第7回	中間テスト 地域ケアの質の管理①	中間テスト 地域ケアとして展開されるサービスの評価・改善 組織・機関の組織診断 地域おけるケアの質保証の方法	予習90分：教科書①p148-152を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第8回	地域ケアの質の管理②	地域包括ケアシステムの概念 地域包括ケアシステムの構築と発展過程 地域特性を生かした社会資源の開発とその管理	予習90分：教科書①p202-217を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第9回	健康危機管理 大災害に備えた平常時の保健活動	健康危機管理とは 健康危機管理の現状 健康危機管理の法的根拠 健康危機管理と保健師活動とその機能	予習90分：教科書①p166-174を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第10回	感染症集団発生時の保健活動	保健所の体制づくり 感染症発生時の疫学調査 集団発生時の保健活動	予習90分：教科書①p175-186を熟読する。 復習90分：配付

			資料と教科書を見直す。
第11回	災害発生時の保健活動	初期の保健活動 被災後の経過に沿った保健活動 災害発生後から回復期の保健活動	予習90分：教科書①p187-199を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第12回	保健師に求められる看護管理機能の実際	事例を通して考える 【アクティブラーニングの内容】 事例を通して保健師に求められる看護管理機能についてグループワークを行う。	予習90分：配付資料を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第13回	保健師の活動と倫理的問題	職業倫理 事例を通して考える 【アクティブラーニングの内容】 倫理的問題を理解するために事例分析を通して保健師の活動や支援についてグループワークを行う。	予習90分：配付資料を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第14回	保健師の専門的自律	専門職として責務と成長 継続教育 自己開発と研究	予習90分：教科書①p116-118、②206-212を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。
第15回	看護管理の今日的課題 総括	これからの保健師に求められる看護管理機能 まとめ	予習90分：配付資料を熟読する。 復習90分：配付資料と教科書を見直す。

教科書

①平野かよ子編集 公衆衛生看護管理論 メヂカルフレンド社
②標 美奈子他 公衆衛生看護学概論 医学書院（2年次購入したもの）

参考書

第４版 公衆衛生看護学.jp インターメディカル
＊補足資料として適宜使用します。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
筆記試験80％、課題15％、授業への参加態度5％

課題等に対する
フィードバックの方法

各回の講義終了の直前に学習の振り返りとして学びをリアクションペーパーに記述し提出すること。その記述内容を次回の講義時、全体にフィードバックする。

履修のポイント

授業へ積極的に取り組み、既習科目と関連づけて学習を深めましょう。

オフィス・アワー

本科目の講義日は対応します。なお研究室に在室している時は対応します。10号館2階９研究室

講義コード	10960001
講義名	公衆衛生看護活動論Ⅳ
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-C361
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 泉 理恵	指定なし

授業の概要と教育目標

人々のライフステージの多くを占める労働生活を支援することは非常に重要であり、その担い手である産業看護職の役割は大きい。労働者の健康と労働生活の両立を支える産業保健・看護活動を展開するための知識、技術、態度を学習する。
【教育目標】
労働者が抱える健康問題と労働の場の特徴を学習し、労働者の健康と労働生活の両立を支える産業看護職の役割と機能について理解することができる。さらに、産業保健活動の重要性について考えることができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマポリシーとの関連は、さまざまな健康レベルや発達段階にある人々に対して行われる公衆衛生看護活動の展開を通して保健師の役割や支援方法を理解することで目標達成に資する知識を養う。

到達目標

①労働の場の特徴や労働者が抱える健康問題について理解する。
②労働関係法規を理解する。
③労働衛生管理体制（組織と人）を理解する。
④産業看護職の役割と業務を理解する。
⑤産業保健活動の重要性を認識することができる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	オリエンテーション 労働衛生の実態と産業保健・看護の対象者の特徴 産業保健・看護の理念と背景	産業構造、労働衛生の動向、労働者の健康をめぐる現状 産業保健の目的、産業看護の定義、産業保健・看護の歴史、労働衛生行政と関連法規（労働安全衛生法等）	①予習90分 教科書第１０章を熟読する。 ②復讐90分 教科書と配布資料を見直す。

第2回	産業保健・看護の制度とシステム 産業保健の５分野（３管理）	労働衛生管理体制（組織と人）、関連機関、労働衛生管理体制における産業看護職の役割 総括管理、健康管理、作業環境管理、作業管理、労働衛生教育	①予習90分 教科書第１０章を熟読する。 ②復讐90分 教科書と配布資料を見直す。
第3回	健康課題別の産業看護職の機能・役割①	職業性疾病と作業関連疾患の種類と予防対策 【アクティブラーニングの内容】 職業性疾病の予防対策について、現状を課題をどのように捉えているかグループワークを行う。	①予習90分 教科書第１０章を熟読する。 ②復讐90分 教科書と配布資料を見直す。
第4回	健康課題別の産業看護職の機能・役割②	生活習慣病予防対策 【アクティブラーニングの内容】 生活習慣病予防対策の現状や課題をどのように捉えているかグループワークを行う。	①予習90分 教科書第１０章を熟読する。 ②復讐90分 教科書と配布資料を見直す。
第5回	健康課題別の産業看護職の機能・役割③	職場のメンタルヘルスケア、職場復帰支援 【アクティブラーニングの内容】 職場のメンタルヘルス対策、メンタル疾患の予防について、現状や課題をどのように捉えているかグループワークを行う。	①予習90分 教科書第１０章を熟読する。 ②復讐90分 教科書と配布資料を見直す。
第6回	職場のヘルスプロモーションにおける産業看護職の機能・役割 中小企業事業場の健康支援、地域・職域連携活動	健康教育、健康相談、職場の健康づくり活動、ヘルスプロモーション 中小規模事業場に所属する労働者への健康支援、地域・職域連携活動	①予習90分 教科書第１０章を熟読する。 ②復讐90分 教科書と配布資料を見直す。
第7回	産業保健分野の国家試験を解いてみよう	産業保健分野の国家試験問題を実際に解き、勉強方法も含め解説する。	①予習90分 教科書第１０章を熟読する。 ②復讐90分 教科書と配布資料を見直す。
第8回	今までの講義内容のまとめ 小テスト	今までの講義内容の復習 小テスト実施	①予習90分 今までの講義内容を確認 ②復讐90分 教科書と配布資料を見直す

教科書

（1）標準保健師講座３ 対象別公衆衛生看護活動（医学書院）
（2）配布資料

参考書

必要時紹介します。

成績評価の方法・基準

単位認定60％以上
最終講義時に小テスト50％
毎回講義終了後のリアクションペーパー40％

授業態度10％を総合的に評価します。再試験は行いません。
課題等に対する フィードバックの方法
各回の講義終了直前に学習の振り返りとして学びをリアクションペーパーに記述し、提出すること。その記述内容を次回講義時、全体にフィードバックする。
履修のポイント
産業保健に関する法規や制度を理解することは、職種に関わらず、いずれ「労働者」となる皆さんにとって重要です。興味関心を持って臨んでください。保健師国家試験との関連づけて学習してください。
オフィス・アワー
本科目の講義日は対応します。なお、研究室に在室しているときは対応します。 10号館１階基礎・成人看護研究室

講義コード	10970001
講義名	公衆衛生看護学実習
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	実験・実習
基準単位数	5
代表曜日	
代表時限	
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-C362
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 檀原 三七子	指定なし
教員	髙橋 美砂子	指定なし
教員	泉 理恵	指定なし

授業の概要と教育目標

地域で生活するあらゆる人々の健康を支援するために行政、産業、学校が提供している保健活動の実際について実習を通して学ぶ。本科目では、地域住民の健康レベルやQOLの向上を目指し、健康課題の解決や改善のために展開される公衆衛生看護活動を通して保健師の役割や支援方法、関係機関や関係者との連携・協働について理解することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマ・ポリシーとの関連は、地域で生活を営むさまざまな健康レベル、発達段階にある対象者に対して、展開される看護実践とこれまで学習した知識・技術などの理論を統合することにより目的達成に資する実践能力を養う。

到達目標

1）地域で生活する個人・家族・集団の健康課題とそれに対応する保健圧胴の展開方法を理解する。
2）行政・産業・学校等の地域保健活動の保健師の支援技術の特徴を理解する。
3）地域での保健活動における関係機関・職種との連携・協働の実際と保健師の役割を理解する。
4）産業保健における健康課題とそれに対応する支援方法を理解する。
5）専門職として、また組織の一員としての責任と態度ある行動をとることができる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	1週目：オリエンテーション	・地域診断：実習する市町村の地域診断を行う。各種統計資料の収集と分析、地区踏査 ・家庭訪問、乳児健康診査の一連を	予習： ・家庭訪問事例の配付資料を熟読し、疑問点をまとめておく。 ・乳幼児健康診査に関する配付資料を熟読し、疑問点をまとめておく。

	援助技術の学内実習	演習する。 ・健康教育の準備と中間発表の実施	復習： ・配付資料と教科書を見直す。 ・健康教育の準備、援助技術を習得しておく。
第2回	２～４週目：保健所・市町村保健センターの実習	（１）臨地において各施設のオリエンテーションを受ける。地域の概要、各種保健事業を理解する。 （２）保健師が行う家庭訪問に同行する。 （３）各種保健事業へ参加し、一連の事業を通して保健師の役割、支援の実際を具体的に理解する。 （４）健康教育を実施する。 （５）地域の健康課題を解決するために地域診断に基づくPDCAサイクルの展開方法を理解する。さらに、関係機関や関係者との連携・協働、調整について理解する。 （６）健康増進計画、保健福祉計画等の説明を受ける。 （７）窓口相談、電話相談など事務室で行われている保健活動について理解する。 （８）保健師が行う事務的な業務を理解する。 【アクティブラーニングの内容】 臨地実習では、可能な限り毎日カンファレンスを行い、体験した保健事業などについて意見交換し、学びを共有する。	予習： 公衆衛生看護学実習に関連する既習科目の見直し、実習要項を熟読し、実習目的・目標が達成されるために必要な知識と技術を確認し実習に臨む。 復習： 毎日実習目的・目標が達成されているか振り返り、達成できていないところは課題とし、実習最終日までに達成できるようにする。
第3回	５週目： ・事業所（産業保健総合支援センター、健康管理センター）実習 ・保健所・市町村保健センターでの学習成果報告会	・産業保健総合支援センター、健康管理センターにおける保健師の役割等について理解しレポートする。 【アクティブラーニングの内容】 ・保健所・市町村保健センターでの学びを実習目標に照らし合わせてグループ発表し、学びを共有する。	予習： ・産業保健活動や健康管理センターの活動について関係する教科書や資料を読み、疑問点や課題をまとめておく。 ・行政機関での学びの発表の準備をする。 復習： 実習での実際と理論を統合させ学習を深めておく。

教科書

・国民衛生の動向（厚生統計協会）
・群馬県健康福祉統計2019（CD-ROM）

参考書

・対象別公衆衛生看護活動論 医学書院 中谷芳美ほか
・第４版 公衆衛生看護学. ｊｐ インターメディカル 荒賀直子ほか
（公衆衛生看護学に関連した既存の各種教科書）

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
事前学習10%、サブノートの活用10%、記録物20%、実習中の態度や参加状況50%、報告会10%で評価する。

課題等に対する

フィードバックの方法
課題に対しては健康教育の中間発表、実習の成果報告会を行い全体へフィードバックする。
履修のポイント
・既習科目と連動させ学習を深めましょう。 ・健康教育の準備と発表はメンバーと協力して行ってください。
オフィス・アワー
・実習中は、担当教員といつでも連絡できるように連絡方法を確認しておく。

講義コード	10980001
講義名	養護概論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-C364
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 黒岩 初美	指定なし

授業の概要と教育目標

・教育職員免許法に示された「養護概説」の趣旨に基づき養護教諭の責務と保健室の機能を生かした養護教諭の職務を概説する。
・第1.2回目に、オリエンテーションと養護教諭制度、養護教諭の職務の要点、学校教育の全体構造、学校教育・学校保健の関係法令等学校教育の基本的事項を学ぶ。
・第3回目以降、「養護」の本質や概念、職務内容の改革、学校保健活動、養護教諭の職務内容など養護教諭の『職』について学ぶ。
・学校保健の推進にあたって中核的役割を担う養護教諭の職務と機能、役割を理解し、児童生徒の健康の保持増進や健康問題の解決方法と技術について、専門的・実践的に学修することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科ディプロマ･ポリシーは、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人間に対しする理解を深めることを目指している。養護教諭養成の側面からこの目的達成に資するため知識・技術の習得を養う。具体的には看護学の基礎となる、人体のしくみ、健康の諸側面、関係法令、発達段階等の医療の基礎知識と教職科目や学校保健、養護教諭専門科目等から教育者としての各種知識を学修し、「社会に出て役立つ人間」を目指す。

到達目標

・学校教育の基本的事項や学校保健と養護教諭の制度について歴史的変遷を踏まえて説明できる。
・養護教諭の職務内容について理解できる。
・養護の概念を理解し、児童生徒の健康の保持増進と安全・安心を守るための取組について説明できる。
・チーム学校における養護教諭の役割と保健室の機能を生かした学校保健活動の推進について説明できる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニング	予習・復習とそのために必要

		の内容を含む）	な時間
第1回	11/5(火) 2限 オリエンテーション 養護教諭とは 養護教諭免許状取得に向けての学び	教育関係法令等、養護教諭の制度の変遷、教育改革の動向 免許取得と教育機関、養護教諭の役割と求められる力、免許取得に必要な科目 【アクティブラーニングの内容】 グループで各自が今まで経験してきた保健室と養護教諭についてＫｊ法を用いて(個人課題⇒集団討議⇒意見集約）振り返りと各自の思いを発表しながら養護教諭についての学びあいをしていく。	復習90分： 第I章、配布資料を見直す
第2回	11/11（月） 2限 学校教育と学校保健 養護教諭の職務	教育行政、教育の目的と目標、学校経営、教育課程と学習指導要領、学校保健と養護教諭の職務（5領域の職務内容について）	予習90分：教科書第2章を読む 復習90分：配布資料を見直す
第3回	11/18(月）2限 子どもの発育発達 子どもの現代的な健康課題	幼児期、児童期、青年前期・後期の各発達段階の理解 子どもの現代的な健康課題の推移と各発達段階に即した保健教育 【アクティブラーニングの内容】 グループに分かれて、発達段階別の特徴と発達課題に関する事例についてワークシートを用いて個人課題⇒集団討議⇒意見集約の順に検討しあう。	予習90分：教科書第3章参考2を読む 復習90分：配布資料を見直す
第4回	11/25(月）3限 保健管理：健康診断	健康診断の法的根拠、種類（定期、臨時、就学時の健康診断), 健康診断項目と実施方法について学ぶ	予習90分：教科書第5章2節を読む 復習90分：配布資料を見直す
第5回	11/25（月）4限 健康診断の主な項目の演習	・主な健康診断項目の演習（身体測定・聴力、視力検査・内科検診・歯科検診等） 【アクティブラーニングの内容】 各種健診の演習はグループで先生役、児相生徒役、校医役を交代でロールプレイングを行う。	予習90分：教科書第5章２節を読む 復習60分：配布資料を見直す
第6回	12/2(月） 2限 保健管理：健康観察、疾病管理	健康観察の重要性と目的、法的根拠、健康観察の機会と視点等について 疾病管理の目的と内容及び留意点、感染症の予防と管理、アレルギー対応について 【アクティブラーニングの内容】 グループに分かれて、健康観察の機会と視点についてワークシートを用いて個人課題⇒集団討議⇒意見集約の順に検討しあう。	予習90分：教科書第5章3.4節を読む 復習90分：配布資料を見直す
第7回	12/3（火）2限 保健教育	教科保健（保健学習）と特別活動における保健指導、啓発活動における保健教育のねらい、内容、進め方、教材の活用 【アクティブラーニングの内容】 保健教育資料の作成に向けて：気になる子供たちの健康課題を取り上げ、保健だよりの作成に向けて構想を立てる。	予習90分：教科書第5章1，4節を読む 復習90分：配布資料を見直す
第8回	12/4（水）4限 学校における健	教科保健（保健学習）と特別活動における保健教育、啓発活動における保健教育の実際（模擬授業の参観と評価）	予習90分：教科書第6章を読む 復習60分：配布資料を見直し保

	康教育	【アクティブラーニングの内容】 4年の教職履修の模擬授業を児童生徒の役で受講し、授業評価を行う。	健教育について調べ学習を行う。
第9回	12/9（月）4限 学校環境衛生	学校環境衛生の目的、養護教諭の役割と関係法令 日常点検と措置、演習（水質検査、照度検査、二酸化炭素測定） 【アクティブラーニングの内容】 各種環境衛生検査の演習をグループで先生役、児相生徒役、校医役を交代でロールプレイングを行う。	予習90分：教科書第5章5節を読む 復習90分：9回までの授業を振り返り、小テスト勉強
第10回	12/10(火） 2限 1103教室 小テスト 保健管理：学校における救急処置	9回目までの授業の振り返り 学校事故の特徴、学校救急処置の範囲、救急体制の確立、教職員の指導監督責任、学校管理下における事故発生時の対応について 【アクティブラーニングの内容】 救急処置のアセスメントと手当についてグループに分かれて養護教諭役、担任役、児童生徒役を交代でロールプレイングを行う。	予習90分：教科書6章を読む 復習90分：保健教育について調べ学習を行い保健だよりの作成準備
第11回	12/13（金） 1限 学校における教育相談	思春期理解とチーム学校における教職員等の連携協働よる役割について中学校現職教諭による講話	予習90分：教科書第7､10章を読む 復習90分：保健だよりの作成
第12回	12/1 （月） 4限 健康相談活動 特別支援教育	子ども達の支援における第二次、第三次予防の子ども達への支援心身・発達・行動上の問題を有する子への支援 特別支援教育について 保健だよりの提出	予習90分：教科書第7.8章を読む 復習90分：参考文献等から授業を振り返る
第13回	12/20（金） 3限 保健教育の実際	保健教育の効果的な教材活用、保健だよりを活用した保健教育の授業実践 【アクティブラーニングの内容】 前半：各班全員の保健便りを発表・評価しあった後、保健指導用資料を選定して、指導の略案作成等発表準備をグループワークで進める。 後半：各班が順番に保健便りを教材資料として活用しながら保健教育を実践する。受講者側は評価シートを用いて指導の評価を行う。	予習90分：教科書第6章を読む 復習90分：保健教育について調べ学習行う
第14回	12/20（金） 4限 保健教育の実際 安全管理と危機管理 保健室経営	前半：効果的な教材の活用について、保健だよりを活用した保健教育の授業実践 後半：学校安全とは、安全教育と安全管理の進め方、日本スポーツ振興センター保健室経営の重要性 保健室経営の重要性、保健室経営計画の作成について 【アクティブラーニングの内容】 各班が順番に保健便りを資料として活用しながら保健教育を実践する。受講者側は評価シートを用いて指導の評価を行う。	予習90分：教科書第13.11章を読む 復習90分：テスト勉強、14回までの学びを振り返る
15	12/24（火） 保健組織活動 養護教諭の資	子どもの健康の保持増進のために組織活動で推進することの必要性 学校保健委員会と養護教諭の役割	予習90分：教科書第12章を読む 90 15

第　回	質・能力 まとめの小テスト	まとめの小テスト 【アクティブラーニングの内容】 養護教諭に必要な資質能力等についてグループに分かれて話し合う。	復習　分：　回の授業を振り返る

教科書

「新養護概説〈第10版〉」采女智津江 少年写真新聞社、2018

参考書

「養護学概論」理論と実践 岡田加奈子.河田子宝、東山書房、2018

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上、小テスト（３０％）、ワークシート・レポート（保健だより）（５０％）授業への参加度・学習態度等（２０％）

課題等に対する
フィードバックの方法

授業毎に演習用やグループワーク用のワークシートを配布して、そのまとめや感想を課して提出を求める。また、レポートや調べ学習の課題を課すことがある。返却するので、振り返りや学習内容の理解に役立てること。

履修のポイント

授業は学び方のヒントである。養護教諭の根本となる基礎基本であるので、復習予習をして授業に臨むこと。

オフィス・アワー

10号館2階2研究室にて事前にアポイントを取りながら行う。また、本科目の講義の前後にも適宜受け付ける。

講義コード	10990001
講義名	学校保健I
(副題)	【教職必修】【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-C363
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 間戸 美恵	指定なし
教員	黒岩 初美	指定なし

授業の概要と教育目標

学校保健は、児童生徒の健康と安全の基礎を培い生涯の健康増進の基盤を作ることを目指している。学校保健の中核的役割を担う養護教諭並びに保健師や看護師の基礎教養となる。はじめに学校保健の目的と意義、学校保健の変遷と沿革、学校教育における使命と目的、学校保健の目標を明らかにする。さらに、保健管理・安全、保健教育、組織活動、ヘルスプロモーションの理念に基づいた学校保健の推進等について、その理論と方法技術について、法的根拠を踏まえながら実践的に学習する。教育目標を児童生徒の実態から健康課題を把握し、問題解決や健康の保持増進を図るための学校保健の組織活動と運営について理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ･ポリシーは、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人間に対しする理解を深めることを目指している。養護教諭養成の側面からこの目的達成に資するため知識を養う。具体的には看護学の基礎となる、人体のしくみ、健康の諸側面、関係法令、発達段階等の医療の基礎知識と教職科目や学校保健、養護教諭の専門科目の等から教育者としての各種知識を学修し、「社会に出て役立つ人間」を目指す。

到達目標

①学校保健の目的・意義と変遷を説明できる。
②ヘルスプローションの理念に基づいた学校保健活動の推進について理解する。
③健康観察、健康診断、健康相談、組織活動について理解し健康観察や健康診断の技術を実習できる。
④児童生徒の発育発達段階に即したニーズと学習指導要領に基づいた保健教育について理解し指導できる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
		学校教育と学校保健、児童福祉等関連する法律、概念と構造、学校経営と学校保健、これからの学校保健、	予習90分：教

第1回	学校保健とは	地域保健と学校保健 【アクティブラーニングの内容】 児童生徒時代の自らの学校時代の印象に残っていることをグループ出発表しあい（個人⇒集団⇒意見集約）て、学校保健の学びの動機付けとする。さらに２回目以降の授業が学びあいの協働作業で展開していくことを自覚する。	科書第I章を読む 復習90分：ワークシートと参考資料から振り返る
第2回	学校保健経営 ヘルスプロモーション	学校保健経営について、保健計画の作成、実施・評価、ヘルスプロモーションの概念と健康日本21、日本の学校教育におけるヘルスプローションの活動ついて	予習90分：教科書第II章を読む 復習90分：ワークシートと参考資料から振り返る
第3回	子ども発育発達と学校保健 担任と養護教諭の協働	子どもの人権擁護、発育発達の考え方、発育発達の現状と課題、発育発達と個別指導 【アクティブラーニングの内容】 子どもの貧困ついての新聞記事を読み貧困による健康問題から子どもの発育発達を理解する(個人課題⇒集団討議⇒意見集約） の順にグループディスカッションを行う。	予習90分：教科書第IV章を読む 復習90分：参考資料から振り返りワークシートを仕上げる
第4回	健康診断	児童・生徒の健康診断（意義と目的、種類と実施者） 【アクティブラーニング】 主な健康診断項目の演習を班別に別れて、先生役、児相生徒役、校医役を交代でロールプレイングを行う。	予習90分：教科V第章を読む 復習90分：参考資料から振り返りワークシートを仕上げる
第5回	健康相談と健康相談活動 健康（心身）・発達・行動上の課題を有する子への支援 特別支援教育について	健康相談、健康相談活動、精神保健 健康（心身）・発達・行動上の課題を有する子への支援、特別支援教育 【アクティブラーニングの内容】 グループ学習で「慢性疾患を抱える小3男児について」飯ばるに別れ江事例検討をする。アセスメント支援計画、支援の実際について事例検討を行う。その後、全体発表・討議をする。	予習90分：教科V第章を読む 復習90分：参考資料から振り返りワークシートを仕上げる
第6回	健康教育 保健指導	学校における健康教育（必要性、位置づけ、担当者と役割） 【アクティブラーニングの内容】 教職実践演習履修生４年を模擬授業を児童生徒の立場になって受講し、評価シートを用いて授業評価をする。	予習90分：教科V第章を読む 復習90分：参考資料から振り返る
第7回	感染予防 危機管理及び学校安全 まとめの小テスト	感染症の種類と予防、発生時の対応と出席停止等の措置 安全管理、組織活動、危機管理と保健指導	予習90分：小テストの準備 ６回までの授業を見直す 復習60分：テストを見直す、レポート作成

第8回	学校環境衛生 学校保健のまとめ	学校環境衛生活動について 意義と目的、環境衛生管理と検査 【アクティブラーニングの内容】 各種環境衛生検査の演習をグループで学校薬剤師役、養護教諭役を交代でロールプレイングを行う。	予習90分：教科V第章を読む 復習60分：レポート作成

教科書

徳山美智子編著他『学校保健』（東山書房）2016年

参考書

衛藤隆、岡田加奈子『学校保健マニュアル』改訂8版 （南山堂）

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上、課題レポート（50点）、小テスト（20点）、グループワークへの貢献・発表力・ワークシート作成（30点）

課題等に対する
フィードバックの方法

教科書を活用し、予習を必ず行うこと。授業毎に演習用やグループワーク用のワークシートを配布し、まとめや感想を課して提出を求める。また、レポートや調べ学習の課題を課すことがある。学習成果について感想や学習方法についてコメントをつけて返却するので、振り返りや学習内容の理解に役立てること。

履修のポイント

児童生徒の健康課題や教育に関する時事問題についてクリティカルシンキング

オフィス・アワー

授業の前後に質問に応じる。また、個別相談したい場合は10号館3階養護実習室にて事前にアポイントを取りながら行う。

講義コード	11000001
講義名	学校保健II
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	２時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-C371
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 黒岩 初美	指定なし
教員	間戸 美恵	指定なし

授業の概要と教育目標

学校保健は、児童生徒の健康と安全の基礎を培い生涯の健康増進の基盤を作る目的と意義がある。養護教諭は学校保健活動の中核となって推進していかなければならない。そこで、本科目では、既習の学校保健Iと養護概論の基礎理解に立って、養護教諭の職務の理論の理解を深め技能を身につけていく。保健管理、安全管理、保健教育、安全教育、組織活動の進め方について、校種別・発達段階別にあった現代的課題についてPDCAサイクルにそって実践的に解決できることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ･ポリシーは、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人間に対する理解を深めることを目指している。養護教諭養成の側面からこの目的達成に資するため知識を養う。具体的には看護学の基礎となる、人体のしくみ、健康の諸側面、関係法令、発達段階等の医療の基礎知識と教職科目や学校保健、養護教諭の専門科目の等から教育者としての各種知識を学修し、「社会に出て役立つ人間」を目指す。

到達目標

①児童生徒等の心身の健康実態及び環境アセスメントからの情報を収集して課題を明確にすることができる。
②学校保健管理(健康観察、健康診断、救急処置、学校感染症への対応を理解することができる。
③現代的な健康課題について取り上げ、学校における保健教育の進め方を具体的に考えることができる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
	オリエンテーション 学校保健活	保健教育、保健管理、組織活動、健康相談活動 保健室の機能を生かしたと養護教諭の職務について	教科書第2、3，4章

第1回	動と養護教諭の職務 学校保健の領域	【アクティブラーニングの内容】 グループに分かれて、保健室の機能を生かした養護教諭の職務についてワークシートを用いて個人課題⇒集団討議⇒意見集約の順に検討しあう。	を読む 復習60分：配布資料を見直す
第2回	学校保健活動 児童生徒の健康実態の把握 学校保健計画と学校保健関係職員	健康情報の収集方法について、各種調査、各種統計に基づく実態把握 学校保健計画の作成と学校保健関係職員の職務、保健室のあり方	予習；教科書を読む 復習60分：配布資料を見直す
第3回	学校保健管理～健康診断	健康診断の種類と方法、事前準備から実際、健康問題の把握と事後措置 【アクティブラーニングの内容】 各種健康診断・環境衛生検査の演習をグループで先生役、児相生徒役、校医役を交代でロールプレイングを行う。	予習復習90分：事前準備…健康診断マニュアルの関連項目を読む 復習：参考資料教科書を読みなおす
第4回	保健管理～救急処置 学校事故と安全管理	学校における救急処置の意義、救急処置の実際と保健指導及び健康相談の展開 安全管理と安全教育、危機管理体制、災害給付制度 【アクティブラーニングの内容】 救急処置のアセスメントと手当の演習をグループに分かれて養護教諭役、担任役、児童生徒役を交代でロールプレイングを行う	予習復習90分：事前準備…救急処置関連の参考図書を読むむ 復習：参考資料や教科書を読みなおす
第5回	保健管理～学校感染症への対応 学校環境衛生活動	学校感染症の種類、日常の学校生活の予防対策、発生時の対応と事前・事後の対応 学校環境衛生の意義、法的根拠、活動の計画と展開、 検査の実際(日常検査と定期検査) 【アクティブラーニングの内容】 各種環境衛生検査の演習をグループで先生役、児相生徒役、校医役を交代でロールプレイングを行う。	予習；教科書を読む 復習60分：配布資料を見直す
第6回	健康教育 模擬授業に向けた教材研究	保健学習と保健指導、養護教諭の行う集団的保健指導 指導案の作成、細案・教材の検討研究授業に向けた教材研究 【アクティブラーニングの内容】 前半：保健指導用資料を選定して、指導の略案作成等発表準備をグループワークで進める。 後半：各班が準備した指導案略案や教材を活用しながら保健教育を実践する。受講者側は評価シートを用いて指導の評価を行う。	予習90分：子どもの健康課題から保健教育のテーマを考える 復習90分：評価等から指導を振り返る
第7回	授業発表と評価	授業発表、ディスカッションによる自他評価 【アクティブラーニングの内容】 各班が準備した指導案略案や教材を活用しながら保健教育を実践する。受講者側は評価シートを用いて指導の評価を行う。	予習90分：子どもの健康課題から保健教育のテーマを考える 復習90分：評価等から指導を振り返る
第8回	ヘルスプロモーションと学校保健活動	ヘルスプロモーションの理念に基づてく生きる力を育む健康教育の推進、学校保健委員会等組	復習：参考資料教科書を読みなおす

	まとめと小テスト	織活動について	

教科書

「改定学校保健（第8版）」徳山美智子、中桐佐智子、岡田加奈子編著（東山書房））、「新養護概説〈第10版〉」采女智津江編著（少年写真新聞社）、「養護教諭の行う健康相談（第2版）」大谷尚子編著他

参考書

「学校保健マニュアル」改訂8版 衛藤隆他（南山堂）

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上、指導案、教材（概ね50％）、小テスト、提出物、グループへの貢献（概ね40％）、授業態度（10％）

課題等に対する
フィードバックの方法

各授業毎に演習用やグループワーク用のワークシートを配布して、そのまとめや感想を課して提出を求める。また、レポートや調べ学習の課題を課すことがある。返却するので、振り返りや学習内容の理解に役立てること。自が積極的に自学自習に励むことを期待している。配布資料や指定された文献等により予習復習を行うこと。

履修のポイント

児童生徒の健康課題や教育に関する時事問題にクリティカルシンキング。

オフィス・アワー

10号館2階2研究室にて事前にアポイントを取りながら行う。また、本科目の講義の前後にも適宜受付ける

講義コード	11010001
講義名	学校保健III
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	３時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-C372
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 黒岩 初美	指定なし
教員	間戸 美恵	指定なし

授業の概要と教育目標

不登校や発達障害等への支援をはじめ、児童・生徒の心の健康問題の増加に伴いその対応のために、学校保健安全法の改訂で第8条に健康相談が定められた。また、2015年の中教審の答申において「チームとしての学校論」が提言され、この中でも、養護教諭が校内・外の専門家や専門機関と連携・協働して児童生徒の心身の健康問題に関わることが期待されている。本科目は、健康相談の基礎的知識・技法を踏まえ、組織的に対応するためのコーディネート力についてに理解を深める。さらに、養護教諭の職務に保健室の機能を生かした健康相談活動に必要な実践力を身に付けることを目標とする

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護護学科ディプロマ･ポリシーは、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人間に対しする理解を深めることを目指している。養護教諭養成の側面からこの目的達成に資するため知識を養う。具体的には看護学の基礎となる、人体のしくみ、健康の諸側面、関係法令、発達段階等の医療の基礎知識と教職科目や学校保健、養護教諭の専門科目等から教育者としての各種知識を学修し、「社会に出て役立つ人間」を目指す。

到達目標

①児童生徒の発達過程、特別な支援を必要とする子どもの発達過程と現代的健康課題をとらえることができる。
②学校教育活動における健康観察や保健室利用等から、気がかりな児童生徒を捉え、アセスメントと対応の方法について科学的に理解できる。
③児童生徒の支援に際して、チーム学校を目指した環境調整、教師や保護者及び関係係者との連携と協働、コーディネーターの力量形成等について理解できる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために 必要な時間
	養護教諭	養護教諭の行う健康相談について学校における教育相談	予習90分：

第1回	と健康相談、保健室で行う健康相談活動	や保健室の利用の実態から捉える 【アクティブラーニングの内容】 ①グループ学習で「保健室とは」、「養護教諭とは」の課題を提示KJ法を用いて履修生各自が考え付箋紙に記入する。②グループで⇒集団討議⇒意見を集約し発表する。	教科書第I章を読む 復習60分：参考資料等を見直す
第2回	健康相談の過程	事例から見る健康相談の過程、対象理解と見立て、支援ための方法と協働について 【アクティブラーニングの内容】 日常の保健室(救急処置）場面、学校生活その他の場面のイラストの具体例を通して、気になる子の見立て方についてグループで検討し合う。	予習90分：教科書 第2.3章を読む 復習60分：参考資料等を見直す
第3回	場面や「問題」に応じた健康相談の進め方	日常の保健室(救急処置）場面での対応、「問題」や個に応じた対応、プロセスに応じた支援の種類と方法 【アクティブラーニングの内容】 救急処置事例を提示後、アセスメントと手当の演習をグループに分かれて養護教諭役、担任役、児童生徒役を交代でロールプレイングを行う。	予習90分：教科書第3章を読む 復習60分：参考資料等を見直す
第4回	健康相談/健康相談活動の実際	健康相談/健康診断の事後措置指導や日常的な短期の訴えに対する相談活動 【アクティブラーニングの内容】 心身の問題について、事例検討する。要因、問題解決のための支援方法について、討議しミニレポートを作成する。	予習90分：教科書 第3.4章を読む 復習60分：参考資料等を見直しミニレポートを作成する。
第5回	健康相談/健康相談活動の実際	続支援の必要な事例について 【アクティブラーニングの内容】 ロールプレイ技法を通して学び、事例検討する。問題の要因、問題解決のための支援方法について、討議しミニレポートを作成する	予習90分：教科書 第3.4章を読む 復習90分：参考資料等を見直し、ミニレポートの作成
第6回	健康相談/健康相談活動の実際	保護者や教職員間の共通理解、校外の組織との連携や協働について不登校・保健室登校について事例検討する。 【アクティブラーニングの内容】 発達課題に即した要因、問題解決のための支援方法について班別で分析し検討する。その後、ミニレポートを作成する。	予習90分：教科書 第3.4章を読む 復習90分：参考資料等を見直し、ミニレポートの作成
第7回	健康相談/健康相談活動の記録と事例研究	健康相談/健康相談活動の記録の目的、意義、記録のとり方について 情報の共有と個人情報の保護と守秘義務の取扱いについて 事例検討会の進め方について	予習90分：教科書 第3.4章を読む 復習90分：参考資料等を見直す
			予習90分：

第8回	健康相談/健康相談活動のまとめと評価	健康相談/教育実習で経験した事例 【アクティブラーニングの内容】 各自が関わった又は参観した事例を取り上げグループワークで検討する。実際の支援について、校内教職員間の共通理解や意志の疎通、校外の組織との連携や協働等による組織活動について振り返る。健康相談活動について自他評価し、今後の課題を捉える	教科書や参考書を読み直す 復習90分：ケースレポートを作成する

教科書

「養護教諭の行う健康相談」大谷尚子編著 東山書房
「教職員のための子どもの健康相談及び保健指導の手引」文部科学省、平成２３年８月

参考書

生徒指導提要（平成２２年文部科学省）
三木とみ子他「養護教諭が行う健康相談・健康相談活動の理論と実際」ぎょうせい
森田光子著 「養護教諭の健康相談ハンドブック」東山書房

成績評価の方法・基準

60点以上、グループへの貢献・発表力・ミニレポート（概ね60%）、授業態度（10%）、課題レポート（概ね30%）とする。

課題等に対する
フィードバックの方法

本科目の講義の前後にも適宜受付ける。各自が積極的に自学自習に励むことを期待している。配布資料や指定された文献等により予習復習を行うこと。学習過程に応じてないよう今後の取組についてフィードバックを行なう。

履修のポイント

社会問題に関心を持ち新聞等子どもの問題に関する報道を読みとる。

オフィス・アワー

10号館2階2研究室にて事前にアポイントを取りながら行う。また、本科目の講義の前後にも適宜受付ける

講義コード	11020001
講義名	学校保健IV
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	１時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-C380
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 間戸 美恵	指定なし

授業の概要と教育目標

学校において起こり得る児童生徒の傷病について知り、養護教諭が行う救急処置活動及び教育的な側面と関連づけた対応の実際について、講義及び演習を通して学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

本講義は、対象の発達段階や健康レベルに関わる科学的知識をもち、基本的看護技術を既に修得していることが必須であり、さらに学校における養護教諭の専門性を活かした援助技術や対応能力を養うものである。

到達目標

1．学校における救急処置の基本的技術を身につける。
2．学校種別の児童生徒の傷病の特徴について知り、対象の発達段階を踏まえた的確な処置及び対応について考えることができる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	オリエンンテーション 学校における救急処置活動のプロセス	授業概要の説明 傷病を訴えた児童生徒に養護教諭が行う救急処置活動のプロセスについて学ぶ	予習（90分）；教科書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し
第2回	校内救急体制と地域連携について	学校の救急対応に関わる組織体制と、学校と地域の関係機関との連携について理解する	復習（90分）：参考資料等の見直し
第3回	学校における看護的技術と養護教諭（1）	看護のスキルを活かした、学校における援助技術について基本的知識と理解を深める	予習（90分）；関連する既習の参考書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し
			予習（90分）；関連す

第4回	学校における看護的技術と養護教諭（2）	学校における援助技術の実際を学ぶ（演習を含む）	る既習の参考書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し
第5回	学校種別の救急処置活動（1）	小学校で発生しやすい傷病とその対応について学ぶ（演習を含む）	予習（90分）；関連する既習の参考書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直し
第6回	学校種別の救急処置活動（2）	中学校、高等学校に多い傷病とその対応について学ぶ（演習を含む）	予習（90分）；関連する既習の参考書等で事前学習 復習（90分）：参考資料等の見直す
第7回	事例検討	典型的な救急事例について、グループワークを行う	復習（180分）：レポートの作成
第8回	まとめ、試験	これまでの学びの振り返りと試験を行う	予習（140分）；これまでの配布資料等の見直し

教科書

「養護教諭、保健師、看護師のための、改定学校看護－学校環境と身体的支援を中心に－」東山書房

参考書

「最新看護学－学校で役立つ看護技術」東山書房

成績評価の方法・基準

試験60%、レポート20%、授業の取り組み20%とし、60点以上で単位取得とする。

課題等に対する
フィードバックの方法

既習のテキスト等の見直しや図書館等で調べ学習をして理解を深めてください。

履修のポイント

学校で唯一の医療的素養をもつ養護教諭が行う救急処置活動の基本を履修します。自己の課題として考えられる事柄は復習を欠かさずに臨んでください。

オフィス・アワー

在室時に対応します。

講義コード	11030001
講義名	機能看護学概論
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期（重複②）
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	１時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R331
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 島崎 すえ子	指定なし

授業の概要と教育目標

看護の対象あるいは社会から期待される専門職としての役割や責任を果たすためには、生涯にわたり自己の能力を開発・発展させ、社会化に貢献できる能力を身につけなければならない。ここでは看護管理の基礎と看護専門職としての役割と機能について学び、組織の一員としての看護のあり方、社会の変化に対応した看護職の機能拡大の可能性について考える。
機能看護（看護管理）に必要な知識を学び、看護専門職としての役割と機能について理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として、臨床現場でチーム医療の一員として活躍し、そこで調整する能力及び問題解決する能力を修得することを目指すものとする。

到達目標

１．看護管理の歴史的発展・過程を理解する。
２．看護管理の定義や機能について理解する。
３．看護管理に必要な基礎知識と看護専門職としての立場を明確にする。
４．拡大・変化する看護専門職の機能について理解する。
５．看護専門職としての役割と看護管理との関連について理解する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	看護管理の概要（１）	看護管理の歴史・変遷	予習（90分）：教科書を読む 復習（90分）：配付資料を見直す
第2回	看護管理の概要（２）	看護管理の定義・機能	予習（90分）：教科書を読む 復習（90分）：配付資料を見直

			す
第3回	看護管理の基礎（1）	組織の成り立ちと構造	予習（90分）：教科書を読む 復習（90分）：配付資料を見直す
第4回	看護管理の基礎（2）	看護の動向と専門職としての役割	予習（90分）：教科書を読む 復習（90分）：配付資料を見直す
第5回	看護専門職の役割・機能（1）	専門職としての自律性と責務	予習（90分）：教科書を読む 復習（90分）：配付資料を見直す
第6回	看護専門職の役割・機能（2）	看護の動向と専門職としての役割	予習（90分）：教科書を読む 復習（90分）：配付資料を見直す
第7回	グループワーク	看護専門職の役割と看護管理について話し合う	予習（90分）：教科書を読む 復習（90分）：配付資料を見直す
第8回	グループワーク	発表 【アクティブラーニング】看護専門職の役割と看護管理について話し合った結果を発表する	予習（90分）：教科書を読む 復習（90分）：配付資料を見直す

教科書

看護管理学（南江堂）

参考書

看護管理学習テキスト、看護管理概説論（日本看護協会出版会）、看護管理（医学書院）、看護覚え書き（日本看護協会出版会）

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。授業及び実習態度（10%）、グループワーク発表（10%）、レポート（80%）による。

課題等に対するフィードバックの方法

授業内で活用した学習カードを返却するので学習の参考にすること。

履修のポイント

看護専門職としての役割と機能を学び、臨地実践（臨床実習）で活かしてもらいたい。

オフィス・アワー

授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じる。

講義コード	11040001
講義名	機能看護学I
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期（重複②）
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R341
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 伊藤 美鈴	指定なし

授業の概要と教育目標

看護教育学は、看護学各領域の教育に共通して普遍的に存在する要素を対象として研究を展開する学問であり、この研究成果を活用することにより、看護学生を含むすべての看護職者個々人の発達を支援する。また、それを通し、質の高い看護を提供することを目指す。この授業においては、機能看護学の特徴および看護継続教育における学習ニードや教育プログラムの特徴に関して学習する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、看護の基礎技術を理解することを目指す。将来的には、看護職者および看護学生の発達支援に向けて看護職として教育的機能を発揮する意義を認識し、実際にその方法を実施することを目指すものとする。

到達目標

１．看護教育学の特徴を理解する。
２．看護師養成教育、看護学教育の現状と課題を理解する。
３．看護専門職の教育における主体的学習の意義を確認する。
４．看護専門職が教育的機能を発揮する必要性を認める。
５．看護教育学を学ぶ意義を認める。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	I. 看護教育学の特徴	・看護教育学の定義 ・看護学教育、看護教育の違い ・看護教育学を学習する意義 【アクティブ・ラーニング】 関係するDVDを視聴し、視覚からの知識吸収に努める。	予習90分：教科書を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第2回	II. 看護師養成制度の	・看護教育制度の成り立ち	予習90分：教科書を読む。復

	現状と課題（１）	・看護教育制度の特徴	習90分：配布資料を見直す。
第3回	II．看護師養成制度の現状と課題（２）	・日本の看護教育制度の沿革 ・緒外国の看護教育制度の現状	予習90分：教科書を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第4回	III．看護学教育課程	・学校教育法第83条、第108条、第124条、第134条 ・看護基礎教育課程のカリキュラムの特徴 ・大学と専門学校のカリキュラムの相違 ・大学において看護学を学ぶ意義	予習90分：教科書を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第5回	IV．看護専門職に必要な自律的態度	・専門職の条件 ・教育評価に関する基本的知識 ・評価の用具を用いた自己評価の実際	予習90分：教科書を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第6回	V．看護教育学の基盤	・アイデンティティ ・クリティカルシンキング ・リフレクション ・キャリアマネジメント	予習90分：教科書を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第7回	VI．看護専門職者のキャリア・ディベロップメントと看護継続教育	・看護職者のキャリア・ディベロップメントと自律的継続学習 ・看護職者のキャリア・ディベロップメントと看護継続教育	予習90分：教科書を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第8回	まとめ	・ＤＶＤ視聴 ・レポート課題 【アクティブ・ラーニング】 関係するDVDを視聴し、視覚からの知識吸収に努める。視聴後の感想と自身の課題をレポートにまとめて提出する。	予習90分：教科書を読む。復習90分：配布資料を見直す。

教科書

◆グレッグ美鈴、池西悦子編：看護学テキストＮｉｃｅ 看護教育学 改訂第2版 看護を学ぶ自分と向き合う，南江堂，2018.

参考書

◆杉森みどり、舟島なをみ：看護教育学 第6版，医学書院，2016.
◆平井さよ子：改訂版 看護職のキャリア開発，日本看護協会出版会，2009.
◆シラバス
◆配布資料

成績評価の方法・基準

レポート課題（１５％）、筆記試験（８５％）

課題等に対する
フィードバックの方法

最終講義後にレポートとして今後の自身のキャリアマネジメントについてのレポート提出がある。その内容を評価し、点数化する。

履修のポイント

関連する科目としては、「看護原論I」、「機能看護学II（看護管理）」、「機能看護学III（看護研究）」などが考えらる。これらの科目との知識の統合を図れるようにする。レポートも評価の一部になりますので忘れずに提出されることを望みます。提出は、時間厳守。

オフィス・アワー
在室中で時間があればいつでも対応させて頂きます。10号館2階11研究室です。

講義コード	11050001
講義名	機能看護学II
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R365
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 島崎 すえ子	指定なし

授業の概要と教育目標

看護におけるマネジメントの機能は、「良質な看護サービスをより円滑に提供するための仕組みやその運営活動」であり、看護実践のあるところ、すべてにおいて必要とされる。
看護サービスの提供を組織とマネジメントの視点からとらえ、看護におけるマネジメントの機能について学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として、臨床現場でチーム医療の一員として活躍し、そこで調整する能力及び問題解決する能力を修得することを目指すものとする。

到達目標

①看護におけるマネジメントの機能について理解する
②組織における看護管理のあり方について理解する
③看護管理の特性について学ぶ
④看護管理を総合的に捉えることができる
⑤リーダーシップとマネジメントについて知識を深める
⑥看護管理を看護実践に活かすことができる

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	看護におけるマネジメント	看護マネジメントの必要性	予習（90分）：教科書を読む 復習（90分）：配付資料を見直す
第2回	組織化とマネジメント	組織における看護管理の重要性	予習（90分）：教科書を読む 復習（90分）：配付資料を見直す
			予習（90分）：

第3回	看護管理のシステムアプローチ	看護管理システム	教科書を読む 復習（90分）： 配付資料を見直す
第4回	看護サービス管理の特性	マネジメントの機能	予習（90分）： 教科書を読む 復習（90分）： 配付資料を見直す
第5回	リーダーシップとマネジメント	看護管理に必要なリーダーシップのあり方	予習（90分）： 教科書を読む 復習（90分）： 配付資料を見直す
第6回	看護管理の実際	看護管理を総合的に捉える	予習（90分）： 教科書を読む 復習（90分）： 配付資料を見直す
第7回	グループワーク	臨地実習での看護実践と授業を受けての振り返りから、看護管理の機能について考える	予習（90分）： 教科書を読む 復習（90分）： 配付資料を見直す
第8回	グループワーク	グループワークでの発表 【アクティブラーニング】話し合った結果を発表する	予習（90分）： 教科書を読む 復習（90分）： 配付資料を見直す

教科書
看護管理（医学書院）
参考書
看護管理学習テキスト 看護管理概説論、看護マネジメント論
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上。授業及び実習態度（10%）、グループワーク発表（10%）、レポート（80%）による。
課題等に対する フィードバックの方法
授業内で活用した学習カードを返却するので学習の参考にすること。
履修のポイント
看護の機能を統合的に捉え、臨床実践で活かすことができるように学んでもらいたい。
オフィス・アワー
授業の開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じる。

講義コード	11060001
講義名	機能看護学III
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R366
学年	3学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 吉田 幸枝	指定なし
教員	中村 郁美	指定なし

授業の概要と教育目標

看護実践の質を高め、発展させていくうえで看護研究は重要な役割を果たす。看護実践の中から疑問や課題を明確にし、問題解決に向けた効果的な看護を探求していく能力を養うために、看護研究方法について学ぶ。なお本科目は、看護研究方法の基本的知識と問題解決に向けた研究的思考を修得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、知識と技術の統合、問題を解決する能力を修得することを目指すものとする。

到達目標

1. 看護研究の概要と意義について理解できる。
2. 看護実践の中から研究疑問を明確にすることが理解できる。
3. 看護研究論文を読み検討する必要があることを理解できる。
4. 研究実施時の倫理的配慮について理解できる。
5. 研究目的を達成するための研究計画について考えることができる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	看護研究とは	看護研究の発展と意義 研究疑問の明確化	予習90分：教科書第1章、第2章を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第2回	看護研究における文献検索と文献検討	文献検索の方法 文献検討の手順	予習90分：教科書第4章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第3回	看護研究に伴う倫理的な問題	倫理的な問題とその対応方法	予習90分：教科書第3章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。

第4回	看護研究方法	研究デザイン 量的研究と質的研究の特徴	予習90分：教科書第5章を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第5回	量的研究	量的研究におけるデータ収集と分析方法	予習90分：教科書6章～第9章を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第6回	質的研究	質的研究におけるデータ収集と分析方法	予習90分：教科書11章、第12章を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第7回	研究計画書の作成	研究計画書の作成方法	予習90分：教科書13章を読む。復習90分：配布資料を見直す。
第8回	まとめ	看護研究の実際	予習90分：教科書14章～第17章を読む。復習90分：配布資料を見直す。

教科書

黒田裕子『黒田裕子の看護研究 Step by Step』 (医学書院)

参考書

授業中に紹介します。

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上
試験（60%）、受講態度〔参加・貢献度〕（40%）を合計して評価する。

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内で課題を課すことがある。返却するので学習の参考にすること。

履修のポイント

看護研究を行う上で重要な、基本的知識について学びます。積極的に授業に参加してください。

オフィス・アワー

在室時、随時対応します。11号館3階研究室1

講義コード	11070001
講義名	看護専門職論I
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期（重複①）
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	４時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R332
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 河端 裕美	指定なし

授業の概要と教育目標

看護倫理の歴史的発展、今日の医療における看護職者の立場より担っていくべき倫理的責任、看護倫理アプローチとしての「原則の倫理」と「徳の倫理」の側面からの検討を通して看護専門職組織の社会的役割および日本の文化の中での倫理的問題解決について探求する。
看護倫理の基礎的理解を図り、その基盤の上に看護倫理のアプローチを用いた事例検討、看護職の倫理綱領の理解、各国の看護における倫理、研究における倫理を通して、看護実践者としての自己の基盤となる倫理的感性・倫理観を培い、看護実践の中心に位置する倫理的に物事を考える道筋を見出せるようにする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーと関連して、医療者として必要な倫理、守るべき法令を理解し、それに沿って行動できる力を養うことを目指すものである。

到達目標

1.倫理の意味について理解し、自分の言葉で説明することができる
2.「良い」とはどういうことか、「良い人」「良いナース」とはどういう人か、考えることができる
3・倫理に関係する言葉とその意味について理解し、説明することができる
4.倫理的判断の必要な状況について知り、判断・行動するための考えの進め方を知り、活用する姿勢が持てる
5.日々の中で、何が良いことか、根拠をもって考えながら行動する姿勢が高まる

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	看護倫理とは	科目ガイダンス 看護倫理の基礎	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第2回	徳の倫理	「良い人」「良いナース」とは 【アクティブラーニング】	予習なし 復習45分：配布資料

		・4～5人1グループによる徳の倫理に関するグループワーク	を見直す
第3回	原則の倫理	臨床倫理の原則 看護者の倫理綱領 【アクティブラーニング】 ・4～5人1グループによる原則の倫理に関するグループワーク	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第4回	看護倫理に関係する重要な言葉	和、共同体、コンパッション、ケアリング 【アクティブラーニング】 ・4～5人1グループによる原則の倫理に関するグループワーク	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第5回	看護倫理に関係する重要な言葉	専門職、患者中心の看護、協力と協働、パターナリズム 【アクティブラーニング】 ・4～5人1グループによるグループワーク	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第6回	倫理的判断が問われる問題	増大し重要化する倫理的問題と倫理的ジレンマ 文化背景と倫理、研究における倫理 【アクティブラーニング】 ・4～5人1グループによるグループワーク	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第7回	人生の最終段階の看護と倫理	人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン よい死について 【アクティブラーニング】 ・4～5人1グループによるグループワーク	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第8回	倫理的意思決定のプロセス①	倫理的意思決定を導く4ステップモデル 臨床倫理の4分割法 【アクティブラーニング】 ・4～5人1グループによるグループワーク	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第9回	倫理的意思決定のプロセス②	事例検討（グループディスカッション） 【アクティブラーニング】 ・4～5人1グループによるグループワーク。グループの意見を所定の用紙にまとめる	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第10回	倫理的意思決定のプロセス③	事例検討結果発表 【アクティブラーニング】 ・第9回講義でまとめたものをグループごとに発表する	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第11回	知る権利	事例検討（癌の告知をためらう家族） 【アクティブラーニング】 ・4～5人1グループによるグループワーク	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第12回	アドボカシー	事例検討（本音を言えない患者の退院支援） 【アクティブラーニング】 ・4～5人1グループによるグループワーク	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第13回	守秘義務	事例検討（家族への言いたくない秘密） 【アクティブラーニング】 ・4～5人1グループによるグループワーク	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第14回	自律尊重	事例検討（認知症患者の意思について） 【アクティブラーニング】 ・4～5人1グループによるグループワーク	予習なし 復習45分：配布資料を見直す
第15回	まとめ	知識確認と解説	予習なし 復習45分：これまで

		課題レポート	の配布資料を見直す

教科書
小西恵美子編【看護倫理】南江堂
参考書
なし
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上（グループワークの参加状況20%、課題レポート30%、筆記試験50%）
課題等に対する フィードバックの方法
課題レポートにコメントを入れて返却します
履修のポイント
倫理的に「良い」ということは、看護の質にもつながります。何が良いことか、自分の行動の指針を自らに問いかける習慣をつけていきましょう
オフィス・アワー
授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます

講義コード	11080001
講義名	看護専門職論II
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期（重複①）
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	３時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R342
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 山﨑 英子	指定なし

授業の概要と教育目標

【概要】看護師は、患者の最も近くで治療の介助や処置・看護ケア等を行う事が多い。そのため、安全への配慮を欠くと、患者の生命を脅かしたり身体の障害を招く医療事故の当事者になる危険が高い。しかし、人間は間違いを起こす生きものである。そのため、それを自覚したうえでエラーを防止し、医療安全に努めなければならない。この授業において、起こりやすい医療事故とヒューマンエラーを防止するための知識と技術を習得する。
【目標】①看護の質・看護師の責務について関連を捉え、医療安全とは何か理解できる。②医療の現場で起こりやすい事故とその防止策について理解できる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、看護師の責務の理解 及び医療事故の防止策を修得することを目指すものとする。

到達目標

・看護師の役割と責任について理解する。
・医療事故とその防止方法について理解する。
・医療事故に関する動向と新人が陥りやすい事故について理解する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	医療安全とは何か	医療安全の基礎知識と看護師の役割・看護師の責務	予習なし 復習30分：配布資料確認
第2回	事故発生のメカニズムと防止対策	ヒュマンエラーとは何か？ 事故の特性と事故を誘発させる要因	予習なし 復習30分：配布資料確認
第3回	診療の補助業務に伴う事故防止（I）	患者に投与する業務における事故防止 注射業務での間違いやすい表現・医療機器の基礎	予習なし 復習30分：配布資料確認

第4回	診療の補助業務に伴う事故防止（II）	患者に投与する業務における事故防止 内服与薬・輸血・経管栄養・チューブ管理	予習なし 復習30分：配布資料確認
第5回	療養上の世話における事故防止（I）	療養上の世話における事故防止の捉え方 転倒・転落	予習なし 復習30分：配布資料確認
第6回	療養上の世話における事故防止（II）	療養上の世話における事故防止の捉え方 誤嚥・異食・入浴	予習なし 復習30分：配布資料確認
第7回	学生の実習と安全	医療安全とコミュニケーション 実習中の事故を予防する 事故発生時の学生の行動	予習なし 復習30分：配布資料確認
第8回	業務上の危険と防止策	KYT（危険予知トレーニング）	予習なし 復習30分：配布資料確認

教科書

資料を配布します

参考書

適宜紹介します

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上（筆記試験 70% 授業参加状況 及び態度・グループワーク参加状況等 30%）

課題等に対するフィードバックの方法

授業で取り組んだ課題は参考資料と共に返却します

履修のポイント

リスク感性を高めていくうえで、積極的に意見を述べていきましょう

オフィス・アワー

授業の開始前 若しくは終了後に教室等で質問を受け付けます

講義コード	11090001
講義名	看護専門職論III
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	４時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-C343
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 櫻井 通恵	指定なし

授業の概要と教育目標

がん患者および家族への看護活動を理解するために以下の内容を学習する。
１．がんの病態および治療の概要
２．がん患者の精神的・身体的特徴の理解と緩和方法・看護援助について
３．がん患者を支援する家族の特徴の理解と看護援助について
４．緩和ケア、グリーフケアについて
５．看護者としての感性を高める（死生観、がん患者・家族の思い等）

卒業認定・学位授与の方針との関連

１．罹患率、死亡率ともに高いがんの病態、症状、治療、看護の特殊性を理解する。
２．がん患者の苦痛を全人的に捉え、患者家族に対する看護援助の方法を理解する。
３．がん患者・家族のQOLを高める看護援助方法と看護の役割について理解する。

到達目標

１．がん患者の病態、身体的特徴、治療の特徴について説明することができる。
２．がん看護における倫理について説明できる。
３．緩和ケアの目的と実際について説明することができる。
４．がん患者の苦痛を全人的にとらえ適切な看護を説明できる。
５．がん患者特有の苦痛症状を理解し、その緩和方法及び看護援助について説明できる。
６．がん患者を支える家族の特徴を理解し、ニーズにあった看護援助について説明できる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）
第1回	がんの特性	がんの動向、病態・治療の特殊性について
第2回	がん看護における倫理	倫理・看護倫理、緩和ケアをめぐる倫理的課題について
第3回	緩和ケア	緩和ケアの歴史、緩和ケアの理念、緩和ケアの現状について
第4回	がん患者の心理的・社会的・霊的苦痛と援助	がん患者の全人的苦痛と看護援助について、死生観について考える

第5回	特徴的な症状メカニズムとそのマネジメント Part 1	がん患者の身体的苦痛と身体症状（倦怠感、疼痛、浮腫）のマネジメントとケア、薬物療法
第6回	特徴的な症状メカニズムとそのマネジメント Part 2	がん患者の身体的苦痛と身体症状（呼吸器症状、腹部症状、不穏・せん妄）のマネジメントとケア、薬物療法
第7回	家族への支援・エンゼルケア	がん患者に寄り添う家族の思いを考察し支援方法を考える
第8回	授業まとめ・試験	終末期がん患者及びその家族に対する看護支援のまとめ・試験

教科書

緩和・ターミナルケア看護論 ヌーベルヒロカワ

参考書

なし

成績評価の方法・基準

筆記試験60%以上

**課題等に対する
フィードバックの方法**

なし

履修のポイント

がん患者の苦痛を全人的にとらえられるような感性の育成
死について、生きるということについて仲間と話し合い、自分の死生観を考える機会としたい。

オフィス・アワー

授業終了後の質問に応じます。

講義コード	11100001
講義名	看護専門職論IV
(副題)	【教職必修】【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	金曜日
代表時限	３時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-C344
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 島田 啓介	指定なし

授業の概要と教育目標

本講義のテーマは、「多文化共生」である。看護学科の学生は将来、様々な成育歴や文化的背景を持った対象者を相手にする仕事につかねばならない。目標は、体験を交えた授業によって自分自身に対する観察眼とセルフケアの手法を学び、将来出会うであろう様々な文化を持つ対象者に適切に対処できるようになることである。
そのためには、たんに社会的な事象についての文化を学ぶだけではなく、最初に自分自身が生まれ育って当たり前になっている「価値観を対象化」して観ることができなければならない。
本講義では、自分自身の身心に対する気づきを導入にする。慣れて見過ごしてしまっている日常的な事象に気づく観察眼を養い、自分を客観視するとともに、援助職には欠かせないセルフケアの手法も学ぶ。それらにもとづいて徐々にその気づきの目を周囲に広げていく。
文化の基盤になるものの代表は「食」である。本講義では、食を中心テーマとして取り上げ、まず自分自身の食、家族を含めた周囲の食、日本や世界までの範囲、また歴史を通じて人間がどのように食と関わってきたのかを探求する。食にはあらゆる文化や価値観が反映している。食から始まって、「多文化共生」の主眼となる様々な文化のあり方と、それらに対する関係性のあり方を学ぶ。
教材は、自分自身の生活と、それを取り巻く現在の社会状況を反映する情報素材、それらをまとめる指定のテキストである。
授業は演習型、グループ学習によってコミュニケーション力を培い、最終的には学外のフィールドワークでその成果を応用する。毎回のレポート提出によって学習を振り返るとともに、課題によって日常生活の中に学習の素材を見つける。映像などの教材を随時利用しつつ、多面的な学習を進めていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

自分自身への理解を基盤にして、他者の理解を深める。文化や社会は〈外部〉のみに存在するのではなく、内化された形で自分自身の心の中にあることを理解し、自己省察を深めたうえで家族、地域、国家、世界に眼差しを向けていく。キーワードは、相互存在、共生、共感である。
急速に変化する時代の中で、まわりの変化を敏感に察知することは重要だが、振り回されずに自分自身に軸を持つことはもっと大切だ。多様化する価値の中で、コミュニケーションの重要性は増大するが、自分の頭で考え、演習とフィールドワークによって対人関係を鍛え、総合的な対応能力を磨いていく。それを通して、将来援助職として、多様な背景と価値観をもつ対象者にかかわるための基本的な姿勢を養っていく。

到達目標
日常の中で慣れてしまって気づかない重要な事象に気づく目を養う。全員が主体的に授業に参加し学ぶ。異なる他者の意見に傾聴することは、多文化共生の基礎である。ここではグループワークがそのまま、知識にとどまらない多文化共生の実践になる。こうした相互的な学習を通じ、各人の中の問題意識、動機や希望を掘り起こし、将来の仕事や生活の場において学びを応用できる力を養う。異なる価値観をもつ者に共感的に接し、共生して行ける姿勢を培う。それがそのまま対人援助の現場で活かせる力になる。

授業計画		
	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）
第1回	オリエンテーション	他文化を学ぶ意義、基本的姿勢。文化とは何か？ なぜ文化を学ぶことが、援助職にとって重要なのか？ それによって本授業では何を目指そうとしているのか？ 基本的な方針を示し、学生一人ひとりが自分自身の体験に照らして学んでいけるようなガイダンスを行う。
第2回	自分と、「当たり前」の見直し	自分と日常への気づきの練習。現在医療の分野でも積極的に導入されてきている〈第3世代の認知療法〉「マインドフルネス（ありのままの事象に気づく）」の手法を紹介し、その基礎を使って自分が慣れてしまって見過ごしている「当たり前の体験」を、フレッシュな目で見直すワークを行う。それによって、思い込みを解除して、現実を様々な視点で見直す実地体験をする。
第3回	コミュニケーションワーク	伝えることの難しさと、伝える工夫を学ぶ。前回のマインドフルネスを、関係性に応用するワークを行う。ここでは、グループ分けによって、相互に問いかけを行いつつ、お互いにフィードバックしながら気づきを深めて行く手法を使う。具体的には、日常の現象を取り上げ、それをまったく違った角度からとらえ直す実験、自分のルーツをたどるワークなどによって、「自分自身が今置かれている価値体系」を客観視していく。
第4回	同上	同上
第5回	日常の気づきの応用	生活の中に多様な価値観の現れを見つけてワークする。文化とは何か？ 文化という言葉への思いこみを再検討し、幅広い人間の営みへの理解を深める。 この回から、授業以外の日常生活の課題に取り組んでいく。一例として、自分自身の「食生活」「睡眠」「休息」「疲労度」などをレポートし、自分の生活を見直すと同時に、自分がそういった生活を送っている経緯、背景を振り返り、より健康的な暮らしに転換していくために何が必要か（セルフケア）を省察する。 また、映像素材（心理テスト、参考になる活動などの紹介）を参考に、新たな暮らし方のヒントにする。グループワークでは、一人ひとりのレポートを発表し合い、お互いの参考にしながら学習を進める。
第6回	同上	同上
第7回	日本の中の多文化	個人や家族レベルから、社会に視点を広げていく。 「百人の村から総集編」を読んでいく。今の自分自身の生活、また日本人の生活が、世界の中でどのような位置づけにあるのか「マッピング」の手法を使って知る。 日本については、歴史を振り返り、日本の食文化が現代にいたるまでどのような変遷を経たのかを知り、現代の食を客観的に観てみる。 また、現代文明の利点とその問題点に光を当て、何が課題なのかの問題意識を培う。 そのために映像資料。スライド、グループ学習を駆使し、お互いの意見に傾聴して、批判よりも共生的視点から何が可能かを考える。
第8回	同上	同上
	世界と	日常に反映している世界と、その問題点を知る。 テキスト及び、世界の食の現状を知るための映像資料、スライド資料を視聴する。統計的資料も使いながら、日本の世界の中における位置と役割を

第9回	自分との関わり	考える。視野を人類と地球の未来まで広げて、そこから現在の暮らしを俯瞰する。 食を中心に、文明全体を俯瞰的な視点から眺めて、自分たちの未来に何が必要かを考える。そのために、多文化共生の視点から、異なる価値観の共生という視点から考える。
第10回	同上	同上
第11回	フィールドワークの準備	テキストのテーマ（約十項目）を中心に、グループ分けを行い、今までのまとめを行い、レポート作成をする。 学びを具体的な場面生かすため、フィールドワークの企画を発表し、グループ分けを行い、グループごとに全員が協力しながら具体的な企画を立てる。
第12回	フィールドワーク	学外での実地学習。グループごとに実地調査を行い、レポートの下書きを作成する。
第13回	同上	同上
第14回	フィールドワークのまとめ	グループ報告と全体のまとめ。 それぞれが行った調査をレポートにまとめ、撮ってきた写真資料のスライドショーとともに発表する。他のグループは発表を受けて感想を述べる。 それによって各自がまとめレポートを作成する。
第15回	全体のまとめ	これからの学習や仕事に生かすために、何ができるか、それぞれのグループを中心に話し合う。講師による、最終まとめ。

教科書

「世界がもし１００人の村だったら 総集編」マガジンハウス

参考書

なし（上のテキストと、その都度渡すプリントによって行う）

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上：発表内容と提出物によって評価する。授業内確認のレポート60%、学期末試験（レポート）40%を総合して評価

**課題等に対する
フィードバックの方法**

日常生活の中での観察レポートや、まとめの振り返りレポートあり

履修のポイント

各回のグループ学習に参加し、レポートを確実にまとめる。何回か与えられる日常の課題をこなす。

オフィス・アワー

授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます

講義コード	11110001
講義名	看護専門職論V
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	水曜日
代表時限	１時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R373
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 林 かおり	指定なし

授業の概要と教育目標

健康上に関わる感染症の種類や特徴・国際社会特有の感染症の問題・生活習慣の変化から新たな感染症について学ぶ。その際、古代から人々が直面し対応してきた感染対策を紹介し、当講義では多様化する医療・地域生活の中での感染予防・管理・対策を講義と視聴覚教材により深めていくことを目標とする。
1．医療関連感染とは何か、医療の中での状況及び予防対策について学習をする。2．医療関連感染予防の具体的な方法について学び、実践できるようにする。 3．感染管理プログラム・教育及び研究成果から、医療者として担う感染防御の役
割の理解を深める。
4．新興感染症について理解を深める。
5．薬剤耐性菌への対策について検討する。
6．微生物学的検証の方法を知り臨床検査の知識を持ち対象者の健康状態を知る。
7．国を超えての感染症・食中毒・寄生虫対策の知識を持つ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

1．医療施設及び地域社会に貢献する医療者として感染管理の役割の理解をする。2．実際の管理を理解し、実践的知識の習得をする。
3．臨床で行われている微生物学的な検査方法を知ること、流感時の罹患率から
サーベイランスの意味を読み取ることで、卒業後に患者や利用者の健康状態の把
握と予測ができる。予防から健康管理の視点を持つことの基本的知識を習得でき
ることを目標とする。

到達目標

1．感染管理・感染看護の概念と近年の動向について理解をする。 2．医療施設及び地域での医療活動における感染予防の方法について理解をする。
3．医療者自身の感染予防対策の具体的な実践方法について学習をし理解をする。
4．感染症患者または易感染患者に対する看護の具体的な方法とその根拠について
を学び理解をする。
5．現代社会において国内外の感染書に関する諸問題を理解する。

授業計画

		授業内容と方法、課	

	主題	題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	感染管理と感染看護の概念/医療関連感染サーベイランス	1．感染管理・感染看護の役割 2．感染管理に関する現状と研究成果 3．感染症に関わる倫理的問題 4．医療関連感染サーベイランスの定義と読み取り方 5．微生物、感染に関する用語の定義	予習60分：医療関連感染の定義を調べる。サーベイランスの定義を調べる 「感染と防御」講義時の教科書と資料を見直す 復習30分：分配布資料を見直す
第2回	新興感染症とその対策・Zoonosis	デング熱、エボラ出血熱、ジカ熱など新興感染 症、Zoonosisとは	予習60分：ニュース、新聞、雑誌、小説などから話題の感染症に注意をしておく 復習90分：講義後に自分の興味のある新興感染症についてレポートをまとめる
第3回	医療施設における感染症の発生要因及び感染対策の基本	1．感染の成立と予防に関する考え方 2．医療関連感染の定義 3．スタンダードプレコーションの実際と方法	予習30分：医療関連感染の定義を調べる 復習60分：スタンダードプレコーションの実際を基礎看護学実習から臨地実習での場面をまとめる
第4回	1．医療器具及び医療処置の伴う感染予 防 2．医療機関での結核予防	1．滅菌操作時の感染予防	予習90分：医療行為における清潔・不潔の種類と概念をまとめておく 結核患者の推移について国民衛生の動向を調べておく。また、何故結核が問題となるのか、増加傾向にあるのか調べる 復習60分：配布資料の見直しをする
第5回	医療施設におけるファシリティ・マネジメント	1．ファシリティ・マネジメント 2．感染性廃棄物の取り扱い 3．洗浄・消毒・滅菌	予習60分：医療施設の部署を予測しておく 洗浄・消毒・滅菌・殺菌の定義をまとめておく 復習90分：講義で紹介したクリニカルケアについて配布物を見直す。消毒薬剤についてまとめる。 試験問題の消毒薬についの項を行っておく
第6回	職業別感染防止対策 医療機関での部署別感染対策	1．針刺し・切創・汚染（血液由来の感染症） 2．医療施設で問題となる流行性感染症と対策 3．様々な医療施設における感染対策（手術室、ICU、NICU、透析室、リハビリ室、レントゲン部門、高齢者施設、在宅） 4．食中毒対策	予習60分：臨地実習の場面を書き出す 復習30分：配布物を見直す

		【アクティブラーニング】 食中毒の知識について検定試験を行う	
第7回	薬剤耐性 臨床でできる微生物学的検証	1．薬剤耐性とその予防法 2．臨床検査での方法と検査値の読み方 【アクティブラーニング】 フードスタンプを実際に用い検体をとる	予習90分：薬剤耐性とは何故起こるのか、その問題と現在の国としての対策をまとめておく 復習60分：検査値から健康状態をよみとる課題を行う
第8回	感染症患者の治療と看護	1．感染症別対策の方法について 2．現代の食中毒・寄生虫対策について 【アクティブラーニング】 フードスタンプの状態を確認する	予習90分：予防接種の種類（生ワクチン、トキソイド等）について調べる ワクチンの種類の違いと摂取期間を調べる 復習30分：配布物を見直す

教科書

大野義一郎『感染対策マニュアル』医学書院

参考書

「わかりやすい微生物・感染症」ヌーベルヒロカワ
岡田晴恵「感染症キャラクター図鑑」日本図書センター
加來浩器「アウトブレイク探偵」ヴァンメディカル
その他は講義内で紹介をします。

成績評価の方法・基準

期末試験で60点以上 筆記試験90%、課題・出席10%

課題等に対するフィードバックの方法

新聞、テレビなどで報道される感染症に関する話題に興味を持つこと。
国内外で問題とされる感染症を知っておくことで病院施設だけではなく地域社会での影響を知ること。
講義内で感染症に対する予防・対策等について自己の考えをまとめるます。
発表することで様々な視点を知りより良い方法を検討すること。

履修のポイント

主体的に積極的に授業に参加をすること。
微生物の名称と代表的な疾患・治療薬をまとめることで理解しやすくなります。
微生物の形状、生活環境、個別性を知ると理解しやすくなります。
「感染と防御」の講義資料等を見直しておくと理解し易くなります。

オフィス・アワー

講義日に対応をします。

講義コード	11120001
講義名	看護専門職論VI
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	２時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 古澤 悟	指定なし
教 員	小林 早苗	指定なし

授業の概要と教育目標

自然・人為を問わず、国内・外を問わず、災害は人々の生命と健康を危機に陥れる。人々の生命と健康を守る看護が災害時に果たすべき役割を考えるとともに、災害発生時急性期から復興期までの段階において必要な看護の理論と技術を教授する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

災害医療や看護の基礎を学び、災害時の看護職の役割を理解する。

到達目標

１．災害の定義および災害看護の概要を理解できる。
２．災害サイクルにおける保健医療ニーズと看護の場に応じた看護を理解できる。
３．災害時に必要な援助技術の基礎を習得できる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	災害看護の概要	歴史、定義、災害の種類、災害サイクル	講義 VTR使用予定（適宜）
第2回	災害看護の特徴	災害医療の特徴、災害関連法律 災害拠点病院とは、災害の種類と健康問題	講義
第3回	災害サイクル別看護活動(1)	災害急性期の看護 ・救命･救出と災害時トリアージ ・災害時救急医療と看護の概要 ・ライフラインの復旧to災害活動のロジスティックス	講義
第4回	災害サイクル別看護活動(2)	災害亜急性期の看護 ・被災地の病院、避難所、または救護所での医療と看護	講義

		・ボランティアセンターの開設と看護	
第5回	災害サイクル別看護活動(3)	災害中長期（復旧･復興期）の看護 ・仮設住宅と巡回看護（アウトリーチ）のポイント 活動の場における看護 ・救護所に備える医療体制と備品 ・避難所における巡回医療･看護のポイント	講義
第6回	災害時の要支援者の把握と援助	子ども、妊産婦、高齢者など 在宅ケアを受けている人々 障がいのある人々	講義
第7回	災害とこころのケア	災害後のこころのケア 災害による死とグリーフケア 救援者のストレス対策	講義
第8回	災害への備え 講義のまとめ	病院での災害への備え ・役割認識、防災マニュアルの活用、定期的シュミレーション等 地域における災害への備え ・防災マップの活用（要支援者リスト,避難広場,避難所,避難経路等） まとめ	講義

教科書
日本赤十字社事業局看護部（編）：系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学、医学書院、2016.
参考書
特になし。
成績評価の方法・基準
単位認定：60点以上 筆記試験（100%）
課題等に対する フィードバックの方法
教科書と配布資料を中心に講義の復習を行い、着実にミニ課題に取り組むことで記憶に残る学習とする。
履修のポイント
キーワードを１つ１つ整理し、わからないことや疑問点は早めに質問する。
オフィス・アワー
講義前後の10分程度であれば対応可能。

講義コード	11130001
講義名	看護専門職論VII
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	火曜日
代表時限	5時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R374
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田中 光子	指定なし

授業の概要と教育目標

看護の対象は、個人のみだけではなく家族・集団である。さらに、地域や環境との相互関係の中で対象を統合的・全体的にとらえる。歴史的・文化的な変遷の中での家族を把握して理解することは、概念的な広がりにつながる。看護においても個人の背景として家族をみるのではなく、家族単位でとらえた看護過程を展開を理解することを目標にする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーと関連して、看護学を系統的に理解し臨床現場でチームの一員として活躍できるように、そこで調整する能力および問題解決ができる能力を養うことを目指すものである。

到達目標

1. 家族の形態や社会的な変遷、家族看護の変遷について理解する。
2. 家族を単位として、また環境との相互関係の中で統合的にとらえ対象理解を深める。
3. 家族像について理解し、自身における家族の関係性を把握する。
4. 家族看護の代表的なアセスメントモデルを知り理解を深める。
5. 家族を対象とした看護過程の展開について、事例を通して実践的な学びを深める。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	家族看護の成立について①歴史・文化からみる家族看護の変遷と発展	・今講義のオリエンテーション（講義のすすめ方） ・【アクティブ・ラーニング】 「家族とは何か」隣席付近の学生同士で意見交換を促し相互間の異同を確認する。そのあとに、定義づけれれている家族について教授する。 ・我が国における家族の変貌について いえ制度 日本家族の近代化と母性神話の弊害 家族の多様化	予習90分：テキスト第１章を読む。 復讐90分：配布資料を見直す。

		視覚的にも理解が深まるようにスライド提示	
第2回	家族看護の成立について②歴史・文化からみる家族看護の変遷と発展	・夫婦関係論について ジェンダー とはなにか。 LGBTQについて 結婚をめぐる常識の変化 離婚の動向 （視覚的にも理解が深まるようにスライド提示）	予習90分：テキスト第2・4章を読む。 復讐90分：配布資料を見直す。
第3回	親子関係論	・母性と父性について	予習90分：テキスト第3章を読む。 復讐90分：配布資料を見直す。
第4回	家族看護学の基礎理論	・家族看護学誕生における時代背景 【アクティブラーニング】 自分のジェノグラムを作ってみよう。 作成にあたっての記号解説をする。（資料配布）	予習90分：テキスト第6章を読む。 復讐90分：配布資料を見直す。
第5回	家族看護事例の展開	・グループワークについてのオリエンテーション 【アクティブラーニング】 1グループ7～8人編成後、リーダーを選出。グループごと異 なる紙上事例の看護過程を展開するグループワーク 必要に応じて図書館での検索可。 発表用の模造紙とマジックを貸与。	事例を検討・完成させていくために適宜
第6回	家族看護事例の展開	【アクティブラーニング】 1グループ7～8人編成後、リーダーを選出。グループごと異 なる紙上事例の看護過程を展開するグループワーク 必要に応じて図書館での検索可。	事例を検討・完成させていくために適宜
第7回	家族看護事例の展開	【アクティブラーニング】 1グループ7～8人編成後、リーダーを選出。グループごと異 なる紙上事例の看護過程を展開するグループワーク 必要に応じて図書館での検索可。	事例を検討・完成させていくために適宜
第8回	家族看護事例の展開	【アクティブラーニング】 ・各グループの事例発表をする。 ・グループワークを通して家族看護について理解をしたこと	復習時間：90分 これまでの配布資料を見直す。

教科書

系統看護学講座 家族論・家族関係論 医学所院

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定６０点以上。
筆記試験80% 授業参加度20%

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内で課題を課した場合は、次講義の初めに回答解説をするので学習に役立てること。

履修のポイント
日ごろからニュースに関心を持ち、現代家族のおかれた状況を思索する。
オフィス・アワー
金曜日12：30〜13：20、16：20〜17：50 10号館第12研究室。

講義コード	11140001
講義名	看護専門職論VIII
(副題)	【保健師必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時限	１時限
区分	専門科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-C382
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 岩田 昇	指定なし
教 員	佐藤 祥平	指定なし
教 員	井沢 浩美	指定なし
教 員	辻村 弘美	指定なし

授業の概要と教育目標

世界の保健医療問題とその解決に向けた国際協力の現状と展望について教授する。特に、看護分野のこれまでの国際協力内容や援助プロセスについて解説する。国内的には、異なる国、異なる文化の下で看護の現状を知り、在日外国人に対応できるとともに国際協力活動に必要とされる基本的知識やコミュニケーション技術・態度等の基本について教授する。医療職者として国際協力に関わるうえで重要な知識・技術の基礎や、主な看護活動の基礎を身につける。
なお、授業ではほぼ毎回、国際社会における健康問題・報道などを題材として、グループディスカッションおよびプレゼンテーションの時間を設定し、自らの判断・見解を持ち、それを他者に伝えるスキルの習得も目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のカリキュラム・ポリシーの4)看護学を系統的に理解し、看護の基礎や健康問題別発達段階別看護で学んだ知識と技術を統合する「看護の統合と発展」に係る専門科目であり、国際社会における医療問題への理解と看護学からの協力への導入科目として、国際看護学を位置づける。

到達目標

１．世界の人々の健康水準や我が国の現状と展望について理解し、保健医療分野における国際協力の現状と課題を理解する。
２．国際的保健医療活動でのプロジェクト開発・実施・評価・フィードバックの一連のプロセスを理解する。
３．国際保健医療協力の母子保健対策、感染症対策、環境改善、リハビリテーション等の概要を理解する。
４．異文化理解と看護実践例について理解する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニング	予習・復習と

		の内容を含む）	そのために必要な時間
第1回	ガイダンス	・講義のねらい、進め方 ・外部講師の紹介 ・国際看護学とは ・グローバルヘルス	予習90分：国際看護について、幅広い視野で調べてみること 復習90分：グローバルヘルスについて確認しておくこと
第2回	国際協力１	・さまざまな国際組織 ・日本の国際協力 ・JICAの活動	予習90分：JICAやその他の国際協力団体について調べておくこと 復習90分：国際協力に関する資料を見直し、興味に応じて、さらに調べてみること
第3回	国際保健概説	・ミレニアム開発目標 ・持続可能な開発目標	予習90分：先進国と開発途上国の健康問題について調べてみること 復習90分：配布資料を見直し、貧困と医療問題との関りを確認しておくこと
第4回	国際協力２	・スポーツを通じた国際協力事業の例	予習90分：コミュニティ形成におけるスポーツの寄与について考えてみること 復習90分：配布資料を見直し、スポーツと保健医療活動の接点を考えてみること
第5回	国際看護序論１	・国際看護とは ・国際協力のしくみ	予習90分：自分が興味を持った国際社会における医療問題について調べてみること 復習90分：配布資料を見直し、国際看護についての疑問点を解消しておくこと
第6回	国際看護序論２	・世界の健康問題 ・開発協力と看護	予習90分：グローバルな医療問題について調べてみること 復習90分：配布資料を見直し、経済開発と健康問題・看護との関係について整理しておくこと
第7回	国際看護各論１	・国際看護の実際－ボリビアの健康問題と看護－	予習90分：南米の健康問題について調べてみること 復習90分：配布資料を見直し、ボリビアでの健康問題と先進国からの医療援助についてまとめておくこと
第8回	国際看護各論２	・国際看護の実際－ボリビアでの看護師教育指導－	予習90分：ボリビアの看護師について調べてみること 復習90分：配布資料を見直し、ボリビアの看護師養成機関の現状と課題について整理しておくこと
第9回	国際保健の研究	・文化とは ・社会疫学 ・国際比較/異文化間比較研究(Ni-Hon-San studyほか)	予習90分：配布した著書抜き刷りを読み、文化の階層的理解について考えておくこと 復習90分：配布資料を見直し、社会疫学や異文化比較研究の意義や困難点について整理しておくこと
第10回	国際看護各論３	・看護師の国際組織と国際的な移動	予習90分：国際社会における看護師の連携・協力体制や組織について調べてみること 復習90分：配布資料を見直し、他国の看護師の海外勤務のニーズと課題について考えてみること
第11回	国際看護各論４	・国際看護の対象－文化・慣習の理解－	予習90分：海外における文化・慣習と医療問題との関りについて調べること 復習90分：配布資料を見直し、興味を持った部分をさらに調べてみること
第12回	国際看護各論	・文化を考慮した看護－事例を通して－	予習90分：社会・文化と伝統的民間医療および西洋医療との関係について調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、伝統的民間医

	5		療に関する疑問点を整理しておくこと
第13回	国際看護各論6	・国際看護の実際－中国での看護師教育指導－ ・事例から考える異文化看護	予習90分：中国における医療問題について調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、中国の伝統的民間医療・医療制度等について確認しておくこと
第14回	国際看護各論7	・途上国を対象とした看護・保健研究	予習90分：国際看護の領域でどのような研究が行われているのか、調べておくこと 復習90分：配布資料を見直し、自分なりの研究課題を考えてみること
第15回	まとめ	・これからの国際看護の課題や方向性について考える	予習90分：14回の講義を振り返り、グローバル化する現代における国際看護の課題について、考えておくこと 復習90分：すべての配布資料を見直し、国際看護に関する疑問点を解消しておくこと

教科書

教科書は用いない。配布資料に基づく。

参考書

浦田・小原(編)：災害看護学・国際看護学，系統看護学講座統合分野 看護の統合と実践３，医学書院
南・新川・大野(編)：国際看護学グローバル・ナーシングに向けての展開，中山書店

成績評価の方法・基準

・単位認定は60点以上。
・ミニ課題２つ(30%)、グループワーク等によるレポート・課題(70%)を総合して評価する。
なお、授業への積極的なコミットメントも評価加点する。

課題等に対する
フィードバックの方法

・グループディスカッション・プレゼンテーションに対するコメント等は適宜授業内で行う。
・レポート課題に対するフィードバックは、提出の次週より個別に行う。

履修のポイント

・健康水準の高い社会に住んでいることを自覚し、諸外国における健康問題について、幅広い知的好奇心と人道的視点を持って、積極的に学ぶことを期待します。

オフィス・アワー

・水曜日・木曜日12:30〜13:20（昼休み） 11号館第5研究室
（講義終了前後にも適宜受付可能）

講義コード	11150001
講義名	統合セミナー
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	金曜日
代表時限	２時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R383
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 三木 園生	指定なし

授業の概要と教育目標

これまで学んできた教養系科目、専門基礎科目、看護専門科目を踏まえ、それらを統合した思考プロセスで、実際の看護を展開していくことが重要である。学生が対象者を全人的に理解を深めるために、各専門領域間で連携し、その重要性を享受する。本科目は、看護学を系統的に理解し、これまでに学んだことを統合できることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、看護学を系統的に理解し、これまでに学んだ知識と技術を統合することを目指すものとする。

到達目標

看護職者として知らなければならない疾病の原因、検査、症状、治療法などの基本的知識を基盤に、社会的側面（法令、規則など）を加えた、看護の統合性が理解できる。看護師国家試験に対応できる知識を習得する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	授業ガイダンス 第1回目～7回目：各専門領域による学習のポイント 第9回目～14回目：各専門領域による学習のポイント	各専門領域の学習のポイントと重要項目の解説 看護師国家試験の出題傾向について 【アクティブラーニングの内容】 個人ワークまたはグループワーク等により、学習のポイントを踏まえ学びを深める。	予習90分：授業のスケジュールに沿って各専門領域に関する事前学習を行う。復習90分：その日に行われた各専門領域の授業内容について振り返る。
第8回	中間のまとめ	1～7回目までの授業ま	予習90分：第1回～7回授業のまとめをす

		とめと確認	る。復習90分：授業の内容を振り返る。
第15回	まとめ	1～14回まで行った授業の総括と確認	予習90分：第1回～14回授業のまとめをする。復習90分：授業の内容を振り返る。

教科書

各領域で使用した教科書・参考書
レビューブック、岡庭 豊編集、メディックメディア発行

参考書

必要時、紹介する。また、授業時に必要な資料を配布する。

成績評価の方法・基準

中間のまとめ30%、授業毎のミニテスト20%、最終試験50%で評価する。
総合評価で60点以上を合格とする。国家試験形式での試験を実施予定。

課題等に対する
フィードバックの方法

授業毎にミニテストを課します。自己採点あるいは、その結果を返却しますので学習の振り返りに活用してください。

履修のポイント

授業に参加しその場で理解を深める事が大切。また疑問に思う事は積極的に質問し、その都度解決することが大切である。

オフィス・アワー

10号館 研究室7。在室時はいつでも対応可。

講義コード	11160001
講義名	看護セミナー
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	通年
講義区分	演習
基準単位数	4
代表曜日	金曜日
代表時限	１時限
区分	専門科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R375
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 伊藤 美鈴	指定なし

授業の概要と教育目標

看護活動の場（保健・医療等の実践の場）で、自ら選定した課題を探求又は解決するために、実施計画を立案する。計画に従って実施し、得られた結果を実習報告書（論文形式）にまとめる。なお本科目は、課題を探求・解決する過程を通して、より質の高い看護を提供するために継続して学習を深めることの意義を理解することと、生涯にわたって看護学及び看護研究を発展させていくための基礎的能力を修得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連として、様々な健康レベル、あらゆる発達段階における実践的な援助技術の修得、知識と技術の統合、臨床現場でのチーム医療の一員として役割を担う能力、チームを調整する能力、問題を解決する能力を修得することを目指すものとする。

到達目標

１．これまでの学習及び先行文献により、自己の課題を明確にすることができる。
２．課題を達成させるために、先行文献をもとに計画の立案及び調整をすることができる。
３．課題を達成するために実施することができる。
４．課題の結果について先行文献を用い考察することができる。
５．課題に対する実践結果を研究論文の構成要素に従って論述し期限内に提出する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	看護セミナーの進め方	看護セミナー実習の概要を説明する。	予習60分：教科書の該当ページを読む。復習60分：配布資料を見直す。
第2回	各領域からのセミナーの紹介	各領域の教員からの説明 看護学領域：基礎、母性、小児、成人、精神、高齢期、公衆衛生	予習60分：教科書の該当ページを読む。復習60分：希望する領域を明確にし、記録を作成する。
	自己の課題の探求		予習60分：教科書の該当ページを読

第3回	①	希望する領域の明確化	む。復習60分：配布資料を見直す。
第4回	文献検討の方法①	文献検索の方法	予習60分：教科書の該当ページを読む。復習60分：配布資料を見直す。
第5回	自己の課題の探求②	セミナー領域の決定	予習60分：教科書の該当ページを読む。復習60分：配布資料を見直す。
第6回	文献検討の方法②	各領域に関連する文献を検索する。	予習60分：教科書の該当ページを読む。復習60分：配布資料を見直す。
第7回	各領域において看護セミナーの実施（19日間）	アクティブラーニング 各領域の担当教員の指導を受け、看護セミナー実習を行う。	予習60分：教科書の該当ページを読む。復習60分：記録を作成する。

教科書

黒田裕子『黒田裕子の看護研究 Step by Step』（医学書院）

参考書

授業中に紹介します。

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上
到達目標の達成度100％

**課題等に対する
フィードバックの方法**

実習計画、実習内容、実習報告書に関して、個別に指導を行う。

履修のポイント

主体的に行動し、時間を有効に活用して課題に取り組むこと。
文献検討、実習報告書の作成等を行う。

オフィス・アワー

各担当教員と調整をする。

講義コード	11170001
講義名	現代教職論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
区分	教職科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-F420
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 佐々木 尚毅	指定なし

授業の概要と教育目標

教職についての理解を深め、自らの教職への意欲、適性等を熟考し、将来教職に就くことについて多角的に考察するために、教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する知識を修得することを目標とする。さらに予定されている学習指導要領改訂の中で重要な改訂点となる「カリキュラム・マネジメント」、「アクティブ・ラーニング」、「外国語(英語)の教科化」などについて、その導入理念を理解する。これらを通じて「時代の変化に対応した新しい学びを支える教育・教師」について理解し自らの適正を考え、どのような教師となるかキャリア・デザインできる事が目標である。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部のディプロマ・ポリシーのひとつである「人間に対して、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から理解している」ことを第一に内容を精選する。人は年齢を重ねただけでは大人にはなれない。人は人のなかで人になっていく。その人のなかでも、教師は重要な機能と役割をもって子どもが大人になることを見守り、支え励ます。そうした教員の職務内容を理解し、教職の意義及び役割を学ぶ。また、受講者が自分自身の適正について熟考し、進路を考える。

到達目標

１)現代日本の子どもの状況と公教育の目的とを理解する。
２)教職の意義や教員の役割、職務内容・服務内容等を理解する。
３)ひとり一人の子どもの成長を支える「チーム学校」、「学校内外の専門家等との連携と分担」の必要性とその運営・活用について理解する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	イントロダクション	何を学ぶのか、何のために学ぶのか。「自らと向き合い適正を考える」	復習90分:レポート作成「教師志望の動機」作成
			予習30分:第1回配布資料の

第2回	子どもの社会化の現代的特質	親・教師・学校・社会の変化、世界の中の日本の子ども	通読 復習30分:『子ども・若者白書』指定個所を読む
第3回	子どもの現状と近年の教育の動向	子どもを中心にした、連携と教師の役割の拡大	予習20分:『白書』指定個所のまとめと課題文書作成 復習20分:『白書』指定個所のまとめと課題文書作成
第4回	教育とは、教員とは(１)	－日本国憲法・教育関連法規－	予習20分:教育基本法通読 復習30分:教基法確認テストに向けた学習
第5回	教育とは、教員とは(２)	－中央教育審議会の教育構想－	予習30分:配布中教審答申を読む 復習30分:答申案のポイントまとめ
第6回	教育とは、教員とは(３)	－学習指導要領改訂の理念とポイント－	予習40分:調べ学習「指導要領の変遷」 復習50分:今次改定のポイントを学習
第7回	教育とは、教員とは(４)	－学校の組織運営(校務分掌／新しい職による組織の変化)－	予習20分:調べ学習「1条校」の変遷 復習30分:校内職名の確認(次回確認テスト)
第8回	教育とは、教員とは(５)	－学級担任の職務と教科指導－	予習20分:『子ども・若者白書』の指定個所を読む 復習60分:配布資料に関する感想文作成
第9回	教育とは、教員とは(６)	－養護教諭・栄養教諭の職責と協働・連携－	予習60分:現職教師の日記を読む 復習60分:視聴映像の感想文作成
第10回	教育とは、教員とは(７)	－職務、研修、「学び続ける教師」－	予習20分:調べ学習「生涯学習」 復習20分:配布資料の再読
第11回	インクルージブ教育システム	「特別な支援を必要とする子ども」	予習30分:調べ学習「障害者総合支援法」 復習60分:視聴映像感想文作成
第12回	「チーム学校」の目的と運営	－事例の検討を含む－	予習20分:調べ「チーム学校」 復習90分:課題作成「私が目指す教師像」
第13回	家庭・地域等との連携・協働の推進	－開かれた学校、学校安全の具体例とその検討－	予習20分:配布資料を読む 復習60分:課題作成「私が目指す家庭と地域と教師の関係」
第14回	教師の力量を考える	－教科指導、生活指導、学級経営等－	予習20分:配布資料を読む 復習90分:作文「私が目指す教師像」
第15回	自分の教師としての力量を考える	－学び続ける教師－	予習90分:作文「教師とは学校とは教育とは」 復習90分:総復習

教科書
『中学校学習指導要領』(文科省、平成29年3月)、『高等学校学習指導要領』(文科省、未刊)
参考書
各種法規、審議会答申は適宜配布する。
成績評価の方法・基準
定期試験(70%)、リアクションペーパー(30%) 単位認定60点以上
課題等に対する フィードバックの方法
授業では持ち帰り課題を多く課す。その自宅学習の成果を次の授業時間内に発表者を指名して受講者の前で発表させる。その発表内容について意見交換を行う。このアクティブ・ラーニングへの取り組み姿勢とその内容を評価に加える。提出された課題文章はすべて添削し、文章作成能力の向上を図る。仲間と協働することの意義と楽しさを体得させる。
履修のポイント
大学は教育・研究機関である。自ら課題を発見し、その課題にどの様に取り組み、そして解決するかを学びとることにこそ大学での学びである。「仲間とともに、積極的に」という姿勢を自ら育てていくこと。
オフィス・アワー
講義時間の前後の時間及び休み時間

講義コード	11180001
講義名	教育心理学
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
区分	教職科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-F421
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 大澤 靖彦	指定なし

授業の概要と教育目標

教師が学校現場で児童・生徒と対応する際には、彼らが、今現在発達的にどのような状況におかれているのか、また、そのときの心の状態はいかなるものなのか、ということに配慮しながら接することが求められる。この科目では、人は環境と相互に作用しあう存在であることを踏まえて、人の発達過程、学習過程、教授過程について講義する。授業は講義形式で行うが、授業後半では実習も取り入れ、学生による「模擬授業」を実施する。なお、青年期までの人の発達過程とその特徴、学習のしくみと学習を規定する要因と障がい、教授の類型について理解を深めることを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科・栄養学科のディプロマポリシーとの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人に対する理解を深めることを目指し、心理的側面の理解を通してその目的達成に資する知識を養う。そして将来的な展望としては、心身の発達理論を理解しつつ、多様な人間のライフステージ、ライフサイクルを理解するという発達の側面、そして知識を収めていく学習の側面、発達課題に直面した際の課題未達成からくる適応の問題の側面から教職実践の基盤となる学修を行うことを目指すものとする。

到達目標

１．教育心理学で使用されるさまざまな専門用語の意味を理解する。
２．青年期までの人の発達過程とその特徴について理解する。
３．学習のしくみと学習を規定する要因、および障がいについて理解する。
４．「教える」ということを体験を通じて実感し、自ら「教える」立場をシュミレーションする。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
	オリエンテー		予習90分：

第1回	ション 教育心理学の概要	オリエンテーション 育心理学で取り扱う内容について、その概要（発達・学習・教授）を取り上げる。	教科書pp.12-21を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第2回	人生初期の発達①	発達の基本的な原理、発達の最近接領域について取り上げる。	予習90分：教科書pp.22-25,33-39を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第3回	人生初期の発達②	認知発達を中心に、乳児期から児童期の発達を取り上げる。	予習90分：教科書pp.25-30を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第4回	青年期の発達①	人生初期からの人間関係と社会性の発達を取り上げる。	予習90分：教科書104-114を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第5回	青年期の発達②	青年期の発達課題として、エリクソンのアイデンティティの獲得について取り上げる。	予習90分：教科書pp.30-33、114-122を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第6回	障がいの理解	発達障がいの種類や特徴、学級内で障がいを抱えた児童・生徒への理解と対応について取り上げる。	予習90分：教科書pp.159-174を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第7回	さまざまな学習理論①	刺激と反応の結びつきを重視する学習の連合理論と認知の変容を重視する学習の認知理論を中心に、学習のしくみを取り上げる。さらに、学習理論から生まれたソーシャル・スキルトレーニングを取り上げる。	予習90分：教科書pp.41-54を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
			予習90分：

第8回	さまざまな学習理論②	記憶、授業における学習指導の理論、学習の個性化を取り上げる。	教科書pp.55-70、175-182を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第9回	学習の規定因①	学習の規定因としての動機づけ理論と、動機づけ向上に必要な事項について取り上げる。	予習90分：教科書pp.72-88を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第10回	学習の規定因②	学習を規定する要因としてのパーソナリティの理論、知能の構造、測定方法を取り上げる。	予習90分：教科書pp.89-103を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第11回	学習の規定因③	適応と不適応、適応機制の考え方を取り上げる。	予習90分：教科書pp.141-157を読む。 復習90分：配布資料を見直す。
第12回	学校教育相談	教育相談の意義と役割および教育相談の歩みとその方法について取り上げる。	（予習90分：教科書8章を読む。） 復習90分：配布資料を見直す。
第13回	教授技法①	教える技術、伝える技術、授業づくりの留意点をおさえて、「教える」ことをシュミレートする模擬授業を行う。他の履修者は、授業評価をし、授業担当者にフィードバックする。この経験を教育実習の参考として役立てられるようにする。	予習90分：模擬講義資料作り。 復習90分：模擬講義ふり返り。
第14回	教授技法②	第13回目の授業から、さらに発展させ、応答技法の留意点もおさえて、「教える」ことをシュミレートする模擬授業を行う。他の履修者は、授業評価をし、授業担当者にフィードバックする。この経験を教育実習の参考として役立てられるようにする。	予習90分：模擬講義資料作り。 復習90分：模擬講義ふり返り。
第15回	教育評価授業	教育評価の方法や手法、さまざまな観点から見た評価の種類と特徴、学力のとらえ方や測定方法について取り上げる。	予習90分：教科書pp.182-192を読む。

	のまとめ		復習90分：配布資料を見直す。

教科書
桜井茂男監修 『実践につながる教育心理学』 北樹出版
参考書
適宜紹介する。
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上。 筆記試験40%、レポート・課題30%、授業への積極性・態度30%を総合して評価します。
課題等に対する フィードバックの方法
授業内でレポートや課題を課すことがある。返却するので学習の参考にすること。また、授業の振り返りの資料とその解答を配布するので、授業内容の理解に役立てること。
履修のポイント
授業への積極的な取り組みを期待します。予習として各回の主題に該当する教科書の章に目を通すこと、復習として配布資料・ノートのまとめを復習として勧めます。
オフィス・アワー
水曜日・木曜日、12：30〜13：20（昼休み）、11 号館第 8 研究室。 ※講義終了前後にも、適宜受け付けます。

講義コード	11190001
講義名	教育課程論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	
代表時限	
区分	教職科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-F430
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 佐々木 尚毅	指定なし

授業の概要と教育目標

学校教育が所期の目的をより効果的に達成しようとする観点から、まず、教育課程の意義、構造、機能、歴史といった基本的な事項について説明を行う。次いで、学習指導要領を用いて、学校や地域、子どもの実情を踏まえたカリキュラムマネジメントの実際、評価の観点、教育計画と教育方法との接続について体験的学習を交えながら、理解を深めていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部のディプロマ・ポリシーのひとつである「人間に対して、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から理解している」ことを第一に内容を精選する。人は年齢を重ねただけでは大人にはなれない。人は人のなかで人になっていく。その人のなかでも、学校は児童生徒の発達段階に則して、その成長を支え見守り励ますという重要な機能と役割をもっている。そうした学校教育の背景にあるカリキュラム理論を理解し、教育の意義及び役割を学ぶ。また、受講者が自分自身の適正について熟考し、進路を考える。

到達目標

学校教育における教育課程の意義と構造・機能を理解し、編成に関する基本的な事項についての知識を学ぶことが目的である。その際、学習指導要領を教育課程編成の基準としながら、各学校の実情に合ったカリキュラムマネジメントを行うことにより、社会に開かれた教育課程を実現していく意義と具体的な手立てについて考察を深めていく。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	学校教育と教育課程	学校の性質と教育内容の組織化、教育課程の意義	復習90分:レポート作成「教師志望の動機」作成
第2回	教育課程の概念	教育課程の定義、学習内容観と教育課程のタイプ	予習30分:第1回配付資料の通読 復習30分:『子ども・若者白書』指定個所を読む
		哲学的条件、社会学的条	30 :

第3回	教育課程の条件	件、心理学的条件、教育学的条件	予習　分 課題図書を読み課題文書作成 復習20分:教科書の指定個所を読む
第4回	歴史のなかの教育課程	社会の発展段階と教育課程の特徴	予習30分:教育基本法通読 復習30分:教基法確認テストに向けた学習
第5回	現代社会と教育課程	「知識基盤社会」の「人間化」された「社会に開かれた教育課程」	予習30分:配布課題図書を読む 復習30分:配布課題図書を読む
第6回	人間の成長と教育内容	発達段階への対応、可塑性への働きかけ、社会化と教育内容	予習40分:調べ学習「指導要領の変遷」 復習50分:今次改定のポイントを学習
第7回	教育内容の構造	教科の構成、教育内容の精選と構造化、教科外の教育内容	予習40分:調べ学習「指導要領の変遷」 復習50分:今次改定のポイントを学習
第8回	単元の設定	単元の意義、教材単元と経験単元、単元の構成と教材の準備	予習40分:調べ学習「指導要領の変遷」 復習50分:今次改定のポイントを学習
第9回	教育課程の編成	全体的教育課程と個別的教育課程、教育課程編成に関する法令等	予習40分:調べ学習「指導要領の変遷」 復習50分:今次改定のポイントを学習
第10回	教育課程編成における定性化	教育課程編成の基本的観点、内容の重点化と構造化	予習20分:調べ学習（学校「年間指導計画」）復習20分:配布資料の再読
第11回	教育課程編成における定量化	定量化の必要性と観点、配当時間との関係	予習30分:配付資料「評価」を読む 復習60分:「指導と評価の計画」の作成
第12回	教育課程の実施	年間計画と時間割・日課表、教材・教具との関係	予習90分:「総合的な学習の時間」の指導案作成 復習90分:「総合的な学習の時間」の指導案修正
第13回	教育課程の評価	評価の視点と方法、教育課程の接続と改善	予習90分:「道徳の時間」の指導案作成 復習90分:「道徳の時間」の指導案修正
第14回	学習指導要領の教育課程改革	現代社会に対する学習指導要領の戦略	予習90分:「特別活動」の指導案作成 復習90分:「特別活動」の指導案修正
第15回	授業のまとめ	基準性と個別性の観点から振り返り	予習90分:作文「教師とは学校とは教育とは」 復習90分:総復習

教科書

平成29年3月31日公示小学校学習指導要領、中学校学習指導要領

参考書

広岡義之著『はじめて学ぶ教育課程』ミネルヴァ書房 2016年 無藤 隆著『新しい教育課程におけるｱｸﾃｨﾌﾞな学びと教師力・学校力』図書文化社 2017年

成績評価の方法・基準

定期試験50％、授業末に実施する小テストや課題提出物等50％の割合で総合評価し、60点以上合格。

課題等に対する フィードバックの方法
授業では持ち帰り課題を多く課す。その自宅学習の成果を次の授業時間内に発表者を指名して受講者の前で発表させる。その発表内容について意見交換を行う。このアクティブ・ラーニングへの取り組み姿勢とその内容を評価に加える。提出された課題文章はすべて添削し、文章作成能力の向上を図る。仲間と協働することの意義と楽しさを体得させる。
履修のポイント
大学は教育・研究機関である。自ら課題を発見し、その課題にどの様に取り組み、そして解決するかを学びとることにこそ大学での学びである。「仲間とともに、積極的に」という姿勢を自ら育てていくこと。
オフィス・アワー
講義時間の前後の時間及び休み時間

講義コード	11200001
講義名	教育方法論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
区分	教職科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-F440
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 山上 裕子	指定なし
教 員	宮内 洋	指定なし

授業の概要と教育目標

教育の方法は、学ぶ者、学ばれる内容に関連する生きたものである。将来、社会を担っていく子どもの成長を考えた学びをどう実現していくのかを問い、授業を創意工夫していく必要がある。特に現在は、自ら主体的に考えるアクティブな学びとなるような授業が求められている。本講義では、授業を創意工夫していくための基礎的理論をもとに、授業の構成要素や学習評価、授業の基礎的な技術や指導案の作成及び模擬授業を行う。そして、授業機器を活用した効果的な授業や情報活用能力の育成を視野に入れた適切な教材の作成・活用に関する基礎的な能力を身に付ける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

各科において獲得された専門知識を発達段階に応じて主体的に自ら学ぼうとするアクティブな学びをどう工夫するかを考えることを目指す。また、授業を考えるために、チームを組んで議論をし、様々なニーズや問題を解決する力の修得を目指す。

到達目標

①教育方法の基礎理論について理解する。
②授業の構成要素や多様な学習評価について理解する。
③授業の指導技術のポイントを理解する。
④授業の基礎理論を踏まえた指導案を作成できる。
⑤児童・生徒の興味・関心を高めたり、学習内容を的確にまとめさせたりするために、情報機器を活用し、効果的に教材等を作成・提示することができる。
⑥児童・生徒の情報活用能力を育成するための指導法を理解し、情報モラル教育についても理解し、児童・生徒を指導できる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
	オリエンテー		・予習：シラバスを通読し授業

第1回	ション 現在求められている授業	・講義内容について説明を受け、学習目標を確認する。 ・自身が受けてきた授業について情報交換し、善い授業を考える。 ・現在求められている学びについて考える。	内容を知る。（30分） ・復習：授業内容をノートにまとめる。（30分）
第2回	教育方法の基礎理論	・子どもから学びが始まる、という教育観にたった先人たちの提案した教育方法の考え方とその実践について学ぶ。具体的には、ルソーの消極的な教育、ペスタロッチの直観教授法、デューイの問題解決学習などである。	・予習：配付資料を読む。（30分） ・復習：授業内容をノートにまとめる。（30分）
第3回	授業の構成要素	・基礎理論から授業には様々な要素があることを見出し、授業の目的に応じて環境を構成する必要性を学ぶ。	・予習：配付資料を読む。（30分） ・復習：授業内容をノートにまとめる。（30分）
第4回	多様な学習の評価	・授業形態に応じた多様な評価について、基礎理論に立ち返りつつ、何をどのように評価を行うのかを学ぶ。 ・模擬授業の内容をグループで話し合う。	・予習：配付資料を読む。（30分） ・復習：模擬授業に向けて準備を進める。（30分）
第5回	指導案の作成	・基礎理論を踏まえて、指導案を作成する。 ・指導案の作成の仕方について、具体的な注意点を学ぶ。 ・協力して、指導案を作成する。	・予習：模擬授業の準備を進める。（60分） ・復習：模擬授業に向けて準備を進める。（60分）
第6回	模擬授業	・話し方、板書の仕方等に留意し、作成した指導案を試す。 ・より善い授業について討議を行う。	・予習：模擬授業の準備を進める。（60分） ・復習：これまでの学びを振返りレポートにまとめる。(90分)
第7回	情報機器とネットの活用	・情報機器を活用して効果的に教材等を作成・提示する方法とその注意点を学ぶ。	・予習：情報機器の練習（30分） ・復習：授業の振り返り（30分）
第8回	情報機器とネットの問題点	・児童・生徒の情報活用能力（情報モラルを含む）を育成するための指導法を学ぶ。	・予習：情報機器の練習（30分） ・復習：授業の振り返り（30分）

教科書
・中学校学習指導要領総則（平成29年3月告示 文部科学省） ・高等学校学習指導要領総則（平成30年3月告示 文部科学省）
参考書
・佐藤学『教育の方法』左右社、2012年。 ・古藤泰弘『教育方法学の実践研究』教育出版、2013年。 ・今度珠美ほか『スマホ世代の子どものための主体的・対話的で深い学びにむかう情報モラルの授業』日本標準 その他、授業中に適宜資料を配付する。
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上（レポート80％、授業参加度20％）
課題等に対する フィードバックの方法
授業中のワークは、ワーク後返却するので、適宜、自身の学びに役立てること。
履修のポイント
これまで受けてきた授業を振り返るとともに、自身で授業が工夫できるようにポイントをつかむこと。
オフィス・アワー
授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じます。 yamakami@koriyama-kgc.ac.jp

講義コード	11210001
講義名	生徒指導論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	5時限
区分	教職科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-F441
学年	2学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田口 和人	指定なし

授業の概要と教育目標

①教科・道徳・総合的な学習の時間・特別活動における生徒指導の意義や重要性を理解すると同時に、教育課程全般のなかでの生徒指導の位置づけを理解する。
②集団指導・個別指導また「個人と集団」という概念のもとで、生徒指導について考える。
③子どもの成長発達の段階を踏まえながら、基本的生活習慣や規範意識の重要性について考える（養護教諭・栄養教諭の立場から）。
④学校教育における体罰、いじめ、不登校、インターネットや性、また児童虐待に関する問題などを具体的に取り上げながら、これらへの対応について考える。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間を対象とする教育職員の役割を念頭に置いて、社会・環境・コミュニケーションについての認識を深める。また、多様な社会のニーズ、変化に対応できるように、自らの「資質・能力」を高めることに努める。

到達目標

生徒指導は、一人ひとりの児童及び生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じて行われる、学習指導と並ぶ重要な教育活動である。他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付ける。

授業計画

	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	「生徒指導とは何か？」について、これまで受けてきた学校教育の記憶やイメージをたどりながら、教育課程のなかでのその位置付けについて理解する。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第2回	生徒指導の経験的なイメージを踏まえながら、教育活動の二つの形態（教授と陶冶）について考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。

第3回	学校教育また学校生活の具体的な場面をイメージしながら、生徒指導の有り様について考える。― 視聴覚教材を用いる ―	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第4回	特別活動・総合的な学習の時間における生徒指導の様態について考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第5回	児童生徒の問題行動に対する生徒指導の対応の仕方ついて学び、考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第6回	学校教育・部活動でなくならない体罰の実態について考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第7回	校則及び不登校（引きこもり）について考える。＜アクティブ・ラーニング＞	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第8回	「いじめ（いじめ自殺）」の視聴覚教材をみて、感想・意見をレポートする。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第9回	第８回での感想・意見をもとに、「いじめ」問題についての理解を相互に深める。＜アクティブ・ラーニング＞	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第10回	児童生徒を取り巻くインターネットや性に関する問題について考える。＜アクティブ・ラーニング＞	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第11回	養護教諭・栄養教諭を前提として、基礎的生活習慣の確立や規範意識の醸成に向けた生徒指導について考える。― 朝食欠食問題・不規則な生活習慣などを事例に ―	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第12回	養護教諭・栄養教諭が担任教諭との協力で進める生徒指導について考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第13回	クラスでの生徒指導に関するケース・スタディとグループディスカッション。＜アクティブ・ラーニング＞	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第14回	第13回でのディスカッションをもとに、プレゼンテーションと相互検討。＜アクティブ・ラーニング＞	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第15回	学校教育における生徒指導に関する総合的な理解を深める。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。

教科書
なし
参考書
『生徒指導提要』（平成22年）『小学校学習指導要領』（平成29年） 『中学校学習指導要領』（平成29年） 岩城隆次・森嶋昭伸編著『生徒指導の新展開』ミネルヴァ書房
成績評価の方法・基準
定期試験（80%）、授業時のレポート（20%） 単位認定基準60%以上
課題等に対する フィードバックの方法
授業内でレポートや課題を課すことがある。返却するので、授業の振り返りとして役立てること。
履修のポイント
主体的、対話的で深い学びを期待します。
オフィス・アワー
火曜日・木曜日の12：30～13：20（昼休み） 11号館第7研究室 ※授業終了後も、適宜受け付けます。

講義コード	11211001
講義名	特別支援教育論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
区分	教職科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-F422
学年	1学年

担当教員

職種	氏名	所属
教 員	◎ 小林 徹	指定なし

授業の概要と教育目標

担当者の中学校特別支援学級担任教諭としての指導経験や市町村教育支援委員としての幼稚園・保育所等との連携の経験に基づき、研究成果も踏まえて以下の内容を講義する。
１．特別支援教育を支える理念や歴史的変遷について理解する。
２．特別支援教育の場（機関）と制度の現状をとらえる。
３．さまざまな障がいと障がい児、特別な配慮を要する子どもの理解の視点と方法について理解する。
４．障がい児等の個別支援計画の作成、評価について理解する。
５．特別支援教育の実際について理解を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ・ポリシーとの関連としては、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から、さまざまな障がいと障がい児、特別な配慮を要する子どもを理解することで人間理解を目ざす。
また、特別支援教育の理解を通して、さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階における科学的知識を修得し、実践的な援助技術の修得を目ざす。

到達目標

１．特別支援教育の理念や制度、その歴史や支援機関の現状をどの程度理解できたか。
２．障がい児や特別な配慮を要する子どもの個別指導（支援）計画の作成、評価についてどの程度理解できたか。
３．さまざまな障がいと障がい児や特別な配慮を要する子どもを支援するための視点と方法について理解できたか。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	特別支援教育の考え方、制度と仕組み	障がい児、特別な配慮を要する子ども、特別支援教育の基礎概念、特別支援教育と障がい児福祉の制度とその仕組みについて学習する。	【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。 【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。

第2回	障がいとの出合いと子育て、保護者支援	保護者と障がいとの出合いと保護者支援、障がいのある子どもの子育ての考え方と療育の実際を映像を通して学習する。	【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。 【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第3回	障がい児の理解と支援①発達障がい・知的障がい・情緒障がい	映像を通して発達障がい、知的障がい、情緒障がいに関する基礎的概念を整理し、その支援方法を考える。	【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。 【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第4回	障がい児の理解と支援②肢体不自由・視覚障がい・聴覚障がい・言語障がい	肢体不自由・視覚障がい・聴覚障がい・言語障がいに関する基礎的概念を整理し、その支援方法を考える。	【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。 【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第5回	障がい児の理解と支援③病弱・重複障がい・その他の特別な教育的ニーズ	病弱・重複障がいに関する基礎的概念を整理し、その支援方法を考える。また、障がいはないが、特別な教育的ニーズをもつ子どもについて学び、その支援方法を考える。	【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。 【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第6回	他機関との連携、幼保小中高の接続	障がい児支援に関わるさまざまな工夫について紹介し、理解を深める。また、幼保小中高の接続を含めたさまざまな機関との連携について学習する。	【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。 【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第7回	個別の教育支援計画と個別の指導計画の作成と活用	子どもの有する特別な教育的ニーズをどのように見出し、理解するかを個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成を通して学習する。また、作成した計画をもとにして具体的な支援を考察する。	【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。 【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。
第8回	特別支援教育のこれまでとこれから	特別支援教育の歴史的変遷について学習する。そして、今後のインクルーシブ教育システムの構築に向けた考察を行う。	【予習90分】当日の内容をテキストで確認する。 【復習90分】授業を踏まえてまとめと質問シートを作成する。

教科書

小林徹・栗山宣夫編著『ライフステージを見通した障害児の保育・教育』みらい,2016

参考書

適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
レポート試験（50%）、毎回提出する小レポート（30%）、小テスト（20%）

**課題等に対する
フィードバックの方法**

毎回提出する小レポートや小テストを参考にして、期末のレポート試験を受けること。

履修のポイント

障がいや障がい児について関心をもち、学習を深めてほしい。

オフィス・アワー

授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じる。

講義コード	11220001
講義名	道徳教育及び特別活動の研究
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	木曜日
代表時限	３時限
区分	教職科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-F470
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田口 和人	指定なし

授業の概要と教育目標

教育課程における道徳教育・特別活動の位置について理解することを第一に行います。その上で、道徳教育と特別活動を一応区分したうえで、それぞれについて「グループ討議」を行います。また視聴覚教材を見て道徳の授業についての理解を深めます。
教育課程における道徳教育・特別活動の位置について理解すると同時に、今日の子どもたちが置かれた状況を考慮した場合に、どのような道徳教育・特別活動が求められるのかについて考えることを学習の目標とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間を対象とする教育職員の役割を念頭に置いて、社会・環境・コミュニケーションについての認識を深める。また、多様な社会のニーズ、変化に対応できるように、自らの「資質・能力」を高めることに努める。

到達目標

日本の道徳教育は1945年を境とする戦前・戦後では大きく変わりました。それは特別活動にも同様のことがいえます。何がどのように変わったのかについて理解することを一つの目標とします。その上で、今日の子どもたちが抱える様々な教育問題を想定しながら、求められる道徳教育・特別活動はどのようなものであるかについて、自分自身で考えることを二つ目の目標とします。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	教育課程における道徳教育／特別活動	道徳教育とは、特別活動とは（教育課程についての説明）。日本の近代教育における道徳教育と特別活動について考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第2回	学校教育について	教育活動の二つの形態（教授と陶冶）について学習する。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。

第3回	学習指導要領と道徳教育／特別活動	今日の道徳の教科化を念頭に、学習指導要領と道徳教育・特別活動について学習する。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第4回	道徳の授業	道徳の授業の視聴覚教材を見て、批判的な検討・学習を行う。 ＜アクティブ・ラーニング＞	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第5回	特別活動の授業	学級活動、児童会活動及び生徒会活動、学校行事について学習する。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第6回	道徳教育／特別活動についてのグループ討議①	テーマを設定してグループごとに討議を行う。＜アクティブ・ラーニング＞	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第7回	道徳教育／特別活動についてのグループ討議②	グループ討議した内容を整理して、発表する。＜アクティブ・ラーニング＞	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第8回	まとめ	道徳教育と特別活動の現状と展望についてのまとめを行う。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。

教科書

なし

参考書

適宜、資料を配付します。

成績評価の方法・基準

単位認定：60点以上 筆記試験80%、授業中のレポート、発言20%で評価します。

課題等に対するフィードバックの方法

授業内でレポートを課すことがある。返却するので学習の参考にすること。また、授業内での自分自身の発言の参考にすること。

履修のポイント

主体的、対話的で深い学びを期待します。

オフィス・アワー

火曜日・木曜日の12：30～13：20（昼休み） 11号館第⑦研究室
※授業終了後も、適宜受け付けます。

講義コード	11220002
講義名	道徳理論・特別活動論（旧 道徳教育及び特
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
代表曜日	
代表時限	
区分	教職科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-F470
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 田口 和人	指定なし

授業の概要と教育目標

教育課程における道徳教育と特別活動の位置について理解することを第一義的に行う。その上で、道徳教育と特別活動を一応区分した上で、それぞれについてグループ討議を行う。また、視聴覚教材を見て道徳の授業について理解を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間を対象とする教育職員の役割を念頭に置いて、社会・環境・コミュニケーションについての認識を深める。また、多様な社会のニーズ、変化に対応できるように、自らの「資質・能力」を高めることに努める。

到達目標

教育課程における道徳教育と特別活動の位置について理解すると同時に、今日の子どもたちが置かれた状況を踏まえて、どのような道徳教育と特別活動が求められるかについて考えることを目標とする。

授業計画

	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	教育課程のうえで、道徳教育・特別活動について理解する。また、日本の近代教育における道徳教育と特別活動について学習し、考える。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第2回	学校教育の教育活動の二つの形態（教授と陶冶）について学習する。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第3回	学習指導要領と道徳教育・道徳科・特別活動について学習する。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第4回	道徳の授業についての視聴覚教材を見て、批判的な検討・学習を行う。＜アクティブ・ラーニング＞	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。

第5回	学級活動、児童会活動及び生徒会活動、学校行事について学習する。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第6回	「食と命」をテーマとした指導案を、グループごとに作成する。 ＜アクティブ・ラーニング＞	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第7回	第６回で作成した指導案を報告して、相互検討を行う。 ＜アクティブ・ラーニング＞	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。
第8回	道徳教育と特別活動の現状と展望についてのまとめを行う。	予習90分：教育に関する事象について調べる。復習90分：配付資料を見直す。

教科書
なし
参考書
『小学校学習指導要領』『中学校学習指導要領』『道徳の教科書』
成績評価の方法・基準
定期試験（80%）、授業時のレポート（20%） 単位認定基準60%以上
課題等に対する フィードバックの方法
授業内でレポートを課すことがある。返却するので学習の参考にすること。また、授業内での自分自身の発言の参考にすること。
履修のポイント
主体的、対話的で深い学びを期待します。
オフィス・アワー
火曜日・木曜日の12：30～13：20（昼休み） 11号館第7研究室 ※授業終了後も、適宜受け付けます。

講義コード	11230001
講義名	教育相談論
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時限	４時限
区分	教職科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UM-F472
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 山本 裕詞	指定なし

授業の概要と教育目標

学校における教育相談について、その目的の理解から入り、徐々に具体的技法や現実の児童生徒を想定した教育相談の在り方を明らかにしていきます。カウンセリングやソーシャルワークの技法にも学びながら、教師の専門性として教育相談が展開されることの意義について理解を深めていきます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

ディプロマポリシーにおいて重視されている「人間の理解」との関係で、教育相談の必要性を理解し、基礎的知識を得るとともに、実践する際の基礎力を身に付けます。

到達目標

1.教育相談の必要性、学校教育上の位置付けについて理解する。
2.子どもの成長発達上の課題や、それに対する現代社会の影響を踏まえた対応を理解する。
3.教育相談の技法を支える人間観を理解する。
4.教育相談に係わる多様な専門職性を理解し、チームアプローチの基礎的知識を得る。
5.事例を通して、教育相談を実践する基礎を培う。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習と そのために必要な時間
第1回	1.オリエンテーション 2.教育相談の目的	1.授業のねらい、方法、評価の在り方について 2.なぜ学校が必要で、なぜ学校で教育相談が必要とされるのか アクティブ・ラーニングの内容（上記２について、自己の体験を省みて意見をまとめ、発表を通して学びを共有する）	復習180分
第2回	教育相談の現在	1.広義の教育相談と狭義の教育相談 2.近年の学校教育相談の動向 アクティブ・ラーニングの内容（生徒指導と教育相談の関係を実感できた経験を、グ	生徒指導提要等によって、事前に教育相談と生徒指導の概念間の関係を下調べする。

		ループ間で話し合い、発表を通して学びを共有する）	復習。合計180分
第3回	教育相談の機能と学校内の位置付け	1.学校教育相談の４機能 2.学校内組織における教育相談の位置付け アクティブ・ラーニングの内容（自己の体験を上記１の４機能に分けてワークシートにまとめる）	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
第4回	教育相談の基本姿勢	1.心理的事実の受容・共感と客観的指導 2.教育相談の「心」 アクティブ・ラーニングの内容（グループ・ワークにより受容と共感を体験的に学ぶ）	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
第5回	教育相談の理論と技法	1.理論と技法に関する基礎知識の必要性 2.主な理論と技法に学ぶ アクティブ・ラーニングの内容（上記２について、個々人でワークシートに整理する）	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
第6回	児童生徒理解とは何か	1.意義と分類 2.児童生徒理解の基本姿勢と具体的方法 アクティブ・ラーニングの内容（ケース事例について、教師として適当な対応を考察し、意見を述べ合う）	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
第7回	児童生徒の一般的理解	1.一般的理解の必要性 2.心に関わる疾病・障害・行動特性・言動 アクティブ・ラーニングの内容（ケース事例について、教師として適当な対応を考察し、意見を述べ合う）	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
第8回	発達段階の理解	1.「発達」という概念の特徴 2.発達課題の考え方 アクティブ・ラーニングの内容（ケース事例について、教師として適当な対応を考察し、意見を述べ合う）	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
第9回	児童生徒理解の手法	1.「みる」「きく」ことによる理解 2.「探る」ための基礎知識 アクティブ・ラーニングの内容（心理テストを体験し、その結果について自己分析し、効果と感想をワークシートにまとめる）	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
第10回	校内教育相談体制の構築	1.管理職の役割と可能性 2.校内教育相談体制と担任の役割 アクティブ・ラーニングの内容（ケース事例について、教師として適当な対応を考察し、意見を述べ合う）	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
第11回	教育相談の組織的展開	1.異なる専門職との連携 2.専門機関との連携 アクティブ・ラーニングの内容（ケース事例について、教師として適当な対応を考察し、意見を述べ合う）	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
第12回	教育相談に必要な法令解釈	1.教育相談と法令 2.専門団体の倫理規定と校内の申し合わせ アクティブ・ラーニングの内容（当該主題に関する教員採用試験既出問題を各自が解いて提出する）	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
		1.	

第13回	開発的・予防的教育相談	自尊感情を育て、共感力を高める支援 2.相互支援を進め、集団成長を促す アクティブ・ラーニングの内容（ケース事例について、教師として適当な対応を考察し、意見を述べ合う）	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
第14回	問題解決的教育相談	1.発達障害のある児童生徒への対応 2.多様化する問題への対応 アクティブ・ラーニングの内容（ケース事例について、教師として適当な対応を考察し、意見を述べ合う）	生徒指導提要等によって、当該主題の下調べを行う。 復習。合計180分
第15回	これからの教育相談	1.授業のまとめ 2.小試験による学習効果の自己確認	復習180分

教科書

使用しません。授業中、必要に応じてプリント等を配布いたします。但し、下記「参考書」に示した『生徒指導提要』は予習復習に活用できますので、用意することを強く推奨します。

参考書

文部科学省『生徒指導提要』2010年、文部科学省「児童生徒の教育相談の充実について（報告）」（以上の2点は、文科省HPから入手可能）、島崎政男『入門 学校教育相談』学事出版2014年。

成績評価の方法・基準

60点以上の評価で単位を認定します。評価の割合は、授業中に数回実施予定の確認テストで50%、授業最終回のまとめの後に実施する試験によって50%です。欠席、遅刻、早退、課題の未提出等は減点の対象とします。詳細は、初回授業オリエンテーションにおいて説明します。

課題等に対するフィードバックの方法

授業内容の予習・復習を中心とした自主的な学びが必要となります。

履修のポイント

「教育相談」の原理的理解に努めながらも、同時に、児童生徒の多様な状況・生活背景等を想像することが重要です。

オフィス・アワー

授業の前後で質問に応じます。また、文章で質問してくだされば、次回の授業時で回答をお渡しします。

講義コード	11240001
講義名	教職実践演習（養護教諭）
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	３時限
区分	教職科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-F480
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 黒岩 初美	指定なし
教員	大澤 靖彦	指定なし
教員	間戸 美恵	指定なし

授業の概要と教育目標

【授業の概要】第1回目に、養護担当教員と教職担当教員によるオリエンテーションを行う。また、各自の課題把握状況と授業に対する希望調査を行う。その後、希望調査の結果を踏まえた授業内容で課題を改善する。後半では、各自の課題について調べ学習を行い、その成果を模擬授業形式で発表し、検討会を通して自他の評価を行い学習成果の共有を図る。
【教育目標】
・これまでの学びを通じて、養護教諭として最小限必要な資質能力が有機的に統合され形成されたかについて確認する。
・教師になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、不足している知識や技能等を補う。
・子ども・保護者・教師が期待する養護教諭像を知り、自らが目指す養護教諭像を考える。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマポリシーとの関連として、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人に対する理解を深めることを目指し、心理的側面の理解を通してその目的達成に資する知識を養う。そして将来的な展望としては、心身の発達理論を理解しつつ、多様な人間のライフステージ、ライフサイクルを理解するという発達の側面、そして知識を収めていく学習の側面、発達課題に直面した際の課題未達成からくる適応の問題の側面から教職実践の基盤となる学修を行うことを目指すものとする。

到達目標

①教育実習評価、実習日誌、履修カルテ等により自己の課題を捉えることができる。
②把握した自己の課題を改善すべく、不足している知識を学修し、技能を身に付ける。
③子ども・保護者・教師が期待する養護教諭像を知り、自らが目指す養護教諭像を描くことができる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な

			時間
第1回	9/25 オリエンテーション 自己の課題把握と学びの希望調査	教職実践演習の内容とスケジュールの確認。 【アクティブラーニングの内容】 自己の課題把握と学びの希望調査シートの作成。	予習90分：事前にシラバスや参考書を確認する。 復習90分：配布資料の整理、見直し。
第2回	10/2 希望調査と授業と討論①	1「養護教諭からの養護去湯をめざす学生に期待すること」講話 養護教諭の職務「5領域」をもと必要な能力について他 2各自で深めたい知識・技能について第一回目の回答を検討し5項目に具体化ワークシート2に記入する。 3グループワークで5課題を検討後ワークシート2にグループで取り組んでみたい課題を記入し提出する。 抽出する。	予習90分：実習記録簿等より今まで瀬の学修を振返る。。 復習90分：出た課題の項目について教科書等参考文献等から復習する。
第3回	10/ 9希望調査を踏まえたテーマによる授業と討論②	学校で比較的よくみられる事象について、発達的視点だけでなく多面的にとらえる姿勢を身につける。 【アクティブラーニングの内容】 グループ・ディスカッションを通じて、児童生徒の行動特徴を発達課題だけに留まらず、生物・心理・社会の視点から多面的に理解する。	予習90分：事前にシラバスや参考書を確認する。 復習90分：配布資料の整理、見直し。
第4回	10/16 希望調査を踏まえたテーマによる授業③ 不登校の理解と対応①	不登校の理解と対応① 不登校における諸問題の多面的理解と対応 【アクティブラーニングの内容】 不登校における具体的な事象についてグループ・ディスカッションを行い、児童生徒を多面的に理解する。さらに、対応策についても検討する。	予習90分：事前にシラバスや参考書を確認する。 復習90分：配布資料の整理、見直し。
第5回	10/16 希望調査を踏まえたテーマによる授業と討論会と討論会④ 不登校の理解と対応② 模擬授業に向けて	不登校の理解と対応② 子どもたちの現代的健康課題と保健教育の題材について 【アクティブラーニングの内容】 不登校における基本的理解と対応について検討する。	予習90分：事前にシラバスや参考書を確認する。 復習90分：配布資料の整理、見直し。
第6回	10/30 希望調査を踏まえたテーマによる授業と討論会⑤ 保健室経営について	養護教諭の役割と保健室の機能を理解し、児童生徒の健康課題を捉える。 【アクティブラーニングの内容】 児童生徒の健康課題を踏まえた保健室経営計画を作成する	予習90分：事前にシラバスや参考書を確認する。 復習90分：配布資料の整理、見直し。
第7回	10/30 希望調査を踏まえたテーマによる授業と討論会⑥ 保健室経営に関する事例研究	保健管理：健康診断の計画、事前、実践、事後措置までの一流れを内容を教育実習での経験と現職養護教諭の事例研究をとおして学修する。 【アクティブラーニングの内容】 グループ・ディスカッションを通じて、教育実習での経験を発表し実践事例からを学び合う。	予習90分：事前教科書や参考書で基本について確認する。 復習90分：配布資料の整理、見直し。

第8回	11/6 希望調査を踏まえたテーマによる授業と討論会⑦ 支援が必要な子ども達の関わり方について	支援が必要な子ども達の関わり方について 養護教諭のアセスメント力、コーディネート力を生かした共通理解と役割分担による協働について 【アクティブラーニングの内容】 グループ・ディスカッションを通じて、教育実習での経験を発表し実践事例からを学び合う。	予習90分：事前にシラバスや参考書を確認する。 復習90分：資料の整理、見直し。
第9回	11/20 希望調査を踏まえたテーマによる授業と演習⑧学校で生じやすい救急対応	①ＡＥＤと運搬法の演習 【アクティブラーニングの内容】 事例のフィジカルアセスメント、手当をロールプレイでグループに別れて行う。	予習90分：事前にシラバスや参考書を確認する。 復習90分：配布資料の整理、見直し。
第10回	11/20 現職養護教諭の講話 保健室の機能と養護教諭の職務を生かした実践活動	1）思春期の子ども達が学ぶ中学校教育の実態について 2）保健室の機能と養護教諭の職務を生かした実践活動ついて 3）養護教諭の役割分担と連携・協働によるチーム支援の実践について	予習90分：事前にシラバスや参考書を確認する。 復習90分：配布資料の整理、見直し。
第11回	11/27 保健教育の効果的な活用方 講義と模擬授業の準備①	模擬授業の準備・教材つくり 【アクティブラーニングの内容】 グループに別れて、調べ学習を行い指導案の作成と教材つくりの準備をする	予習90分：事前にシラバスや参考書を確認する。模擬授業の準備。 復習90分：資料の作成、見直し。
第12回	11/27 保健教育の効果的な活用方 講義と模擬授業の準備②	模擬授業の準備・教材つくり 【アクティブラーニングの内容】 グループに別れて、調べ学習を行い指導案の作成と教材つくりの準備をする	予習90分：事前にシラバスや参考書を確認する。模擬授業の準備。 復習90分：資料の作成、見直し。
第13回	12/4 保健教育の効果的な活用方法 模擬授業とグループワーク①	模擬授業発表① 【アクティブラーニングの内容】 調べ学習を行いその成果を授業形式で発表し、グループワークで評価等まとめをする。 その後グループワークで検討した後にまとめをする。	予習90分：事前にシラバスや参考書を確認する。 復習90分：配布資料の整理、見直し。
第14回	12/4 保健教育の効果的な活用方法 模擬授業とグループワーク②	模擬授業発表② 【アクティブラーニングの内容】 調べ学習を行いその成果を授業形式で発表し、グループワークで評価等まとめをする。 その後グループワークで検討した後にまとめをする。	予習90分：事前にシラバスや参考書を確認する。模擬授業の準備。 復習90分：配布資料の整理、模擬授業のフィードバックの見直し。
第15回	12/18 補足とまとめ②	目指す養護教諭像について 【アクティブラーニングの内容】 教師、子ども、保護者が期待する養護教諭の姿とは」グループ・ディスカッションを行う。 教員免許更新制度と兼務発令等につい	予習90分：事前にシラバスや参考書を確認する。 復習90分：配布資料の整理、見直

		ての講義、履修カルテを用いて、教職課程の総合的な確認を行う。	し。

教科書

とくに指定しない。
必要に応じて、プリント等を配布する。

参考書

采女智津江編他『養護概説』(少年写真新聞社)2016年、岡田加奈子他編著『養護教諭のための現代の教育ニーズに対応した養護概論』（東山書房）2016年、徳山美智子他編著『学校保健』（東山書房）2016年、保坂亨他著『面接法』（北大路書房）2000年、『生徒指導提要』(文部科学省)2010年3月、教職員のための子どもの健康相談及び保健指導の手引』(文部科学省)2011年8月

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上。
グループへの貢献・発表・ミニレポート（60%）、課題レポート（40%）とする。

課題等に対する
フィードバックの方法

授業内でレポートや課題を課すことがある。返却するので学習の参考にすること。また、授業の振り返りの資料とその解答を配布するので、授業内容の理解に役立てること。

履修のポイント

・各自が自分の考えを積極的に発表し、共に学びあう場にしようと意識すること。
・各自の課題意識に基づいた自律的な学びを行なうこと。

オフィス・アワー

水曜日・金曜日12：30〜13：20（昼休み）11号館第8研究室、10号館202研究室黒岩
※授業の前後にも質問に応じます。また、個別相談したい場合は事前にアポイントを取ること。

講義コード	11250001
講義名	養護実習
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期
講義区分	実験・実習
基準単位数	4
代表曜日	
代表時限	
区分	教職科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-F473
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 黒岩 初美	指定なし

授業の概要と教育目標

教育実習生として、これまで学習した学校保健や養護教諭の職務に関する知識や技術を講話・観察・参加・実習の形で実習する。学校における教育活動全般について理解するとともに、児童生徒の実態や課題を把握し、学校保健活動推進の仕方を学ぶ。指導養護教諭より専門的な立場から行う児童生徒に対しての適切な指導や助言の在り方等を学ぶ。さらに、教育職員・組織人としての責任と自覚、専門職としての向上意欲、使命感の醸成を図る。教育目標は以下の通りである。
1 これまで学習した知識・理論・技術を実践を通して習得する。
2 児童生徒の実態と学校、地域の現状を知り、学校教育目標に学校保健の機能を活かした健康推進活動が実践されていることを理解する。
3 養護教諭として必要とされる資質・能力についての学習課題を捉える。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科のディプロマ･ポリシーは、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人間に対する理解を深めることを目指している。養護教諭養成の側面からこの目的達成に資するための知識を養う。具体的には看護学の基礎となる、人体のしくみ、健康の諸側面、関係法令、発達段階等の医療の基礎知識と教職科目や学校保健、養護教諭の専門科目等から教育者としての各種知識を学修し、「社会に出て役立つ人間」を目指す。

到達目標

養護実習を通して、
1「養護」の対象である児童生徒の心身・生活の状況及び健康問題の特質を理解をできる。
2学校保健の保健教育・保健管理・組織活動の実際に触れ、知識と実践を結びつけてより深く理解することができる。
3養護教諭と他教職員、保護者や地域等との連携や協働の実際を知ることができる。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
		・実習計画の細案の打ち合わせ（講義・観察・参加・実習別）	

第1回	第1週	情報収集と実習目標に向けた取組 健康診断の準備、実施事後措置等 研究授業までの計画	予習・復習各90分：事前＝準備資料の作成、実習要項、実習記録簿、実習校の実習計画案をもとに内容に応じた時間で予習、復習に取り組む
第2回	第2週	積極的に課題意識をもっての実践	予習・復習適宜…実習計画に沿って、振り返りと資料等の作成の準備を行う。
第3回	第3週	実習の成果を点検 ・各種の指導や実践をまとめて評価する。 ・得られた成果を確認する。 ・実習をまとめ、大学へ提出する報告書を作成する。	予習・復習適宜…実習計画に沿って、振り返りと資料等の作成の準備を行う。
第4回			

教科書

大谷尚子 中桐佐智子 編著養護教諭必携シリーズNo4「養護実習ハンドブック」（東山書房）

参考書

徳山美智子他編著「学校保健」（東山書房）
采女智津江編著「新養護概説（第7版）」（少年写真新聞社）

成績評価の方法・基準

単位認定60点以上、実習校での評価（50%）、実習記録等、レポート、実習報告会評価（50%）を目安に大学教職課程委員会と協議し総合判定とする。再実習は実施しない。

課題等に対する
フィードバックの方法

実習期間中、毎日実習内容の記録と自己の振り返りを行う。また、実習校の指導者との振り返りから予習や復習を行うとともに、資料作成や指導案作成等にについて質疑応答や検討会を行う。実習記録簿の提出を通して評価をうけ実習の効果を積み上げていく。

履修のポイント

実習校での積極的な体験及び反省評価を繰り返すことで成果が得られる。そのための事前準備が重要になる。

オフィス・アワー

10号館2階202研究室にて事前にアポイントを取りながら行う。また、本科目の講義の前後にも適宜受付る。

講義コード	11260001
講義名	教育実習事前事後指導
(副題)	【教職必修】
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	前期（重複②）
講義区分	演習
基準単位数	1
代表曜日	月曜日
代表時限	４時限
区分	教職科目
必修/選択	選択
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-F474
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 黒岩 初美	指定なし

授業の概要と教育目標

本科目は養護教諭免許状取得を目指す学生が、実習（養護実習）の事前に、その意義と学校現場における学び方、教育実習生の責任と立場を学習する。次に既修した学校教育活動全般、学校保健、養護教諭の職務に関する知識の定着と技術について学校で実践できるように再度演習を行う。また、実習要項と実習記録の仕方を理解する。健康観察等を通した児童生徒の実態の捉え方、学校保健活動の在り方、養護教諭の対応等現場で体験する事柄について専門職としての期待や信頼にこたえうる判断と態度、行動の在り方を学ぶ。養護教諭を目指すための目標を明確にし、実習に臨むための事前準備と実習後は教育現場で体験した事柄を振り返り、自己の課題解決に向けて取り組むことを本科目の目標とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

医療保健学部看護学科ディプロマ･ポリシーは、社会・環境・コミュニケーションなどの諸側面から人間に対しする理解を深めることを目指している。養護教諭養成の側面からこの目的達成に資するため知識を養う。具体的には看護学の基礎となる、人体のしくみ、健康の諸側面、関係法令、発達段階等の医療の基礎知識と教職科目や学校保健、養護教諭の専門科目の等から教育者としての各種知識を学修し、「社会に出て役立つ人間」を目指す。

到達目標

①児童生徒等の健康課題の背景要因を考えることができる。
②実習要項と実習記録の仕方を理解する。
③学校における教育活動全般と学校保健計画及び保健室経営との関連を理解し、実習校の特色や養護教諭の行う保健管理、保健教育、組織活動の例示ができる。
④「児童生徒の養護をつかさどる」活動に対する児童生徒・保護者・教職員のニーズを具体的に表現することができる。
⑤自己の課題解決を目指して取り組める。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
		学び方、授業の概要、学習目的について 実習の意義、実習に臨む姿勢、実習校との事	予習90分：養護教

第1回	教育実習・事前指導 オリエンテーション	前打ち合わせの内容 【アクティブラーニングの内容】 実習要項を基に、実習校のホームページ等からの調べ学習やワークシートでの記録の練習等をグループ毎にしていくことで教育実習に向けての意識を高め合う	諭になる目標を明確にする。教科書第1章を読む 復習90分：事前準備資料の作成
第2回	養護実習の内容と方法	目標と実習の内容及び記録の書き方と評価 【アクティブラーニングの内容】 先輩の実習記録簿を参考にしながら、記録簿用式のワークシートに実習時の日課を想定して記録する。グループで発表しあう(個人課題⇒集団討議⇒意見集約)	予習90分：実習要項と教科書第2章を読む 復習90分：事前準備資料の作成
第3回	子どもの心身の健康管理のための活動	定期康診断の事前、実施、事後措置 実技・演習：身体計測、視力検査、聴力検査、歯科健診と保健指導 【アクティブラーニングの内容】 各種検査の演習をグループに分かれて養護教諭役、担任役、児童生徒役になって交代でロールプレイングを行う	予習90分：教科書第5章,健康診断マニュアルを読む 復習90分：検診方法を身につける
第4回	子どもが過ごす学校生活と環境衛生活動、学校感染症	日常の学校教育活動 感染症と学校環境衛生 実技・演習：吐物処理・水質検査・照度検査・空気検査 【アクティブラーニングの内容】 動画視聴後、各種環境衛生検査の演習をグループに分かれて先生役、児童・生徒役、校医役になって交代でロールプレイングを行う。	予習90分：教科書第5章,参考文献を読む 復習：90分：検査方法吐物処理や環境査方法を身につける
第5回	保健室来室者への対応	学校救急体制および学校医療体制 救急処置の演習、確かなアセスメントと救急処置・対応 【アクティブラーニングの内容】 救急処置のアセスメントと手当の演習をグループに分かれて養護教諭役、担任役、児童生徒役を交代でロールプレイングを行う。	予習90分：教科書第5章,参考文献を読む 復習：90分：救急処置の方法を身につける
第6回	保健教育	保健教育：集団と個別的保健教育の実際 対象、テーマ、指導内容について、校種別、発達段階、現代的健康課題、学校の実態に即して捉え、テーマを決め、保健教育の演習に向けて指導案を作成する	予習90分：指導案を作成する 復習：90分：参考資料等を活用し指導案を校正する
第7回	養護実習報告会と養護実習の自己評価	養護実習の成果と課題について各自でプレゼンテーションする 養護実習の成果を評価、総括 【アクティブラーニングの内容】 養護実習報告の発表と評価をしあう	予習90分：プレゼンテーション資料の作成 復習90分：発表資料を読み直しレポート作成をする 熟読復習90分 配布資料「事前準備所領の作成
8	養護実習報告会と養護実習	養護実習の成果と課題について各自でプレゼンテーションする	予習90分：プレゼンテーション資料の作成

第 回	の自己評価 授業のまとめ	養護実習の成果を評価、総括 【アクティブラーニングの内容】 養護実習報告の発表と評価をしあう	復習90分：発表資料を読み直しレポート作成をする
第9回			

教科書
改定「養護実習ハンドブック」大谷尚子 中桐佐智子 編著（東山書房）
参考書
「新養護概説〈第10版〉」采女智津江 少年写真新聞社 2018 「学校保健マニュアル」、「児童生徒等の健康診断マニュアル」日本学校保健会2015 「改訂版環境衛生管理マニュアル」文部科学省2010
成績評価の方法・基準
単位認定60点以上、授業への参加度・演習の評価40%、レポート・課題20% 実習報告会の発表（自他評価表より）総合評価40%、
課題等に対する フィードバックの方法
授業毎に演習用やグループワーク用のワークシートを配布して、そのまとめや感想を課して提出を求める。また、レポートや調べ学習の課題を課すことがある。返却するので、振り返りや学習内容の理解に役立てること。
履修のポイント
関心・意欲・課題意識をもち、積極的に学び誠実な態度で養護実習に臨めるようにする。
オフィス・アワー
10号館2階2研究室にて事前にアポイントを取りながら行う。また、本科目の講義の前後にも適宜受付る

講義コード	11270001
講義名	医療保健福祉行政論（看護師課程）
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時限	１時限
区分	専門基礎科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R134
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松原 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

本講座では、まず、保健医療福祉行財政の理念としくみについて、歴史的変遷・諸外国の制度と対比させながら、学習する。その上で、現在の医療保健福祉に関する制度を学習する。さらに、市町村を中心とした地方自治体での保健医療福祉行政がどのように立案・実施されているかを中心に学習する。最後に、保健医療福祉行政が現状において、いかなることを中心に活動をしているかについて、学習する。
この講座での学修により、医療保健職として必要な基礎的知識である現在の保健医療福祉行政の制度的枠組み、現実の保健医療福祉行政の活動について理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間と社会との関わりについて理解する講座であり、看護学の基礎となる、健康生活と社会との関係について、理解する。対象者を取り巻く環境についての客観的な評価をするための知識・技術、調整能力及び問題解決能力を修得する。

到達目標

１．保健医療福祉行財政の理念としくみについて理解する。
２．現在の医療保健福祉に関する制度を理解する。
３．市町村を中心とした地方自治体での保健医療福祉行政のしくみを理解する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	医療保健福祉と行政医療保健福祉制度の変遷	国及び地方自治体による行政がどのように実施されるかを学習し、その上で医療保健福祉に関する行政の仕組みについて概観する。また、わが国の医療保健福祉制度の基礎がどのように形成され、またそれがどのように変化してきたかについて学習する。	予習90分：『看護関係法令』p.12～p.18を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。

第2回	医療保健福祉行財政のしくみ	国、都道府県、市町村の医療保健福祉行政及び財政のしくみと役割について、学習する。 〈アクティブ・ラーニング〉 事前に調査した自分の居住している市町村の医療・福祉担当部署を発表する。また、市町村予算に占める医療・福祉の費用の割合を発表する。	予習90分： ハンドアウト第2回を読む。居住する市町村行財政を調査する。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第3回	社会保障制度の理念としくみ	わが国の社会保障制度の概要について学習する。社会保険、社会福祉、公的扶助のそれぞれの分野について概観する。	予習90分： ハンドアウト第3回を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第4回	医療提供体制	医療提供制度の概要について学習し、医療サービスがどこでどのような形で行われるかについて学習する。	予習90分： ハンドアウト第4回を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第5回	医療保障	医療保険制度の基本的しくみを復習し、医療保険を利用した場合の診療報酬制度について、具体的に学習する。	予習90分： ハンドアウト第5回を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第6回	介護保険制度	介護保険制度の基本的概要やしくみについて復習し、近年の改正点を中心に介護保険制度の現状を概観する。	予習90分： ハンドアウト第6回を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第7回	地域包括ケアシステム	地域包括支援センターを中心とした、地域包括ケアシステムについて学習し、さらに看護師・保健師と他の医療職との連携について、学習する。	予習90分： ハンドアウト第7回を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第8回	社会保障・社会福祉の制	憲法25条1項と生活保護制度の関係について、学修し、さらに公的扶助の基本原理及び扶助の具	予習90分： ハンドアウト第8回及び『社会保障・社会福祉』第6章を読む。 復習90分：チェックテ

	度(1) 公的扶助	体的内容について学習する。	ストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第9回	社会保障・社会福祉の制度(2) 高齢者福祉・障害者福祉①	高齢者福祉制度の概要と障害者福祉制度の概要と変遷について学習する。	予習90分： ハンドアウト第9回及び『社会保障・社会福祉』 第7章A・B①～②を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第10回	社会保障・社会福祉の制度(3) 障害者福祉②	障害者福祉に係る制度と成年後見制度の概要としくみについて、学習する。	予習90分： ハンドアウト第10回及び『社会保障・社会福祉』 第7章B③～⑤を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第11回	社会保障・社会福祉の制度(4) 児童家庭福祉	児童家庭福祉に関わる制度として、児童福祉法および母子・福祉並びに寡婦福祉法に規定される制度を学習する。また、少子化対策に関する対策について、学習する。	予習90分： ハンドアウト第11回及び『社会保障・社会福祉』 第7章Cを読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第12回	医療保健福祉と計画	都道府県・市町村に義務づけられたり、努力義務化されている保険医療福祉に係る計画について、根拠法令と内容について、学習する。 〈アクティブ・ラーニング〉 事前に調査した自分の居住している都道府県や市町村が作成した法定の計画のうち、事前に指定された計画の概要を調査して発表する。	予習90分： ハンドアウト第12回を読む。居住する都道府県及び市町村の保険医療福祉計画を調査する。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第13回	患者・高齢者の人権保障 社会基盤整備等	成年後見制度をはじめとする高齢者の人権保障に関する諸制度を学習する。患者の人権保障について、近年の状況を学習する。	予習90分： ハンドアウト第13回を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。

第14回	保健医療福祉分野における政策と動向	生活習慣病対策、精神保健対策、自殺対策、依存症対策 、歯科口腔保健対策、感染症対策、がん対策、難病対策、災害対策等について、現在の政策と動向について学習する。	予習90分： ハンドアウト第14回を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第15回	全体のまとめ	医療保健福祉行政制度について、全体を俯瞰する。	予習90分： チェックテストの解答・解説1～14を確認する。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。

教科書

使用しない

参考書

福田素生・他著『≪系統看護学講座 専門基礎分野≫ 健康支援と社会保障制度③社会保障・社会福祉』（医学書院)
厚生労働省編『厚生労働白書 平成30年度版』(ぎょうせい)

成績評価の方法・基準

平常点（授業への参加度・学習態度等）［20%］、テスト［80%］を総合して評価。総合点60点以上で単位認定する。

課題等に対する
フィードバックの方法

毎回授業終了前、10分間に10問のチェックテストを実施する。解答・解説は、授業終了時に配付するとともに、授業終了後に「桐生大学学生共有フォルダー」の「看護学科4年・医療保健福祉行政論」－「看護師課程」のフォルダーにPDFファイルで掲載する。答案は、採点の後、次回の授業時に返却する。定期試験のマーク式解答については、試験終了後「桐生大学学生共有フォルダー」の「看護学科4年・医療保健福祉行政論」－「看護師課程」のフォルダーにPDFファイルで掲載する。

履修のポイント

保健医療福祉活動の基礎となる医療福祉行政の仕組みについて学習する。この講座のは、看護師国家試験の範囲となっている。「社会保障論」及び「医療関係法規」で取り扱った事がらについても再度学習する。

オフィス・アワー

月・水・金曜日，11時～15時（授業時間以外），11号館３階研究室11

講義コード	11270002
講義名	医療保健福祉行政論（保健師課程）
(副題)	
開講責任部署	看護学科
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	月曜日
代表時限	１時限
区分	専門基礎科目
必修/選択	必修
当該授業科目の教育課程内での位置づけ	UK-R134
学年	4学年

担当教員

職種	氏名	所属
教員	◎ 松原 直樹	指定なし

授業の概要と教育目標

本講座では、まず、保健医療福祉行財政の理念としくみについて、歴史的変遷・諸外国の制度と対比させながら、学習する。その上で、現在の医療保健福祉に関する制度を学習する。さらに、市町村を中心とした地方自治体での保健医療福祉行政がどのように立案・実施されているかを中心に学習する。最後に、保健医療福祉行政が現状において、いかなることを中心に活動をしているかについて、学習する。
この講座での学修により、医療保健職として必要な基礎的知識である現在の保健医療福祉行政の制度的枠組み、現実の保健医療福祉行政の活動について理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人間と社会との関わりについて理解する講座であり、看護学の基礎となる、健康生活と社会との関係について、理解する。対象者を取り巻く環境についての客観的な評価をするための知識・技術、調整能力及び問題解決能力を修得する。

到達目標

１．保健医療福祉行財政の理念としくみについて理解する。
２．現在の医療保健福祉に関する制度を理解する。
３．市町村を中心とした地方自治体での保健医療福祉行政のしくみを理解する。

授業計画

	主題	授業内容と方法、課題（アクティブラーニングの内容を含む）	予習・復習とそのために必要な時間
第1回	医療保健福祉と行政 医療保健福祉制度の変	国及び地方自治体による行政がどのように実施されるかを学習し、その上で医療保健福祉に関する行政の仕組みについて概観する。また、わが国の医療保健福祉制度の基礎がどのように形成され、またそれがどのように変化してきたかについて学習する。	予習90分：『保健医療福祉行政論』序章・1章を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、教科書・ハンドアウトで復習する。

	遷		
第2回	医療保健福祉行政のしくみ	国、都道府県、市町村の医療保健福祉行政のしくみと役割について、学習する。 〈アクティブ・ラーニング〉 事前に調査した自分の居住している市町村の医療・福祉担当部署を発表する。	予習90分：『保健医療福祉行政論』2章ABを読む。居住する市町村行政を調査する。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第3回	医療保健福祉財政のしくみ公衆衛生に関する国際的活動	国、都道府県、市町村の医療保健福祉財政のしくみと役割について、学習する。また、公衆衛生に関する国際的組織とその活動の概要について、学習する。 〈アクティブ・ラーニング〉 事前に調査した自分の居住している市町村予算に占める医療・福祉の費用の割合を発表する。	予習90分：『保健医療福祉行政論』2章CDを読む。居住する市町村行政を調査する。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第4回	社会保障制度の理念としくみ	わが国の社会保障制度の概要について学習する。社会保険、社会福祉、公的扶助のそれぞれの分野について概観する。	予習90分：『保健医療福祉行政論』3章Aを読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第5回	医療提供体制	医療提供制度の概要について学習し、医療サービスがどこでどのような形で行われるかについて学習する。	予習90分：『保健医療福祉行政論』3章B1を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第6回	医療保障(医療財政)	医療保険制度の基本的しくみを復習し、医療保険を利用した場合の診療報酬制度について、具体的に学習する。	予習90分：『保健医療福祉行政論』3章B2を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
	介護	介護保険制度の基本的概要やしくみについて復習	予習90分：『保健医療福祉行政 論』3章C1～2を読む。 復習90分：チェックテ

第7回	保険制度	し、近年の改正点を中心に介護保険制度の現状を概観する。	ストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第8回	地域包括支援センター地域包括ケアシステム	地域包括支援センターを中心とした、地域包括ケアシステムについて学習し、さらに看護師・保健師と他の医療職との連携について、学習する。 〈アクティブ・ラーニング〉 事前に調査した自分の居住している市町村において、地域包括ケアシステムがどのように機能しているかについて、発表する。	予習90分：『保健医療福祉行政論C3章B3～5を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第9回	社会保障・社会福祉の制度(1)	憲法25条1項と生活保護制度の関係について、学修し、さらに公的扶助の基本原理及び扶助の具体的内容について学習する。	予習90分：『保健医療福祉行政論3章D3及び『社会保障・社会福祉』第6章を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第10回	社会保障・社会福祉の制度(2)	高齢者福祉制度の概要と児童家庭福祉に関わる制度である児童福祉法および母子・福祉並びに寡婦福祉法に規定される制度を学習する。また、少子化対策に関する対策について、学習する。	予習90分：『保健医療福祉行政論3章D4・5及び『社会保障・社会福祉』第7章A・Cを読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第11回	社会保障・社会福祉の制度(3)	障害者福祉に係る制度と成年後見制度の概要としくみについて、学習する。	予習90分：『保健医療福祉行政論3章D6・7及び『社会保障・社会福祉』第7章Bを読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第12回	医療保健福祉と計画	都道府県・市町村に義務づけられたり、努力義務化されている保険医療福祉に係る計画について、根拠法令と内容について、学習する。 〈アクティブ・ラーニング〉 事前に調査した自分の居住している都道府県や市町村が作成した法定の計画のうち、事前に指定された計画の概要を調査して発表する。	予習90分：『保健医療福祉行政論』5章を読む。居住する都道府県及び市町村の保険医療福祉計画を調査する。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習す

			る。
第13回	患者・高齢者の人権保障社会基盤整備等	患者・高齢者の人権保障に関する諸制度を学習する。患者の人権保障について、近年の状況を学習する。	予習90分： ハンドアウト第13回(事前配布)を読む。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第14回	医療保健福祉行政課題への対策	生活習慣病対策、精神保健対策、自殺対策、依存症対策 、歯科口腔保健対策、感染症対策、がん対策、難病対策、災害対策等について、現在の政策と動向について学習する。	予習90分：『保健医療福祉行政論』1章Bを読む。。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。
第15回	全体のまとめ	医療保健福祉行政制度について、全体を俯瞰する。	予習90分： チェックテストの解答・解説1～14を確認する。 復習90分：チェックテストの解答・解説を確認し、間違ったところを解説にチェックし、ハンドアウトで復習する。

教科書

藤内修二・他著『≪標準保健師講座 別巻1≫保健医療福祉行政論』（医学書院）

参考書

福田素生・他著『≪系統看護学講座 専門基礎分野≫ 健康支援と社会保障制度③社会保障・社会福祉』（医学書院)
厚生労働省編『厚生労働白書 平成30年度版』(ぎょうせい)

成績評価の方法・基準

平常点（授業への参加度・学習態度等）［20%］、テスト［80%］を総合して評価。総合点60点以上で単位認定する。

課題等に対するフィードバックの方法

毎回授業終了前、10分間に10問のチェックテストを実施する。解答・解説は、授業終了時に配付するとともに、授業終了後に「桐生大学学生共有フォルダー」の「看護学科4年・医療保健福祉行政論」－「保健師課程」のフォルダーにPDFファイルで掲載する。答案は、採点の後、次回の授業時に返却する。定期試験のマーク式解答については、試験終了後「桐生大学学生共有フォルダー」の「看護学科4年・医療保健福祉行政論」－「保健師課程」のフォルダーにPDFファイルで掲載する。

履修のポイント

保健医療福祉活動の基礎となる医療福祉行政の仕組みについて学習する。この講座の範囲は、保健師国家試験だけでなく看護師国家試験の範囲となっている。「社会保障論」及び「医療関係法規」で取り扱った事がらについても再度学習する。

オフィス・アワー

月・水・金曜日，11時～15時（授業時間以外），11号館３階研究室11